



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2019. 7

Vol.

1



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

マローニー R I 会長と
千葉ガバナーとの握手
共によろしくね！と

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
国際ロータリー会長メッセージ	2
国際ロータリー会長経歴	3
第2740地区ガバナー経歴	4
2019-2020年度地区方針・目標	5
Governor's message	6
ガバナー補佐挨拶	8
ガバナー公式訪問、クラブ協議会日程表	13
地区主要行事予定表	15
地区組織図	17
地区関係予算	19
送金のしおり	21
報告のしおり	22
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

国際ロータリー会長メッセージ

『ロータリーは世界をつなぐ』～ ROTARY CONNECTS THE WORLD ～



ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に答え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータ

リーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするすることで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

2019-2020年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー



国際ロータリー会長経歴



2019-20年度国際ロータリー会長
2019-20 RI President

マーク・ダニエル・マローニー
Mark Daniel Maloney

Decaturロータリークラブ
アラバマ州 (米国)

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur会長、Morgan County Meals on Wheels会長、United Way of Morgan County理事、Decatur-Morgan County商工会議所の所長を務めています。

1980年ロータリークラブに入会し、以来、RI理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョン・ナサン・マジアベ2003-04年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014年シドニー国際大会の委員長も務めました。

ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH (学校での水・衛生) 委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

ガバナー経歴



国際ロータリー第2740地区
ガバナー

千葉 憲 哉

(諫早北RC)

生年月日 1946年11月30日
住 所 長崎県諫早市貝津町3015

役職 医療法人祥仁会 理事長
社会福祉法人祥仁会 理事長

経歴 1976年 長崎大学医学部専門課程卒業
1977年 長崎大学第二外科教室入局
1988年 救急 西諫早病院 院長
1990年 医療法人祥仁会 理事長
1999年 社会福祉法人祥仁会 理事長
2003～13年 長崎大学医学部臨床教授
2011年～ 九州経済連合会 会員
2012年～ 地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事

ロータリー歴

1990年 諫早北ロータリークラブ入会
2014-15年度 諫早北ロータリークラブ会長
1991年 米山功労者
1997年 ポール・ハリス・フェロー
1999年 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (9回)
2014年 米山功労者マルチプル (5回)
2016-17年度 RI2740地区 第8グループガバナー補佐
2017年 ポール・ハリス・ソサエティ

学位他

医学博士号取得
アメリカ外科学会正会員 F.A.C.S
日本外科学会指導医・専門医
日本消化器外科学会指導医・専門医
日本核医学学会PET核医学臨床認定医
日本大腸肛門病学会指導医・専門医
国際膵臓病学会正会員



2019－2020年度地区方針・目標

1. RIテーマ

「ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD」

2. 地区運営方針

「チャレンジしよう！（変化、活性化、つながる、伝える）」

変化、活性化

- ① アンケート調査による結果を次年度事業計画作成（会員、会長幹事理事会）
- ② クラブ協議会、公式訪問におけるアンケート調査結果の評価（G補佐、G）
- ③ 長期計画推進（地区及びクラブ戦略計画委員会）
- ④ 財団寄付推進、寄付ゼロクラブゼロの継続、DDF活用（地区財団委員会、クラブ）
- ⑤ 規定審議会への提案（クラブ、地区）
- ⑥ 柔軟性はあくまでも中核的価値観の範囲内の変更で行う。（クラブ）

奉仕プロジェクト

- ⑦ ロータリーを知る「基本理念委員会」
- ⑧ ポリオ撲滅バザー募金（地区大会にて）
- ⑨ 社会・国際奉仕プロジェクト推進（クラブ会長・幹事・理事会、財団委員長）
- ⑩ 海外姉妹クラブとの交流（クラブ）
- ⑪ グループ内クラブ交流
（会長幹事会隔月例開催、クラブメーキャップツアー、ガバナー補佐）

つながる

- ⑫ 家族、地域の例会参加（クラブ）

育てる

- ⑬ ローターアクトクラブ、新クラブ創設（クラブ）
- ⑭ 次世代若いリーダー育成（クラブ）
- ⑮ 交換学生、奨学生、青少年保護、および事案報告体制（クラブ、ガバナー）

伝える

- ⑯ 「ファシリテーション・メソッド」の活用（地区セミナー、クラブ）
- ⑰ SNS活用（クラブ、公共イメージ委員会）
- ⑱ ロータリー情報：My Rotary、Club Central、RI情報、規定審議会情報（地区公共イメージ委員会）

- | | | |
|-------------------|----------------|------|
| • 会員増強の目標 | 会員50人未満のクラブ | 純増1名 |
| | 会員50人以上のクラブ | 純増2名 |
| • ロータリー財団への年次寄付目標 | 一人平均150ドル／年間 | |
| • 米山記念奨学会への年次目標 | 一人平均16,000円／年間 | |

Governor's message

ガバナー就任ご挨拶

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉憲哉

第2740地区の皆様、2019-2020年度当地区のガバナーを拝命いたしました千葉憲哉です。皆様の御指導をよろしく願いいたします。

令和初年度のガバナーとして何ができるか不安でいっぱいです。まあ何事も自分で期待したほど実現しなかったのが私の半生であります。失敗だらけで、しかも例会もきちんと出席しなかった不良ロータリアンにガバナーがまわってきたのですから、せめて皆様に御迷惑をおかけしないで、1年1善で済まそうと考えています。

ガバナー就任の経緯

クラブでは先輩から役に指名されたら「ハイとだけ言いなさい。」としつけられてきました。一昨年突然、先輩のPGから「ガバナーになりなさい。」と詰め寄せられ、思わず「ハイ」と返事したのが苦悩の始まりです。まず、何も知らない不良ロータリアンの私ですから、「ロータリーとは何か？」から始めなければなりません。過去に頂いたロータリー資料やインターネットでロータリーのことを調べ始めたころ、崎永PGから早速、ロータリー章典やロータリー情報ハンドブックが届きました。本は好きな方ですから、1ページから読み始めました。どこを読んでも知らないことばかり。いくつかは例会時、耳学問で聞いたことがあり、うなずくことが多いので、諸先輩からのアドバイスはとても大切なものと知りました。その内、どんどん深みにはまり、ロータリー創設から現在に至るロータリー史を読むに至り、ロータリーの素晴らしさにどんどん惹かれていきました。

アンケート調査について

その内、ロータリーの問題点も次第にわかるよ

うになってきました。その中でも最も気になっていたのが妻の所属するRCのことでした。会員が急減したのです。ロータリーの決まり事を良く熟知してないロータリアンがいたために迷走していたクラブでした。このままではクラブ消滅でした。ちょうどその頃、東京でロータリー研究会が開催されました。その時、第2840地区本田博己PGにお会いし、クラブ危機の対応を相談したところ、「第2840地区で実施されているアンケートをやったらどうですか？ロータリアンとしての自分や、所属クラブの実態がわかりますよ！」とアドバイスをいただきました。早速、アンケートをダウンロードし、読んでみました。どんなものかやってみようと思い、自分でアンケートに回答し、分析表に従い分析してみました。さらに私の所属クラブで会長に相談したところ快くクラブのみんなが協力してくれ、例会の時間をアンケート調査にあてて頂き、その後分析しました。今まで自分では気がつかなかった「はっ！」とするほどの結果でした。内容はクラブの特徴、欠点、会員が何を問題点と考えているか？指摘されたものでした。その結果が面白いので、炉辺会合のテーマとして持ち寄り、内容を話し合いながら、盛り上がり貴重な時間を過ごせました。

本田博己PGが指摘されたように、アンケート調査がクラブの改革・改善に結びつくものであり、事業計画内に改善項目を反映すべきであると実感いたしました。そこで、当第2740地区でもロータリーの魅力が薄れ、会員減少が主要な問題となりつつある今日、その対策として各クラブ、ロータリアンの皆さんにとって改革の良いチャンスであると考え、ぜひ、ガバナー年度の前年度中にまず、実施してもらいました。まずは、2019-2020年度のクラブ事業計画にアンケート分析の結



果を盛り込んだ計画に変えて頂きたかったのです。その後、クラブ改善の成果を見て、地区長期戦略計画として数年実施してみたいと思います。その旨をPGの皆様にご相談いたしましたところ、賛同を得ることができましたので、全クラブで実施すべく、全10グループの会長・幹事に賛同と実施をお願いに回りました。分析結果のとりまとめはガバナー補佐の皆様をお願いいたしました。

アンケート分析結果を参考に、クラブ協議会や公式訪問を実施する次第となりました。地区大会ではアンケート総括の発表をしたいと思います。アンケートを実施するにあたり、クラブには自治権があり、クラブ運営はクラブ独自の判断を留意すべきですから全てのクラブに賛同いただけるかどうか？ 不安でしたが、うれしいことに全ロータリアンに実施していただきました。ところでアンケート調査は令和年度の1善となるでしょうか？

公式訪問について

それぞれのクラブには歴史と文化があります。一つ一つのクラブにはそのクラブならではの素敵なところ、素晴らしい出来事が積み重なっています。それがそのクラブの魅力ですし、ロータリアンとしての喜びを感じるものでしょう。だからロータリーは楽しい！ 辞めたくない！ となります。アンケート調査に協力していただいたことに、感謝いたしますとともに、私にとって、一つ

一つのクラブがとても大切に思います。だから、公式訪問では感謝を込めて、全クラブを一つずつ訪問します。ロータリアン一人一人とクラブで出会い、楽しいひと時を過ごせばこの上ない幸せと思います。やはり、ロータリーは親睦が一番と思います。親睦が素晴らしいクラブは退会者が少ないのではないのでしょうか？

ガバナー月信について

ガバナー月信は地区がクラブ会長・幹事とロータリアンの皆様をつなぐことができる大切なツールです。自らが芸術を愛好されている緒方月信編集長が諫早地区の文芸を御紹介することになっています。諫早は偶然にも2740地区長崎にある佐賀藩の地、融合の場所です。その諫早の豊かな自然の中から生まれた文学作品を、作者、風景を含めて御紹介していただけることになっています。1年間のシリーズです。御期待ください。

今回、特にR I最新情報というコーナーを設けています。今までは規定審議会の審議項目や決定事項の周知が不十分でした。そこでR I情報、地区内の情報をクラブ会員にもっと情報を提供し、他地区と情報の乖離が起こらないように努めます。R I最新情報はMy Rotaryで取得できますが、目を通して頂けない場合もあり、月信にてお伝えいたします。また、各クラブからの投稿をお願いします。そのクラブがどのような奉仕プロジェクトをしているか？ 等をお伝えできたら他のクラブの参考になります。

ガバナー補佐挨拶

第1グループ ガバナー補佐 **白石公太郎** (牛津RC)

経歴

1998年7月
入会
2001-02年度
クラブ幹事
2004-05年度
クラブ会長

2019-2020年度第1グループガバナー補佐を拝命致しました、牛津ロータリークラブの白石公太郎と申します。平成10年に入会し、21年目になります。2004-2005年度に会長となり、その年が国際ロータリー100周年の記念すべき年に当たりました。IM等多くの行事が有り、先輩方のご指導を受けながら何とか会長を務めることが出来ました。そして多くのロータリアンの皆様と知り合いになることが出来ました。しかし、将来自分がガバナー補佐に任命される等、当時は考えてもみませんでした。ただ例会に出席し、先輩方と共に行動できることが楽しく、ロータリーは出席することが一番大事だと先輩方に教えられてきました。

入会当時は沢山の先輩方がおられました。21年もたつといつの間にか、ガバナー補佐経験者を除くと自分が長老の身となり、とうとう断りきれずガバナー補佐を引き受けてしまいました。研修会に参加し、今まで親睦第一でロータリー活動を行ってきた自分の勉強不足を、そして責任の重さを痛感致しております。しかし引き受けた以上は、千葉ガバナーの思いを皆様方に伝えるため精一杯頑張っていきたいと思っております。

マーク・ダニエル・マローニーRI会長が掲げたテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。又、我が2740地区・千葉憲哉ガバナーは「チャレンジしよう！(変化・活性化・つながる・伝える)」を目標とされています。今までと同じではなく、長期計画の推進、奉仕プロジェクト(基本理念委員会の立ち上げ、家族・地域の例会参加、次世代の若いリーダー育成、SNS等を使ったクラブの公共イメージ委員会等)の様々な事業を考えておられます。これらをしっかりと勉強し、ガバナーの意思を皆様に理解して頂けるよう、新たな気持ちで取り組むことが私のガバナー補佐としての仕事だと思います。第1グループの皆様のご協力を得ながらこの1年間頑張る所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

第2グループ ガバナー補佐 **山崎 唯之** (神埼RC)

経歴

1989年9月
入会
1999-00年度
クラブ幹事
2003-04年度
クラブ会長

この度、2019~2020年度 第2グループガバナー補佐を拝命致しました。

神埼ロータリークラブの山崎唯之と申します。

今年度はマーク・ダニエル・マローニー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」がテーマです。

又、千葉ガバナーの地区テーマは「チャレンジしよう！」(変化・活性化・つながる・伝える)です。

私も第2グループの各クラブがつながり、変化、活性化できるよう努力して参ります。

微力ではありますが一年間ガバナー補佐として務めさせていただきます。

皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



ガバナー補佐挨拶



第3グループ ガバナー補佐 **平岡 清宏** (武雄RC)



経歴

1992年7月
入会
2009-10年度
クラブ幹事
2011-12年度
クラブ幹事
2015-16年度
クラブ会長

この度、2019～20年度、第3グループガバナー補佐に任命されました、武雄クラブの平岡清宏と申します。

今年でロータリー歴は28年目になります。その間に、太良クラブさんが発足し、今年の6月で白石クラブさんが幕を閉じられ、7RCから6RCになった最初の年度を担当させて頂く事になりました。

千葉ガバナーがクラブ減少を懸念されて始められたアンケート結果から、幾つかの学びがありました。それは、会員数が少ないクラブ程、満足度が高いという事でした。会員同志の結束が固く、クラブ維持の為に努力されていると感心させられました。又、6月解散の白石クラブさんからは、最後の最後まで、ロータリアンとしての矜持を持ち続け活動されたのは、立派だと思いますし、ロータリーが何なのかを教えて戴いた気がしました。

ガバナー補佐在任中は、RIの標語から無くなったかも知れませんが、「入りて学び、出でて奉仕せよ」のロータリーの原点を自然体で模索したいと思っております。

最後になりますが、千葉ガバナーと第3グループ6RCのつなぎ手となり、地区の活動ベクトルをクラブに、またグループ内ロータリアンのマインドを地区に伝えていきたいと思っております。更に、花鳥次年度ガバナーの準備のお手伝いとグループ内の結束を図って参りたいと重ねて思っております。一年間、どうか宜しくお願い申し上げます。



第4グループ ガバナー補佐 **辻 幸徳** (唐津RC)



経歴

1995年1月
入会
2004-05年度
クラブ幹事
2013-14年度
クラブ会長

本年度第4グループのガバナー補佐を拝命しました唐津RCの辻幸徳と申します。第4グループは伊万里市に2クラブ、唐津市に4クラブがあります。

これから、各クラブを訪問させて頂き会員の皆様との出会い、ご縁を大切にさせて頂かれたガバナー補佐の役目を果たして参ります。

さて、千葉憲哉ガバナーは第2740地区2019-2020年度地区運営方針(テーマ)を
チャレンジしよう!(変化、活性化、つながる、伝える)
と私たちに提言されました。

これらのテーマが具現化され行動に移せるよう、そして各クラブと地区の橋渡しができるように肩ひじ張らずに、私のできる範囲で楽しくガバナー補佐の任が果たしていければと考えています。

まずは、地区研修・協議会に参加し学んだことを担当クラブの協議会・定例会他多くの会合に出席し情報の共有化のため、フィードバックをしていきたいと思っております。

最後になりましたが、私自身が成長できる良い機会を与えて頂いたことに感謝し、今後いろいろ勉強して皆様のお役に立てればと思っております。

どうぞ、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、ガバナー補佐就任の挨拶とさせていただきます。

ガバナー補佐挨拶

第5グループ ガバナー補佐 **法師山真人** (北松浦RC)

経歴

1988年
入会
1996-97年度
クラブ幹事
1999-00年度
クラブ会長

この度、2019～2020年度、第5グループ、ガバナー補佐に任命されました北松浦ロータリークラブの法師山真人と申します。

思いおせば、職業、人格、共に尊敬に値する先輩に推薦を受け、1988年10月に入会、今年でロータリー在籍30年になります。

この30年間、色々な出来事が有りましたが、ロータリー活動とは、親睦あつての奉仕と自分なりに解釈し、クラブ内外で多くの親しいロータリアンを作り、奉仕活動にも参加しながら30年余ロータリアンとして平々凡々と努めてきました。今年度は、ガバナー補佐という身に余る大役を努めさせていただきます。

意欲満々の千葉憲哉ガバナーの下で、第5グループの5クラブの皆様と共に、ガバナーの目標である「ロータリーに入会して良かったという事」に、向かって共に、努力、行動しようではありませんか。

今年一年間、第5グループの皆様には、何かと御力添えをいただく事と思いますが、私も努力しますので、宜しく願い申し上げます。

第6グループ ガバナー補佐 **岡田 金助** (ハウステンボス佐世保RC)

経歴

1996年7月
入会
2002-03年度
クラブ幹事
2009-10年度
クラブ会長

新たな改元の年(令和元年)2019～2020年度、第6グループガバナー補佐を務めさせていただきます、ハウステンボス佐世保RC岡田金助と申します。

佐世保市内6クラブを、クラブ協議会から千葉憲哉ガバナー公式訪問と、一緒に訪問させていただきます。よろしく願いいたします。

まさか私ごとき者がガバナー補佐の大役が務まるとは思いませんが、自クラブから熱心に勧められ(半ば強制的に脅しに負けて)お引き受けさせていただきました。私のクラブは佐世保市内では一番遅くに創立された若いクラブで、訪問する佐世保市内のクラブは創立の歴史もあり伝統あるクラブばかりです。そのような伝統あるクラブの皆様に対してガバナー補佐の職責が十分に務まるのか極めて不安で恐縮いたしております。

しかしながらお引き受けさせていただいたからには、第6グループのクラブの皆様から教えていただきながら誠心誠意務めさせていただきます。

さて、マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長は、「**ロータリーは世界をつなぐ**」を2019～2020年度会長テーマとして発表されました。

それにより第2740地区運営方針を「**チャレンジしよう!**(変化、活性化、つながる、伝える)」が千葉憲哉ガバナーの目指す地区テーマとなります。

千葉ガバナーは、ロータリーは今危機なのですと訴えられ、その危機の回避の為にクラブへのアンケート調査を実施されたのです。

アンケート結果を通して皆様のクラブに少しでもお役に立てればと思っております。

全員参加で、継続的に現状に合わせたクラブ改革から、魅力的で活力ある元気なロータリークラブを目指して、一つでよいですからロータリーから学ぶものを見つければ良いと思います。私がこうしてロータリーに踏みとどまれているのは、「人と人との出会い、一期一会と、職業倫理」を学ばせていただき、自分を精進していければと考えているからです。

微力ではございますが令和元年のこれからの一年間ガバナー補佐としての役割を務めさせていただきます。何卒よろしく願い申し上げます。



ガバナー補佐挨拶



第7グループ ガバナー補佐 **比良 孝蔵** (大村北RC)



経歴

1996年4月
入会
2000-01年度
クラブ幹事
2001-02年度
クラブ幹事
2005-06年度
クラブ会長

この度、2019～2020年度、第7グループガバナー補佐を拝命致しました。大村北ロータリークラブの比良孝蔵と申します。

第7グループは「島原・雲仙・島原南」と「大村・大村東・大村北」の6クラブが担当となっております。6年毎のガバナー補佐の輪番が一年前倒して当クラブに回って来ましたので、現在24名と少ない会員の中からガバナー補佐を出すことに、クラブ会長や幹事さんは人選に大変苦慮されたようです。

私はロータリークラブ在籍は24年目です、クラブ幹事や会長での経験後14年、このようなお役目を想定していませんでした。

昨年仕事も引退し、時間を持って余していきそうな私に白羽の矢を立てられ困惑しましたが、ロータリークラブに対する奉公を望まれたと感じ、「**NO!と 言わないロータリアン**」の精神で引き受けました、メイク・アップの大切さを今更ながら感じております。

特別な勉強もしていなかったのですが、最近はおっぱらロータリーを楽しむ事に専念しております。

これから、少しでも多くの、他クラブのロータリアンの皆さんと交流することで、得られる親睦を中心とした「ロータリーの精神」を共有し、千葉憲哉ガバナーとの「**ロータリーの絆**」の橋渡しを楽しみにしたいと思います。その上で、未だ経験したことが無い世界の先に何があるのか？何を感じる事が出来るのか？ チャレンジする機会を頂いたことに感謝しなければならないと思います。

千葉憲哉ガバナーの地区テーマ「**チャレンジしよう (変化、活性化、つながる、伝える)**」に共鳴し夢を持ち続け、日々精進で自己研鑽と寛容の精神でロータリーを楽しみたいと思います。

皆様の御協力と御指導を宜しく御願ひ致します。



第8グループ ガバナー補佐 **栄田 元信** (諫早RC)



経歴

1993年3月
入会
1999-00年度
クラブ幹事
2016-17年度
クラブ会長

2019-2020年度第8グループガバナー補佐を拝命しました栄田元信です。1993年に諫早ロータリークラブに入会し、1999-2000年度幹事、2016-2017年度会長を務め入会以来26年間100%出席です。見識に富む諸先輩がおられる中、凶らずもガバナー補佐を務めることとなりました。第8グループは諫早市内の5ロータリークラブですので地域性としてはとても楽だと思えます。また諫早北RC輩出の千葉ガバナーのお膝元でもありますので、しっかりと思いを受け止め、各クラブにお伝えし、融和を図りつつ懇親を深め、会員の皆様がロータリーに誇りと愛情を持てるようお手伝いをしたいと思います。2019年5月に3年に一度の規定審議会が開催され多くの項目は強制力はありませんが、各クラブの定款・細則と見比べる必要があります。強制力があり各クラブに影響の大きいものがあります。それはRIに支払う人頭分担金です。半年ごとに50セント増額することが採択されました。これの実施は1年間の猶予があります。この間に反対投票が規定数に達すると停止されます。各クラブの皆様には反対投票の権利を行使して頂きたいと思えます。また7・8グループ合同IMの担当も致しますので、10グループ各補佐の皆様、ガバナー事務所のスタッフの皆様、ご指導ご協力の程よろしくお願ひします。

ガバナー補佐挨拶

第9グループ ガバナー補佐 **浦 信夫** (長崎琴海RC)

経歴

1992年3月
入会
1997-98年度
クラブ幹事
2008-09年度
クラブ幹事
2001-02年度
クラブ会長
2011-12年度
クラブ会長

この度、2019-2020年度第9グループガバナー補佐を拝命致しました、長崎琴海ロータリークラブの浦信夫と申します。

チャーターメンバーとして、平成4年3月創立時より、クラブの仲間（人生の先輩方）と共に活動して参りました。多い時には37名まで増えた会員もここ数年は19名以下の弱小クラブとなっています。入会に当たっては、ロータリーは「企業人、社長さん達の会合」程度の知識しかなく、仲間になれば、仕事上も人間的にもメリットがあるはずだと思ってのスタートでした。そしてその通り素晴らしい先輩、友人と知り合う機会を得、家族や従業員にもその恩恵を享受できていると思いますし、何より奉仕の機会を得たことは私の人生において心の糧になっています。活動に出かけた所で見ると皆さんの笑顔や会友たちの笑顔に接する嬉しさのために、私は今もロータリーを続けているのでしよう。

そんな弱小クラブの一会員の私がガバナー補佐を受けるにあたっては、勉強不足の為、クラブ、会員皆様の為にどれだけ役に立てるかわかりませんが、よろしくお願ひします。

さて、今年度のマーク・ダニエル・マローニーRI会長が掲げられたテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」。そして千葉憲哉ガバナーが示された地区テーマ：チャレンジしよう！（変化、活性化、つながる、伝える）に基づき、ロータリーの魅力低下、退会、会員減少等の問題を考えていきたいと思ひます。千葉ガバナーもロータリーの原点に戻り、理想のロータリアンであるプライドを取り戻そうと述べられています。地区方針を推進し第9グループの皆様にご理解頂き、一助となるよう微力ではありますが、ガバナー補佐として努めて参ります。

1年間各クラブへ訪問させて頂きますので、ご協力よろしくお願ひします。

第10グループ ガバナー補佐 **小野原卓嗣** (長崎北RC)

経歴

1992年2月
入会
2001-02年度
クラブ幹事
2011-12年度
クラブ会長

当クラブの崎永パストガバナーから、「私が手助けするからガバナー補佐に出るように」とお話があり、私も70歳を過ぎ、ロータリーの在籍も25年を過ぎましたので、最後の御奉公と出てまいりました。

私は楽しいロータリーを実践してきました。

5つの趣味の会（ゴルフ、俳句、日本酒の会、ワインの会、コーラス）に参加して大いに楽しんでます。皆さんロータリーを楽しんで下さい。自分のクラブを好きになって（愛して）ください。楽しくないクラブには会員勧誘、増強が出来にくくなります。私はロータリーとは「紳士の社交倶楽部」だと思っております。しっかりしたルールのなかで、お互いに認めあい好意、友情を育み楽しく活動をしていきましょう。

10グループの皆様、訪問の折は温かくお迎え下さい。



2019-2020年度 ガバナー公式訪問・クラブ協議会日程表

	クラブ名	クラブ協議会	公 式 訪 問	例 会 場
第1グループ	佐 賀	8月1日(木)	8月29日(木)	ホテルニューオータニ佐賀
	小 城	9月11日(水)	9月18日(水)※	ゆめぶらっと小城3F 会議室5
	牛 津	9月13日(金)	9月20日(金)	「セリオ」内
	多 久	8月22日(木)	9月5日(木)	あいぱれっと内会議室
	佐賀大和	9月3日(火)	9月10日(火)※	ホテル龍登園
第2グループ	佐賀西	7月8日(月)	7月22日(月)	ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア
	佐賀北	8月7日(水)	8月28日(水)※	グランデはがくれ
	佐賀南	9月10日(火)※	9月17日(火)※	グランデはがくれ
	神 埼	9月3日(火)	9月17日(火)	吉野ヶ里商工会館
	佐賀空港	8月21日(水)	8月28日(水)	佐賀空港ターミナルビル3階会議室
第3グループ	有 田	8月27日(火)	9月3日(火)※	大有田焼会館3階
	武 雄	7月22日(月)	7月29日(月)※	武雄センチュリーホテル
	鹿 島	9月3日(火)	9月10日(火)	鹿島商工会館3階
	嬉 野	8月2日(金)	8月9日(金)	嬉野観光ホテル 大正屋
	大 町	8月8日(木)	8月22日(木)	大町マーケット2階
	太 良	8月29日(木)※	9月5日(木)※	太良ロータリークラブ会館
第4グループ	唐 津	7月16日(火)	7月23日(火)	唐津信用金庫本店4階
	伊 万 里	9月11日(水)	9月18日(水)	ロイヤルチェスター伊万里
	唐 津 東	7月18日(木)	7月25日(木)	唐津シーサイドホテル
	唐 津 西	7月10日(水)	7月17日(水)	唐津市商工会館4階会議室
	伊 万 里 西	7月11日(木)	7月25日(木)※	伊万里迎賓館2階
	唐 津 中 央	7月19日(金)	7月26日(金)	Hotel&Resorts SAGA-KARATSU
第5グループ	佐 世 保	8月7日(水)	8月21日(水)	佐世保玉屋8階文化ホール
	平 戸	7月11日(木)	7月18日(木)	ニュー平戸海上ホテル
	北 松 浦	7月9日(火)	7月16日(火)	サンパーク吉井(ソレイユ)
	佐 世 保 西	8月27日(火)	9月3日(火)	セントラルホテル佐世保
	松 浦	9月25日(水)	10月2日(水)	松浦シティホテル

※印は夜の例会

	クラブ名	クラブ協議会	公 式 訪 問	例 会 場
第6グループ	佐 世 保 南	7月12日(金)	7月19日(金)	J A ながさき西海させぼホール
	佐 世 保 東	9月5日(木)	9月19日(木)	ホテルオークラJRハウステンボス
	佐 世 保 北	7月29日(月)	8月5日(月)	セントラルホテル佐世保
	佐 世 保 中央	8月29日(木)	9月12日(木)	セントラルホテル佐世保
	佐 世 保 東南	9月4日(水)	9月11日(水)	ホテルオークラJRハウステンボス
	H T B 佐世保	8月6日(火)	8月20日(火)	ホテルヨーロッパ内宴会会場「レンブラントホール」
第7グループ	大 村	8月20日(火)	8月27日(火)※	長崎インターナショナルホテル
	島 原	7月30日(火)	8月6日(火)	ホテル南風楼
	雲 仙	8月31日(土)	9月7日(土)	雲仙観光ホテル
	大 村 北	9月4日(水)	9月11日(水)※	長崎空港観光ホテル
	島 原 南	7月24日(水)	8月7日(水)	原城温泉「真砂」
	大 村 東	9月2日(月)	9月9日(月)	長崎インターナショナルホテル
第8グループ	諫 早	8月23日(金)	8月30日(金)	水月楼
	諫 早 北	9月26日(木)	10月3日(木)	L & L ホテルセンリュウ
	諫 早 西	8月7日(水)	8月21日(水)※	平安閣 諫早サンプリエール
	諫 早 多良見	7月30日(火)	8月6日(火)※	ホテルグランドパレス諫早
	諫 早 南	7月22日(月)	7月29日(月)	諫早観光ホテル道具屋
第9グループ	長 崎	9月12日(木)	9月26日(木)	ホテルニュー長崎
	福 江	8月9日(金)	8月23日(金)	カンパーナホテル
	長 崎 北 東	7月24日(水)	7月31日(水)	長崎新聞文化ホール アストピア
	福 江 中央	8月6日(火)	8月23日(金)※	観光ビルはたなか
	長 崎 西	8月20日(火)	8月27日(火)	ホテルニュー長崎
	長 崎 琴 海	7月18日(木)	8月1日(木)	パサージュ琴海
第10グループ	長 崎 北	8月5日(月)	8月19日(月)	ホテルニュー長崎
	長 崎 南	8月28日(水)	9月4日(水)	ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル
	長 崎 東	7月26日(金)	8月2日(金)	(株)平安閣サンプリエール
	長 崎 みなと	7月23日(火)	7月30日(火)	(株)平安閣サンプリエール
	長 崎 中央	8月26日(月)	9月2日(月)	ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション
	長 崎 出 島	8月30日(金)	9月6日(金)	ホテルニュー長崎

※印は夜の例会



地区主要行事予定表 国際ロータリー第2740地区 2019~2020年度

2019年

月	特別月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	クラブ・グループ
7月		1日(月)	第1回ガバナー会議 ガバナー・元・次期 ガバナー懇談会	12日(金)	マイロータリー・クラブセン トラルセミナー 米山奨学生研修旅行(熊本)		
		4日(木) 13日(土)	第1回諮問委員会 第3ゾーンR戦略計 画推進セミナー	14日(日)~ 15日(月) 28日(日) 28日(日)	会員増強セミナー 青少年交換オリエンテーション		
8月	会員増強・拡大月間			3日(土)	地区インタラクティブ年次大会 (長崎)		
				18日(日)	青少年交換オリエンテーション		
				25日(日)	米山カウンセラー・奨学生 「出前卓話」研修会		
9月	基本的教育と識字率向上月間	2日(月)~ 3日(火)	G E T S	7日(土)	基本理念・クラブ管理運営セ ミナー	26日(木)	長崎南RC 55周年記念式典
		4日(水)	地区研修リーダーセ ミナー	22日(日)	青少年交換オリエンテーション		
10月	経済と地域社会の発展月間 米山月間			7日(月)	青少年交換留学生おくんち見学	19日(土)	佐賀北RC 50周年記念式典
			第2回諮問委員会	12日(土)	インタラクティブ前期指導者研修会	26日(土)	佐世保西RC 50周年記念式典
				27日(日)	青少年交換オリエンテーション		
11月	ロータリー財団月間	8日(金)	RI会長代理歓迎晩餐会 (L&Lホテルセンリュウ)	24日(日)	ロータリー財団セミナー		
		9日(土)	地区大会 本会議 (諫早文化会館)				
		10日(日)	懇親ゴルフ大会				
		17日(日)	第2回ガバナー会・RI会 長歓迎晩餐会				
		18日(月)~ 19日(火)	ロータリー研究会(神戸)				
12月	疾病予防と治療月間		第3回諮問委員会	1日(日)	青少年交換オリエンテーション		

2020年

月	特別 月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	クラブ・グループ
1月	職業奉仕月間		国際協議会 (米国 サンディエゴ)				
2月	平和と紛争予防 紛争解決月間	9日(日)	全国RYLA研究会	1日(土) 16日(日)	インターアクト後期指導者研修会 地区補助金管理セミナー	1日(土) 11日(火) 15日(土) 24日(月)	長崎東RC 50周年記念式典 第9・10G IM 第7・8G IM 第4G IM
3月	水と衛生月間					21日(土)	唐津西RC 50周年記念式典
4月	母子の健康月間					11日(土) 11日(土) 18日(土)	第1・2G IM 大村RC 60周年記念式典 諫早RC 60周年記念式典
5月	青少年奉仕月間	24日(日)	第41回RYLA			9日(土) 23日(土) 28日(木)	雲仙RC 50周年記念式典 諫早多良見RC 30周年記念式典 嬉野RC 50周年記念式典
6月	ロータリー親睦活動月間	6日(土)~ 10日(水)	国際大会 (ハワイ ホノルル)			1日(月)	長崎中央RC 30周年記念式典



地区組織図 国際ロータリー第2740地区 2019～2020年度

R I 会長
マーク・ダニエル・マローニー

ガバナー諮問委員会		
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古 亮尊	大村北
PG	野崎 元治	長崎
PG	隅田 達男	伊万里
PG	安部 直樹	佐世保
PG	栗林 英雄	諫早北
PG	田口 厚	長崎
PG	野口 清	佐賀
PG	高城 昭紀	島原
PG	高原 武彦	有田
PG	岩永 信昭	長崎北東
PG	福元 裕二	佐賀北
PG	塩澤 恒雄	平戸
PG	宮崎 清彰	諫早北
PG	崎永 剛	長崎北
PG	駒井 英基	佐賀南
PG	福田 金治	佐世保
G	千葉 憲哉	諫早北

ガバナー指名委員会		
PG	宮島傳兵衛	唐津東
PG	市瀬久米嘉	佐世保東
PG	佐古 亮尊	大村北
PG	野崎 元治	長崎
PG	隅田 達男	伊万里
PG	安部 直樹	佐世保
PG	栗林 英雄	諫早北
PG	田口 厚	長崎
PG	野口 清	佐賀
PG	高城 昭紀	島原
PG	高原 武彦	有田
PG	岩永 信昭	長崎北東
PG	福元 裕二	佐賀北
PG	塩澤 恒雄	平戸
PG	宮崎 清彰	諫早北
PG	崎永 剛	長崎北
PG	駒井 英基	佐賀南
PG	福田 金治	佐世保
G	千葉 憲哉	諫早北

ガバナーエレクト	
花島 光喜	鹿島

地区拡大委員会	
駒井 英基	佐賀南
福田 金治	佐世保

地区研修委員会			
リーダー	駒井 英基	佐賀南	
委員	崎永 剛	長崎北	
委員	福田 金治	佐世保	



ボール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター
宮崎 清彰 諫早北

ガバナー (R I 役員)		
千	葉	憲 哉 諫早北
ガバナー補佐		
グループ	氏名	所属
1	白石公太郎	牛津
2	山崎 唯之	神埼
3	平岡 清宏	武雄
4	辻 幸徳	唐津
5	法師山真人	北松浦
6	岡田 金助	HTB佐世保
7	比良 孝蔵	大村北
8	柴田 元信	諫早
9	浦 信夫	長崎琴海
10	小野原卓嗣	長崎北

戦略計画委員会			
委員長	崎永 剛	長崎北	
委員	駒井 英基	佐賀南	
委員	福田 金治	佐世保	
委員	千葉 憲哉	諫早北	
委員	花島 光喜	鹿島	
委員	塚崎 寛	長崎中央	

財米山記念奨学会			
理事	駒井 英基	佐賀南	
2019~2023年度評議員	宮崎 清彰	諫早北	

PETS実行委員会	
委員長	白倉 一男 諫早北

財務委員会	
小林 純一	長崎北
笠 慶宣	佐賀南
増本 一也	佐世保

地区研修・協議会実行委員会		
委員長	中村 克三	諫早多良見
副委員長	新北 輝秋	諫早多良見

「ロータリーの友」地区代表委員	
白倉 一男	諫早北

地区大会実行委員会		
委員長	池田 榮雄	諫早北
副委員長	本田 清秀	諫早北

ガバナー事務所スタッフ			
役職	担当	氏名	所属
幹事	全般	大石 竜基	諫早北
副幹事	奉仕プロジェクト・R財団・米山部門	松田 洋一	諫早北
副幹事	クラブ管理運営・会員増強・公共イメージ部門	萩原 悟	諫早北
会計長	会計	光石 尚彦	諫早北
編集長	月信・HP	緒方 聖	諫早北
編集委員	月信・HP	川崎 健	諫早北
編集委員	月信・HP	廣渡 雅也	諫早
事務局長		平田 利之	諫早北
副事務局長		山本 繁隆	諫早北

危機管理委員会			
委員長	栗林 英雄	諫早北	
委員	高松 茂信	鹿島	
委員	徳川 清隆	唐津	
委員	アール・ヴィヴァー・アサヒ	諫早多良見	
委員	山口 宏二	長崎	
委員	岡村 康司	長崎南	
委員	園田 嘉生	佐賀南	
委員	大家 和義	小城	
ガバナー	千葉 憲哉	諫早北	
ガバナー・エレクト	花島 光喜	鹿島	
地区幹事	大石 竜基	諫早北	
弁護士	森本 精一	諫早	
弁護士	牟田 伊宏	諫早北	

基本理念委員会			
顧問	駒井 英基	佐賀南	
委員長	吉岡 義治	佐賀南	
委員	山本 正樹	佐賀南	
委員	鬼橋 正敏	武雄	
委員	矢野 京子	諫早北	
委員	森 由有	諫早西	
委員	山田 晃	長崎南	

(◎印は委員長 ○印は小委員長)

エクト部門 ロータリー財団部門 米山記念奨学部門

ロータリー財団委員会			
◎	岡村 康司	長崎南	
	園田 嘉生	佐賀南	
	古賀 秀仁	伊万里西	
	上田 康雄	長崎北	
	竹内 一	長崎北	

補助金委員会			
◎	園田 嘉生	佐賀南	
○	森本 大輔	大村	
○	中川 知之	佐世保	
○	喜多 清基	島原	
○	馬場 善信	島原	
○	前田 利孝	長崎出島	
○	永尾 竹則	佐賀西	
○	角野 智志	松浦	
○	原田 知行	長崎中央	
○	隅 康二	佐賀西	
○	嘉村 幸彦	佐賀南	
○	平岩 義明	佐世保中央	
○	角谷 一紀	大村東	

米山記念奨学委員会			
◎	大家 和義	小城	
	本村 一	佐賀西	
	大川正二郎	佐賀北	
	馬場栄一郎	鹿島	
	永田 章	北松浦	
	芦塚 義幸	大村	
	本多 善彦	雲仙	
	八戸 泰道	諫早北	
	牧 文春	長崎西	
	高谷 信一	長崎出島	

国際青少年交換委員会			
◎	アール・ヴィヴァー・アサヒ	諫早多良見	
	徳永 隆信	有田	
	新納 英明	武雄	
	織田 高德	鹿島	
	下津浦正明	佐世保南	
	堀川 二雄	雲仙	
	辻 登志美	諫早北	
	樋口 征司	諫早南	
	梅本 國和	長崎	
	中島健太郎	長崎東	
	前田 稔	長崎中央	

資金推進委員会		
◎	古賀 秀仁	伊万里西
	吉井 正司	唐津西

ポリオプラス委員会		
◎	上田 康雄	長崎北
	中島陽一郎	嬉野

ライラ委員会			
◎	山口 宏二	長崎	
	相浦 封哉	多久	
	小島 清辰	伊万里西	
	本多 進	島原南	
	峰平 国生	長崎北	

資金管理委員会			
◎	竹内 一	長崎北	
	富永 雪春	伊万里	
	西村 勇二	長崎	
	北島 利彦	長崎出島	



2019～2020年度 地区関係予算

I. 地区関係資金人頭分担金

(単位：円)

		17～18年度決算	18～19年度予算	19～20年度予算	
(1) 地区資金会計	地区資金分担金	6,300	6,800	6,600	
	地区大会分担金	5,300	5,300	5,300	
	日本事務局分担金	R 文庫協力金	300	300	300
		全国 G 会運営費	200	200	200
		平和奨学生支援金	15	15	15
	特別会費分担金	360	360	160	
世界社会奉仕資金					
	小 計	12,475	12,975	12,575	
(2) G 事務所分担金	G 事務所分担金	4,500	5,400	4,700	
	月信費分担金	1,900	1,000	1,700	
	小 計	6,400	6,400	6,400	
(3) 国際青少年交換資金分担金		1,900	1,400	1,800	
合 計		20,775	20,775	20,775	
予算算定基礎会員数		2,250	2,250	2,250	

II. 地区資金一般会計

(単位：円)

		17～18年度決算	18～19年度予算	19～20年度予算
収入の部	(1) 地区資金分担金	14,181,300	15,300,000	14,850,000
	(2) 地区大会分担金	11,999,200	11,925,000	11,925,000
	(3) 日本事務局分担金	1,159,535	1,159,000	1,158,750
	(4) 特別会計分担金	810,360	810,000	360,000
	(5) 特別会計受入金	—	—	5,000,000
	(6) その他収入	176,586	—	—
収入合計 (A)		28,326,981	29,194,000	33,293,750
支出の部	(1) ガバナー関係費	5,496,740	6,650,000	5,900,000
	GE 国際協議会	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	全国 G・P G 会議費	1,832,120	2,300,000	1,800,000
	地区 G・P G 会議費	1,318,917	1,300,000	1,300,000
	各種会議費	891,763	1,150,000	1,000,000
	G 記念品代	150,000	100,000	100,000
	渉外・広報費	103,940	600,000	500,000
	(2) 地区活動費・補助金	14,397,369	14,675,000	15,025,000
	地区大会	11,999,200	11,925,000	11,925,000
	地区研修・協議会	229,688	300,000	400,000
	P E T S	194,147	400,000	400,000
	地区委員会キックオフミーティング	—	—	300,000
	地区チーム研修セミナー	602,847	500,000	600,000
	インターアクト助成金	473,327	600,000	600,000
	ローターアクト助成金	550,000	550,000	550,000
	R Y L A 助成金	300,000	300,000	150,000
	R 財団学友会	48,160	100,000	100,000
	(3) ガバナー補佐費	1,684,404	1,700,000	1,700,000
	(4) 地区委員会費	3,918,296	3,380,000	3,730,000
	基本理念委員会	332,095	250,000	300,000
	クラブ管理運営委員会	70,008	100,000	200,000
	会員増強委員会	323,602	300,000	400,000
	公共イメージ委員会	552,919	150,000	250,000
	社会奉仕委員会	149,819	—	200,000
	インターアクト委員会	581,428	900,000	600,000
	ローターアクト委員会	176,345	180,000	180,000
	R Y L A 委員会	195,916	200,000	250,000
	ロータリー財団委員会	162,860	200,000	200,000
	資金推進委員会	46,278	50,000	50,000
	ポリオプラス委員会	41,112	50,000	50,000
	資金管理委員会	44,000	50,000	50,000
	財団奨学学友小委員会	—	150,000	150,000
	グローバル補助金小委員会	436,362	150,000	150,000
地区補助金小委員会	—	150,000	150,000	
米山記念奨学委員会	418,841	350,000	550,000	
奉仕プロジェクト委員会	—	150,000	—	
その他 (クラブ・青少年奉仕)	386,711	—	—	
(5) 日本事務局分担金	1,158,020	1,159,000	1,158,750	
(6) 特別会計繰入金	1,110,360	1,110,000	660,000	
(7) 研修会関係費用	—	—	—	
(8) その他	561,792	—	—	
(9) 予備費	—	520,000	5,120,000	
支出合計 (B)		28,326,981	29,194,000	33,293,750

Ⅲ. ガバナー事務所会計

(単位:円)

		17~18年度決算	18~19年度予算	19~20年度予算
収入の部	G事務所分担金	10,129,500	12,150,000	10,575,000
	月信費	4,060,300	2,250,000	3,825,000
	R I 補助金	1,512,756	1,326,000	1,239,370
	雑収入・その他	759,401	—	—
	収入合計 (A)	16,461,957	15,726,000	15,639,370
支出の部	公式訪問費	494,842	300,000	500,000
	人件費	3,300,000	3,750,000	3,200,000
	月信費	4,464,920	2,250,000	3,825,000
	通信費	386,567	350,000	400,000
	消耗品費・印刷費	865,410	800,000	800,000
	室料	1,129,767	1,344,000	1,000,000
	旅費交通費	270,451	200,000	400,000
	会議費	—	400,000	—
	G E 事務所費	5,400,000	5,400,000	5,400,000
	直前G事務所費	100,000	100,000	100,000
	リース料 (TEL・コピー)	—	330,000	—
	光熱費	—	200,000	—
	駐車場代	—	216,000	—
	雑費	50,000	86,000	14,370
	支出合計 (B)	16,461,957	15,726,000	15,639,370

Ⅳ. 国際青少年交換資金会計

(単位:円)

		17~18年度決算	18~19年度予算	19~20年度予算
収入の部	国際青少年交換資金分担金	4,276,900	3,150,000	4,050,000
	その他	543,380	—	—
	クラブ負担金	224,000	—	—
	来日学生負担金	302,714	—	—
	前年度繰越金	321,624	—	—
	収入合計 (A)	5,668,618	3,150,000	4,050,000
支出の部	学生滞在費補助金	1,200,000	700,000	1,000,000
	学生旅行補助	2,378,386	1,075,000	1,300,000
	オリエンテーション費用	532,504	200,000	500,000
	学生歓送迎会費他	305,474	300,000	300,000
	委員会費・全国委員会費	637,065	300,000	300,000
	印刷費他	28,353	50,000	50,000
	通信費	62,400	50,000	50,000
	RIJYEC維持協力金	449,600	442,000	450,000
	危機管理基金	—	—	—
	損害保険料	—	—	—
	予備費	—	33,000	100,000
支出合計 (B)	5,593,782	3,150,000	4,050,000	

Ⅴ. 特別会計

(単位:円)

	年度	期首残高	収入	支出	期末残高	備考
世界社会奉仕	17~18年決算	8,532,826	810,360	677,700	8,665,486	
	18~19年予算	8,665,486	810,000	—	9,475,486	
	19~20年予算	9,475,486	360,000	5,000,000	4,835,486	
規定審議会	17~18年決算	300,000	300,000	—	600,000	
	18~19年予算	600,000	300,000	900,000	—	
	19~20年予算	—	300,000	—	300,000	
V T T	17~18年決算	5,000,000	—	—	5,000,000	
	18~19年予算	5,000,000	—	—	5,000,000	
	19~20年予算	5,000,000	—	—	5,000,000	

※19~20年度予算については、千円未満は四捨五入
 ※特別会計(世界社会奉仕)より5,000,000円を一般会計へ繰出



報告のしおり

報告の種類	報告期日	報告書式	報告先
次年度会長・幹事 決定報告 (公式名簿掲載資料)	2019年12月31日	「MY ROTARY」からオンライン登録 ※ガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所には、 メールもしくはFAX	ガバナー事務所 ガバナーエレクト事務所
クラブ事務所通知 (変更の場合)	都度速やかに	書式自由	R I 日本事務局 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
会員の入会・退会・変更	都度速やかに	「MY ROTARY」からオンライン登録	R I 日本事務局 ガバナー事務所
会長・幹事変更、 例会日時・場所等	都度速やかに	「MY ROTARY」からオンライン登録 書式自由	R I 日本事務局 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所
クラブ月報	毎月15日	所定の用紙	ガバナー事務所
国際大会信任状	2020年4月末日	R I 事務所から送付された用紙を使用 会長・幹事の署名が必要	2019～2020年度 ガバナー事務所

報告先

◆国際ロータリー日本事務局

〒108-0073
東京都港区三田1丁目4-28
三田国際ビル24F
クラブ・地区支援室…TEL.03-5439-5800(旧奉仕室)
FAX.03-5439-0405
室長：中井 啓介 rijapan@rotary.org
財団室……………TEL.03-5439-5805
FAX.03-5439-0405
室長：清水 優季 RIJPNTRF@rotary.org
経理室……………TEL.03-5439-5803
FAX.03-5439-0405
室長：斎藤 愛子 rijpnfs@rotary.org
資料室……………TEL.03-5439-5802
FAX.03-5439-0405
コーディネーター
縄田 怜 rijpnpi@rotary.org

◆ガバナー会事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目6-15
黒龍芝公園ビル4F
TEL.03-3433-6497
FAX.03-3433-7395
govkai@orange.ocn.ne.jp

◆ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL.03-3433-6456
FAX.03-3459-7506
rotary-bunko@msj.biglobe.ne.jp

◆一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目6-15
黒龍芝公園ビル4F
TEL.03-3436-6651
FAX.03-3436-5956
henshu@rotary-no-tomo.jp

◆公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL.03-3434-8681
FAX.03-3578-8281
mail@rotary-yoneyama.or.jp

◆ガバナー事務所

〒854-0016
長崎県諫早市高城町5-10 諫早商工会館302号
TEL.0957-46-3096
FAX.0957-46-3097
ri2740chiba@eagle.ocn.ne.jp

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

黄昏の橋

風木雲太郎（詩人）

南の頬は暖かく
北の頬は冷たい
濁り江の水の波紋に
ぎりぎりひびく
チェインブロックの苦悶
追憶の濁流の渦を巻く
川の畔
桜つつじの花影は遠く
春のいそぎにひとり残され
眼鏡橋がたっている
石の欄干は飛び橋桁はえぐられ
台石はゆがみ
あの日の姿のままに立っている
変転する世相の目まぐるしさに
焦点が合わぬ落魄の橋を
ひっそりと渡る水いろの春の幻

詩集「たごほの花」より

ま え が き

諫早を襲った未曾有の大洪水の記憶は今も消えない。
あの眼鏡橋、余りに頑強だったことが仇となり、痛烈な非難を浴びた。
痛手を負いながら、しょんぼり佇む橋。



崩壊寸前の眼鏡橋 1958 (33年) 秋

編集後記

いよいよガバナー年度に突入した。地区内のクラブでも会長、幹事さんを初め各委員会の委員長さんにおかれては、緊張が高まっていることだろう。
毎月発行の月信は会員の皆さんにガバナーからの伝達事項や情報を、提供する大事なパイプ役。皆さんに手に取って読んでいただくよう企画している。一年間宜しくお付き合いください。

(緒方)



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2019. 8

Vol. 2



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

表紙の写真説明

夏の花といえば
向日葵でしょう。
ゴッホの気持ちも
わかりますね！
イチゴのバス停も
彩りを添えて。

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
地区委員長挨拶	4
R I 2017-2018年度の財務報告	13
2019年規定審議会報告	14
ご投稿をお待ちしています！ 『ロータリーの友』投稿規定	15
米山委員長セミナー報告	16
文庫通信 [377]	17
マダガスカル通信Vol. 1	18
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



公式訪問での話題は？

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

7月16日から公式訪問が始まりました。まずは、訪れるクラブの皆さんの温かい歓迎に深く感謝申し上げます、公式訪問はロータリーの大切な年間行事のひとつです。国際ロータリー第2740地区のロータリアンは約2,250人。このすべてのロータリアンにガバナーは国際ロータリー会長のテーマを披露し、地区のテーマを説明する大切な使命を果たさねばなりません。使命はさておいて、私は「56すべてのクラブを訪問すること」としました。その理由は「クラブの皆さんと親睦を温めたいからとクラブを元気にする知恵を皆様から私に授けてほしい。」と願うからです。私にとっても人生二度とないチャンスです。

近年、国際ロータリーは大きく方向を急速に変えつつあるようです。その理由はDLP義務化、CLP推奨で分かるように、会員数減少に危機感を感じた国際ロータリーが懸命に既存の規則を変更していることにあります。今年4月の規定審議会で審議された議案の中に、「会員数が6名未満となったクラブは、ガバナーの要請により理事会がそのクラブを終結させることができる。」ということがあげられていました。

国際ロータリーが言うようにクラブ会員数が少ないのを危機と言うのは本当でしょうか？ 6名以下になったらクラブは解散すべきなのでしょうか？ 当地区には、クラブ会員数20名以下のクラブは4つあります。前年度、第3グループの白石ロータリークラブが解散いたしました。そこで、当地区は57クラブが56クラブに減りました。

2019年6月末日をもって解散した白石ロータリークラブのことを皆さんは知っていますか？ 過去のガバナーが公式訪問した際、最も関心の度合いが高かったのは白石ロータリークラブでした。あまりにも快い例会だったようで、各ガバナーの口癖は「白石は会員が少なくても楽しい。会員減少をあまり気にする必要ない！」でした。実は、白石ロータリークラブは2018-2019年度の第3グループのIMの当番だったそうです。解散の決まった2018-2019年度末に、見事IMを成功させ、しかも6月の最後の週まで淡々と例会を開催されたそうです。最後の例会は夫婦ともども、寿司屋さんで、開催されたそうです。まさに、ロータリアンの鏡であります。

私が白石ロータリークラブに送りましたメールを添付いたします。

白石ロータリークラブ 会長 山口 繁喜様

本日は貴クラブの最終例会とのことで、私は先日、メーキャップを申請いたしました。理由は貴クラブが本年度で国際ロータリーを離脱し、解散するとお聞きしました。残念です。しかし、貴クラブはIMをきちんと実行され、最後の例会まできちんと開催されるとお聞きしました。ロータリアンの鏡と思い深く尊敬いたします。今年4月の規定審議会で「6名以下のクラブはガバナーが解散を指示できる」という私には理解しがたい案が決まりました。深く、ロータリーの未来を憂慮するものであります。私が今回実行しました「アンケート調査」では「人数が少ないクラブほど団結が強く、親睦度が強く、ロータリーについて深く考えるクラブである」ことが実証されました。貴クラブは会員数が5名ですが、過去のクラブ訪問されたガバナーがすごくいいクラブ、楽しいよ！と申されていました。だから、一度はメーキャップすべきとすすめておられました。白石大町RCクラブ会長も今回、メーキャップを薦めてくれました。私も



ロータリアンの一会員としてメーキャップしたいと考えました。しかし、「最後の例会だから、メンバーだけで過ごしたい」という希望があることをお聞きしました。残念ですが、皆様の気持ちを大切にしたいと考え、メーキャップを辞退することといたしました。どうか素晴らしい最後の例会となることをお祈りいたします。ロータリーに深く貢献された皆様に深く感謝申し上げます。

諫早北ロータリークラブ 千葉 憲哉

昨年、私は入会者減少と退会者の続出をロータリーの危機ととらえ、「ロータリアン、各々自身で、ロータリークラブの原点を見つめなおす必要がある」と思い、2018-2019年度福田ガバナーおよびガバナー補佐の皆様、会長幹事の皆様のご協力をいただき、ロータリアン全員に（第2840地区で実施されている）アンケート調査を実施させていただきました。その結果を踏まえ、各クラブを公式訪問することにいたしました。クラブを一つずつ訪問し、膝を交えて、各クラブの問題点に耳を傾け、地区が協力できることは何か？ の答えを探そうと思いました。

皆様から頂いた、アンケートを集計するうちに、いろいろなことに気づかされました。まず、**会員数が少ないクラブほどロータリアンとして他の会員から受け入れられており、会員同士の親睦に熱心で団結力が強いこと**がうかがわれました。白石ロータリークラブがその好例です。むしろ、大きいクラブほど危機感に乏しく、アンケート調査への協力が不足していました。昨今、1部上場の大会社が突然倒産したり、他の経営者に変わったりとびっくりするような社会現象が当たり前になりました。人材不足に悩む中小企業がむしろ、社員を大切にし、会社の方向性に敏感に反応していることに似ている現象と思いました。

また、**アンケート結果**、全体から見ると、**いずれのクラブも親睦を大切にしていることが明らか**です。まず、会員の満足度の調査では、「現状に満足している。活発に活動している。明るくて打ち解けた雰囲気である。自由闊達でオープンな風土である。」とすべての会員が思っていました。クラブの理想像としては「明るく活気に満ちた組織風土。親睦と友情を育む機会があること。地域社会に存在価値をみとめられる」と考え、会員が**ロータリアンとしてのプライドを大切に考えていることが明らか**となりました。会員の理想像としては「会員同士の親睦と友情を大切にする。善良な市民である。高い商業倫理を持ち、自らの事業の社会的価値の向上に努める。」など、ロータリアンとして最も大切な**親睦と職業奉仕をいつも念頭に置いていること**がうかがわれました。思わず、ほっとする内容です。

企業では「危機の解決の答えは現場にしかない。」と言われます。現場からロータリー活性化のための答えを探す為、皆様のクラブで実施していただいた**アンケート調査の結果を再度見直し**、自クラブの問題点を全会員で洗い出し、**例会や炉辺会合で問題提起**し、クラブ活性化のための戦略に結び付けたいかがでしょうか？ **きっと貴クラブがもっと素敵なクラブとして輝く答えが見つかる**でしょう。

地区委員長挨拶

基本理念委員会 **吉岡 義治** (佐賀南RC)

本年度、私たち、基本理念委員会は、ロータリアンとしての誇りを取り戻すために、「ロータリーとは何か？さらに行動するにはどうしたらよいか？」を考え、実行せよという命を受けました。

早速、基本理念委員会顧問であられる駒井パストガバナーと行動計画案の作成に入りました。

まず、ロータリーの基本理念として、不変の二大モットーである、超我の奉仕、職業奉仕の理念について、奉仕月間に語るのは勿論ですが、ファシリテーションをRCの研修、及び諸会議に導入し、ロータリーを大いに語り、理解を深めることで、さらにモチベーションを高めることができると考えます。

その為にはまず、ディスカッションリーダーの育成が必要不可欠です。

各地区委員長の皆様に呼びかけ、本年度は9名の方々にロータリーのファシリテーションであるRLIの研修を受講していただきます。

そして9月にクラブ管理運営との共同セミナーで受講者の方々と何らかの形で、ご披露できればと思います。

まだ始まったばかりですが、ロータリーを知り、ロータリーの魅力を知ることによって、皆様のロータリーライフがより充実したものになればと願います。

クラブ管理運営委員会 **竹田 健介** (平戸RC)

5月19日(日)に諫早文化会館で地区研修・協議会が開催されました。次年度の会長、幹事を始め、主な部門を担うロータリアンの活動のスタートです。分科会ではクラブ管理運営委員会と会員増強委員会との合同部会となりました。クラブ管理運営委員会の役割はクラブの円滑な運営を助けることにあります。自分のクラブを顧みても会員減少に悩み、もっと活性化策はないかと考えるところですが。私たちはまず自分の職業を通して社会に貢献しようと思っています。

更に歩を進めて自分だけではできないことも、多くの仲間の力を借りれば達成できることを知っています。親睦を重ね、話し合い、地域のニーズを探り、少しでも地域に必要とされる活動をと願っています。思えばロータリークラブに入会し、いろいろの恩恵を受けてきました。ロータリーの魅力とは各自それぞれでしょうが、大まかに言えば異業種交流ができること。生涯の友・仲間づくり、経営者としての学び・スキルアップ。加えて奉仕活動の達成感、例会そのものの充実感を味わうことができます。それらを高めていくことがクラブの務めと言えます。またそういうクラブには周りも目を向けています。自信を持って勧誘してみましょ。会員増強のカギはまず会員候補者リストの作成にあります。常時5名以上の候補者を挙げ、複数のアプローチで当たってみましょ。例会やイベントの雰囲気味わってもらいたいのもいいかも知れません。会員増強が活性化の近道です。

地区委員長挨拶



会員増強委員会 **佐藤 豊** (長崎琴海RC)



会員増強の現状と長期戦略

日本のロータリーの会員数は13万人を記録したが(97年6月末・2,238クラブ・131,731人)、98年以降、連続して会員数の減少を余儀なくされた。ここ数年の統計資料は、減少に歯止めができてはいるが、決して安定的ではない。ロータリー関連の資料や各地区におけるあらゆる会合、セミナーにおいても改善策、解決策が熱心に検討されているが「これで大丈夫」と言える決定的な答えは見出されていない。

【会員減少の問題点】

会員数減少の原因を分析すると、まず退会防止が第1の原因である。

- 世界と日本全域に、不況に伴う不安定、不透明な経済環境→退会
- 高齢、病気、死亡→退会
- 地方都市の過疎化→退会
- 事業の合理化に関する職務多忙(例会に参加できない)→退会
- 例会時間帯、例会費が高い→退会…負担
- ロータリー情報不足、理解不足(ロータリーの魅力が伝わらない)→退会…失望感(期待はずれ)(入会3年未満の退会者が多い)

会員減少の第2の原因

- 円熟したロータリアンの熱意不足…せっかくの貴重な経験や豊富な知識が活かされない
- 炉辺会談の不足(建設的、親密な人間関係が築けない)…ロータリーの過去の歴史や現在・将来を時間を気にせず語り合う機会が失われつつある
- 「ロータリー愛」が一般的に薄れる傾向…熱いハートでロータリーを語れる人々が減少傾向
- ロータリー本来のもつ、ステータスや魅力にかけりが発生しているのでは?
(1業種1名、メイクアップ期間延長など価値判断基準の多様化)
- クラブ会長の会員増強スイッチがONでない
- クラブ会長・幹事は奉仕活動に優先順位があり、会員増強の順位向上ができない。
- 会員増強は誰かがやってくれるという「他力本願」的な考えに支配されていないか?
- 会員増強委員会は、社会不安の中、地域内での増強見込みに消極的になっていないか?
- 女性会員への理解不足

会員増強に対する専門的知識や方法・手段が不足などが考えられる。

【会員減少に類する問題点】

- 8月の会員増強月間で提唱された熱意が持続できない。
- クラブ会長、幹事が会員増強について、具体的な方針や計画を持たない。その結果、熱意、使命感を持って訴え続けられない。
- クラブ奉仕関連、会員増強セミナーなどで学んだことが、ホームクラブに完全に伝達されていない。「委員会報告」で発表して終わり。(義務的な出席、資料を受け取って自己満足→会員増強に反映されない)
- クラブ運営の理事役員において会員増強の年間を通じた長期的展望がない。
- 女性会員の入会に拒否反応を示す会員がいる。

【会員減少に類するその他の問題点】

- 女性会員の入会について、積極的に推進しようという雰囲気づくり、理解を深めようとする努力の欠如がある。(女性経営者の増加、女性だからこそできる職業分類上の増大、女性会員が入会されることによる効果など)
- 退会者を再入会へと促す視点の欠如。
- 入会を勧めるに当たって、テキストになる具体的な資料がない。(入会のしおり)
- 新しい会員にロータリーへの理解を助ける具体的な資料がない。
(入会3年未満の会員向け…平易な言葉と写真付のテキスト、ビデオテープ・DVDなどの映像)

【問題点を解決するために】

- どのような道程を考えれば良いか、更に効果的で満足感、達成感を実感できるか。私たちに求められる共通課題として、共に考えを進めよう。特に新会員向けのテキストはこの上ない手助けの役割を果たしてくれる資料として活用して頂きたい。また、入会金制度の廃止や例会数の月2回以上への移行など、急激な変化をもたらすRIの方針は、会員増強にも直接的な影響が考えられるため、各地区や各クラブの活動にも大きな見直しが望まれる。

千葉ガバナー年度の会員増強目標値

会員50名以上 2名純増 会員50名未満 1名純増

地区委員長挨拶



公共イメージ委員会 **久保 泰正** (諫早西RC)



当地区に、公共イメージ委員会が創設されて3年目になりました。当初は他の地区にかなり出遅れていましたが、昨年度は皆様のお陰をもちまして、My Rotaryアカウント登録につきましては、45%まで上昇し全国34地区中7位というところまでできました。最終的には60%以上を目指したいと思います。またRotary Club Centralへの目標入力につきましても、本年度7月当初のセミナーにおきまして、ほぼ100%のクラブに目標入力をして頂いたと思います。まだ他の地区では、かなり苦戦しているのが実情のようです。

この2つの基本的な活動を達成して初めて、本来の公共イメージと認知度の向上に取り組むことができます。公共イメージの向上の目的は、ロータリーに対する地域社会の理解を促進し、現会員のモチベーションを上げ、入会見込者を増やしロータリーの強化を促すことに他なりません。

その方法としては、新聞、テレビ等のマスメディアだけではなく、ロータリー自身がSNS等で社会に発信していかなければなりません。そのためのブランドリソースセンターの活用がまだ不十分な状態です。本年度の地区委員会は、地域社会にロータリー活動を広く認知してもらうため、クラブのウェブサイト、フェイスブックなどのツールについて、より普及を目指したいと思います。

また各クラブの皆様が、クラブ戦略計画を実施していただき、またロータリークラブセントラルの目標項目の達成に努力して頂いて、本年度ロータリー賞を受賞できますように、できるだけ地区委員会もサポートさせていただきます。

前年度に引き続き私が委員長を拝命することになりましたが、より一層の皆様の御協力を願ひまして就任の挨拶といたします。



社会奉仕委員会 **帯屋 徹** (大村RC)



本年度の社会奉仕委員長を務めさせていただきます、ご指導の程よろしくお願ひいたします。

さて、皆様もご存じのように、昨年度はDLPに沿った地区組織の変更により、社会奉仕委員会は奉仕プロジェクト委員会の中に包括され、社会奉仕委員会という名前は無くなりました。しかしRIが提唱する今年からの大きな変化があり、社会奉仕委員会が復活されることになりました。2017年度RI理事会において、2019年7月1日より社会奉仕委員会の中に、国際青少年委員会と職業奉仕委員会を包括することが決定し推奨されたからです。ロータリーが行う奉仕を職業奉仕、青少年奉仕、社会奉仕などと分けて考えるのではなく、職業を通じて行った社会奉仕、青少年に対するあるいは地域に対する社会奉仕、と単純に考えようということではないかと思います。当然、職業奉仕に対する理念や思いは大事にしなければいけないものですが、奉仕という形で実施した行為は社会奉仕と考えようということでしょう。

今、ロータリー特にRIの変化は、目まぐるしく速いと言われていています。この流れを理解し付いていくことは、大変困難であります。時代や組織がどんなに変わっても、助けを必要としている人に、寄り添い最善の奉仕をすること、ロータリアンとして社会の役に立ちたいという心は変わらないと思います。より良き奉仕を求めて1年間社会奉仕委員会の仲間と共に、探求し広めていきたいです。ご指導ご鞭撻を願ひし、就任のあいさつに代えさせていただきます。

地区委員長挨拶



ローターアクト委員会 **高松 茂信** (鹿島RC)



4月28日～29日、福岡サンパレスと隣の国際会議場で、第31回全国ローターアクト研修会が行われました。日本全国はもとより台湾やフィリピンからも多数参加者があり、登録者数は1,000名を超えたとも言われております。その中において当地区のローターアクター（以下アクター）は皆、素直で良い子ばかりなのですが、どうしても他地区のアクターと比べて大人しい印象が否めません。2019～2020年度には活動が5クラブにまで減少してしまう当地区だけに、心配も尚更です。特に私が心配している事は“人前で喋れないアクターの増加”です。確かに人前に立って話すという事は大変な事です。緊張もします。現に私がそうである様に簡単にはいきません。しかし現在絶滅危惧種にあるアクトが再びかつての勢いを取り戻す為には、一人一人のアクターの頑張り是不可欠です。年に6回行われる地区行事も、出来るだけ世間の注目を浴びる（例えばマスメディアから取り上げられる様な）イベントを行って欲しいと思います。

最後になりますが、ロータリーの先生方へお願いがあります。皆様方のクラブでアクターの力が必要な際には是非ともおっしゃって下さい。これからはロータリアンの為のアクターを指導してゆきたいと思っております。



インターアクト委員会 **徳川 清隆** (唐津RC)



今年度、昨年に引き続き地区委員長を拝命いたし、インターアクト委員会を担当させていただきます。皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

インターアクトプログラムは、国際ロータリーの活動から発展し創設されたもので、国際間の理解あるロータリークラブの活動です。

インターアクトクラブは、ロータリークラブの提唱の下、12歳から18歳までの青少年男女が社会奉仕、国際理解、指導力育成に寄与して相共に活動する機会を得ることです。その活動基盤は、主に学校や地域社会に存在し、インターアクトという名称のとおり、インターナショナル（国際的）を意味する「インター」とアクション（行動）を意味する「アクト」という2つの語から派生、世界的青少年ネットワークとして認知されています。

その活動は、次の主な重要性を学びます。（八つの目標より概念抜粋）

- 1 指導力と優れた人格の育成
- 2 他者を尊敬し、進んで助ける態度
- 3 各人の責任を果たすことや一生懸命努力することの価値の理解
- 4 国際理解と親善の推進

今、世界150カ国以上、20,372ものクラブを擁し、会員数は468,556名を超えるインターアクトクラブの現況となっています。（2019年6月現在）

インターアクトクラブの存在は、ロータリークラブが地域社会で実施できる活動の中でも、より成果がわかる活動となり得ます。インターアクトクラブ結成に向けては、国際ロータリーから多くの資料を活用できることで可能となっています。ロータリーの「超我の奉仕」を学びながら、インターアクトクラブの成功に導けるよう提供できます。併せて、インターアクトクラブの活動は、学校や顧問の先生、ロータリークラブとの相互の理解と支援が不可欠だと認識しております。

地区委員会では、このような課題を踏まえながら、楽しく意義ある奉仕プログラムを提供し皆様方が参加できる機会を作っていきます。

その一つ、ロータリーが提供する奉仕に関心を抱く青少年、その関係者を対象に、指導する機会を作ります。年2回実施予定の指導者研修会になります。

また、年次大会ではインターアクトがより一層学びの機会になれるよう、支援を致します。

青少年奉仕活動では、ロータリアンとインターアクター、ローターアクターとの交流を促していきます。インターアクターとローターアクターと同じ青少年奉仕の理念の下、インターアクターがロータリーファミリーの大切な一員である事や身近な存在である事を認識してもらいます。

今年度、地区委員会は、各クラブから輩出された委員会メンバーを中心に、ロータリークラブはもとより地区内のインターアクトクラブの活動普及、提唱クラブへの支援、新しく発足されるインターアクトクラブへの情報提供が可能になるよう支援いたします。

今後、皆様方のご支援ご協力を賜りながら地区委員会活動を推進していきますので、どうぞ一年間宜しくお願い申し上げます。

地区委員長挨拶



国際青少年交換委員会 **アーリー・ジェフリー スチュアート** (諫早多良見RC)



ロータリアンの皆さん、こんにちは。青少年交換プログラム委員長に選ばれたことを光栄に思います。5月19日に、2019-2020年のテーマを発表しました。募集と宣伝についてです。

私たちはロータリーに関するすべてを宣伝したいのです。したがって、私たちはより多くの学生、より多くの学校、より多くのロータリークラブ、そしてより多くのホストファミリーを募集することができます。最も重要なのは、ロータリーの家族に加わるために学生と大人の両方を募りたいということです。

私たちのピーク時、過去には、毎年15から16人の交換留学生がいました。その高いレベルの参加に戻りたいと思います。

過去3年間にわたり、私たちの委員会は全く新しい青少年交換プログラム委員会を創設してきました。新しい委員がいます。すべての委員会のメンバーは、彼らの経験と新しいアイデアのために非常に大切にされています。

5月19日、地区2740の例会の後、私は夕食会で多くの才能のあるロータリアンに会いました。特に大村、唐津、佐賀のロータリアンにお礼を申し上げます。皆さんのもてなしに感謝し、皆さんのロータリークラブを訪れたり、訪ねたりすることを申し出ます。今度は、青少年交換プログラムのオリエンテーション例会にあなたを招待したいと思います。オリエンテーションは毎月諫早文化センターで開催されます。そして、私が夕食会で会うことができなかった他のみんなに、私たちのプログラムについて来て、学んでください。私たちは、ホストクラブやホストファミリーに強力なトレーニングサポートと資金援助を提供します。

最後に、青少年交換プログラムに引き続き参加しているすべてのロータリー・クラブに感謝します。

Greetings fellow Rotarians! I am honored to have been selected as the youth exchange program chairperson. On May 19th we presented our theme for the 2019-2020 year. It is about recruiting and advertising.

We want to advertise everything about Rotary. Therefore, we can recruit more students, more schools, more Rotary clubs, and more host families. Most importantly, we want to recruit both students and adults to join the Rotary family.

At our peak, in the past, we had 15 to 16 exchange students each year. We want to return to that high level of participation.

Over the past three years, our committee has been creating a whole new youth exchange program committee. We have new committee members. Every committee member is highly treasured because of their experience and new ideas.

On May 19th, after the district 2740 conference, I met many talented Rotarians at the dinner party. I especially want to say thank you to the Rotarian members from Omura, Karatsu, and Saga. Thank you for your hospitality, and offers to come and visit your Rotary clubs.

In turn, I want to personally invite you to visit our youth exchange program orientation meetings. Our orientation meetings are held at Isahaya Cultural Center every month. And to everyone else that I did not get to meet at the dinner party, please come and learn about our program. We offer strong training support and financial support to host clubs and host families.

Finally, I want to thank all of the Rotary clubs who continue to participate in the youth exchange program.

地区委員長挨拶



RYLA委員会 **山口 宏二** (長崎RC)



昨年に引き続きRYLA地区委員長として活動することになりました。RYLAは地区内の若き指導者を育成することを目的としています。私たちが住んでいる地域の未来を担う青少年を育てることは、私たちロータリアンの責務だと考えます。RYLAの開催について2740地区では、毎年グループごとに移行する形を40年間続けています。私は、先輩ロータリアンの方々の努力により40年の長きにわたり継続している事、又開催する過程においてホストクラブが活性化する事並びにその開催地ならではの特色あるRYLAが以下の通り開催されていることは意義深い事であると思います。37回長崎RCの「観光フィールドワーク」、38回伊万里RCの「HUG避難所運営」、39回多久RCの「論語で学ぶ」、40回島原南RCの「このRYLAが君を変える～島原半島南部の歴史を訪ねて」。しかしながら、RYLAについても参加者の減少など多くの課題があります。青少年奉仕部門全体を見渡しても、委員会それぞれが地域間格差、少子化、事業継承の困難さなどが原因と思われる事で活動が縮小化していると言わざるをえません。本年度は、長崎北ロータリークラブにホストクラブとしてRYLAを開催して頂きます。RYLAのみならず、青少年活動が活性化されるように、地区内で議論し私たちの地区に多くの優秀な若き指導者が生まれるように、クラブ間の垣根を越えて情報を共有し語り合い活性化できうる道筋を見つけれられたらと考えています。今年度も宜しくお願い致します。



ロータリー財団委員会 **岡村 康司** (長崎南RC)



ロータリー財団は、人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を推進するプロジェクトに補助金を授与します。財団を通してロータリー会員はこれまで多くのプロジェクトを実施して安全な水を提供し、疾病と闘い、平和を推進し、基本的な教育を提供し、地域経済の発展を支援してきました。そしてロータリー財団は世界の先頭に立ってポリオ撲滅に取り組みそのリーダー的存在でありました。

本年度より3年間西川委員長の後任としてロータリー財団委員長を務めます。

当委員会は財団グループとして3委員会と4つの小委員会で構成されます。

財団の活動資金となる年次基金、恒久基金、そしてポリオプラス基金はグローバル補助金や地区補助金に形を変えて、世界的レベルでの人道支援や向学心と研究心に富む前途有望な学生に、より高度な教育環境を提供すること、また地域の社会奉仕活動の充実にも役立っています。

今年度も冒頭の5つの目標に「母子の健康」を加えた6つの重点目標に沿って委員会活動を進めてまいります。その成果が「Doing good in the world～世界でよいことをしよう」という最もシンプルで奥の深いスローガンを実践していくものであると考えます。

今年度の方針として従来活動を踏襲し継続していくことは大事ですが、ロータリアンとしてこれから何を為すべきかを委員会全体で考え、これまでの財団活動の実績を未来に繋げていける委員会にしたいと思っております。

財団委員長職は3年の任期となりますが、先ずはこれから1年間皆様方のご協力とロータリー財団への多くの寄付をお願いし新任のごあいさつと致します。

地区委員長挨拶



補助金委員会 **園田 嘉生** (佐賀南RC)



2019-2020年度国際ロータリー第2740地区の補助金委員長を拝命しました佐賀南ロータリークラブの園田嘉生と申します。なにぶん不慣れであり、また地区の委員としての経験もなく戸惑うばかりです。

さて、今回の委員長としての任命については、本年度のロータリー財団の委員長である岡村康司氏による推薦があったからだと思います。なぜなら、彼と私は職業会計人として同業者でもあり、私自身駒井パストガバナーの時のガバナー事務所の会計長を経験していたからだと察しています。

ところで、補助金委員会とはロータリー財団部門のなかでも、①地区補助金による地域のための活動、②グローバル補助金による国際的な活動、最近ではモンゴル国ウランバートル口唇口蓋裂手術の職業奉仕チームによるVTT事業、③海外へ留学生を輩出できる活動、地区補助金奨学生としてフランスへ留学した資金も補助金として支出されました。このような補助金をアメリカの財団本部や日本事務局に申請して活用するのですが、かなりの英会話力と経験がなければできないそうです。したがって、それを成し遂げてこられた前々年度や前年度の西川義文委員長や隈康二委員長に敬意を表する次第です。

今後、後任として委員会の委員長を引継いでいく訳ですが、以前の先輩委員長のご指導や助言を仰ぎながら職務を全うする所存です。

そして、今年度のロータリー財団部門の各委員会24名の皆様と協力し合いながら、ロータリアンとして奉仕の精神を形になるように実践していきたいと思っています。

皆様のご協力をお願い申し上げ就任の挨拶と致します。



資金推進委員会 **古賀 秀仁** (伊万里西RC)



【財団寄付一人平均150ドル】の達成にご協力下さい。

ロータリー財団は100年以上もの歴史があり、ポリオ撲滅をはじめ数々の教育支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに取り組み、現在までに総額40億ドル以上の資金を提供しています。勿論この資金の礎は皆様のご寄付によるものです。財団の資金管理も適確に会計処理をされています。

財団では現在、地区補助金とグローバル補助金の制度が設けられており、寄付額の50%が補助金として活用出来る制度です。当地区では年々地区補助金の申請件数が増えており、この資金源を確保するためにも更なる財団寄付の増額が必要です。今年度目標財団寄付一人平均150ドルを達成していただくようお願い致します。

また、当委員会ではロータリーダイナスクラブカードの推進にも努めております。

カード利用額の0.3パーセントがカード会社からロータリークラブに還元されます。カードは個人カード・ビジネスアカウントカード・クラブカード・地区カードがありますが詳細は財団セミナー時に説明しますのでカードの普及にもご協力下さい。



地区委員長挨拶



ポリオプラス委員会 **上田 康雄**（長崎北RC）



昨年度に引き続き、本年度もポリオプラス委員長を拝命いたしました。ポリオはウイルスによっておこる感染症です。人から人へ食物などを介して経口的に感染します。ほとんど（9割）が不顕性感染で、症状が出ても軽い風邪程度ですが、まれに（1%）ウイルスが中枢の運動神経をおかして麻痺を起こします。このうち1割程度、呼吸筋が麻痺し呼吸器をつけないと死亡します。日本においても昭和24～36年頃にかけて大流行しました。

ポリオはワクチンによる予防が可能です。ポリオは1988年には世界125カ国において年間35万例が発生していました。ポリオプラスなどの活動により2009年には約1,600例まで減少、2018年は33例です。現在、ポリオの常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国ですがナイジェリアは2017年以後、発症は0です。

不顕性感染が多いということはウイルスを持っているが元気で自由に動ける人が多いということです。ブラジルのサッカーワールドカップの際、ブラジルの空港の下水からアフリカ由来のポリオウイルスが検出されたことがあります。従って此の活動を緩めると、あっという間に世界中にウイルスが蔓延してしまうかもしれません。

完全な根絶まで、もう少しです。今後とも皆様のご支援をよろしく申し上げます。



資金管理委員会 **竹内 一**（長崎北RC）



本年度（2019～2020年度）より資金管理委員会を担当させていただきます。

資金管理委員会は、地区補助金・財団補助金の管理を通して補助金を利用するロータリアンに向けて、財団の事業の周知と利用の推進を図ります。

主な活動内容

1. 財務管理計画の作成と「地区の覚書（MOU）」の締結を支援する。
2. 補助金セミナーを企画実施して、クラブの参加資格認定事業を支援する。
3. クラブと地区が提唱するすべての補助金事業において適切な管理を指導する。
4. 補助金に関するすべての人の利害が対立しないような運営を行う。

以上、補助金の利用に関してはRI及び財団の明確な会計ルールの下に行いますが、それが利用促進の妨げにならないよう配慮していきたいと思っております。

2回目の地区委員長ですが、ガバナー事務所のご指導の下頑張りますのでよろしく申し上げます。

地区委員長挨拶

米山記念奨学委員会 **大家 和義** (小城RC)

昨年に引き続き2740地区米山記念奨学委員長をさせていただきます、大家和義（小城RC）です。地区委員の経験者である本多・本村・牧・永田・芦塚さんの留任をお願いし、良い結果を残せるようにカウンセラー経験の大川・八戸さんに加わって頂き、地区の目標が達成できます様に地区委員全員で頑張っていきます。

ロータリーは、新年度を迎えておりますが、奨学生は既に4月のオリエンテーションからカウンセラー・世話クラブの皆さんとの付き合いは始まっており、7月の「研修・視察旅行」・8月「出前卓話」（9～12月に実施）研修会・米山月間の10月「米山の集い」・11月は、「地区大会」+その前日に「国際交流会」（ガバナー所在地区の中学生又は高校生と実施）+次年度奨学生の面接官オリエンテーション・12月は次年度奨学生の「面接試験」+学友会の「総会」までを年内に実施していきます。

翌年の2月次年度奨学生とのプレオリエンテーション・3月今年度の米山記念奨学生の「修了式+歓送会」で、送り出しをしますが、年度末の学友会「総会」で会えるのを楽しみにしています。

これからの総ての事業に悔いを残さぬ様に心掛けていきたいと思っております。

また、今年の米山記念奨学生への顧問・学友会担当として本多地区委員、寄付増進担当には本村地区委員、奨学生担当は委員長の私が務める様にしております。地区委員の皆さんの経験・ご意見・指導をいただき、ご協力をお願いし、頑張る努めていきますので、第2740地区内の56RCの会員の皆さん特にクラブ米山委員長の皆さん、どうぞ宜しくお願い致します。

千葉ガバナーより、年間個人平均寄付額16,000円/人を目指すことを、呼び掛けて頂いておりますので、私と共に地区委員とカウンセラーの皆様には米山月間の10月前後に実施する「出前卓話」にお供して頂き、個人平均寄付額の目標達成を呼び掛けて頂く様、お願い申し上げます。

2019-2020年度 地区大会

告知

11/8(金)

危機管理セミナー L & Lホテルセンリュウ
諫早市永昌東町13-29歓迎晩さん会 L & Lホテルセンリュウ
諫早市永昌東町13-29

11/9(土)

本会議 諫早文化会館
諫早市宇都町9-2懇親会 ホテルグランドパレス諫早
諫早市宇都町3-35

11/10(日)

ゴルフ大会 長崎国際ゴルフ倶楽部
諫早市小ヶ倉町51

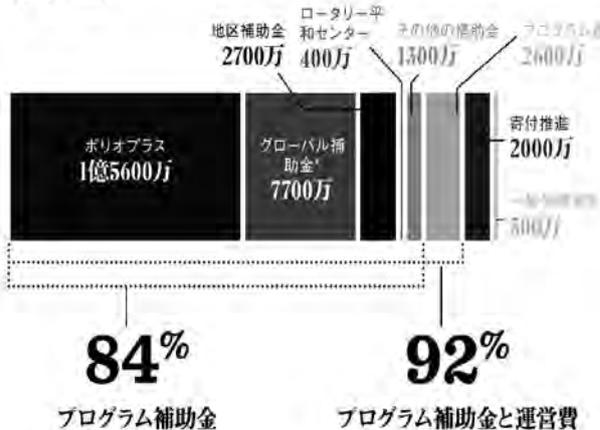
R I 2017-2018年度の財務報告

会費はどのように使われるか



ロータリー財団の支出

(単位:ドル)



*返金その他調整後

国際ロータリー 収支報告

2017年会計年度と2018年会計年度 (6月期、単位1000米ドル)

収入	会計年度累計	
	2017年実績	2018年実績
会費	\$ 68,784	\$ 73,330
投資純益	9,527	3,368
支援業務その他の活動	28,529	27,803
収入合計	\$ 106,840	\$ 104,501
支出		
運営費	\$ 74,117	\$ 79,497
支援業務その他の活動	20,819	19,471
一般剰余金	1,577	1,196
支出合計	\$ 96,513	\$ 100,164
為替差損	\$ (75)	\$ (1,080)
純資産の増加	\$ 10,252	\$ 3,257
純資産(期首)	\$ 126,587	\$ 136,839
純資産(期末)	\$ 136,839	\$ 140,096

ロータリー財団 収支報告

2017年会計年度と2018年会計年度 (6月期、単位1000米ドル)

収入	会計年度累計	
	2017年実績	2018年実績
寄付	\$ 304,375	\$ 341,135*
投資純益	98,052	56,256
補助金その他の活動(純額)	(2,529)	1,751
収入合計	\$ 399,898	\$ 399,142
支出		
プログラム補助金	\$ 221,204	\$ 277,225
プログラム運営費	23,206	25,462
寄付推進	19,888	20,350
一般管理運営	4,753	5,435
支出合計	\$ 269,051	\$ 328,472
為替差損	\$ (495)	\$ (1,608)
誓約未収入金のための予備費	\$ (1,810)	\$ (440)
純資産の増加	\$ 128,542	\$ 68,622
純資産(期首)	\$ 930,134	\$ 1,058,676
純資産(期末)	\$ 1,058,676	\$ 1,127,298

*予測収入5950万ドルおよびポリオプラス基金振替の額1410万ドルは含まれていません。

**上記は未監査の数字です。監査済みデータはrotary.org/ja/annualreportをご覧ください。

2019年規定審議会報告

クラブと地区に関連する重要な変更

(括弧内の数字は関連する制定案番号を示しています)

出席

メイクアップ：ロータリアンは、欠席した例会のメイクアップを同じロータリー年度内に行うことができます (19-35)。

クラブ理事会

会長：クラブ会長は、後任者が選出されていない場合、1年まで任期を延長できます (19-22)。

クラブ財務

財務報告：役員を選挙するための年次会合に、現年度と前年度の収支を含むクラブの中間財務報告が含まれます (19-24)。

衛星クラブの財務：衛星クラブの財務諸表は、監査または検査を受けたものとなります (19-29)。

クラブ人頭分担金の増額：2019-20年度の人頭分担金は半年ごとに34ドルです。より良い支援をクラブに提供するため、今後3年間はR I 人頭分担金が年に50セントずつ増額し、2020-21年度には半年ごとに米貨34ドル50セント、2021-22年度には半年ごとに米貨35ドル、2022-23年度には半年ごとに米貨35ドル50セントとなります (19-82)。

クラブの名称または所在地の変更

通告期間の延長：クラブの名称または所在地の変更案は、その変更に関する投票が行われる少なくとも21日前までに、各会員とガバナーに提出する必要があります (19-26)。

クラブの結成：地域にクラブを結成する際の職業分類の制約がなくなりました。地域に1つ以上の他のクラブが存在する場合も、その地域にクラブを結成することができます。主にオンラインで活動するクラブの所在地域は、全世界とするか、またはクラブ理事会が決定するものとされます (19-28)。

クラブの規則

文言の現代化：推奨ロータリークラブ定款の文言が自然かつ読みやすくなるよう、現代化かつ簡素化されました。これによる方針への実質的な変更はありません。全クラブでの採用が義務づけられた新しいバージョンをダウンロードいただけます (19-30および19-116)。

地区の財務

提出期限の延長：ガバナーを務めてから1年以内に、独立検査を受けた地区の年次財務表および財務報告書を地区内のクラブに提出し、クラブの承認を受ける必要があります (19-57)。

地区のリーダーシップ

副ガバナーがない場合：ガバナーが任務を果たせなくなり、副ガバナーがない場合、パストガバナーのみがガバナーの任務を行うことができます (19-53)。

選挙

クラブの投票権：クラブが投じることのできる票数は、7月1日付のクラブ請求書の会員数に基づいて決定されます (19-49)。

対抗候補者の指名期限：有効な対抗候補者の指名をガバナーが受け取った場合、この対抗候補者の指名が30日間有効であるなら、候補者について郵便投票または地区大会での投票が行われます (19-52)。

地区会費：地区会費を支払い済みであり、ガバナーの判断により地区に対して負債がないクラブのみが、



理事指名委員会の委員と補欠委員を選挙するための投票、ガバナーノミニーの選出、地区大会選挙人による投票に参加できます (19-54)。

会員増強

ローターアクトクラブ：ロータリークラブのように、ローターアクトクラブも国際ロータリーの加盟クラブとなります。ローターアクトクラブと提唱ロータリークラブへの運営上の変更はありません。この規定により、ローターアクトクラブの地位向上を図るとともに、その発展を促すためにR Iからの支援とリソースを増やすことができます (19-72)。

多様性：クラブは、多様性を推進するような均衡のとれた会員構成を必要とします (19-18)。

職業分類：職業分類の制限が廃止され、特定の職業分類の会員の適切な数をクラブが自ら決定できます。さらに、選挙または任命によって公職にある人も、その職務と関連する職業分類を使ってクラブに入会できます (19-37および19-39)。

少人数のクラブ：会員数が6名未満となったクラブを終結とするよう、ガバナーがR I理事会に要請することができます (19-70)。

ご投稿をお待ちしています！ 『ロータリーの友』投稿規定

友愛の広場 ★★

- エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など。

原稿：1000字程度 写真：あれば添付

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

- ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。活動後1カ月以内にご投稿ください。

原稿：150字程度 (必ず活動日を入れてください)

写真：記念撮影以外で活動の様子が分かるもの

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

- 紹介内容は写真編と同じ。活動後1カ月以内にご投稿ください。

原稿：600字以内

写真：あれば貼付 (記念撮影以外)

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- 1カ月に1人はがき1枚に3句 (首) まで。クラブ名・お名前・電話番号を記入。メール投稿はお受けできません。

声 ★★

- 友誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の10日が締め切り。

原稿：200字以内。対象記事を明記してください。

★★…友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

※投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。規定字数を超える場合は編集させていただきます。また、ひらがな・漢字などは、『友』の表記に統一させていただきます。

※写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、(一社)ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載の場合があります。

※掲載は、(一社)ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後6カ月をめどにご判断ください。

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



送り先・お問い合わせ

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956 Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト投稿フォーム www.rotary-no-tomo.jp/form.php

2019-2020年度 会長・幹事・米山委員長セミナー報告

地区米山記念奨学会 委員 高谷 信 一（長崎出島RC）

国際ロータリー第2740地区の2019-2020年度「次期会長・幹事・米山記念奨学委員長セミナー」が2019年6月23日(日)東彼杵町総合会館にて開催されました。本セミナーには千葉ガバナーエレクトを始め、各グループのガバナー補佐及び各ロータリークラブの次期会長・幹事・米山記念奨学委員長並びに米山記念奨学生、地区米山委員等総勢150名程に参加頂き開催されました。

初めに、千葉ガバナーエレクトから、ベトナムと日本との関係を例に挙げ、引き続き日本の将来のために、米山記念奨学会への寄付を通じて世界の優秀な学生たちに力を貸して欲しいとの挨拶がありました。

米山記念奨学会理事の駒井パストガバナーから、米山記念奨学会理事会の説明並びに奨学生については世話クラブとカウンセラーによるケアに重点を置き、大事に育てて欲しい。また、奨学生が出身国へ帰り日本とのかけ橋として活躍するのも良いが、大変優秀な学生ばかりなので、地元企業に採用して頂き活躍してもらいたいのではないかという話を頂きました。

次に、大家地区米山記念奨学委員長による米山記念奨学会の概要及び当地区の状況についてのプレゼンテーションがあり、その中では奨学金の給付を投資と考え、また他の奨学金制度には無く米山記念奨学会の特色である世話クラブとカウンセラー制度を活かし、愛と人情を込めて奨学生と接することで、知日、親日の人材を育てて欲しいとの説明がありました。

続いて、奨学生の皆さんが少し緊張しつつも、なめらかな日本語で自己紹介をこなし、学友会会長の趙コウエンさんは自身のエピソードを引用し、奨学金はお金そのものよりも培った人々との絆が大切であり、今でも宝になっているという話をされました。

その後、本多地区委員から各クラブへ奨学生が「出前卓話」に何うので、その際には卓話のみならず、奨学生と交流する時間を是非とも作って頂きたいとお願いがありました。

最後に、松田次期地区副幹事が閉会の辞を行い、無事セミナーが終了いたしました。

本セミナーを通じて強調されたのは、個人平均寄付額につき、当地区は現状一人当たり年間約12,400円であるが、これを全国平均の年間16,000円まで引き上げていきたい、これはより多くの奨学生を当地区に割り当てて貰うのに必要なことであるため、各自クラブに持ち帰り、ロータリアンの皆様に伝え協力をお願いして欲しいということでした。

奨学生の皆さまには、会場の設営から受付、撤収まで大変お疲れ様でした。





文庫通信 [377]

ロータリー文庫通信377号 2019年6月 新会員にお勧めする書籍

7月はロータリーの新年度です。昨年入会された方々はそれぞれの地区/クラブで「研修」の名の下にロータリーの知識を学び、徐々にロータリーに溶け込んでいることと思います。ロータリーとは何か、ロータリアンとは何か、いろいろな疑問を抱き始める頃です。身近な先輩諸兄の話聞くことも必要です。ロータリー文庫には先達の残した随筆や小論があります。新会員の方に是非とも読んでいただきたいものを選んでみました。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
多種多様の中の調和と個人の確立	佐々木統一郎 -	1971	11P	※
新人のためのロータリー情報-クラブ奉仕-出席と親睦と奉仕との相関	佐々木統一郎 -	-	7P	※
あなたにとってロータリーとは何か 改訂版	菅野多利雄 -	2012	23P	※
あなたは何故ロータリアンなのですか?	中山義之 D.2770	2008	19P	※
〈対談集〉いまロータリーが忘れてのこと	森三郎・渡辺好政 D.2700	〔1999〕	14P	※
私のロータリー観 -アイ・サーブとウイ・サーブ-	増田房二 京都東 R. C.	1987	17P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

*資料の検索は文庫ホームページから <https://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫 HP での、「ロータリー文庫検索」の検索方法を改善しました。キーワードでの検索方法が充実し、下記のように「書籍・冊子等」/「記事」/「PDF」の3つに絞って、資料が探しやすくなりました。ぜひご活用ください。

<キーワード検索>

◆絞り込み検索

書籍・冊子等を探す 記事を探す PDFを探す(複数選択可)

検索

JICA海外協力隊

マダガスカル通信

Vol.1



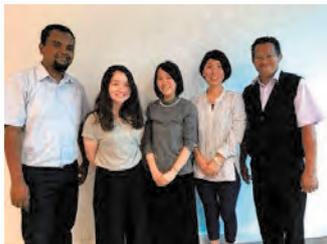
発行/2019年5月31日 発行者/酒井 貴子 (2018-2019年度 ローターリー財団奨学生)

マダガスカルに来て早2か月！近況を報告します。

最初の一か月は首都でマダガスカル語研修！

マダガスカルに到着後、すぐに首都アンタナナリボでマダガスカル語研修が始まりました。マダガスカルではフランス語が公用語ですが、田舎ではマダガスカル語しか話せない方も多いそうです。首都からバスで7時間の場所に赴任する私にとってはマダガスカル語はまさに必須の言語！できないと活動ができません。マダガスカル語はほとんどの動詞が「M」から始まるため、とても覚えやすく、また語順は「動詞+目的語+主語」と日本とは真逆となっています。

初めての環境で熱を出したり、お腹を壊したりとハプニングもありましたが、マダガスカル人の先生2人に助けられながら、一日5時間の授業+プレゼンテーション2回を何とか乗り切ることができました。



同期隊員、マダガスカル語の先生と。

マダガスカル語の授業はマダガスカルの東大！（であろう）アンタナナリボ大学の日本語学科の教室で行われました。マダガスカルはなぜかアフリカで1位・2位を争うほど日本語教育が人気の国と言われているそうです！上記写真右側の先生は普段は日本語の先生をされています。



小屋に見えるかもしれませんが、学生食堂です。

一般家庭でのホームステイも

経験！ 首都研修中にはマダガスカルの一般家庭での生活を知ろうということでホームステイも行われます。私は、ワオキツネザルなどのぬいぐるみを作って販売しているビジネスをされている家庭にステイしました。お手伝いさんを2人雇っているなど裕福な家庭だったのですが、日中は断水してしまう、シャワーはお湯が出ずバケツで入浴するなどの問題がありました。インフラが整っていないため、いくら裕福でも日本のような生活はできないんだと感じました。



ホスト先の親戚全員によるピクニックに参加し大歓迎していただきました。

首都アンタナナリボの印象！

私が1か月間生活したアンタナナリボの第一印象はとにかく車が多い！市内には電車が走っていないので、住民はみんな車で移動するしかありません。また大きな道路でも信号がないため、歩行者は次々に来る車の合間を縫って渡らなければなりません。これには1か月たっても慣れることなく毎回びくびくしながらわたっていました。



また、私たちは大学に通う時は上記写真のような乗り合いバス（タクシーベ）に乗っていました。写真のようにバスの後ろから乗り込みます。乗るためには激しい争奪戦に勝たなければならない、毎朝汗を流していました。また、せっかく乗れたと思っても、通勤ラッシュ時間帯のひどい交通渋滞が待っています。普段なら30分で行けるところまで2時間半はかかってしまうので、ぎゅうぎゅう詰めの車内でひたすら耐える毎日でした。

また、生活していると住民間の経済格差も感じました。はだして物乞いをしている子供がそこら中にいる一方で、街の大型スーパーには流行の服を着てきれいなフランス語を話す子供がいました。生まれる家庭によってここまで人生が変わってしまうのかと実感しました。

日本とのつながり発見！

私のホストファミリーはワオキツネザルなどマダガスカルの動物のぬいぐるみを作って販売しています。写真のように従業員の方が一つ一つ手作りで丁寧に作っています。ここで作られたぬいぐるみはなんと、愛知県にある日本モンキーセンターでも販売されているそうです。こんな遠くで愛情込めて作られたぬいぐるみはるか遠い日本でも販売されていると聞いてなんだか嬉しくなりました。



芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

苦悩、巡りくる夏

草野源一郎（歌人 諫早RC）

五十九年を隔たりゆきしわが学友よ
蝉はひとつの息ひきて啼く

核廃絶の熱き声々聞きしかど
病むものはひとり心しずめむ

原爆を逃れて生きて

黙祷の一分をのみ五十九年は

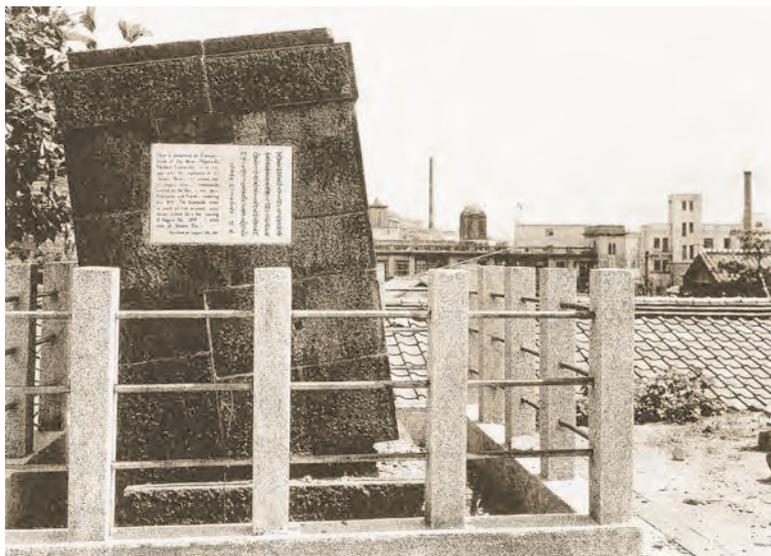
おほかたの友死に果てぬ

原爆を浴びたるものも

浴びざるものも

取り返しつかぬはつかぬままに
よし生き遂ぐるべき齢となりき

歌集「本明川」より



被爆遺構 爆風により傾いた長崎医大門柱

ま え が き

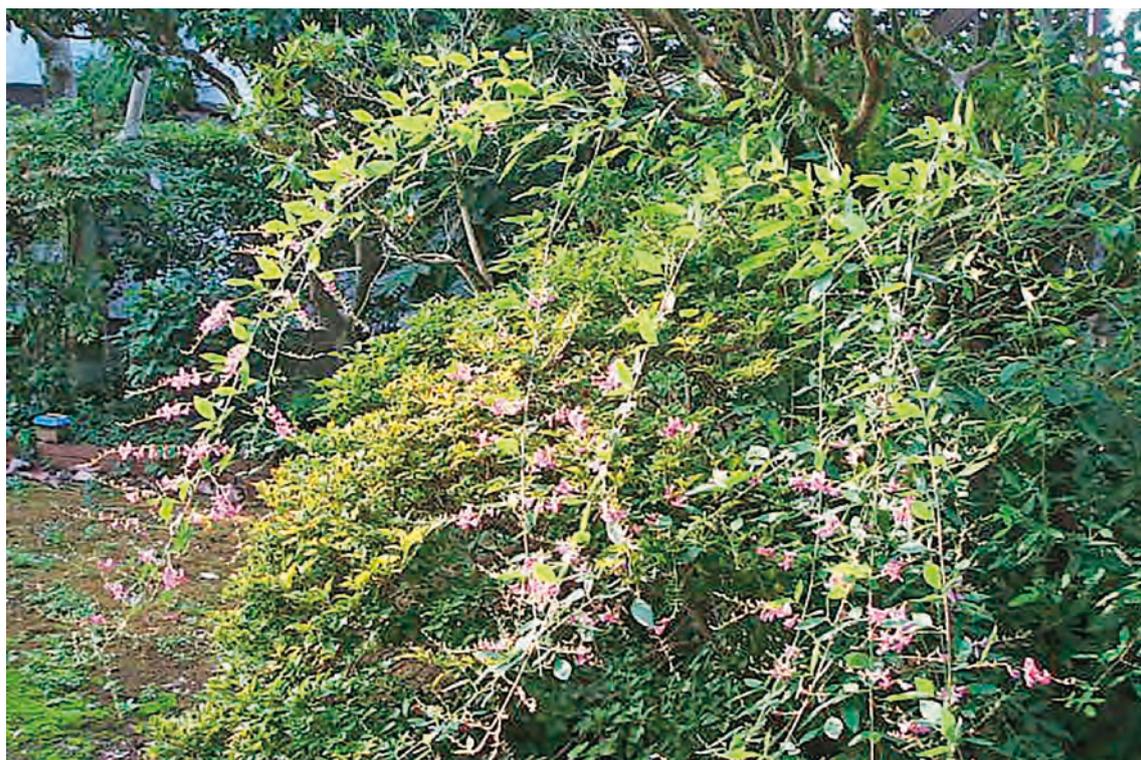
猛暑の夏が訪れるたびに、草野源一郎氏の胸中を過るある思いがあった。原爆投下によって、多くの学友がその犠牲になる中、ある偶然が幸いしてその難を逃れ、生き延びた事への負い目であった。氏の短歌に詠まれる所以はそのためであろう。

編 集 後 記

満開の向日葵に見送られながらガバナー公式訪問がスタートした。今年度は公式訪問ガバナー所感が発表されるらしい。千葉憲哉ガバナーの想いを紙面に反映出来るよう精励していきたい。

この月信が皆さんの手に届く頃には梅雨も明けて夏本番であろう。

（雅）



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



Rotary

2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2019.9

Vol. **3**



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

表紙の写真説明

- 夏の陽がかげり
- 秋風がしのび寄る
- ミヤギノハギの小枝に
- 紅の花群がゆれる
- 虫の音を誘うように

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
文庫通信 [378]	3
会員増強セミナー報告	4
第1回オリエンテーション報告	5
米山記念奨学生研修旅行報告	6
ガバナー公式訪問クラブ報告	7
鎮西学院高校平和祈念大行進	10
マダガスカル通信Vol.2	11
地区大会案内	12
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



74回目の長崎原爆の日に思う

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

ロータリーの大きな使命として、世界平和があります。世界平和センターとして東京に国際基督教大学が指定されています。

8月9日は長崎に原爆が投下されてから、今年で74回目の原爆の日です。また、今年も多くの被爆者がお亡くなりになり、原爆死没者名簿に追加奉安されました。次第に被爆者の方が少なくなっています。核廃絶の声は被爆2世が立ち上がらねばならないことになりつつあります。

実はわたくしは被爆2世です。両親も兄も被爆者です。私はこの年齢（72歳）になっても、原爆の日の11時2分の鎮魂の鐘の音を聞くのは嫌いです。思い出したくない「家族の思い出」があるからです。

私の母は74年前、原爆落下中心点から2キロ弱の西浦上の自宅で、ミシンを踏んでいました。母は当時25歳でした。8月9日11時2分、突然の光と強烈な音に思わず、後ろを振り向き、同時に、強烈な熱線が降り注ぎました。思わず、手で顔を覆い、左手の指が左の眼に刺さり込み、失明、顔が変形しました。同時に建物が一挙に崩壊、下敷きになり、母の体中に窓ガラス片が多数、突き刺さりました。運よく即死しませんでした。ミシンの傍らで遊んでいた、まだ2歳半の私の兄は行方不明となり、探し出せませんでした。母は無我夢中で、見えない目で地面を這うように体を引きずりながら、田んぼの水を飲みながら、0.5キロ離れた父の実家に助けを求めたのです。

浦上ではその後も悲劇は長く続きました。私はその1年半後、長崎で被爆2世として生まれました。少年時代は、周囲には、まだ被爆の残骸が残っていました。近所には原爆の被爆者がたくさん住んでおられ、皮膚は“ケロイド”と言って重傷のやけどで皮膚がただれたり、手や顔は癒着したり、変形したりし、全身に熱傷の痕を持つ人達でした。原爆の被爆を受けた方々がたくさんまわりで生きておられましたが、原爆症で徐々にいつのまにか亡くなられていきました。長崎の中心部に住んでいる人からさえも浦上の人には被爆者だからと差別され、交際を避けられ、結婚も就職もできない人がたくさんおられました。そのような社会的、経済的、肉体的苦悩を持つ人が、人生に失望し、私の家の前を走る長崎本線に飛び込み自殺することが頻繁に起こり、それが当時の普通の風景でした。

57年前頃までは、自宅の前の三菱兵器工場跡（現在の長崎大学本部）にはまだ、原爆で破壊された、建物跡がたくさん残っていました。その後、急速に復興が進み、遺構を隠すように、原爆被害の建物は取り除かれていきました。浦上天主堂も跡形もなく取り壊されました。広島と比べて、被爆遺構が長崎に少ないのは残念です。なぜでしょう？



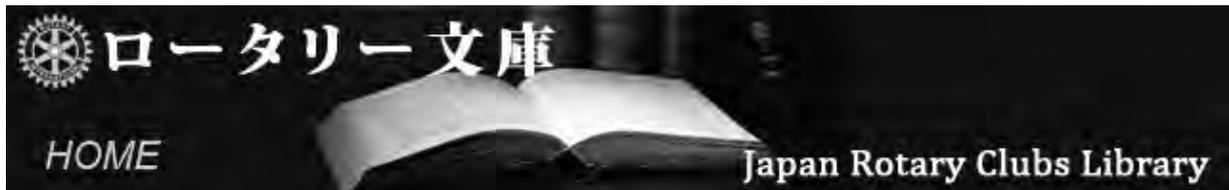
私の中学の卒業式に“変形した左顔面に片目”の母は付いてきてくれました。その時、母は私に「ごめんね！ こんな顔でついてきて」と言いました。「どうしてそんなこと言うのと？ 来てくれてうれしかとに！」と私は言いました。卒業式について来てくれた母に感謝こそすれ、謝られることはありません。卒業記念写真には母が失明し変形した左の顔を隠して写っていました。母はその後、乳癌になり、私が18歳の時、突然なくなりました。43歳でした。遺体にはまだ多数のガラス片が残っておりました。被爆と癌との医学的関係を調べるための米国の原爆調査機関ABCが遺体解剖を薦めましたが、私達、家族は拒否しました。原爆を投下した米国の機関から解剖されるのは屈辱と考えたからです。その後、私の家族は原爆について、戦争について一切語りませんでした。

今日の話は死亡する前に母が少しだけ、語ってくれた「家族の思い出」です。

二度とこんな悲劇を地上で繰り返してはなりません。

今は、戦争も原爆も知らない世代ばかりです。被爆体験のない人は“被爆による差別”さえも全くの他人事です。怖さと悲劇をすべて消し去っているのです。世界の情勢は軍縮どころか核兵器開発競争へと進んでいます。歴史の経験から学ぶ大切さを忘れてはいけません。核兵器廃絶への運動として力強く世界にアピールする必要があります。この悲劇を繰り返さないために、核廃絶を叫ぶ必要性を実感しているロータリアンは日本にしかいません。ロータリアンは平和な世界が続くように努力しなければなりません。

世界平和フェローを当地区から出して、第2740地区全体で核廃絶を訴えようではありませんか。



文庫通信 [378]

ロータリー文庫通信378号 2019年8月 ガバナー座談会

ロータリーは時代と共に常に変化してきました。時代によってその変化の様相は異なります。その捉え方も異なります。今回は、過去20年～40年前に遡り、それぞれの時代のガバナーの座談会やシンポジウムの中で語られているその時々の課題や関心事を紹介します。

過去の日本のシニアリーダーたちが将来の日本のロータリーに期待していたことが何であったか、今の国際ロータリーを考える上で参考にしてください。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
変革期のロータリー（座談会）	- ロータリーの友	1979 ・7月	P5	※
個人の自発的奉仕が根本 -再び変革期のロータリーについて（座談会）	- ロータリーの友	1980 ・4月	P5	※
いまロータリーに何が必要か（座談会）	- ロータリーの友	1985 ・5月	P5	※
新しい流れにどう対応するか（座談会）	- ロータリーの友	1989 ・6月	P5	※
われわれロータリアンの真価が問われるとき （座談会）	- ロータリーの友	1994 ・5月	P6	※
ロータリーについて （D.2780 地区大会会長幹事会シンポジウム）	- D.2780地区大会報告書	2000 ・10月	P11	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

2019-2020年度 第2740地区会員増強セミナー報告

会員増強委員会 委員長 佐藤 豊 (長崎琴海RC)

日時 2019年7月28日(日) 14:00~16:30

場所 東彼杵総合会館大会議室

千葉ガバナーをはじめ、ご来賓のご出席のもと、第1回の会員増強セミナーを開催しました。
プログラムは主に次の事柄が中心でした。

- ①「会員増強の新しいプラン」 千葉憲哉ガバナー
- ②「会員増強の現状と成功のために」
- ③「新会員のためのテキスト」の効果的な活用について

①では千葉ガバナーから、女性のロータリー入会の経緯が説明され、時代と共に活躍する女性の入会を積極的に取り組むことが肝要。

②会員増強はロータリーの永遠のテーマであるが決して困難ではない。

退会理由は転勤など様々の理由があるが、最も悩ましい退会者は入会3年未満の人々に集中している。この3年未満の会員の退会防止策は定期的に適切なロータリーの基礎的知識を学ぶ機会を徹底しよう。

入会勧誘については、勧誘される候補者が不安なく応じられるよう2人以上で入会を勧めてみてはどうか。

③①今日からロータリアン 中山 晴義 地区委員

③②これだけは知っておきたいロータリーの基礎 馬場 貴博 地区委員
効果的な活用方法を説明。

講評では駒井パストガバナーからセミナーの結論として、会員増強の成否がクラブ運営に大きく関与すること、テキストも具体的な活用策を実行されない限り成果は期待できない。積極的な活用によって知識を蓄え会員増強を推進しようと激励された後、散会。

なお、2020年1月中旬から下旬に3年未満の会員向けセミナーを開催したいと願っています。
暑い中、全クラブからご参加頂いた皆様に感謝を申し上げます。





第1回オリエンテーション報告

地区国際青少年交換委員会 委員 下津浦 正明 (佐世保南RC)

2019～2020 RID2740 YEP 1st オリエンテーション

いよいよ、2019年千葉ガバナー年度が始まり、最初のオリエンテーションでした。

アーリー・ジェフリー新委員長の下、新任3名の委員も加わり45名の参加者！

今夏、離日する4名の親善大使、帰国したばかりのROTEX、カウンセラーやシャペロンに参加頂きました。帰国したばかりの、ROTEXの城岩さん（長崎日大高校）には、RIDが発行するDIPLOMA（国際青少年交換プログラム終了証書）を授与致しました。同時に、来日学生には同様のcertificateを発行しております。過去のROTEXの方で、このDIPLOMAの発行希望の方はガバナー事務局にお問い合わせ頂ければ、当委員会で発行の手続きをお手伝い致しますのでお知らせしておきます。今年度は、6名もの来日学生が予定されております。益々、盛んにこのRIDの公式プログラムを推進して、質の高い青少年奉仕を目指してまいります。

The first orientation of RID 2740 youth exchange program at Isahaya Bunka Kaikan with number of 45 people who are two new committee member total 11, new outbound students, counselors from chapter rotary clubs and chaperones are gathered under new first American Chair person Mr. Geoffrey Early. We are expecting 6 inbounds on this summer.

We all members of YEP committee will make an effort to seek higher quality of volunteer activities ever.

Thank you



米山記念奨学生研修旅行報告

佐賀大学大学院博士後期課程 謝 冉 (神埼 R C)

熊本・阿蘇山研修旅行について

7月14日から15日の2日間の研修に参加できて、私にとっては非常に幸せだと思う。5年前に一度熊本城に行ったことがあったが、地震後の熊本城の様子をもう一度見たら、非常に残念だと思う。また、自然に囲まれた阿蘇山を見て、普段の疲れを一気に癒された。以前もいろいろな旅行や交流活動に参加したが、このように日本人と留学生とが一緒に参加する旅行をしたことがない。今回の研修旅行を通じて、日本の文化や名勝を体験できただけではなく、カウンセラーや留学生たちとの交流の中で、非常にいい関係を作り、日本と外国との架け橋になりたいと思う。これからも積極的に、このような研修旅行や交流活動に参加したいと思う。





ガバナー公式訪問クラブ報告



北松浦RC 7月16日(火)

会長 横尾 成人 幹事 佐伯 勝実

令和元年7月16日(火)千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、法師山真人ガバナー補佐(当クラブ所属)をお迎えして、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

今回の例会は2740地区の今期公式訪問第一番目となっていたために会長・幹事・SAAなどの準備が追いつかず粗相がないか心配ではありましたが、無事に終了することができ安堵しています。

また、例会に先立ち会長・幹事懇談会が開催され、45分と短い時間ではありましたが、率直な意見交換をさせていただき、大変有意義な時間となりました。

懇談会の中では今回のアンケートについての話題が上がり、その中に「楽しめる・出席したくなる例会」、「ロータリの重要な要素として会員の親睦がある」とのお話があった時には、「北松浦ロータリークラブはまさにそこが自慢です」と心の中で思った次第です。

チャーターメンバーから、入会1年生まで、例会や奉仕活動、懇親会を通じて忌憚なく話ができ、おいしい食事を囲んで明るい例会を楽しむ事が出来るクラブ、それが北松浦ロータリークラブです。今回の公式訪問でこの雰囲気をも十分に感じていただけたのではないかと思います。

公式訪問例会では、千葉ガバナーのPowerPointを用いた卓話をお聞きし、RIテーマや地区運営方針のほか、アンケート結果から見える「北松浦ロータリークラブの弱点」を解説いただきました。皆様には笑い、また時には真剣に卓話に聞き入るすばらしい例会となりました。

これから猛暑が続く中、お身体に充分ご留意され、無事に公式訪問が終了される事をご祈念し、クラブ報告とさせていただきます。



2018年11月2日～4日の2泊3日で姉妹クラブである釜山東南ロータリークラブに訪問した時の写真です。



唐津西RC 7月17日(水)

会長 熊川 嘉秀 幹事 渡辺 孝輔

梅雨明け前の曇天模様の中の7月17日に、千葉憲哉ガバナー、辻幸徳ガバナー補佐、大石竜基地区幹事、公式訪問ありがとうございます。

さて、当クラブでは例年2回の社会奉仕活動を柱として活動しております。それは公共の場への植樹、虹の松原の清掃の2つとなっております。

公共の場への植樹は単純に木を植えて終了ではなく、広めの公園など複数年度に渡って敷地内を一周するように植樹をし、植樹する場所全体の環境整備と美観を一緒に考えた植樹となっております。今現在は市内二太子地区の衣干山の百年桜の周りを植樹しておりますので桜の季節には是非お立ち寄り下さい。

虹の松原の清掃は唐津市の象徴の一つである虹の松原が昔のような美しい白砂青松の松原に戻る事を夢みて始めた奉仕活動です。日本3大松原の一つである虹の松原、唐津にお越しの際は鏡山の展望台からの雄大な眺めをお楽しみ下さい。

また、非公式行事ながら当クラブのチャーターメンバーである故・中嶋廉太氏の肝煎りでラブアース・クリーンアップという海岸一斉清掃活動にも参加しております。

以上、唐津西クラブの奉仕活動の紹介でした。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保南RC 7月19日(金)

会長 矢次 保夫 幹事 宮地 学

2019年7月19日(金)、千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、岡田金助ガバナー補佐が当クラブへ公式訪問されました。

例会開催前に当クラブの矢次会長、大浦副会長、宮地幹事、作元会長エレクトとの懇談会があり、アンケートの調査結果に関する件やロータリークラブの現状等についてお話をすることが出来ました。その中でロータリーに関する理解不足が退会者を増加させている要因であること、長期戦略の不足による単年度の対策しかできていないことがロータリーの魅力を低下させている原因ではないかというお話は、当クラブの運営において大いに参考になるものでした。

また、例会におけるガバナーの卓話は、予想に反し堅苦しくない楽しい内容のものでした。千葉ガバナーの人となり垣間見ることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。千葉ガバナーにおかれましては、お体に留意され、この多忙な1年間を無事過ごされますよう、当クラブ一同心よりお祈り申し上げます。



唐津東RC 7月25日(木)

会長 松尾 憲篤 幹事 坂本慎一郎

我がロータリークラブは本年55周年を迎え、60周年に向け新たな出発の年と位置づけられております。落ち着いて55年を振り返りビジョン構築をスタートすることになりました。創立以来、親睦と融和の精神と寛容の心を大切にする精神が脈々とながれ、品格もユーモアも超一流の先輩が多く在籍されております。本日も90代のチャーターメンバーをはじめ3名の面々が若手メンバーと自然体で昼食をとられている。考えてみれば週に一度このような機会を当たり前のように接し、触れ合い、分かち合っていることがどんなに素晴らしいことだろうかと、あらためて驚嘆しております。例会や親睦会ではあまりふれられることはないですがそれぞれの地域、業界で寡黙に奉仕活動をなさっているメンバーが多いのも私たちが誇るべき特徴の一つです。入会が浅いメンバーにはロータリーをもっと知りたいという心強い方や、親睦活動やいろんな場面でしっかりリーダーシップをとっていただけるメンバーがいらっしゃいます。ひるがえって世の中を見渡してみる時に時代は多様化がますます進んでいることは確かですが、変えてはいけない精神を大切に、変化には柔軟に対応する臨機応変なメンバーが多いことが、我がクラブの誇りであり、特徴であるように思うこの頃です。





ガバナー公式訪問クラブ報告



武雄RC 7月29日(月)

会長 原 隆司 幹事 谷口 優

7月29日(月)午後5時から、武雄センチュリーホテルに於いて、国際ロータリー第2740地区千葉憲哉ガバナーをお迎えして、公式訪問例会を開いた。7月1日に武雄ロータリークラブ会長に就任して間もなくの公式訪問で、会員から「原君も緊張することのあるとね」と冷やかされる始末。

千葉ガバナーは気さくな方で、ガバナーの大役に意欲満々に見えた。ガバナーは、ロータリーでの親睦の重要さを力説されたが、親睦と言えば、我が武雄クラブには他に類を見ない『雑技団』がある。当日も歌や演奏を披露して、ガバナーからお褒めの言葉をいただいた。この他に、ゴルフ同好会、ボウリング同好会があり、隔月に例会を開いて親睦の輪(和)を広げている。

当日は、披露できなかったが、武雄クラブにはとっておきの隠し玉がある。キングレコード所属のプロ歌手・原口豊秀君だ。11月29日正午から佐賀マリトピアで新曲発表ショーが予定されており、多忙の日々だ。是非ご覧頂きたい。



長崎みなとRC 7月30日(火)

会長 桑岡 隆太 幹事 大坪 進

令和元年7月30日(火)、(株)平安閣サンプリエールにおいて、千葉憲哉ガバナー、小野原卓嗣ガバナー補佐、松田洋一地区副幹事をお迎えして、長崎みなとRC第1852回公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ちまして、千葉憲哉ガバナーをはじめとする当クラブ桑岡会長、大坪幹事、本多会長エレクトを交えて懇談会を行い、当クラブが支援している「子ども食堂ながさき」の実態説明をするなかで、千葉ガバナーから東京地区のクラブでは色々な事情を考慮した集合型ではなく、宅配による支援で形態は多岐にあること、また、補助金利用も出来るということを知りました。

当クラブも、子供たちに負担のない支援を心がけていくべきだと思いました。

今回のアンケート調査では、当クラブの分析は「社会貢献」、「効率的なクラブ運営」についてご指導を賜ることになりました。

今後は、千葉ガバナー推奨の「長期戦略委員会」の設置も踏まえて「改善計画」、「事業計画」を協議し、有意義で楽しいクラブ運営を行っていききたいと思います。

千葉憲哉ガバナー公式訪問に感謝すると共に、今年度のご活躍を心より祈念申し上げます。

(子ども食堂ながさき利用の皆さんと一緒に伊王島でバーベキューを開催したり、クリスマスには、各家庭にケーキをプレゼントしました。)



2019年夏 鎮西学院高校平和祈念大行進

月信担当 緒 方 聖 (諫早北RC)

今年もまた、その季節が巡ってきた。暑い夏である。

人の記憶は、肉体が置かれた身辺の情景とそこで意識した苦痛とともに蓄積されるけれど、そのまま化石のように脳底の奥深く埋もれてしまうことはない。同じ状況に逢着すると、即座に脳裏に蘇ってくる性質を持っている。

遙かに過ぎ去った74年前、1945年の夏8月の敗戦という国家的存亡の淵より、我々日本人は筆舌に尽くしがたい苦難の道を歩んできたが、それと引き換えに平和という尊い教訓を学んだ。戦争という無謀な行為を繰り返さない戦争放棄の決意と核兵器の非人道性を、毎年巡りくる8月には発信し続けてきた。それは暑い季節が来るたびにその思いが繰り返し湧いてくるからである。

前置きが長くなったが、諫早北RCがインターアクトクラブを提唱している鎮西学院高校では、被爆地長崎と東日本大震災の被災地福島の同じ苦悩を知る若者が心を寄せ合い、「決して忘れまじあの惨事を」とこれまで数回にわたり平和祈念行事を行ってきた。今回の企画も同じ精神の流れをくむもので、世界の恒久平和を希求するロータリーも歩調を合わせることとなった。

具体的なアクションは2019年8月8日、市の中央に位置する諫早市役所を起点に始められた。出発式には諫早市長を初め、学校側から姜尚中学院長、ロータリー関係からは千葉ガバナーが出席され、平和大行進の意義と激励の言葉が贈られた。特にガバナーからは被爆二世として実体験談が披露されたが、それについては本誌の中で別に掲載する予定である。参加者はそれぞれ所属のグループ別に隊列を組み、ある者は折からの暑さに備えてムギワラ帽子をかぶり、またある者は首に冷たいタオルを巻くという思い思いの出で立ちである。



学院の吹奏楽部の演奏に合わせて、街の中心部である東小路、栄町から本町通り、さらに八天町へとゆっくりした足取りで隊列は進む。アーケード街では店頭で足を止めて声援を送る買い物客、一体何事かと飛び出してくる店員、いつもは静かな歩行者天国も今日は時ならぬ珍客で賑わい、大勢の市民が人垣を作って応援してくれた。

全行程3kmに及ぶこのコースも街中を過ぎると、上空から容赦なく照り付ける真夏の太陽を遮るものもなく、次第に参加者の額には汗がにじみ寡黙が炎天下の行進を支配し始めた。暑さに加えて疲れが始め、このような悪条件の中、行進を押し通す意義がどこにあるのか、決意のほどが試される時が迫りつつあった。それほど過酷な負荷ではないけれど、それに耐えて最後まで歩きとおすことに祈りの深さが備わっていると信じ、隊列は黙々と進んでいった。

国道沿いの歩道は車の騒音に排気ガス、次第に募ってくるのどの渇きに水分の補給をしながら、泉町一金谷町一天満町と諫早の西方面へと足取りは重くなっていった。本明川に架かる四面橋を渡れば諫早の玄関口、諫早駅はもう近い。これから先は緩やかな坂道があるだけ、ゴール地点の鎮西学院は目前となった。ほどなく校門へたどり着けば待機していた大勢の生徒たちの出迎えを受けて、一人の落後者もなく大行進は終わった。参加者の心のうちに、平和への祈りをささげた爽やかな風がよぎったことだろう。

JICA海外協力隊

マダガスカル通信

Vol.2



発行/2019年6月30日 発行者/酒井 貴子 (2018-2019年度 ローター-財団奨学生)

任地アンブシチャにやってきました！

アンブシチャはこんなところ！

首都研修後の、5月16日にこれから2年間活動する予定のアンブシチャに赴任しました。首都から南に7時間の田舎です。任地には他の協力隊員はおらず、いわゆる一人任地になります。

アンブシチャはアムルニマニ県の中心地区、日本でいう県庁所在地のような位置づけです。首都のような大型スーパーはなく、食料品は下の写真のような路上販売で購入します。街中には牛が歩いていたり、鶏やガチョウが売られていたりすると首都と比べると田舎という感じですが、それでもマダガスカルでは栄えている街だそうです。



また首都とは違い、路線バス走っておらず、少し遠いところまで行く際はブスブスという人力車で移動することが多いようです。



お客さんを待つブスのたまり場。人が通るとベルを鳴らしてアピールします。

私のお家は…

私は三階建ての集合住宅の1階で一人暮らしをしています。間取りはかなり広いダイニング、小さいキッチン、寝室、客間、バスルームと一人暮らしには十分すぎる広さです。たまに停電がありますが、比較的電気と水道は安定していますが、シャワーはお湯が出ないのでバケツ入浴をしています。そのほか、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機もありません。日本では当たり前前に享受していた便利さのありがたみをひひしと感じています。また家の隣にはガチョウが住んでいて毎日けたたましい鳴き声で朝5時に起こされます。家の中にはたくさんのゴキブリがいますが、日本から持って行ったホウ酸団子が効果を発揮しています。最初は見つける度にドキドキしていましたが、最近は平常心で外に掃き出せるようになりました。何かと初めてのことがいっぱいですが、早寝早起きになって一日が長く感じられるようになりました。これを機に料理や新しい趣味を始めるなどせっかくのこちらでの生活を充実させていきたいと思えます。



美しい木細工のテーブル。この他にも、人やバオバブなどが描かれたデザインの商品も！



木工製品のお店が並ぶ通り。

街中にはマダガスカルならではの食べ物も売られています。マダガスカルでは牛の肉が一番安いので、牛肉を串に刺した牛串、マシキータが1本100アリアリ（3円弱）で食べられます。ビールのおつまみとしてぴったりです！また、米粉の生地を油でこんがり焼いたムフガシも朝食やおやつにぴったりの軽食です。



ムフガシ。特にこのお店はいつもアツアツで大人気！

アンブシチャを街歩き！

アンブシチャはこの地域では大きい街ということでたくさんのお店、商店があります。特に木工技術が発達している地域なので、街を歩いていると木製の雑貨屋さんがたくさんあり、写真のような美しい木工製品がたくさん売られています。フランス人や中国人など観光客も見られます。自分でデザインした絵でオーダーメイドの商品を作ることでもでき、協力隊員もよく活用しています。

6月26日はマダガスカルの独立記念日

先日、6月26日はマダガスカルの独立記念日でした。一週間前からはメリーゴーラウンドや観覧車（全て手動です）、お酒とマシキータ（牛串）などが楽しめるお店がたくさん広場に登場し、前日には花火も打ち上げられました。当日はセレモニーが行われ地域の学校や会社の人々が行進を行いました。私も同僚とおそろいの衣装を仕立てて、行進に参加しました！



国際ロータリー第2740地区 2019-2020年度地区大会

Program ○プログラム

2019年



第1日目
11月8日 金

会場 / L&L ホテルセンリュウ
長崎県諫早市永昌東町13-29

16:00~ ◎危機管理セミナー

18:00~ ◎歓迎晩餐会



第2日目
11月9日 土

会場 / 諫早文化会館
長崎県諫早市宇都町9-2

9:00~ ◎エクスカーション

10:00~ ◎大会4委員会・青少年のつどい

12:10~ ◎本会議第1部

14:30~ ◎地区大会記念講演
ケント・ギルバート氏

16:00~ ◎本会議第2部

17:30 ◎点鐘

一般公開
入場無料

会場 / ホテルグランドパレス諫早
長崎県諫早市宇都町3-35

18:30~ ◎記念懇親会



第3日目
11月10日 日

会場 / 長崎国際ゴルフ倶楽部
長崎県諫早市小ヶ倉町51

地区大会記念
親睦ゴルフ大会

スタート時間 7:30~



地区大会記念講演

ケント・ギルバート氏

11月9日 土 ◎14:30~ ◎諫早文化会館

一般公開
入場無料

1952年、米国アイダホ州生まれ、ユタ州育ち。71年、米ブリガムヤング大学在学中に19歳で初来日。75年、沖縄国際海洋博覧会の際にアメリカ館のガイドとして再来日。80年、大学院を卒業し法学博士号と経営学修士号、カリフォルニア州弁護士資格を取得。東京の国際法律事務所就職。83年、テレビ番組「世界まるごとHOWマッチ」にレギュラー出演し、一躍人気タレントとなる。近年は企業経営や講演、執筆活動も行う。

夕刊フジ連載「ニッポンの新常識」、読売テレビ系「そこまで言って委員会NP」、DHCシアター「真相深入り！虎ノ門ニュース」など。



ホストクラブ：諫早北RC コ・ホストクラブ：諫早RC / 諫早西RC / 諫早多良見RC / 諫早南RC

国際ロータリー第2740地区大会事務局 TEL.0957-46-3096

〒854-0016 長崎県諫早市高城町5-10 諫早商工会館302号室 FAX.0957-46-3097 <http://www.d2740.org/>

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

夏の終わり

伊東 静雄（詩人）

夜来の颱風にひとりはぐれた白い雲が
気のとほくなるほど澄みに澄んだ
かぐはしい大気の空をながれてゆく
太陽の燃えかがやく野の景観に
それがおほきく落す静かな翳は
・・・さよなら・・・さやうなら・・・
・・・さよなら・・・さやうなら・・・
いちいちさう頷く眼差のやうに
一筋ひかる街道をよこぎり
あざやかな暗緑の水田の面を移り
ちひさく動く行人をおひ越して
しずかにしずかに村落の屋根屋根や
樹上にかげり
・・・さよなら・・・さやうなら・・・
・・・さよなら・・・さやうなら・・・
ずつとこの会釈をつつげながら
やがて優しくわが視野から遠ざかる

日本名詩選 三より



蒼穹のちぎれ雲

夏の太陽は光も強烈でエネルギーに満ちているけれど、台風一過澄み切った空を彷徨うように流れる一片の雲には、何故かしら季節の移ろいにも抵抗できぬ弱さが見られる。地上の物の上に影を曳きながら遠ざかる雲は、今様に言えばドローンが眺める風景のようで、恰も会釈をする人の仕草にも似ている。過ぎし日の作者自身の何者かへの謝罪の回想であろうか。

編集後記

編集委員の一人、川崎です。どうぞよろしく。ロータリー年度も早いもので三カ月目に入ります。公式訪問の記事が出てまいりましたが、例年と異なり、各クラブの特色を記して下さって、楽しい雰囲気となりました。他のクラブもこの調子で面白いご報告を待っています。

(川崎)



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



Rotary

2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2019. 10

Vol. **4**



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

秋の陽を浴びて
紅葉するハナミズキ
土に還るまでの
束の間のかがやき
赤い実を道づれに

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
公共イメージセミナー報告	4
ロータリー財団奨学生社行会報告	5
米山カウンセラー研修会・ 米山奨学生出前卓話研修会報告	6
インタラクティブ年次大会報告	7
ガバナー公式訪問クラブ報告	8
会員数・出席報告	14
新会員・物故会員・寄付者紹介	15
地区大会案内	18
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



佐賀・長崎地区8月線状降水帯豪雨に思う

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

突然の豪雨災害発生

8月28日早朝の線状降水帯が北部九州を通過した。

前夜の大村の公式訪問中、雨が降り始めていたが、早朝5時、豪雨の音に思わず目が覚めた。

T Vでは佐賀・長崎・大分の状況を放映していた。直ちに、12時からの佐賀空港R C、夜の佐賀北R Cの公式訪問ができるかな?と思い、大石地区幹事にメールした。佐賀北R Cはすぐに中止が決まったが、佐賀空港R Cは「ガバナーが来られるなら。」とのこと。7時。高速道路、J R、高速バスの運休がT Vで知らされていた。長崎から佐賀への交通遮断。行けない。9時、佐賀空港R Cからも中止の知らせが届いた。

豪雨のために国道23号線と周囲の田んぼ、河川との境がわからなくなり、交通が遮断され、車が道路?田んぼ?に取り残され、その内、運転者が溺死しているとのこと。大変なことになっている。先日公式訪問したばかりの、武雄R C、大町R Cの会員がいる地区である。幾人かの会員の顔が浮かんだ。元気かな?さらには大町町の鉄工所から流失した工業用油と一緒に氾濫した雨水で1キロ下流の順天堂病院が孤立しているとの報道であった。12時。29日予定の佐賀R Cも延期が決定した。

緊急の現地視察開始

その日のうちに全国のガバナー会の皆様から、お見舞いのメールが殺到した。その後、何もできずに2日間を過ごした。こんな時に過去のガバナーはどうしたのだろうか?私は今、どう行動したらよいのだろうか?と自問を繰り返した。3日目の8月30日雨も小降りになったので、被災地を先ずは訪問してみようと思い、思いきって第3グループの平岡清宏ガバナー補佐にお電話した。快く「お待ちしております。」とのご返事をいただいた。平岡ガバナー補佐の会社がある武雄に向かった。途中西九州道武雄南I Cと九州自動車道武雄北I Cの合流点の地滑りで高速道路が通行止めになっていた。迂回して武雄北I Cで高速道路を下り、会社まで一般車両が数珠つなぎののろのろ運転。やっと、平岡G補佐の会社に到着した。平岡G補佐が早速、災害の現状を見せる為、案内することになった。

災害現場

会社を出るとすぐに、「左右の道路わきを見てください。」と言われた。道路脇は家庭や会社から出た被災ゴミ・家具などがうずたかく積まれていたが、一斉にごみ集積場に集められ、ずいぶんきれいになったところとのこと。そんなに早く?と想像していたら、平岡G補佐曰く、公共施設の広場が廃棄物の集積場として緊急に用意されているとの説明。市の手際の良さに驚かされた。道路上では前方を走る車は自衛隊の「災害救援車両」との幕。最近では自然災害が多く、公共機関の危機対応が素早くなっている。それでも道路は黄土色の土砂とまだ捨てきれない家庭ごみが残っていました。被災建物は一様に浸水線を示す土が残っており、人々が清掃に必死になっていた。やはり民間の協力は欠かせない。災害ごみを山のように積んだ車両。道路の商店、スーパー、食堂等すべて休業中、後片付けに追われ商売どころではない。車でいっぱい駐車場はお客ではなく、清掃をすべて支援しているボランティアの人の車とのこと。

佐賀平野は地形的に有明海の海面と大差がない位置にある。だから、排水の為の排水設備や満水逆流の



為の水門が各地にある。佐賀平野のやや奥まった位置にある武雄市内全体は道路より低い位置にあり、かつ広い鍋底の形態をしている。だから、豪雨の為、膝～腰くらいの高さまで市内一帯がすべて浸かったのである。おまけに海面との差がないために水はけがよくない。2年前の朝倉の豪雨水害は山やがけの崩落とそれに伴う家屋の崩壊、流失であった。今回の災害はむしろ市街地の浸水被害で、それも短時間で起こった災害である。

平岡G補佐に順天堂病院も案内していただけることになり、国道34号線を東に進んだ。しかし、途中の道は災害支援車で渋滞。なかなか進まなかった。道路の左右の景色に目を移すと、あと片付けのボランティアが必死で清掃や廃物の処理にあたっていた。ボランティアは若者ばかりでなく、高齢者も多数。小雨の中を懸命に動いていた。平岡G補佐が運転しながら、左右を示し、「ここも、そこもロータリアンの会社、店と、わかっているだけでも約15名以上いるだろう。」つい先日公式訪問した大町RCで会食の弁当を作っていた料亭も国道際にあり、被災していた。被災者の中にロータリアンがいることに驚いた。平岡G補佐が「今回油を流出した鉄工所は特殊技術を持ち世界的規模で事業展開している自動車産業の貴重な会社です。社員であることは地元ではうらやましがられるほどの会社であり、もし油流出事故でこの会社の損失が大きいと、佐賀県、いや日本にとって大きな損失です。」と教えてくれた。TVでは知りえない現実を平岡G補佐（武雄商工会議所）から教えて頂いた。ついに、順天堂病院に到着した。周囲はまるで湖。TVよりはるかに厳しい現場の状況である。湖と化した水田には救助ボートが数隻。国土交通省の排水ポンプ車、自衛隊の災害派遣車、消防車等。病院の周囲には油のにおい。石垣や壁には水位を示す跡が残っている。油を除去するための作業。官民一体となった支援活動は見ないとわからない。我々は改めて公共機関に守られていることを実感した光景であった。

ロータリーが果たすべき役割

私は「ロータリーが救済の手を差し伸べるにはどうしたらいいのか？」との答えを探しに来たのですが、平岡G補佐は事前に現地を調べておいておられた。「災害支援には、今は人手がほしい。これが現場です。ロータリーの支援として今何をすべきか？の答えはすぐには出ない。募金を渡されても何の目的で、何にどう配分するか？わかりません。」と答えられた。奉仕活動がロータリーの役目とはいえ、突然降ってわいた天災へ対応すべき方法に戸惑っている。今までは他人事、TVの画面で起こっている事。目が覚める出来事である。自分の地区に災害が起こって初めて、災害への対応が即時必要だと痛感された。問題が起きたらその答えはやはり現場にしかない。そこで、答えを出す為に、①現地を見る。②会員と市民にとって必要な支援を考える。③現地クラブと連携することとした。

今日、8月31日からボランティア受付が始まった。

そこで私が自問自答し、考えた方法は

ロータリークラブ、ロータリアンの企業、家族のボランティアを派遣する方法。

時間経過後の必要な支援を見つける方法。

被災で破損した介護施設・病院・児童施設の用品を提供する方法。

とりあえず募金を集めグループ内クラブへ提供する方法。

これだけしか考えつきません。皆さん！他にありませんか？

お手伝いください

とりあえず、地区に募金受け入れ用口座を開設し、募金活動からはじめることとします。

今こそ、「ロータリーって何？」の答えをロータリアン自身で答えを出すべき時である。ロータリーの真価が問われている。

「他人のことを思い、他人の為に尽くす」(奉仕の理念)

「被災された市民のことを思い、被災された市民の為に尽くす」

この理念の実践が必要でしょう。

Join Leaders
Exchange Ideas
Take Action

2019-2020年度 マイロータリー・クラブセントラル セミナー報告

公共イメージ委員会 委員長 久保泰正 (諫早西RC)

国際ロータリー第2740地区の2019-2020年度「マイロータリー・クラブセントラル セミナー」を、2019年7月12日(金)諫早のL&Lホテルセンリュウにて開催いたしました。本セミナーには、花島ガバナーエレクト、岩永パストガバナーを始め、各グループのガバナー補佐及び各ロータリークラブの会長・幹事・担当委員長並びに地区委員等関係者130名程にご参加いただき感謝申し上げます。

又当日は、例会開催日にも関わらずご出席していただいた各クラブの皆様には改めて感謝申し上げます。今回のセミナーの特徴としては、各クラブの事務局職員の半数の皆様が出席していただいたことです。ロータリーの情報を地区の全クラブで共有していただく事や、会長・幹事と委員長・事務局職員の緊密な連携、チームプレーを構築することも大きな目的の一つでした。

クラブ会長・幹事の皆様は、クラブの会務統括責任者としてMy Rotary アカウント登録、Rotary Club Central目標設定を実務的に執行する役職になります。今回のセミナーは、My RotaryやRotary Club Centralの趣旨や意義を理解していただく事を目的として、パソコンで具体的に目標入力を実習していただきより深く理解していただいたと思います。またセントラルの入力の補助をしていただく事が多いクラブ事務局職員の皆様にも実習していただいたと思います。

その成果として、Rotary Club Centralの入力がセミナー前は数クラブでしたが、セミナー後には60%以上のクラブに目標を入力していただきました。以上ご報告申し上げます。セミナー開催にご協力いただき本当にありがとうございました。



ロータリー財団奨学生壮行会報告

ロータリー財団委員会 委員長 **岡村 康 司** (長崎南RC)

さる8月9日、今年度(2019~20年度)ロータリー財団奨学生の壮行激励会が諫早のホテルセンリュウにて開催されました。今年度はグローバル補助金の奨学生2名(青年海外協力隊出身金子浩士君と長崎大学大学院腫瘍外科の谷口大輔君)、地区補助金1名(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科准教授の黒田裕美さん)、ロータリークラブからは千葉憲哉ガバナー、花島光喜ガバナーエレクト、塚崎寛ガバナーノミニーのビッグスリーお三方に財団グループ各委員会のメンバーが出席して豪華な壮行会となりました。

先ず、今年度派遣される留学生3名が各研究分野と留学先での研究内容を一人20分~30分で日本語と英語でプレゼンテーションを行い、ロータリアンが質問するという形で話す側聴く側の理解を深めました。全員完璧な英語でプレゼンを行う彼らの姿に、ロータリアンたちはただただ感心するのでした。

プレゼンが無事終わり全員緊張から解放されたように、この後の懇親会ではロータリアンたちと楽しく情報交換をすることができました。

3名の留学先は次の通りです。

金子浩士君：イギリス サセックス大学

谷口大輔君：カナダ トロント大学

黒田裕美さん：アメリカ ラトガース大学

3名の留学生がそれぞれの分野で研鑽を積み、世界で活躍する人材となられることを切に願うのであります。



谷口大輔君 金子浩士君



黒田裕美さん

米山奨学生カウンセラー研修会・奨学生出前卓話研修会

米山記念奨学委員会委員 永田 章（北松浦R.C）

地区米山記念奨学委員会の行事として、8月25日(日)東彼杵町総合会館を会場に「米山記念奨学カウンセラー研修・奨学生出前卓話研修」が開催され、米山奨学生・カウンセラーおよび地区米山委員36名が参加しました。

午前中は米山奨学生とカウンセラーが2つの会場に分かれ、カウンセラー研修は大家地区委員長の進行のもと出前卓話の注意や、カウンセラーハンドブックやパワーポイントにより米山記念奨学事業について説明が行われました。一方、米山奨学生の研修は本多地区委員の進行のもとに奨学生による半年間の現況報告の後、出前卓話オリエンテーションが行われました。

昼食をはさんで午後よりはカウンセラー・米山奨学生合同により出前卓話の日程調整が行われ、各奨学生の訪問先クラブが決まりました。

米山奨学生の出前卓話をお申込みいただきましたクラブの皆さま大変有難うございました。10月より米山奨学生がお世話クラブのカウンセラー（地区委員が同行する場合があります）とともに皆さまのクラブへお邪魔させていただきます。米山奨学生からは、大学で学習や研究していることや、出身国の特徴など約20分発表が行われます。米山奨学生は米山記念奨学事業に大変感謝をしています。米山奨学生が勉学に勤しむことができるのは皆様による寄付金のおかげです。皆様が寄付をなされた成果による米山奨学生をぜひ温かくお迎えいただくとともに、卓話をぜひお楽しみください。



インターアクト年次大会報告

インターアクト年次大会副実行委員長 北口 功 幸 (長崎西RC)

国際ロータリー第2740地区2019-2020年度インターアクト年次大会が、8月3日(土)、長崎ブリックホールに於いて開催された。大会テーマの「ともに生きる」を基に、海星高等学校(提唱;長崎西RC)をホスト校として、コ・ホストに、活水高等学校(提唱;長崎出島RC)、純心女子高等学校(提唱;長崎中央RC)、長崎女子高等学校(提唱;長崎RC)、長崎女子商業高等学校(提唱;長崎南RC)の4校の協力を得て、佐賀・長崎両県のインターアクトクラブ20校179名、顧問25名、ロータリアン76名、来賓その他60名の、合計340名の参加で、成功裏に無事終了した。

国境なき医師団日本前会長 黒崎信子様による基調講演は、「生きることをあたりまえの世界に一人道支援の壁」を演題とし、海外での厳しい環境のもと経験された具体的な支援活動内容を伝えられ、そして、なぜその過酷な支援活動に参加しようと思ったかなど、インターアクトの生徒、顧問はもちろんのこと、ロータリアンも考えさせられることが多々あったのではないだろうか。

また、今年度の大会では3つの分科会を設け、第1分科会は、長崎女子商業高等学校による「海洋ゴミ問題について」。第2分科会は、純心女子高等学校による「車椅子体験」。第3分科会は、長崎女子高等学校による「SNS関係(ネット依存の現状と課題)」とした。各分科会は現在の地域環境問題・社会問題をテーマとし、具体例をあげてディスカッションした参加者は、更に問題意識が深まったことと思う。

さて、本年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」である。そして、インターアクト年次大会の大会テーマは「ともに生きる」。さらに基調講演は、「生きることをあたりまえの世界に一人道支援の壁」と、3つのテーマが「世界」と「生きる」のキーワードで繋がっており、参加いただいた方々には、世界へつながるインターアクトクラブ活動、ロータリークラブ活動を実感し、より良い世の中、より平和な世の中の実現に、思いを強く持たれたことだろう。また、基調講演、分科会を通し、179名のインターアクターだけでなく、全参加者が大会テーマ「ともに生きる」を考え直し、今後の各々の活動を通して、日本で、世界で、貢献する事を新たに誓った一日になったと感じられた。

最後に、長崎西RCでは、許斐会長、劉実行委員長を中心に、ホスト校、コ・ホスト校、提唱RCが参加したキックオフミーティングからスタート。さらに、ホスト校顧問、当クラブの実行委員会メンバーの定期的な打合せ、現場確認、リハーサル等を経て、海星高校のインターアクターも活動自体の大切さ、ロータリアンは青少年奉仕活動の重要性を再確認した、素晴らしい年次大会になったと思っている。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀西RC 7月22日(月)

会長 堤 貞喜 幹事 古川健太郎

クラブ自慢話

①人材の宝庫と言われるくらい先輩陣が数人存在します。

事あるごとに、他クラブの古参の会員さんより佐賀西クラブはすごい方の集まりだと賞賛されます。

その為、ちゃんとしたことをちゃんとしなければ恥ずかしいという風土が定着しています。いい意味でのプレッシャーです。

②創立来連続出席率100%維持クラブ時代のことです。この話は時々、先輩達から聴かされます。『その日は台風による昨夜来の大雨。「月曜日。ロータリー例会だ。何としても12時半までに、商工会館へ着かねばならない！」冠水の道路を車から降り、あとは歩くしかない。膝上まで浸かりじゃぶじゃぶと歩き、例会場までたどり着いた』とか。厳しいような話を懐かしく楽しそうに語られます。

③佐賀西RCバルーン

大変センスがあって品のいいデザインです。会員一同の自慢です。バルーンの季節には、まず佐賀西クラブのバルーンを大空に捜します。無いと河川敷まで行ってみたくになります。発見すると安心します。新聞や報道でバルーンが、カッコよく紹介されないと不満が残ります。

主に以上ですが、親睦を深める夜例会は大変楽しい会になります。分け隔てなく遠慮なく誰とでも気楽に話が出来、また様々なことを教えて頂けます。

最後になりますが、佐賀西クラブの今期活動テーマは「ひきこもり」です。便利になりすぎて、かえって横のコミュニケーションが出来なくなったのが残念です。

この「ひきこもり」になられた方の社会への第一歩となるきっかけづくりをクラブの会員に呼びかけ協力してもらい、会社見学訪問を実施予定です。10月21日(月)9時～4時の間、参加者8名程を集め、会員企業5社程度を回りたいと思います。



伊万里西RC 7月25日(木)

会長 中山 武重 幹事 井手 利紀

千葉憲哉ガバナー・辻幸徳ガバナー補佐・大石竜基地区幹事を迎えてガバナー公式訪問を開催しました。

前会長・幹事、次期会長・幹事、本年度会長・幹事同席にて懇談会をして当クラブ今期運営方針とクラブ概況説明を報告しました。

ガバナーに於かれましては当クラブのアンケート調査報告により評価、クラブの現状等一定の成果は上がっているものの一部の領域で硬直化が進み、メンバーの意識にもバラつきが見られるとの評価でありました。

当クラブの会員の平均年齢66.5歳で70歳以上20名、69歳以下21名と年齢格差があり意識のバラつきは当然であろうということでその結果、会員の増加にはなかなかつながらないと思います。

そこで、他クラブでは女性会員が入会され会員の増加と会の運営が円滑に進んでいると実例を紹介して頂きました。

西ロータリーに於いて今年進めている「伊万里はちがめプラン」「有田川カワニバルでのアユの放流」「くんちば酒会」等、補助金を受けて市民にアピールし女性会員の加入を勧めて西ロータリーの活性化を図り、奉仕の理想に邁進したいと思います。





ガバナー公式訪問クラブ報告



唐津中央RC 7月26日(金)

会長 宮丸 典子 幹事 坂本 安治

年々「猛暑」となり、暑さの厳しさをだれもが体感する季節、令和元年7月26日(金)ホテル&リゾート佐賀唐津において、千葉憲哉ガバナー、辻幸徳ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしての公式訪問例会を開催致しました。

事前の懇談では、予定時間よりも早く到着していただいたので、たっぷりの時間で親しく緊張(?)せずに現状報告や質問など出来、例会運営上大いに参考になりました。千葉ガバナーは、よく勉強されており各クラブが更に良いクラブとなるようお手伝いしたいとの熱意がバンバンと伝わってきました。

我がクラブの特色は女性会員がいる事です。チャーターメンバーが半数、女性4人、10年未満が半分を占める若いロータリーです。それだけに雰囲気明るく自由に話しが出来る、気軽に先輩会員に相談出来る親睦と交流があります。特色をいかし、女性会員がもっと増えるよう活力あるクラブを目指していきます。会員増を目指し(特に女性会員)他企業種等、団体の女性トップとの交流を計画し、積極的にロータリーをアピールしていこうと思っています。

今年は特に、基本に戻ろうと「ロータリーを知る」例会日を設け、勉強会や卓話を工夫しました。他クラブからのメイクを大いに歓迎致します!

例会では、地区補助金がどのようなプロジェクトを応援しているかを紹介して下さり、有意義な訪問例会となりました。猛暑の中の御来訪に感謝しますと共に、ご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



諫早南RC 7月29日(月)

会長 中島 毅洋 幹事 荒木 和美

7月29日(月)12:30の例会にて千葉ガバナー、栄田ガバナー補佐、大石地区幹事にお越し頂き、ご指導を賜りました。千葉ガバナーには前期に行った会員一人一人のアンケートを分析して頂き、その資料を基に諫早南ロータリークラブのいいところ、今後改善が期待できるところについての説明をして頂きました。

諫早南ロータリークラブは以前、大幅な会員減少により、活動自体に支障を来しながら、一人何役もやりながら行事をなんとかやりくりし、少人数でも活動できるCLPを導入してやって参りました。しかし、昨年度、今後もこのままの状態では活動していくかどうかの話し合いを行い、やはり会員増強をしないと負担も変わらず、楽しくやっていけないのではないかとということにたどり着きました。

当クラブでは、今期、例年にも増して会員増強と親睦を目標に活動を行っていきたいと思っております。例会は、月2回ではありますが、継続的に実施している剣道大会とは別に、例会にカウントされない親睦活動を5回、そして新たな事業として秋の諫早のイベントであるののこ祭りへの出店を計画しております。秋のイベント参加ではポリオ募金を中心に物販も行い、当クラブの活動内容をアピールし、新規会員を獲得することを考えております。また、活動を通じて親睦も深められるようにしたいと思います。

現在女性会員が60%を超える状況にあります。その特色を生かした活動が、今期に弱かった点の一つでも改善できたらと思っています。



ガバナー公式訪問クラブ報告

**長崎北東RC** 7月31日(水)

会長 草野 一夫 幹事 前田 秀樹

7月31日(水)、千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催しました。例会前の懇談会においては、クラブの現況、活動計画要旨について「大変コンパクトで、実によく出来ている」とお褒めの言葉をいただきました。

ガバナー卓話では、クラブアンケート調査報告があり、多くの領域で、良好な運営が行われており、他のクラブの範となる、活動、実績も見られ、メンバーの多くは、高い奉仕理念を持ってはいるが、一部の領域でコミュニケーション不足、機能不全を指摘されました。全会員で改善に取り組みたいと思います。

その他にも、ロータリー国際大会、Hox遺伝子、LGBTなど、話題豊富に話され、会員全員がガバナーの卓話に引き込まれていました。また、他クラブの活動など大変、参考になりました。

クラブ会長は『ガバナー公式訪問を機に、その年度の成功への踏み台を得る』とあります。

私も今回のガバナー公式訪問を機に、精一杯頑張ろうと決意を新たにしました。

猛暑の中での、ご訪問に対して会員一同、心よりお礼申し上げますとともに、皆様方のご活躍を祈念いたします。

**長崎琴海RC** 8月1日(木)

会長 西村 潮満 幹事 大岩 啓介

当クラブは下記の活動を確実に実践することで、地域への貢献、会員同士の繋がりを深めています。

- ①県立盲学校の水泳授業支援。マイクロバスで学校とプール間の送迎を行う。
- ②新世代会議の開催。高校生達とテーマを決め討議。
- ③放課後等デイサービスはるの樹との交流会。地域の子供達と繋がる。
- ④時津こども食堂の支援。食を通して子供達、地域の方と交流する。

千葉ガバナーからは、地区補助金を使用したプロジェクトを立ち上げ、クラブに合った活動を推進してほしい、また積極的に海外交流も推進してはどうかという意見も頂きました。

当クラブは現在11名で活動しています。例会への出席率が悪く、改善のため、例会の曜日の変更・積極的な夜例会の実施などを通じて、会員が出席できる環境を整えている段階です。

財政面でも非常に厳しい状況ですが、会員全員がクラブ存続という考えで一致しています。千葉ガバナーから地区の方でも応援すると仰っていただきました。また奥様も共にご来訪頂き、諫早南ロータリーでの貴重な体験談・今後当クラブが存続の為、進めるべき点についてご助言頂き、会員一同大変感謝しています。

今後ともよろしくお願いします。





ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎東RC 8月2日(金)

会長 峰 利克 幹事 安達 栄太

前週のガバナー補佐訪問に引き続き、8月2日(金)、千葉憲哉ガバナー、小野原卓嗣ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしての今年度ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

当日は、当クラブより会長、会長エレクト、幹事の3名に対して例会に先立ち懇談の場を設営いただき、今年度が50周年であることも見据えてのクラブ運営方針やクラブ現況及び活動計画についての報告、併せて、当クラブが奉仕事業の一つとして数年来注力している児童養護施設「明星園」とのふれあい活動の紹介やそれに対する地区補助金交付決定に対するお礼、また青少年スポーツ大会（長崎市少年剣道大会）への参加・支援、姉妹クラブ「台湾・高雄西RC」及び友好クラブ「函館東RC」との交流の歴史について説明を行いました。

卓話では、ご準備いただいた多くのスライドを使用して、2740地区全会員に実施されたアンケート調査の結果報告や、そこから導き出された当クラブの強み・弱みなど客観的な視点を基に、直面している会員増強に関してや例会出席率の低率化など50周年である今年を契機に改善すべき指針を示していただき大変有意義な時間となりました。

千葉ガバナー並びに皆様方のご来訪に感謝いたします。



諫早多良見RC 8月6日(火)

会長 若杉 能將 幹事 中村 正博

① 今回のガバナー公式訪問を受けて

各奉仕プロジェクトに参加や色々な事業に参加する事を行うには会員増強で安定した人員の確保及び運営費が必要だと思います。諫早多良見RCも前期から今期にかけて3名の会員増員ができました。現在正会員34名名誉会員1名計35名で運営していますが、各委員会に対しての委員数が2～3名と少ない状況が続いている事から会員増強をもっと行わないといけないと思います。

② クラブアンケートについて

一部の領域で硬直化が進みメンバーの意識にばらつきがある事から今後の活動の中、少人数で1委員会（2～3名）の活動を行うだけでなく複数の関係委員会で行い、活動協力体制でメンバー意識を高める方法も考えていきたいと思っています。

③ グループ内のクラブ交流について

国際ロータリー第2740地区第8グループの5クラブ間での交流として、諫早多良見RCで野球やゴルフを通じて諫早北RCとの交流はあるのですが他クラブとの交流があまり無いようですので、まずは各クラブとのメーキャップをもっと増やしていきたいと思ひますし、その中で各クラブの例会の進め方とか諫早多良見RCに無い良い所をもっと増やしていきたいと思ひます。

④ 対外事業（長期事業）としては

毎年、青少年委員会・社会奉仕委員会・ロータリー財団委員会と合同で行う児童養護施設聖母の騎士園とのスポーツ交流を通じて指導や養護施設入所児童の健全育成を支えるプロジェクトや国際奉仕委員会の国際糖尿病支援基金への寄付の継続（インド、ナグプールのアスシャ・マルジヴェちゃん）をいままでも又これからも行っていきたいと思ひます。

事業を行った後に皆さんからの御礼の手紙をいただくとロータリーメンバーも元気づけられるし、今後も奉仕活動の一貫として続けていきたいと思ひます。



児童養護施設聖母の騎士園の児童・生徒とのスポーツ交流：小長井田原体育館に於いて



食育の後：いこいの村長崎に於いて

ガバナー公式訪問クラブ報告



島原南RC 8月7日(水)

会長 近藤 義光 幹事 隈部 慎吾

当日は酷暑の中、遠方よりお越しくださしまして有難うございます。今やっと、肩の荷が一つ降りて普段の生活に戻りつつあります。各クラブにおきましてこのガバナー公式訪問は、年間の大きな行事で、ガバナーと膝を突き合わせご指導いただく唯一の場とっております。本当に私にとって実になった訪問であったと感動しております。

この経験が今後のロータリー活動の潤滑油と思い、そして近くなったガバナー事務所も今後の我がクラブへの大きな原動力になりそうです。

今年の我がクラブの大きな目標として取り上げていた項目が「行動する」との提案通りマンネリ化したロータリー活動を「机の上でいろいろ考えず腕を捲って体動かしてみよう!」と、私の思いと重なったことは偶然にも嬉しかったです。

昨年RYLAを開催させていただきましたが、会員相互が一丸となって成し遂げた感動は今も皆さんの心に残っていると思います。参加して戴いた皆さんからの「よかったです」の声援はひととき大きな団結を作りました。このように少しずつの力が、そして行動が今後の活動計画に大きく経験として培われていくと思います。

この「行動する」を、今年の島原南ロータリークラブの柱として比良ガバナー補佐のお力をお借りしてやっていきたいと思っています。

本当に有難うございました。



嬉野RC 8月9日(金)

会長 中島陽一郎 幹事 原 幸二

嬉野ロータリークラブは青少年健全育成の目的で、平成18年、嬉野市誕生を記念してこれまで14回、「嬉野ロータリークラブ杯 嬉野市少年野球大会」を開催しています。

市内7小学校7チームの参加があり甲子園大会のようにちゃんと入場行進から始まり、開会式、市長の始球式で試合開始、子供たちの両親、おじいちゃん、おばあちゃんたちの参加応援によって盛り上がります。会員数26名の小規模クラブでの運営ですからこのときは全員参加で一致団結、日頃のコミュニケーションづくりに役立っているかと思っています。ただ、最近は少子化の影響でレギュラー9人のチームも出てきました。存続を危惧しています。

嬉野ロータリークラブは今年度、創立50周年（記念式典、来年5月28日開催予定）を迎えます。他クラブからメーキャップに来られたビジターの方からは「和気あいあい楽しい例会ですね」と、よく言われます。和気あいあいの中にも創立された時のチャーターメンバーの志を大切に思い、時代に応じた改革がすこしでも出来ればと思っています。



ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎北RC 8月19日(月)

会長 藤村 昌憲 幹事 木庭 正道

8月19日、千葉憲哉ガバナー、小野原卓嗣ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催しました。懇親会ではクラブ運営については当クラブの伝統ある独特な人間尊重委員会などの運営にお褒めの言葉を戴きました。大事にしていききたいと思います。次に本年度の大きなテーマであります活性化について、アンケート調査によりクラブの活性化への道筋についてアドバイスを受けました、特にクラブに受け入れられてないと思われる会員へのコミュニケーションの大事さ、誰も必要とされていない会員はいない、ということ念頭に活動への参加を促し、楽しさを共有することが大事であると助言を戴いて、今後のクラブの活動を進めていききたいと思います。

最後にグローバル活動についてクラブ戦略を立ち上げてはどうかと助言をいただきました。

これからも親睦を深め会員皆成長していききたいと思います。



年長者俳句大会



青少年農業体験



大村RC 8月27日(火)

会長 西川 義文 幹事 俣野 正仁

8月27日ガバナー公式訪問の際は、千葉ガバナー、比良ガバナー補佐、大石地区幹事、松田地区副幹事、ご来訪ありがとうございました。大村ロータリークラブの昨年度の特筆すべき活動を紹介させていただきます。①竹松小学校に図書返却ポスト寄贈②子供の家へヤギ並びに飼育小屋設置。

本年度、大村ロータリークラブはお陰様で60周年を迎えることとなりました。

ロータリークラブ本年度テーマ「一致団結」、創立60周年テーマ「All For One」-Growth Next-です。会員全員で力を合わせて一年間頑張りますので、よろしくお願い致します。

①竹松小学校に図書返却ポスト寄贈



②ヤギのウメとサクラ



③ロータリークラブ年間テーマ「一致団結」



2019年7月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第1グループ	佐賀	4	64.4	74	5	75	5	1	0	1	1	
	小城	4	75.3	30	2	31	3	2	1	1	1	
	牛津	4	74.5	30	0	33	0	4	1	3	3	
	多久	4	73.7	38	5	38	5	0	0	0	0	
	佐賀大和	4	72.8	26	6	26	6	0	0	0	0	
	小計		72.1	198	18	203	19	7	2	5	5	
第2グループ	佐賀西	3	73.0	38	2	38	2	0	0	0	0	
	佐賀北	4	65.7	45	1	46	2	1	0	1	1	
	佐賀南	4	73.6	38	4	40	4	2	0	2	2	
	神埼	4	80.4	37	4	37	4	0	0	0	0	
	佐賀空港	3	66.6	18	1	18	1	0	0	0	0	
	小計		71.8	176	12	179	13	3	0	3	3	
第3グループ	有田	4	69.0	28	0	29	1	1	0	1	1	
	武雄	4	90.2	56	5	55	5	0	1	-1	-1	
	鹿島	4	89.2	34	4	33	4	0	1	-1	-1	
	嬉野	4	87.3	26	2	26	2	0	0	0	0	
	大町	4	63.3	11	0	15	0	4	0	4	4	
	太良	4	90.0	10	0	10	0	0	0	0	0	
	小計		69.8	165	11	168	12	5	2	3	3	
第4グループ	唐津	5	91.3	61	0	62	0	1	0	1	1	
	伊万里	5	94.5	29	0	28	0	0	1	-1	-1	
	唐津東	4	88.1	50	0	50	0	0	0	0	0	
	唐津西	5	90.1	34	0	35	0	1	0	1	1	
	伊万里西	4	94.7	41	0	42	0	1	0	1	1	
	唐津中央	4	85.5	37	3	38	4	1	0	1	1	
	小計		90.7	252	3	255	4	4	1	3	3	
第5グループ	佐世保	5	100.0	78	0	79	0	1	0	1	1	
	平戸	4	75.8	29	2	30	2	1	0	1	1	
	北松浦	4	90.0	25	0	25	0	0	0	0	0	
	佐世保西	5	79.9	24	4	24	3	1	1	0	0	
	松浦	5	90.7	26	1	28	1	2	0	2	2	
	小計		87.3	182	7	186	6	5	1	4	4	
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	62	0	0	0	0	0	
	佐世保東	4	82.0	23	0	24	0	1	0	1	1	
	佐世保北	4	100.0	40	2	41	2	1	0	1	1	
	佐世保中央	4	88.7	46	1	47	1	1	0	1	1	
	佐世保東南	5	63.5	39	0	40	0	1	0	1	1	
	HTB佐世保	5	80.8	23	2	23	2	0	0	0	0	
	小計		85.8	233	5	237	5	4	0	4	4	
	第7グループ	大村	4	91.3	48	4	48	4	0	1	-1	-1
		島原	4	85.6	30	2	30	2	0	0	0	0
		雲仙	4	83.2	14	0	14	0	0	0	0	0
大村北		5	86.0	24	1	24	1	0	0	0	0	
島原南		5	70.0	25	0	25	0	0	0	0	0	
大村東		4	88.5	37	3	37	3	1	1	0	0	
小計			84.1	178	10	178	10	1	2	-1	-1	
第8グループ	諫早	4	81.0	72	0	75	0	3	0	3	3	
	諫早北	4	72.3	74	4	74	4	0	0	0	0	
	諫早西	4	96.5	45	0	45	0	0	0	0	0	
	諫早多良見	4	94.7	32	0	34	0	2	0	2	2	
	諫早南	3	84.4	14	8	15	9	1	0	1	1	
	小計		85.8	237	12	243	13	6	0	6	6	
	第9グループ	長崎	4	83.9	74	0	75	0	1	0	1	1
福江		3	86.7	33	0	33	0	0	0	0	0	
長崎北東		5	82.1	41	3	41	2	1	1	0	0	
福江中央		4	85.4	21	0	21	0	0	0	0	0	
長崎西		4	81.7	43	1	44	1	1	0	1	1	
長崎琴海		3	60.0	11	0	11	0	0	0	0	0	
小計			79.9	223	4	225	3	3	1	2	2	
第10グループ	長崎北	4	79.9	80	0	78	0	0	2	-2	-2	
	長崎南	4	81.6	72	0	73	0	1	0	1	1	
	長崎東	4	75.9	40	2	41	2	1	0	1	1	
	長崎みなと	4	82.0	30	1	30	1	0	0	0	0	
	長崎中央	4	94.7	55	0	55	0	0	0	0	0	
	長崎出島	4	78.2	71	12	71	12	0	0	0	0	
	小計		82.0	348	15	348	15	2	2	0	0	
56クラブ合計			80.9	2,192	97	2,222	100	40	11	29	29	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年7月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



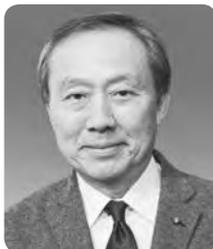
佐賀 RC
寺谷 烈 君
医療法人TERRA矯正歯科クリニック
院長



小城 RC
柴田 成人 君
(株)弥川
代表取締役



小城 RC
江島佐知子 君
肥前糧食(株)
監査役



牛津 RC
坂井 一弥 君
坂井歯科医院
院長



牛津 RC
坂井 亮嗣 君
(有)タワー工業
代表取締役



牛津 RC
兵働 裕 君
(株)バイオテックス
総務部長



牛津 RC
児玉譲一郎 君
(株)コダマシキ
代表取締役会長



佐賀北 RC
杉野 裕美 君
(株)Hiromi Office
代表取締役社長



佐賀南 RC
森永 亮太 君
森永公認会計士・税理士事務所
代表



佐賀南 RC
佐藤 靖昭 君
ホテルマリタール創世
総支配人



唐津 RC
馬場 正浩 君
(株)馬場薬局
取締役



唐津西 RC
原田 昭治 君
西日本プラント工業(株)玄海原子力総合事業所
事業所長



伊万里西 RC
前田 清浩 君
(有)伊万里グリーンファーム
代表取締役



唐津中央 RC
永松真利子 君
(株)真盛
代表取締役



佐世保 RC
出端 隆治 君
(株)デバタ
代表取締役社長



平戸 RC
山下 剛 君
九州電力(株)平戸営業所
所長



佐世保西 RC
三宅 聡 君
(株)北辰カーズ
常務取締役



松浦 RC
瀬口 浩光 君
西日本プラント工業(株)
松浦事業所 所長



松浦RC
永田 浩 君
エディオン ナガタ電器
代表者



佐世保東RC
永田 康浩 君
(有)津軽工務店
代表取締役



佐世保北RC
渥美 大介 君
(株)サン・ホールディングス
取締役営業統括



佐世保中央RC
七種 純一 君
(株)親和銀行
常勤監査役



佐世保東南RC
関戸 弘武 君
関戸麹屋
代表



大村東RC
山口 治彦 君
大村湾カントリー倶楽部
ニューコース支配人



諫早RC
森 優伸 君
社会保険労務士事務所オフィスモリ
代表



諫早RC
平沼 正俊 君
(株)平沼商店
取締役



諫早RC
横尾 太郎 君
(有)魚荘ホテルグランドパレス諫早
代表取締役



諫早多良見RC
中島 伸介 君
(有)エイセイ産業
代表取締役



諫早多良見RC
森 俊英 君
(有)記念品のトミナガ
代表取締役



諫早南RC
瀧野 律子 君
(株)クリエイトオフィス



長崎RC
古賀 隆之 君
西日本電信電話(株)長崎支店
支店長



長崎北東RC
三原 英樹 君
長崎電建工業(株)
顧問



長崎西RC
尾本 久男 君
(株)大和総業
代表取締役



長崎南RC
嶋田 哲也 君
損害保険ジャパン日本興亜(株)長崎支店
支店長



長崎東RC
米濱 誠二 君
(有)ヨネハマ企画
代表取締役



物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



鹿島RC
寺川 定男 君
(享年81歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	岩永 信昭	長崎北東
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	隅 康二	佐賀西
	谷口 優	武雄
	矢次 保夫	佐世保南
	宮地 学	佐世保南
	山口 嘉浩	佐世保南
ベネファクター	野田 大介	佐世保南
	光安 幸夫	長崎

米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	白川 十郎	伊万里
	南野 健	大村北
マルチプル	矢次 保夫	佐世保南
	小川 信	佐世保南
	高木 義和	島原
	張本 民雄	福江
米山功労者	中尾 光吉	大村東
	有川 一男	福江
米山功労法人	(株)松田電工(松田洋一)	諫早北

10月24日
世界ポリオデー

クラブや地区で
できること

- 1

イベントの開催

 - ロータリーデーの開催
 - スポーツイベント（マラソンや自転車レース）
 - チャリティコンサート
 - 街頭募金
 - 地域のお祭りへの参加
- 2

**特別プログラムの
ビューイング会**

10月24日 日本時間の夕方（暫定）にフェイスブックで世界ポリオデーの特別プログラムがネット配信されます。詳細は国際ロータリー公式フェイスブックをご覧ください。
- 3

**「ポリオをなくそう」の
広告を作成または使用**

ブランドリソースセンターにある「世界を変える行動人」の素材の中から「ポリオをなくそう」バージョンをダウンロードして、地元メディアや屋外広告としてご使用ください。
- 4

**ソーシャルメディアで
拡散する**

「ポリオをなくそう」の広告やポリオ根絶イベントの情報をクラブや地区のSNSに投稿しましょう。ロータリーの投稿のシェアもお願いいたします。

クラブや地区が実施を予定している
イベントをお知らせください！

左のQRコードで開く
ページから情報をお
寄せください。

<https://endpol.io/reg-ja>

国際ロータリー第2740地区 2019-2020年度地区大会

Program ○プログラム

2019年



11月8日 金

第1日目

会場 / L&L ホテルセンリュウ
長崎県諫早市永昌東町13-29

16:00~ ◎危機管理セミナー

18:00~ ◎歓迎晩餐会



11月9日 土

第2日目

会場 / 諫早文化会館
長崎県諫早市宇都町9-2

9:00~ ◎エクスカーション

10:00~ ◎大会4委員会・青少年のつどい

12:10~ ◎本会議第1部

14:30~ ◎地区大会記念講演
ケント・ギルバート氏

16:00~ ◎本会議第2部

17:30 ◎点鐘

一般公開
入場無料

会場 / ホテルグランドパレス諫早
長崎県諫早市宇都町3-35

18:30~ ◎記念懇親会



11月10日 日

第3日目

会場 / 長崎国際ゴルフ倶楽部
長崎県諫早市小ヶ倉町51

地区大会記念
親睦ゴルフ大会

スタート時間 7:30~



地区大会記念講演

ケント・ギルバート氏

11月9日 土 ◎14:30~ ◎諫早文化会館

一般公開
入場無料

1952年、米国アイダホ州生まれ、ユタ州育ち。71年、米ブリガムヤング大学在学中に19歳で初来日。75年、沖縄国際海洋博覧会の際にアメリカ館のガイドとして再来日。80年、大学院を卒業し法学博士号と経営学修士号、カリフォルニア州弁護士資格を取得。東京の国際法律事務所に就職。83年、テレビ番組「世界まるごとHOWマッチ」にレギュラー出演し、一躍人気タレントとなる。近年は企業経営や講演、執筆活動も行う。

夕刊フジ連載「ニッポンの新常識」、読売テレビ系「そこまで言って委員会NP」、DHCシアター「真相深入り! 虎ノ門ニュース」など。



ホストクラブ：諫早北RC コ・ホストクラブ：諫早RC / 諫早西RC / 諫早多良見RC / 諫早南RC

国際ロータリー第2740地区大会事務局 TEL.0957-46-3096

〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 諫早商工会館 302 号室 FAX.0957-46-3097 <http://www.d2740.org/>

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

ふるさとを描き残した巨匠

野口彌太郎（洋画家）

恵まれた家庭環境にあつて、画家として大きな功績を残していたが、戦禍によって作品のすべてを失う悲運に見舞われた。しかし、その後、父親の故郷

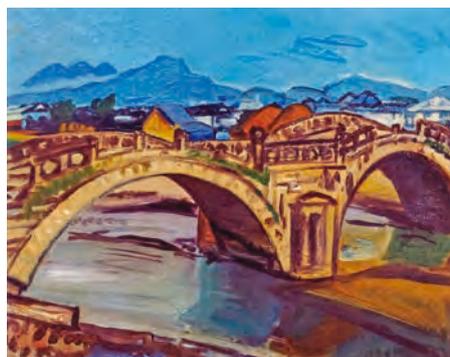
諫早に制作の拠点を移し、膨大な作品を描き残した。地元においては、水害以前の眼鏡橋や被害を受けて崩壊寸前の橋にも、画家の目は向けられた。

市内中央公民館ロビーの吹き抜けの壁面には、諫早湾の干潟に遊ぶ生き物や天空を舞う野鳥の姿、さんさんと照り輝く太陽が陶板に焼き付けられ、大自然の讃歌が表現されている。

平成二十七年諫早市美術・歴史館開館一周년을記念して、野口彌太郎の大同顧展が開催されたことは、いまだ記憶に新しい出来事であった。



有明
150.0cm×55.0cm 水彩
諫早市美術・歴史館蔵



諫早の眼鏡橋
72.8cm×90.8cm 油彩
諫早市美術・歴史館蔵

編集後記

秋本番、稔りの季節を迎えたが、今年も隣県佐賀では水禍に見舞われ、一日も早い復旧を祈るばかり。十月より、消費税10%の導入、諸々の経済活動での影響は必至。地区大会の準備は順調にすすんでおり、皆様に会える日を心待ちにしている。

（緒方）



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2019. 11
Vol. **5**



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

多良山麓の白木峰
高原をわたる風のことばに
頷くように揺れている
コスモスの妖精たち

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
2022~2023	
ガバナーノミネー・デジグネート推薦の件	3
ガバナー公式訪問クラブ報告	4
会員数・出席報告	17
新会員・物故会員・寄付者紹介	18
マダガスカル通信Vol. 5	20
地区大会案内	22
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



最近のロータリーの変化に対する 貴クラブの規定審議会決議事項への 対応方法について

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

2019年4月の規定審議会で主な事では下記の事が決まりました。ロータリアンの皆様は衝撃を受けられたと思います。あなたのクラブの規定審議会採決事項への対応としては、第2740地区のクラブには特権クラブは存在しませんので、全てのクラブがこの決定に従わなければなりません。だから、「ロータリーについて行けない」とか、「これではロータリーではないではないか」とか数々の不満が出ております。そこで8月2日に青森県八戸で開催されたIMに参加された国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニーにお会いし、全国から駆け付けたガバナーが直接説明を求めました。加えて、9月27日・28日青森で開催された第2830地区、地区大会に参加し、そこで2019-2020年度RI研修リーダー山崎純一から説明していただきました。その結果を皆様にお伝えします。

〈2019年4月の規定審議会決定事項〉

- ①会計情報開示について
人頭分担金への変更の有効性および影響をクラブに開示する件
RIは、人頭分担金の増額に理解を得るための**会計情報の開示**に取り組むべきである。否決事項。
 - ②出席について
メイクアップ：ロータリアンは、欠席した例会のメイクアップを同じロータリー年度内に行うことができる。
 - ③クラブ財務について
クラブ人頭分担金の増額を下記のとおり実行しなければならない
：2019-20年度の人頭分担金は半年ごとに34ドル、2020-21年度には半年ごとに米貨34ドル50セント、2021-22年度には半年ごとに米貨35ドル、2022-23年度には半年ごとに米貨35ドル50セント
 - ④職業分類について
地域にクラブを結成する際の**職業分類の制約**がなくなりました。
 - ⑤会員増強について
ローターアクトクラブについて
ロータリークラブのように、**ローターアクトクラブも国際ロータリーの加盟クラブ**となります。
 - ⑥少人数のクラブについて
会員数が6名未満となったクラブを終結とするよう、ガバナーがRI理事会に要請することができます。
 - ⑦「四つのテスト」の掲示について
ロータリークラブが**四つのテストを掲示**することを推奨することに同意しない。
- 以上。

〈マローニー会長と山崎研修リーダーの説明要約〉

8月2日青森県八戸のIMにマーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長に今回の「規定審議会の決定についての対応」をお聞きしました。

20世紀末から日本、米国等先進地域でのロータリー会員数の激減が起り始め、RIは危機を抱いてきました。そこで、RIのロータリー改革の必要性が論じられてきました。その時期は戦略計画が叫ばれた



時期です。2001年からR I 理事会、規定審議会が審議採決を新設、変更、削除を繰り返した。また試験的プロジェクトを繰り返し、危機への対応を探ってきました。数々の提案に多くのロータリアンは驚いたり、失望したり、喜んだりしましたが、2016年「柔軟性」を取り入れることでロータリーを改革しようということになり、2019年には「より柔軟性」と取り入れる改革が進んだ結果が、今回の規定審議会での制定案の決定です。ロータリアンの皆さんは柔軟性を利用して、自分のクラブの活性化に取り組む必要があるのです。すなわち、「あなたのクラブが良い状態ならば、変える必要はない。将来に向けて問題があるならば、変えるべきである。」変えたいときに順応性と柔軟性は重要である。ただし、「ロータリーの親睦と奉仕の理想は変わらない。ということです。まずは硬直化してないか？クラブが元気になるためには自分のクラブの問題点を探ることから始まります。(R I 会長談)

要点

2019年度12月のクラブ総会では次の事を決めてもらわないといけません。

①「クラブ定款」は審議会議決どおり変更すること。②ただし、「クラブ細則」は“柔軟性の原則”に基づき、あなたのクラブの理想と考える運営方針のとおり自由に变更してよい。という事になります。結果的には定款と細則の間に矛盾が生じますが、クラブ活性化のためにはR Iとしては了解しているとの事です。(山崎R I 研修リーダー談)

クラブ改革の為の問題点を探る方法として、2019年7月13日の第3ゾーンの研修会での基調講演で前橋RC本田博己バスターガバナーが「クラブ改革宣言」とその優れた効果が紹介されました。「クラブ改革宣言」はCLPによる地区・クラブ活性化の目的で2006年から実施され、現在も実施されているものです。当地区の私、花島ガバナーエレクト、塚崎ガバナーノミニーも講演を拝聴いたしました。この改革で使用されたものと同じものが第2940地区で2019年2月に実施された「クラブ活性化アンケート調査」です。クラブの問題点は今年度実施された「クラブ活性化アンケート調査」を参考にしてください。公式訪問時に各クラブの改善点を説明いたしました。全会員の皆様には一人ずつお配りした資料に記載してあります。再確認してください。会員の理想像やクラブの理想像に近づけることがクラブ改革の要点ということになります。皆さんのクラブが今回の規定審議会の決定に迷わされることなく思い切ったクラブ改革を実現してください。

注：規定審議会はR I 理事会とは別組織です。

国際ロータリー第2740地区クラブ会長 各位

2022～2023 ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件

国際ロータリー細則第14.020.4項により、2022～2023年度ガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネート候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2020年2月15日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以てご推薦下さい。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。

ガバナーノミニー・デジグネートの資格条件は、国際ロータリー細則第16.070項をご参照下さい。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナーノミニー・デジグネートになります。

ガバナー 千葉 憲 哉

ガバナー公式訪問クラブ報告



平戸RC 7月18日(木)

会長 俵屋 敦 幹事 久枝 啓介

令和元年7月18日、千葉憲哉ガバナー、法師山真人ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしての公式訪問を開催致しました。

例会前の三役懇談会では、アンケートの調査結果に関する事、例会等出席率の向上、ロータリアンとしての親睦の大切さ、平戸ロータリークラブの現況報告に続き当クラブでの問題点についてお話をしました。千葉ガバナー、法師山ガバナー補佐からは私達のクラブの立場に立った視野から様々なアドバイスを頂きました。

千葉ガバナーのご講話では、「私はロータリーを楽しむこと、RIの変化で疑問に思ったこと、キュープラロス、ファシリテーションを取り入れるのが良い……」などの熱意あるお話を頂き、ロータリアンとして立ち止まった時、ロータリーの原点に戻る事で力ももらえると導いて頂いた気がしました。

次年度、平戸ロータリークラブ創立60周年を迎えます。会員相互の連帯感及びさらなる親睦を深めてクラブの持続的可能な基盤形成を進めていきたいと思っております。本当に貴重な時間を頂き改めて厚く御礼申し上げますとともに、今年度のご活躍を心よりご祈念申し上げます。



唐津RC 7月23日(火)

会長 鈴木 謙一 幹事 戸川 忠俊

現在、62名の会員が所属しています。最年少者35歳から最年長者88歳と、会員間の年齢幅が広いのですが、例会の始めに「挨拶タイム」ということで、皆で握手をしています。この握手による交流が、功を奏して会員同士のコミュニケーションが非常に旨くいっていると思っております。

姉妹クラブとしては、韓国麗水ロータリークラブと台湾大甲ロータリークラブですが、来年2020年11月6日には、麗水ロータリークラブとの姉妹締結50周年を迎えることとなります。

当クラブは、地元唐津西高インターアクトクラブのスポンサークラブです。青少年奉仕活動としては、ロータリアンがインターアクトクラブの例会に参加して関与することが、とても大事だと考えます。今年度は、ロータリアンによる卓話をインターアクトクラブの例会時に実施することにしました。ロータリークラブの周知活動の意味もありますが、高校生が自身の進路を考える上で参考としてもらえればとの思いもあります。

昨年度の唐津中央RCに続いて、第4グループのIMを主催させて頂きます。現在、2020年2月24日の開催に向けて、実行委員会を立ち上げて動きはじめたところです。





ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保北RC 8月5日(月)

会長 蒲池 芳明 幹事 村瀬 高広

2019年8月5日第1例会日にて、千葉憲哉第2740地区ガバナーの公式訪問を開催いたしました。

例会前に千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、岡田金助ガバナー補佐と当クラブより蒲池芳明会長、近藤竜一エレクト、村瀬高広幹事を交えて懇談会を開催し、当クラブの主な事業、地区補助金事業、ロータリーを通しての地域との関わりなど説明を行いました。

今回は、特に千葉ガバナーが力を入れておられるロータリーアンケート調査の結果について当クラブへの講評について説明がありました。例会では千葉ガバナーに卓話をして頂き、

- ① R I 会長の新年度運営方針
- ② 国際ロータリーの運営方針
- ③ 第2740地区の運営方針
- ④ アンケート調査結果について当クラブに関すること
- ⑤ 職業奉仕について

などロータリーへの熱い思いを話して頂きました。

特に今年度のロータリーアンケートによりクラブの会員がどのような方向に向かっているのかなど良い点・悪い点を分析して説明して頂きました。

自由に思いを語り合い、あらゆる仮説を引き出しながら、チーム意識と相互理解を深めていくような意思決定を行うようにと要望をされました。また今後は会員増強にも力を入れ、クラブの自治権や柔軟性の行使についてはあくまでも中核的価値観の範囲内で行うことについても説明がありました。

緊張感が漂いつつも、わかりやすく丁寧に述べられ、終始和やかな公式訪問となりました。

千葉憲哉ガバナーの公式訪問に感謝いたしますとともに、今年度のご活躍を心よりご祈念申し上げます。



ハウステンボス佐世保RC 8月20日(火)

会長 道添 昭仁 幹事 杉山 和宏

2019年8月20日(火曜日)国際ロータリー第2740地区千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、岡田金助ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、会長(道添)、幹事(杉山)、会長エレクト(古市)との懇談会を行い、当クラブの現況、今年度の運営方針と活動計画について報告させていただきました。

本クラブは会員数23名、今年創立24周年となること、今年は「つなぐ」をテーマにし様々なことにチャレンジしたいと考えていること、先の大戦で亡くなられた方々が眠られる釜墓地霊園の清掃を続けること、例会は、ホテルヨーロッパランブランスホールを主に開催することで創立以来一度たりとも同じメニューがなく優雅に食事を愉しみ、会員間の親睦に花を添えてもらっていることなど報告しました。優雅な雰囲気と食事メニュー、また女性会員が在籍していることなどにより、例会自体に参加したくなるクラブであると大変なお褒めの言葉をいただきました。

例会では千葉ガバナーよりR I 会長の方針(ロータリーは世界をつなぐ)、さらに地区方針(チャレンジしよう!)についても具体的に解説をいただき、既定概念にとらわれず、女性会員の増加がクラブ繁栄に大きく影響することなど、ロータリアンとしての考えを深めることができました。

ガバナー公式訪問例会はR I の国際的な広がりや連携が確認され、第2740地区の連携もより深まり、大変有意義な時間となりました。

ガバナー公式訪問に深く感謝するとともに、お体に留意されまして、千葉ガバナーのご活躍を心より祈念申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



諫早西RC 8月21日(水)

会長 木村 暢義 幹事 山口 大司

去る8月21日夜の例会に千葉ガバナー、栄田ガバナー補佐、大石地区幹事をお迎えして ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、当クラブの会長、幹事、会長エレクト、副会長の参加で懇談会が行われました。千葉ガバナーとは、今迄第8グループ内の色々な会合でお会いしたり、又ガバナーの気さくで、気取らない性格もあり、和気あいあいと懇談する事が出来ました。

ガバナーから定款・細則への対応や、ロータリーが同好会にならない様、ロータリーの原点、特に職業奉仕について分かり易い説明を受け、もう一度ロータリーを理解し、ロータリーの魅力を見つめ直そうとの指導を受けました。

我がクラブとしても、栄田ガバナー補佐に、諫早5クラブ合同の委員会活動、新入会員の勉強会や、諫早駅前再開発の真っ最中なので、新諫早駅に大きな案内板等（諫早の史跡等を表示）の寄贈等、5クラブ合同会長幹事会を開いて話し合っ欲しい等の要望を快く聞き入れて頂きました。千葉ガバナーのロータリーに対する熱意に心打たれた有意義な1日でした。



大町RC 8月22日(木)

会長 釜崎 博昭 幹事 一ノ瀬 晃

8月22日、公式訪問の際には千葉ガバナー、大石地区幹事、平岡ガバナー補佐のご出席を賜りました。お忙しい中ありがとうございました。

大町クラブは、15名で構成している少数精鋭のアットホームなクラブです。昔は会員数40名を超える時期もありましたが、時代とともに減少していき現在の会員数に落ち着きました。というか個性人が残ったと言った方が妥当かもしれません。このメンバーたちは各地域ではちょっとは名の知れ渡った一筋縄ではいかない職業奉仕を第一に考える曲者集団なのです。毎週木曜日の12時30分から始まる例会は、ロータリーソングから始まり四つのテスト、その後オリジナルの体操（毎回SAAが担当者を指名、その担当者の即興で行う。）、体操が終わったら



全員と満遍なく握手。一緒に食べる昼食は、雑談が飛び交いたまに吹き出しそうになることも。とにかく日本一メーキャップがしやすいクラブです。事業活動では、千葉ガバナーにもお伝えしましたが、今後ロータリー補助金を利活用し地域内の小学校や福祉施設等に、教育器材や健康福祉に役立つ機材を配給できるよう計画実行したいと思います。また、今年度のクラブ運営の中で、ほかにも大町クラブの特性を生かせる事業活動がないか模索したいと考えます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎西RC 8月27日(火)

会長 許斐 義彦 幹事 嶽本 幸次

2019年8月27日(火)、長崎西ロータリークラブのガバナー公式訪問が行われ、千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、松田洋一副幹事の3名にご来訪いただき、無事に終了しました。御訪問ありがとうございました。また、色々とお指導、アドバイスをいただき、今後の運営の糧にしたいと思っております。

さて、千葉ガバナーから、ガバナー月信にはクラブの特長ある活動内容等を上げて欲しいとのご要望でしたので、2点ご紹介いたします。

①児童養護施設マリア園への毛布クリーニング活動

長崎西RCの奉仕活動として1986年から30年以上続いており、当初は、当クラブの三宅敏彦会員（クリーニング業）が、施設の子供たちのために何か役にたつことをと考え、スタートいたしました。きれいにクリーニングされた自分の毛布を見つけ大喜びする子供たちを見ること、暖かい毛布に包まれて眠る姿を思うことが、会員にとっても喜びとなっております。毎年寒くなる前の9月の朝、多くの会員が集まり毛布を施設から集配の車に乗せます。そして、クリーニングが終わった午後からもまた会員が集集し、車から施設へお渡しすることを続けています。施設のスタッフや子供たちも一緒に手伝い和やかな雰囲気の中、最後に感謝の言葉をいただくと、また来年も頑張ろうと心からそう思います。



②桜の植樹

社会奉仕委員会の継続事業で地域社会の環境保全を趣旨とし、1996年に風頭公園に50本の桜を植樹。それから毎年1本から2本の桜を植え、春に市民や観光客に喜んで貰おうと、長崎市内の風頭公園、平和公園、唐八景と場所を移し植樹してきました。また、今年の3月には当時の会長の“船からも花見ができれば”という思いで高島に10本の桜を植えることになりましたが、離島に桜を植える場合、海岸でも育つ樹の選定から場所の確認などで大変苦労しました。しかしながら、春に高島で満開の桜が見られることを考えると心が躍り、これからも継続していきたいと思っております。

以上、奉仕活動のご紹介をさせていただきました。



諫早RC 8月30日(金)

会長 酒井 明仁 幹事 村田 好隆



今年度60周年を迎える諫早RCでは、周年記念式典開催準備の他、国交省や諫早市の協力を得て、2018年～2020年まで3年間かけ、諫早永昌宿－湯江宿間にて、訪ね歩く人々の道案内の導きとなる「多良海道案内看板設置事業」に取り組んでおります。そんな当クラブで、8月30日(金)千葉憲哉ガバナー、柴田元信第8Gガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

当クラブの活動報告要旨は前もってご覧の上すでに隅々まで把握されており、クラブからの現況報告もさておき、まずはガバナーの地区運営への熱い思いをお話になりました。クラブロータリーでのアンケート調査の結果、当クラブと同じ様な、他の老舗クラブに散見される「クラブに受け入れられていない」という退会予備軍が1名もいないという意外さ、諫早RCのメンバー間の強い結束力にとっても感心しておられました。アンケートの「改善項目」をキチンと取り組みチェックしていくことにより、そのクラブの問題点や改善点（CLP）が見えてくること、さらにはクラブに戦略委員会を設け、改善項目を明らかにすることにより目標が出来、それらがクラブの活性化につながり、ひいては会員数の増加と健全なクラブ運営につながっていく。全国の中でそういう変革の事例が出てきているクラブが複数あると教えていただきました。

例会は昼食の諫早の『鰻－うなぎ』を、訪問の皆様と当クラブメンバーでいただきつつの交流・懇親となりました。ガバナー卓話ではプロジェクターを用いて、ガバナー自らが当クラブメンバーと向かい合い、地区運営方針等を説明をされました。規定審議会について、クラブ内で是非討論をして、もっと声を上げていこう、それぞれのクラブの意見にこそ、RIを変革していく力があるのだという千葉ガバナーの情熱と親近感が伝わった卓話となりました。



まだ当分暑さが続くかと思われませんが、お身体に充分ご留意され無事に公式訪問を終了されることをご祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎中央RC 9月2日(月)

会長 高田昌一郎 幹事 渡邊 芳明

9月2日(月)の第1267回例会に、千葉憲哉ガバナー、小野原卓嗣第10グループガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

例会前に千葉ガバナー、小野原ガバナー補佐、大石地区幹事に、当クラブの会長、会長エレクト、幹事、副幹事を交えて懇談会が行われました。ここでは、当クラブに関し、アンケートの結果から、公共イメージに関する活動が弱い、クラブに必要とされていないと感じる会員がいなかったことは良いことであるとのこと指摘をいただきました。また、委員会構成がCLPに沿っていないが、クラブがやりやすいように構成すればよいのであり、気にしないでよいとお話もありました。また、戦略計画委員会の設立に関してガバナーからお尋ねがありましたが、当クラブは現在、戦略計画委員会の設立に向けてワーキンググループを立ち上げた旨ご説明しました。さらに、2021~2022年度のガバナーを当クラブの塚崎寛会員が拝命したことに関し、その準備等々に関してアドバイスをお願いしたところ、ガバナーからもガバナー補佐からも大変有意義な、心のこもったアドバイスをいただきました。

例会では、アンケート結果をもとに作成された当クラブ専用のスライドを使用して、ガバナーに卓話をしていただきました。ロータリークラブの本質にかかわる、一歩も二歩も踏み込んだ内容に、会員は熱心に聴講していたと思います。

ガバナーの公式訪問に感謝いたしますとともに、ガバナーはじめ、地区役員の方々の今後の益々のご活躍を心より祈念申し上げます。



2006年より毎年秋に実施している
ホースセラピー体験会の写真です



佐世保西RC 9月3日(火)

会長 鴨川 潔 幹事 酒井 英士

9月3日に千葉憲哉ガバナー、法師山真人ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

懇談会では、当クラブ会員満足度アンケートについての検証を頂き、当クラブの強みや他のクラブの現状を教えてくださいました。会員増強や退会防止について、女性会員を増やすことの効果や会員相互の親睦を深めることの大切さなどの意見交換もあり、和やかな雰囲気での非常に有意義な会となりました。西クラブの良さが少しでもお伝えできていたら幸いです。

例会では、ロータリークラブの歴史や原点・目的や、今の時代に合わせた活動など、パワーポイントと資料をもとにガバナーの分かりやすいご講話を拝聴し、ロータリーについて改めて学ぶことができました。

この機会をクラブの活性化につなげたいと思います。

千葉ガバナーをはじめ、ご来訪いただきました皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



有田RC 9月3日(火)

会長 西山 保広 幹事 益田 保彦

9月3日「保名」にて、千葉憲哉ガバナー、平岡清宏ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお招きし公式訪問例会が行われました。

例会に先立っての懇談会では、千葉ガバナーより当クラブの問題点や方向性等明確なアドバイスを頂き、今後のクラブ運営に大いに役立つものになりました。

今回当クラブでは数年ぶりの懇親会を含めた夜の公式訪問例会ということで色々と心配していましたが、千葉ガバナーの分かりやすくユーモアに溢れた例会卓話をはじめに、懇親会でも和気あいあいとした雰囲気の中で無事終了することが出来ました。

有田RCにおいては、当地出身で日本人として初のロータリアンである福島喜三次翁の功績を顕彰し、今から53年前の創立5周年記念事業として福島奨学資金が創設されました。喜三次氏の座右の銘は「利他即自利」(自分も幸せになり他人も幸せにする)これはロータリーの精神に共通するところがあります。この志に則り歴代会員の拠出金による恒久的事業として青少年の人材育成支援の為に長年にわたり寄与し、多くの有為な人材を送り出しています。

そして今年度、会員個々の企業がより元気になり、会員同士の友情を深め、力を合わせてよりよい社会を目指していく上にも、会員の増強は不可欠なものであるとし会員純増5名を重点目標としています。



長崎南RC 9月4日(水)

会長 松尾 友平 幹事 谷川 任宏

令和元年9月4日(水)にANAクラウンプラザホテル長崎グラバービルにおいて国際ロータリー2740地区千葉憲哉ガバナーをお迎えして公式訪問例会を行いました。

長崎南ロータリークラブは長崎南ロータリークラブ杯として長崎県中学・ジュニアラグビー(7人制)大会を、すでに11回開催しています。去年は14チームが参加、ロータリーメンバーは20名参加しました。今年も第12回を令和元年9月16日(月)に開催する予定です。

又、今年は創立55周年の節目の年で、令和元年9月26日(木)に創立55周年の記念式典を開催する予定です。

また、広島東南ロータリー様のご協力依頼により「広島・長崎爆心地中間点上毛町—未来へつなぐ平和の架け橋」事業を行うことになりました。

福岡県築上郡にある上毛町の大池公園に原爆樹木の植樹を、広島市、長崎市、上毛町、広島東南ロータリークラブ、豊前ロータリークラブ、長崎南ロータリークラブが協力して行うものであります。

広島と長崎は被爆都市として核廃絶や平和推進に関する不断の努力を続けています。両市の爆心地の中間点に両市の被爆樹木の苗を植樹した記念スペースを設け、新たな平和の拠点とするものです。

平和の拠点が広島市と長崎市の2つの点だったものを、爆心地の中間点である上毛町を新たな拠点とすることで線になり次に面にしていくというものです。

9月21日(土)に植樹と記念式典を上毛町で広島市長、長崎市長も参加して行う予定です。



ガバナー公式訪問クラブ報告



多久RC 9月5日(木)

会長 江里口尚子 幹事 古川 英敏

9月5日(木)、千葉憲哉ガバナーをお迎えし、公式訪問例会を開催しました。折しも8月28～29日の九州北部豪雨から1週間しか経っておらず、クラブの中にも被災した会員が7名程おりました。そんな慌ただしい中、とても緊張しながら当クラブ会長・幹事・エレクトとの懇談会を行いました。ロータリークラブの原点をととてもわかりやすく説明していただき、目からウロコの感覚でした。

ロータリーのFive steps

1. 例会への出席
2. 親睦（本音で相談できる固い友情を持つこと）
3. 「奉仕の理念」の実践（他人のことを思いやり、他人の為に尽くすこと）ひいてはこれが事業で「儲ける」コツであること
4. 「4つのテスト」でチェックする
5. 5大奉仕の実践（社会に良いことをしよう）

このロータリー哲学「奉仕の理想」を実践し伝えて新しい会員さんの退会防止をしていかねばと強く思った次第です。

アンケート結果からみえる当クラブの弱点も教えて頂き、ガバナーの気さくで優しいお人柄にも触れられた実のある例会でした。

ガバナー月信のガバナーズメッセージに書かれた「74回目の長崎原爆の日と思う」はとても感動し、会長の時間にご披露させていただきました。この多忙な一年間、御身体を大切に無事に過ごされますよう当クラブ一同お祈り申し上げます。

最後に、当クラブの活動を少しご紹介します。

火災予防を呼び掛けるチラシ（市内全戸配布）の贈呈は31年、市内小・中学校への図書贈呈は12年続けております。図書贈呈は、活字離れが加速する現代において少しでも本の魅力を取り戻せるきっかけになればという思いからでした。市の教育長から「非常に有難い。子供達が好きな本を購入できるので図書室へ来る子供達が増えました」とのお言葉を頂きました。子供達は感謝の手紙や色紙と共に、可愛い笑顔と温かい心を届けてくれています。



太良RC 9月5日(木)

会長 竹下 泰信 幹事 高木 茂

残暑が続く9月5日(木)、千葉憲哉ガバナー、平岡清宏ガバナー補佐、大石竜基地区幹事、戸坂浩明武雄RC出席委員長の4名をお迎えして、太良RCに於いて公式訪問例会を開催しました。

例会を開催するに先立ちまして、千葉ガバナー他3名と当クラブの会長、幹事、会長エレクトの7名で、当クラブ運営方針、目標、活動状況の概要などを説明いたしました。例会は会員10名全員が出席する中、担当部門の活動状況や運営方針等の概況を報告しながら、意見交換を行いました。

千葉ガバナーの卓話では、ガバナー作成の太良RC公式訪問資料を基にプロジェクターを使って、ロータリーの哲学、アンケート調査結果の説明、地区方針の内容など分かり易く説明して頂き、有意義な公式訪問となりました。

また、当クラブがロータリー創立25周年にあたり、地元地域社会に恩恵と重要な活動を実施してきた、ということでマーク・ダニエル・マローニーRI会長から感謝状を頂きました。

当クラブの会員は10名と小さなRCですが、これまで同様、和やかな雰囲気の中、会員の親睦は勿論のこと、他クラブとの親睦もより一層深め、地域に奉仕するロータリー方針を胸に充実した格調高い運営に、全員で努めていきたいと思っています。

これからも、第2740地区のみなさまの活躍を祈念申し上げ、今後ともよろしくお願ひいたします。



有田ロータリークラブとの合同例会

ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎出島RC 9月6日(金)

会長 今村 茂雄 幹事 山口 孝司

令和元年9月6日に千葉ガバナー、小野原ガバナー補佐、大石地区幹事、松田地区副幹事をお迎えして第2740地区第10グループ最後のガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち、懇談会では前年度実施した「会員満足度アンケート」についてガバナーご自身で分析された当クラブの現況などの説明が盛り込まれた、公式訪問例会用の資料（例会時に全会員に配布しました）が用意され、それに基づくご指導をいただきました。

また当クラブが継続して実施している県内の児童養護施設で暮らす子供達を対象とした「長崎県児童養護施設 スポーツ・レクリエーションフェスタ」などの奉仕活動への取り組みや、クラブの公共イメージ向上のため、今年度作成



するパンフレット（新会員増強ツールとしても使用）なども説明し、ご意見をいただきました。



公式例会では、公式訪問例会資料を基にロータリーの歴史や現況なども分かりやすく話していただきました。内容はとても分かりやすく、新会員にも充分理解出来る卓話でした。

今年度も会員にとって楽しいクラブとなるように努めて参ります。



大村東RC 9月9日(月)

会長 中尾 光吉 幹事 諸岡 雅子

令和元年9月9日(月)12:30～千葉憲哉ガバナー、比良孝蔵ガバナー補佐、大石地区幹事をお迎え致しましてガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会前の懇談会におきまして千葉ガバナー、比良ガバナー補佐より当クラブの活動計画、またアンケート結果についての感想やご意見等お話し頂いた中で、アンケート調査やグローバル補助金に関し当クラブは積極的に動かれていますと、お褒めの言葉も頂きました。ガバナーより今後もっとロータリー活動を外向けに発信して行くよう工夫してほしいとの事、SNSや新聞に掲載するなどのお話や、アンケート結果に基づいて今後課題となる点など、また例会の中では資料をもとに卓話をして頂きました。終始緊張感ある中、有意義な時間を過ごすことが出来ました。今年度中尾会長は基本方針の中に、マイロータリーへの登録を70%目標とされており、会員の皆様が登録することで足並みをそろえ、マイロータリーから得られるものを大いに活用し学んで頂きたいと願っております。現時点での登録は89%となっております。また掲載してある写真は今年度青少年事業の中で実地した城南高校での就職模擬面接の様様です。生徒たちの真っすぐな眼差しに私たちも真剣です。

もう1枚はロータリーデーに昨年実施したチャリティーグラウンドゴルフ大会で大盛況により今年度も10月24日実施予定です。参加予定人数は330名程度です。

千葉ガバナーに置かれましてはまだまだ地区内外の行事が目白押しだと思いますが、お身体に留意され今後のご活躍をお祈りいたします。



ガバナー公式訪問クラブ報告



鹿島RC 9月10日(火)

会長 森 千枝子 幹事 荒木 範光

2019年9月10日千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、平岡清宏ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。懇談会は会長、副会長、幹事、理事含め10名、多数の参加をお願いしました結果、活発な意見交換でありました。

千葉ガバナーは昨年12月に実施したアンケート結果に、クラブの問題点が潜んでおり、今後のクラブ運営をつかさどる指標として、次回のアンケートの結果に改善された結果が出てくることを望まれ、また、クラブ運営には懇親（酒飲み会でない）が必要と力説され、会員同士の触れ合いを多くする事で、退会防止にもなるし、お互いの信頼が深まり、ロータリー活動に魅力を感じるようになりますと申されました。

その後、当クラブでロータリークラブは単年度制であるがゆえの欠点もあるので、中長期の継続活動につなげていくため長期戦略委員会の設置を望む声が出てまいりました。

今回掲載している写真は、8月20日地元県立鹿島実業高校生徒の模擬面接会の模様です。今回で20回目を迎える事になりました。

生徒60名をロータリーメンバーの面接官15名が5グループに分かれ、本番を間近に控えた生徒との実践的な模擬面接を行います。この行事は、生徒だけの為だけでなく、メンバー自身にも貴重な勉強の行事となっております。生徒全員が希望先に就職できたらと願うばかりであります。



佐世保東南RC 9月11日(水)

会長 徳住 勉 幹事 吉田 大

9月11日(水)午後12時30分より佐世保東南ロータリークラブの例会場「ハウステンボスホテルオークラ」にて千葉憲哉ガバナーの公式訪問が開催されました。

例会に先立ち、千葉憲哉ガバナー、岡田金助ガバナー補佐、大石竜基地区幹事と当クラブ徳住会長、吉田幹事との懇談会を行い、当クラブの問題点や課題について適切なアドバイスを頂くことができ、実りある懇談会となりました。

これまで当クラブの会員は、ロータリークラブの事を「点」では理解していたと思いますが、今回の千葉憲哉ガバナーの卓話で「線」で繋がったと感じる事ができました。特に、「職業奉仕」の考え方・あり方については、当クラブ内でも見直す必要があることを痛感いたしました。

この学びをさらに実践すべく、今後のロータリーの活動に邁進していきたいと感じたガバナー公式訪問でした。千葉憲哉ガバナーの熱心なアドバイスに徳住会長はじめ会員一同が様々な刺激を受けました。有り難うございました。





ガバナー公式訪問クラブ報告



大村北RC 9月11日(水)

会長 鹿取 栄治 幹事 浦田 直彦

大村北ロータリークラブでは、令和元年9月11日、千葉憲哉ガバナー・比良孝蔵ガバナー補佐・大石竜基地区幹事に御来訪頂き、公式訪問例会を開催いたしました。ガバナーの卓話ではロータリーの原点・創成期の話等、分かりやすく説明していただきました。特に、我がクラブは、5年ほど前、大量の会員の退会ということがあり、会員数16名での活動の期間がありました。

当時の会長は、解散も視野に入れての就任を引き受けたとの話も聞いております。現在は、復帰組も含め10名増員し何とか大幅減少以前までの人数に戻り、今年度中には、安定して活動できる30名を目指したいと思っております。

会員の熱心な会員増強により、若い会員が増えており、ガバナーの卓話は非常に有意義であったと思っております。

当日は、夜の例会で行われ、時間延長もあり最後までロータリー談義に盛り上がりました。特に、千葉憲哉ガバナー・比良孝蔵ガバナー補佐・大石竜基地区幹事には、2次会までお付き合いいただき有難うございました。



雲仙RC 9月14日(土)

会長 七條 健 幹事 佐藤 誠

雲仙国立公園にも秋の気配が感じられ少し肌寒い9月14日土曜日、千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、松田洋一地区副幹事をお迎えして公式訪問例会を開催しました。

例会前の懇談会では、当クラブの現状報告及び運営方針、活動計画等の説明をさせていただきました。

その中で七條健会長（雲仙クラブチャーターメンバー）の考えられるロータリアンとは、千葉憲哉ガバナーの考えられるロータリークラブとは、について深い内容で対談され、充実した懇談会となりました。

千葉ガバナーによります卓話では、ロータリークラブの原点・互惠・親睦・歴史・ロータリークラブとライオンズクラブの違い等について、わかりやすくお話をさせていただきました。

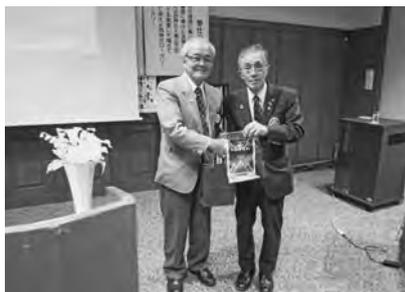
千葉ガバナーは真剣にロータリークラブを変化、活性化、つながる、育てる、伝える事の重要性を強く発信されました。私たちはその思いを心から受け取り感銘を受けました。

本当に気付かせて頂き、心よりお礼を申し上げます。

当雲仙ロータリークラブは今年度50周年を迎えます。

『奉仕して報いを求めず、受けて恩を忘れず』の精神で奉仕活動に邁進致します。

千葉憲哉ガバナーはじめ、地区役員の皆様には健康に留意され、益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。公式訪問例会の報告とさせていただきます。



ガバナー公式訪問クラブ報告



神埼RC 9月17日(火)

会長 福山 和彦 幹事 藤村 敏江

残暑厳しい令和元年9月17日(火)に千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、山崎唯之ガバナー補佐（当クラブ所属）をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち御三方と福山会長、野田会長エレクト、私で懇談会を行い、千葉ガバナーより公式訪問資料に基づき、ロータリーとは何か、アンケート調査の結果で我がクラブの問題点、今後取り組むべき方向性をお示し頂きました。

また、我がクラブが長年取り組んでいる少年の居場所づくり活動に対して実に良い活動だから今後も続けて欲しいという嬉しいお言葉を頂戴致しました。

例会では、我がクラブ恒例、参加者全員との握手で千葉ガバナー・大石地区幹事に歓迎の意を表し、好意と友情を深めました。

手前味噌ではございますが、我がクラブが団結していると言われる所以は、この握手にあると私は思っております。例会に出席して一言も話さずに帰る事は、我がクラブでは決してありません。会員同士が、笑顔で挨拶を交わし握手する。これぞ、例会に出席する最大の魅力だと自負しております。

これをご覧になった他クラブの皆様のメーキャップお待ちしております。

以上、公式訪問クラブ報告とさせていただきます。



小城RC 9月18日(水)

会長 田中 博起 幹事 中島 信哉

チャレンジしよう！の目標の下、出席したくなる例会を模索している私たちのクラブは現会員数31名、6年間で3分の2が入れ替わりました。40代、50代の会員が増えて例会の雰囲気も自由度が増して、良く言えば和気あいあいのクラブですが、出席率は60%～75%程度で推移しています。

千葉憲哉ガバナーからは、「2740地区を変えたい！」という熱い思いとともに、クラブ活性化の手段として、アンケート調査の自己分析（クラブ毎に）、戦略委員会の設置、隣接クラブとの交流の促進、ファシリテーションメソッドでの例会運営等のアドバイスをいただきました。

また、「四つのテスト」の意味を正しく理解して唱和すること、当クラブ独自の奨学生制度、青少年サッカー大会の主催及びロータリーデーのイベント（ア・カペラコンテスト）等、多様な活動に際して地区補助金の活用を促されました。

今後もロータリー活動の原点とは何かを探求し、ロータリーの目的＝奉仕を通じて「奉仕の理念」を実現すること、職業奉仕＝有償で自分の生業で「奉仕の理念」の実現を目指すこと、そのことで、会員ひとり一人がロータリアンとしての自己形成が出来るように努力したいと思っています。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐世保東RC 9月19日(木)

会長 橋口 正 幹事 坂口尉知朗

残暑もようやく和らいだ9月19日に、千葉憲哉ガバナーをお迎えしての公式訪問例会を開催いたしました。当日は、岡田金助第6グループガバナー補佐・大石竜基地区幹事にもご同行いただきました。例会に先立ち行われました懇談会では、クラブアンケート調査に基づく当クラブの運営状況について意見交換を行い、当クラブの長所や欠点ならびに少人数会員での効率的な将来につながるクラブ運営方法について、的確なご指導をして頂き大変勉強になりました。又、千葉ガバナーの例会卓話もロータリークラブの基本理念である職業奉仕について、長崎弁を交えながらわかりやすい言葉でお話しされ、例会の時間がものすごく短く感じた大変有意義な例会となりました。

ガバナーより地区補助金のお話がありました。当クラブでは奉仕プロジェクト事業の一環として佐世保東RC奨学金事業を平成9年度から行っております。今年度は「食と農」の分野を専攻する学生への教育支援と交流プロジェクトとして、長崎国際大学の学生へ奨学金の支給を行っております。これも地区補助金の支援のおかげで成り立っている事業でございます。又、当クラブ会員と奨学生との交流も楽しく、子供たちの将来につながる事業ですのでこれからも継続していく所存でございます。

ご来訪にあらためて感謝申し上げるとともに、今後のご健勝を祈念し報告と致します。



牛津RC 9月20日(金)

会長 栗原 賢司 幹事 藤田 征巳

9月20日(金)12時30分より、セリオ2階コミュニティホールにて、千葉憲哉ガバナー、白石公太郎第1グループガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を行いました。千葉ガバナーより、ロータリークラブの原点から今のロータリーへの変化について解りやすくお話して頂き、大変有意義な例会となりました。ありがとうございました。

さて、牛津ロータリークラブの特徴として、親睦活動は欠かせないものとなっております。クラブ会員だけでなく、会員の家族も参加できるゴルフ会、夏の家族旅行、クリスマス会、またご夫人方に日頃の感謝の気持ちを込め、毎年2月頃に夫人のつどいを行っております。写真は昨年の夫人のつどいで、山口県下関市の春帆楼に行った時のものです。

また、もう一つの特徴として、地元に着した地域貢献の活動を行っており、牛津ロータリークラブは、今年度新たに2つの事業を行います。1つは、子供育成の一環として、小城市役所と相談し、砥川保育所の除草作業。その後、地域のボランティアの方と、参加型の大道芸で交流する予定です。もう1つは、小城市牛津町に在ります、保健福祉センター アイルの植樹整備です。

会長・幹事懇談会では地区補助金プロジェクトのお話もして頂き、こちらについては今後の奉仕活動のために是非活用させて頂ければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



ガバナー公式訪問クラブ報告

**佐賀空港RC** 9月25日(水)

会長 小山 淳也 幹事 江口 和味

8月28日、水曜日は千葉ガバナーの公式訪問日でした。前日までに準備万端、よし明日に備えようと思った矢先、前日からの佐賀地方を襲った集中豪雨により、佐賀市内～小城市内～大町町～武雄市内は大規模な冠水による大水害に遭いました。

交通機関もすべてストップしパニック状態でした、ガバナー事務所より連絡あり佐賀まで行ける状態じゃないとの連絡がありました。

結局、9月25日(水)に延期になり千葉ガバナー、大石地区幹事、山崎ガバナー補佐に來訪いただきました。例会開催前に当クラブの小山会長、江口幹事、塚本会長エレクト、との懇談会があり、アンケートの調査結果に関する件では全体的において、アンケート調査は100%の全員参加であった、18名と少ないクラブであるが、総合評価はB評価で会員同士の親睦度も高く良好な運営ができていますと、調査報告をいただきました。

改善項目の中の社会貢献を次年度は改善し更に高めていく必要があるとのお話もいただきました。

例会での卓話ではパワーポイントを使ってのわかり易く、堅苦しくない説明でした。

今後、当クラブのいくつかの改善点と更なるクラブの理想像、会員の理想像を高めていく必要があると思いました。大変有意義な時間で約40分間の卓話も短く感じました。またロータリー活動への意識が高まりました。

ご訪問有難うございました。これからも当クラブも様々な活動に力を入れていきます。

**松浦RC** 10月2日(水)

会長 本吉 直之 幹事 武内 勝正

台風18号が接近する恐れがあった10月2日(水)松浦シティホテルに、千葉憲哉ガバナー、法師山ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、会長、幹事(会長エレクト)と懇談していただき、クラブの特徴や長年継続している奉仕活動も毎回工夫し地域の皆さまから喜んでいただいていることをご説明し、評価していただきました。

例会では、当クラブ恒例の握手の時間で、会員全員とふれあいながら挨拶をしていただき、卓話ではクラブを更に活性化させるポイントや地区補助金の有効活用について、わかりやすくお話しいただき有意義な時間となりました。

地区大会が盛大に開催され、ガバナーの益々のご活躍とご健勝を祈念してクラブ報告とさせていただきます。





2019年8月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	3	81.6	74	5	74	5	0	1	-1	0
	小城	3	60.2	30	2	31	3	0	0	0	1
	牛津	3	85.2	30	0	34	1	1	0	1	4
	多久	4	75.2	38	5	38	5	0	0	0	0
	佐賀大和	3	74.0	26	6	26	6	0	0	0	0
	小計		75.2	198	18	203	20	1	1	0	5
第2グループ	佐賀西	3	69.8	38	2	38	2	0	0	0	0
	佐賀北	2	66.3	45	1	46	2	0	0	0	1
	佐賀南	3	69.4	38	4	41	4	1	0	1	3
	神埼	2	87.3	37	4	37	4	0	0	0	0
	佐賀空港	2	66.6	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		71.9	176	12	180	13	1	0	1	4
第3グループ	有田	2	73.3	28	0	30	1	1	0	1	2
	武雄	3	92.3	56	5	56	5	1	0	1	0
	鹿島	2	93.8	34	4	33	4	0	0	0	-1
	嬉野	4	91.3	26	2	26	2	0	0	0	0
	大町	3	75.5	11	0	15	0	0	0	0	4
	太良	4	92.5	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		74.1	165	11	170	12	2	0	2	5
第4グループ	唐津	3	97.0	61	0	62	0	0	0	0	1
	伊万里	3	87.2	29	0	29	0	1	0	1	0
	唐津東	4	90.4	50	0	50	0	0	0	0	0
	唐津西	2	82.5	34	0	35	0	0	0	0	1
	伊万里西	4	96.7	41	0	42	0	0	0	0	1
	唐津中央	4	82.5	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		89.4	252	3	256	4	1	0	1	4
第5グループ	佐世保	2	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1
	平戸	4	74.8	29	2	29	2	0	1	-1	0
	北松浦	3	87.0	25	0	25	0	0	0	0	0
	佐世保西	2	84.8	24	4	24	3	0	0	0	0
	松浦	2	85.7	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		86.5	182	7	185	6	0	1	-1	3
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	62	0	0	0	0	0
	佐世保東	4	81.2	23	0	24	0	0	0	0	1
	佐世保北	3	100.0	40	2	40	2	0	1	-1	0
	佐世保中央	4	85.9	46	1	47	1	0	0	0	1
	佐世保東南	2	61.5	39	0	40	0	0	0	0	1
	HTB佐世保	2	82.3	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		85.2	233	5	236	5	0	1	-1	3
第7グループ	大村	2	85.2	48	4	49	4	1	0	1	0
	島原	2	68.4	30	2	30	2	0	0	0	0
	雲仙	4	84.4	14	0	14	0	0	0	0	0
	大村北	3	87.5	24	1	26	1	2	0	2	2
	島原南	3	65.0	25	0	25	1	0	0	0	0
	大村東	3	83.9	37	3	37	3	0	0	0	0
	小計		79.1	178	10	181	11	3	0	3	2
第8グループ	諫早	4	81.8	72	0	75	0	0	0	0	3
	諫早北	4	81.5	74	4	74	4	0	0	0	0
	諫早西	3	95.4	45	0	45	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	93.2	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	1	86.7	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		87.7	237	12	243	13	0	0	0	6
第9グループ	長崎	4	86.3	74	0	73	0	0	2	-2	-1
	福江	4	81.8	33	0	35	0	2	0	2	2
	長崎北東	2	81.3	41	3	41	2	0	0	0	0
	福江中央	2	89.5	21	0	21	0	0	0	0	0
	長崎西	2	84.6	43	1	44	1	0	0	0	1
	長崎琴海	2	66.7	11	0	11	0	0	0	0	0
	小計		81.7	223	4	225	3	2	2	0	2
第10グループ	長崎北	3	79.4	80	0	78	0	0	0	0	-2
	長崎南	3	80.2	72	0	73	0	0	0	0	1
	長崎東	4	69.1	40	2	40	2	0	1	-1	0
	長崎みなと	3	91.4	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	3	94.5	55	0	55	0	0	0	0	0
	長崎出島	4	82.6	71	12	72	12	1	0	1	1
	小計		82.9	348	15	348	15	1	1	0	0
56クラブ合計			81.3	2,192	97	2,227	102	11	6	5	34

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年8月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々を
ご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方の
ご紹介は、次号に掲載させていただきます。



有田 R C
碓 敦司 君
DM AUTO
代表



有田 R C
王子 直子 君
社福)浄土福祉会あかさかルンビニー園
園長



牛津 R C
深川そよか 君
(一社) YOKA-By
代表理事



佐賀南 R C
岩谷 正彦 君
アイシス(株)
代表取締役



武雄 R C
片瀬 克明 君
九州ひぜん信用金庫
本店営業部長



伊万里 R C
山崎 洋一 君
伊万里信用金庫
常勤監事



大村 R C
山口 稔 君
長崎空港ビルディング(株)
取締役



大村北 R C
音成 征彦 君
(株)マツヤ工業
代表取締役



大村北 R C
長津 弘 君
長津眼科医院
勤務医



長崎出島 R C
古村 一也 君
(株)日本旅行長崎支店
支店長



物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



佐世保北RC

森 豊 君

(享年70歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	菊地 廣行	大村北
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	嶋崎 真英	長崎
	岡田 康信	長崎中央
	有田 信一	長崎中央
ポール・ハリス・フェロー	鶴田 征宏	佐世保南
ポリオ・プラス	木村 公康	佐世保
	作元 誠司	佐世保南

米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名
米山功労者 メジャードナー	川野 恒雄	諫早北
米山功労者 マルチプル	高原 武彦	有田
	森 栄一郎	諫早北
	岡田 康信	長崎中央

No.1

JICA海外協力隊

マダガスカル通信

Vol.5



ホテルの壁で発見!



発行/2019年9月30日 発行者/酒井 貴子 (2018-2019年度 ロータリー-財団奨学生)

フィアナランツァ (Fianarantsoa) へ行きました!

初めての旅行でフィアナランツァへ♪

協力隊員は任地に赴任してからの3か月間、現地での生活に馴染むことを目的に原則他の地域への移動が禁止されています。そのため、私も5月に赴任してから8月まではアンブシチャから出ることができませんでした(勉強会という名目で3日間だけ出ましたが)。しかし、9月に入りようやく国内外を自由に移動できるように!というこで、初めての旅行として先輩隊員と一緒にフィアナランツァへ行ってきました。フィアナランツァは私の任地アンブシチャからさらに南下した所にあり、タクシーブルースと呼ばれるぎゅうぎゅう詰り乗合いバスで4時間半ほどかかりました。フィアナランツァはワインや紅茶の生産が盛んであり、街自体はアンブシチャよりかなり大きく発展していました。しかし、都市に多く見られるように道路脇にゴミを捨てたり排せつしたりすることもあり、かなり衛生環境が悪そうな場所もありました。



左:高台からの景色。
右:アンブシチャからフィアナランツァまでの地図。乗り合いバスだと実際は4時間半ほどかかりました。

この旅行は3泊4日で、フィアナランツァを拠点に周辺の自然公園を回り、動物を見たり雄大な景色を見ながらハイキングしたりしました。色々回ったのですが、特に私が楽しかった、感動した点にポイントをしぼってお伝えしたいと思います。



おまけ①:道中見つけたフルーツ屋さん。右のフルーツは右下のような赤いフルーツで、果肉はとでもすっぽく、種は嚼むとショウガのような刺激的な味でした! 洗腸の原料として使われているそう!

Parc Anjaでワオキツネザルを間近に!

私がまずとても感動したのは、Parc Anjaという自然公園です。フィアナランツァから1時間ほどの場所にあり。あまり有名な場所ではないのですが、ここで思いがけずたくさんの野生のワオキツネザルをかなり間近で見ることができました。木の背丈が低く葉が生い茂っていないため木の上のサルが見えやすかったのです。また、地面で主食の木の实を食べているサルもかなり近いところから観察できました。



左の写真はお腹に赤ちゃんが!下は主食である木の实を食べているところ。

この公園内には約300頭のワオキツネザルが生息しています。他の自然公園ではこんなに近くで見られることは珍しいようで、かなりの穴場でした。さらに公園内にはカメレオンも多数生息しており、ガイドさんが捕まえてくれて実際に触ることもできました。



雄大な自然に感動!

その他、感動したことはやはり雄大な自然です。マダガスカルには巨大な岩山が多く、Parc Anjaでもその後訪れたTsaranoroという谷でも雄大な景色を見ることができました。



Parc Anja:マダガスカルならではの田園とツボレーン。



Tsaranoro:木があまりなく、ぶつ切った岩山が美しい。

Tsaranoro:この土山はアリ塚で、この中に蛇を誘き入れて穴を閉じ、出れないようにして食べるそう。アリが蛇を食べるとい話にびっくりしました。アリの大群が蛇を擁護するそう。



Tsaranoro:山の上には左のようにカメレオンの形をした岩がありました!写真では頭と少し胴体が見えます。

一方で今回旅して思ったのは、マダガスカルは本当に木が少ないということです。薪を使って火をおこすことが主流であるほか、切った分を植樹することがないために、木がなくなってしまっているそうです。貴重な固有の動物たちを守るためにもParc Anjaのような自然公園は大切だと実感した旅になりました。

マダガスカルの固有種ホウシャガメ

マダガスカルの素敵な庭のあるホテルやお家にはよく写真のようなコンパクトなリクガメが飼われています。このカメは固有種ホウシャガメと言います。甲羅の模様特徴的です。乱獲などで絶滅の危機にあり、ワシントン条約によってマダガスカルからの持ち出しは禁止されています。しかし、海外では数百万円で取引されていることから現地で非常に安く購入しスーツケースなどで密輸する外国人が問題となっています。



今回の旅行で泊まったホテルにも。貴重なカメがこんな身近で飼われていてびっくり!

今期のPAPRIZ(中央高地コメ生産性向上プロジェクト)始まる!

各地の農村を回っています!

マダガスカルではもうすぐ田植えが始まります。それに合わせて私の配属先でも今期のPAPRIZ実施の準備が始まりました。9月はPAPRIZを始めるに当たって、同プロジェクトに参加したい農家を集めるための活動が行われました。車で実施する予定の農村に出向き、PAPRIZの説明を行い、農民たちの中から代表で研修を受け、その後農民に技術を教える役目をするトレーナーを4人選びます。私もPAPRIZについての理解を深めるために農村訪問に同行しました。さらに、今後、私自身栄養改善に関する活動を行いたいと考えているため、現地の女性団体とのつながりづくりも目的の1つです。

農村に行くための道は舗装されておらず、ひたすらでこぼこ道を四駆で上下左右にがんがん振られながら向かいました。以前、マダガスカルを舞台にした小説を読んだときにマダガスカルは道はトヨタの四駆でないと進めないという表現がありましたがそれを実感しました。訪問するための車は四駆ではありますが、窓にひびが入っているなどかなり古いもので、5人乗りのものに6〜7人詰め詰めで行きました。



農村に行ったら、車で村を一周しながらスピーカーで説明会を行うことを標榜で知らせました。



左の緑シャツの方が同僚農民にこのPAPRIZと今後の予定について知らせ、質問に答えています。

私もマイクを渡されたので、農民の皆さんの前で簡単な自己紹介を行い、それから今後栄養のある食事の紹介などを一緒にやりたいということを伝えました。まだまだ拙いマダガスカル語ですが、皆さん馬鹿にもせず、とても暖かく歓迎してくださり、本当にうれしかったです。また、同僚も私の言いたいことを補足してくれたり、本当に助けられました。



マダガスカルでは料理作りなどの家事を担っているのは女性のため、栄養改善活動において、女性への働きかけは必要不可欠となります。そのため、今回いろいろな農村に出かけ女性団体とご挨拶できたことはとても意義のあるものだったと思います。

農村訪問で気づいたこと

今回、農村に出かけたことで、かわいらしい子供たちにたくさん出会いました。みんな服はぼろぼろ、裸足でしたが、追いかけてこをしたりと、元気いっぱいでした。私がよく見ているアンブシチャの街の子供たちと比べてみて目立った違いは4〜5歳の女の子たちが、さらに小さい赤ん坊を背負っているということです。



この子たちはまだ就学する年齢以前なのかもしれませんが、この子たちが学校に行く年齢になった場合に、果たして子供の世話は誰がするのだろうかと思いました。以前、別の村に行ったときに学校には行かずに家事をしているという14歳の子供に出会ったことがあるのですが、そのような実態が田舎にはまだまだたくさんあるのだろうと思いました。



赤ちゃんを背負ったまま追いかけてこをして遊ぶ子供達。たくましい!

また、農村への道は本当にでこぼこだった上、主要な街までかなり離れている所が多く、そもそも栄養のある食材を手に入れること自体が難しいのかもしれないと感じました。実際に一つの村では以前に別の団体が同じように栄養改善の活動を行っていたのですが、道具がなさすぎて今ではなくなくなってしまったと言っていた女性もいました。また、セキュリティの問題もあります。私が一人で農村まで自転車で行きたいということを同僚に言うと、人殺しがいるからだめだ、特に私のような外国人はターゲットにされやすいと止められました。確かに田舎の方にはダハルという牛の窃盗集団がいるという話も聞きます。そんな中、街の市場まで食材を買いに行くということもおそらくとても難しいのだと予想されます。このように農村をめぐる中でマクロからミクロの様々なレベルでの要因が重なり合って栄養失調や貧困を形作っているという、大学院で学んでいたことの現実をまさに見ている気がします。インフラやセキュリティについてはボランティア人では対応できないレベルの問題であり、私が1人でできることはあるのかと考えさせられてしまいますが、ボランティアという立場だからこそできることがあると信じて前向きに取り組んでいきたいです。



おまけ②:フィアナランツァ旅行に乗ったこの車はマダガスカル唯一の車メーカー産で、1か月に2台しか生産できないそう。ローはマダガスカルらしく牛のシルエットでした。見た目がかわいくて気に入りましたが、乗り心地は…(笑)

国際ロータリー第2740地区 2019-2020年度地区大会

Program ○プログラム

2019年



11月8日 金

第1日目

会場 / L&L ホテルセンリュウ
長崎県諫早市永昌東町13-29

16:00~ ◎危機管理セミナー

18:00~ ◎歓迎晩餐会



11月9日 土

第2日目

会場 / 諫早文化会館
長崎県諫早市宇都町9-2

9:00~ ◎エクスカーション

10:00~ ◎大会4委員会・青少年のつどい

12:10~ ◎本会議第1部

14:30~ ◎地区大会記念講演
ケント・ギルバート氏

16:00~ ◎本会議第2部

17:30 ◎点鐘

一般公開
入場無料

会場 / ホテルグランドパレス諫早
長崎県諫早市宇都町3-35

18:30~ ◎記念懇親会



11月10日 日

第3日目

会場 / 長崎国際ゴルフ倶楽部
長崎県諫早市小ヶ倉町51

地区大会記念
親睦ゴルフ大会

スタート時間 7:30~



地区大会記念講演

ケント・ギルバート氏

11月9日 土 ◎14:30~ ◎諫早文化会館

一般公開
入場無料

1952年、米国アイダホ州生まれ、ユタ州育ち。71年、米ブリガムヤング大学在学中に19歳で初来日。75年、沖縄国際海洋博覧会の際にアメリカ館のガイドとして再来日。80年、大学院を卒業し法学博士号と経営学修士号、カリフォルニア州弁護士資格を取得。東京の国際法律事務所就職。83年、テレビ番組「世界まるごとHOWマッチ」にレギュラー出演し、一躍人気タレントとなる。近年は企業経営や講演、執筆活動も行う。

夕刊フジ連載「ニッポンの新常識」、読売テレビ系「そこまで言って委員会NP」、DHCシアター「真相深入り！虎ノ門ニュース」など。



ホストクラブ：諫早北RC コ・ホストクラブ：諫早RC / 諫早西RC / 諫早多良見RC / 諫早南RC

国際ロータリー第2740地区大会事務局 TEL.0957-46-3096

〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 諫早商工会館 302 号室 FAX.0957-46-3097 <http://www.d2740.org/>

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。



有明海の干潟

筑紫よ、かく呼ばへば

野呂 邦暢（作家）

東京から列車で九州へ帰って来て、筑紫平野へさしかかったあたりから、自分は故郷へ戻り着いたという実感を覚える。

光の色がちがうのである。肌に触れる空気のしっとりとした潤いを有明海周辺でなくては感じられないものであるような気がする。私にはそう思える。車窓から干潟が見え隠れするようになると、この感じがますます強くなる。

灰と銀色を主調に濃淡の茶褐色が入りまじって縞模様を織りなした軟らかい泥の拡がりを目にすると知らず知らず溜息を洩らす、とうとう帰って来たんだな、と思う。自分の土地である。短い旅行においてさえそうである。

編集後記

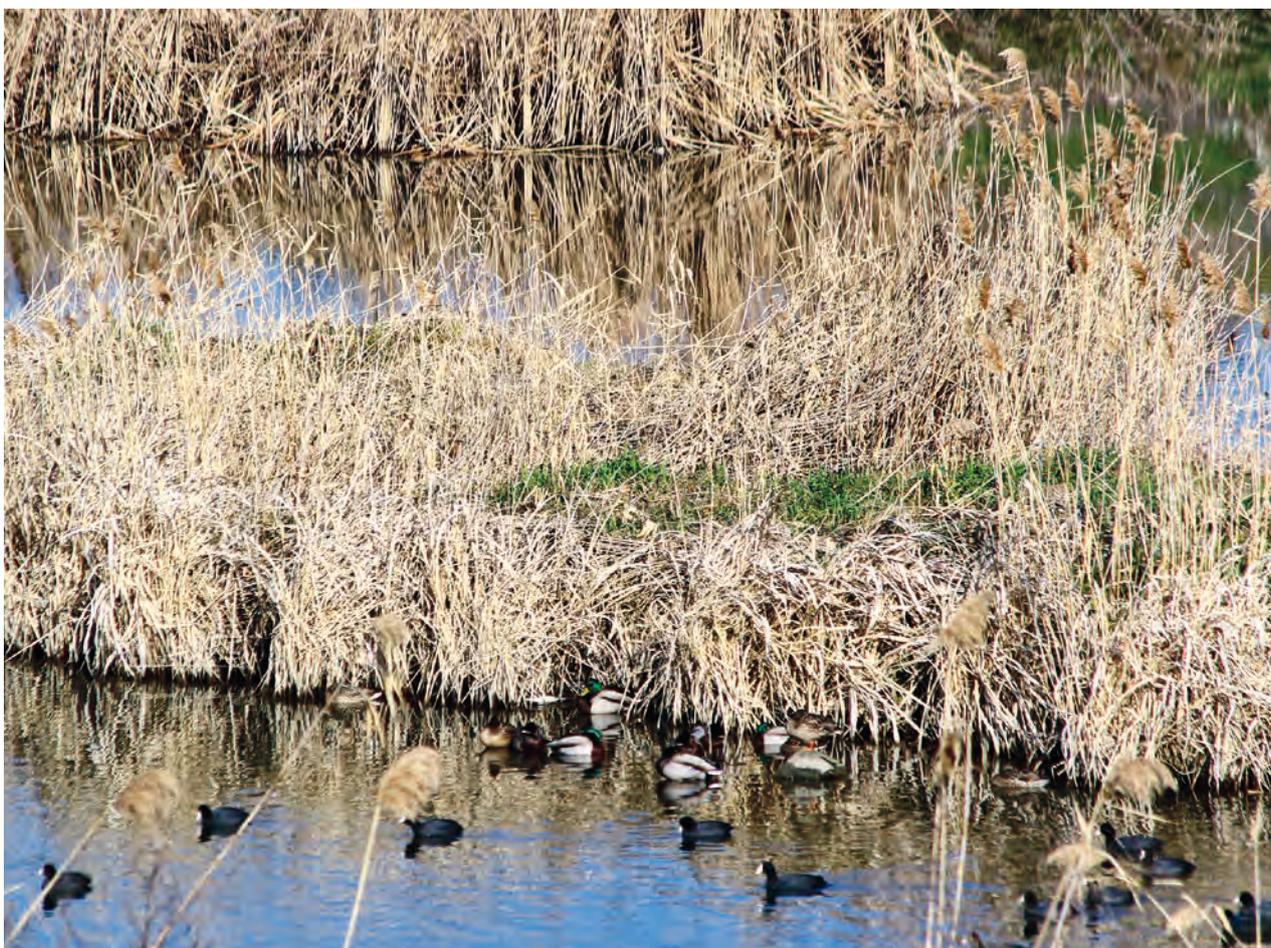
いよいよ8日(金)から3日間の地区大会が開幕する。

主管の諫早北クラブを筆頭に第8グループ全員でおもてなしをする所存である。

親睦ゴルフ大会はなんと150名のエントリーだ。

3日間懇親を深めたいものだ。

(雅)



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



Rotary

2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2019. 12

Vol. **6**



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

本明川上流の
水面は静まりかえり
立ち枯れの葦辺は
水鳥たちのねぐらに
冬の訪れも近い

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
ロータリー研究会&ロータリー財団地域セミナー報告	3
地区大会御礼	5
青少年に関する危機管理	6
I A 前期指導者研修会報告	7
4地区合同長崎くんちツアー報告	8
R財団グローバル補助金事業報告	9
米山の集い報告	10
ガバナー公式訪問クラブ報告	11
会員数・出席報告	17
新会員・寄付者紹介・文庫通信 [379]	18
国際大会のご案内	20
マダガスカル通信Vol.6	21
危機管理ポスター	22
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



地区大会を終えて

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

今月8、9、10日は第2740地区の地区大会でした。まずは多数のロータリアンや市民の参加に感謝申し上げます。

今年の地区大会は例年と違い、新しい試みをいたしました。地区目標がチャレンジ（変化、活性化、つなぐ、伝える）でした「チャレンジ」は全国の地区レベルに少しでも追いつこうという主旨です。

新しい試みは次のとおりです。

- ① 国際ロータリー会長代理を招聘しないこと。
- ② 地区大会を例年の地区大会のコピー&ペーストはやめる。ただし、基本は守ること。
- ③ 例年にないパネルディスカッションをすること。
- ④ 全会員をはじめ、他地区からの来賓、パストガバナー、ガバナー補佐、ロータリアンに大会参加の喜びを感じて頂くこと。
- ⑤ 地区大会が研修と親睦の場であること。
- ⑥ ホストクラブの皆さんのワンチームを達成すること。
- ⑦ エクスカーションで長崎・諫早・島原を堪能していただくこと。
- ⑧ 災害被災地にどのように向き合うか、行動するかということ。
- ⑨ 昨年実施されたハワイへの短期留学生の発表を実現できたこと。

などでした。

課題も多く残りました。

- ① 会長代理を招聘しないことは一つのinspireを失うこと。
- ② パネルディスカッションの内容を充実させるためには討論時間が不足していた事と内容の充実。
- ③ インターアクト、青少年交換学生、米山記念奨学生、ローターアクト、ローテックスについてプログラムを組むこと。
- ④ 佐賀・長崎であるから、平和・歴史など地区の特徴をプログラムに入れること。
- ⑤ 地元団体（商工会議所、ライオンズクラブ、国際交流協会、ソロプチミスト、社会福祉協議会など）との交流・連携プログラム。
- ⑥ 国内外の姉妹クラブの招待。
- ⑦ 財団、青少年、米山委員会の活動報告。
- ⑧ ガバナーとして大会をワンチームで運営してくれたスタッフへの感謝をどのように表現したらよいか？

今年は既存のプログラムを大きく変えました。パネルディスカッションの目的はアンケート調査で56クラブの問題点が明らかにされましたので、その対策を構築することです。今回の地区大会がそのきっかけとなれば幸いです。また、外部のガバナーの意見を拝聴できたことは貴重な経験となりました。オープニングから終了まで新しい試みをしたために、スタッフが最後までうまくいくか？ 心配しました。でも多数の会員の皆様が熱心に拝聴していただきました。そして考えて頂きました。皆様には地区大会に参加された意義があった事と思います。そして懇親会も盛会となりました。ロータリーは「まず、親睦」が実現したことはとてもうれしいことでした。

追伸）お願い；ガバナー事務所あてに大会出席の皆様の感想や反省点や批判等、是非お聞かせください。無記名でも結構です。



ロータリー研究会&ロータリー財団地域セミナー報告

ガバナー 千葉 憲 哉

神戸ポートピアホテルで2019年11月16日から19日まで開催されました。例年、R財団委員長・委員、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーを集めて、研究会が開催されます。R I 会長マーク・マローニー、TRF管理委員長ゲーリー・CKホアン委員長も出席し、ロータリー財団の現況と補助金、奨学生、VTT、ロータリー平和フェローについての説明と質疑応答。次いでロータリー研究会ではGETSと同時にロータリー財団現況、ポリオプラスの現況、R I 会長指名委員会報告、次いで、日本財団報告、米山奨学会報告、ロータリー文庫、ロータリー100周年編集委員会と実行委員会報告、2019年規定審議会報告、第15回日韓親善会議（仙台開催）報告、第7回日台親善会議案内（福岡開催予定）が主なスケジュールでした。他にガバナー会、RLIの会議が開催されました。

特筆すべき話題について説明します。

①2021年-2022年R I 会長「シュカール・メータ」氏（インド）が選出された。

②ガバナー会での協議事項

(1) 災害について

佐賀県の豪雨災害への多額の寄付金の配分方法は「**地区ガバナーへ一存する。**」

ガバナー会として「**配分方法や基金設立は行わない。**」

新しく決まったロータリー補助金（DDF、グローバル補助金）の利用の災害補助金については**現在、基金はゼロ円なので使用できない。**1回2万5千ドル、何度も追加請求可能。DDFの繰越金の転用は不可。

(2) ロータリー100周年記念事業（神田明神施設のロータリークラブの例会使用）に**会員一人1000円集める事**にガバナー会として**34人全員反対決議**

（理由）

東京RCの100周年と日本のロータリー100年祝賀とは区別すべき。

オリンピック開催時期に全国のクラブからわざわざ東京まで来て高い旅費と高い宿泊費を払ってまで東京で例会を開催するクラブは無い。東京都内のクラブしか使用しないであろう。

災害が続いている中、義援金が先であり、1000円も負担することに地方の会員は同意しない。

③2019年度規定審議会について

CEOの解釈が日本と米国は異なる。

ローターアクト年齢制限なしへ変更

日本は職業奉仕、フランスは環境問題、インドはロータリー役職ルールなど国によってロータリーへの期待度や要望が異なる。

ビジョン声明が変わる可能性はある。4つの優先項目について5年間は継続する。例会の大切さの解釈は米国と日本は異なる。

R Iからの発信された情報はどの段階でも会員に通知してよい。My Rotaryを丹念に開いてほしい。

④ローターアクトについて

1) ローターアクトの加入年齢の30才までの年齢制限が無くなったこと。（11月19日R I 決定）

R Iはyoung adultという言葉を使い、高齢者には使っていない。また、ロータリー会員がローターアクトへの移籍は認めない。

人頭分担金等詳細は未決定。R Iにローターアクトの問題についてタスクフォースが設立された。

ローターアクトや衛星クラブ結成において親クラブ以外に協力クラブを複数持つてよい。

2) 3人のローターアクトの会員のプレゼンがあり、要望が出された。

会社会員と学生会員（米国は大学のローターアクトがほとんど）の2種類、目的が異なるが、学生

の場合は次につながる方法を模索してほしい。

会社会員は「ロータリー会員の会社から会員」を出してほしい。

「ローターアクトとロータリー会員とのコミュニケーション」を頻回にしてほしい。

R I の情報をローターアクトにも開示してほしい。

公務員のローターアクトが、「地方活性化の試みを若いローターアクトが地域に入り組むことにローターアクトである喜びと達成感を覚えることを結成時に広めてほしい。」と強調。

I Mなどに協力したいが、会場整理ではなく、討論などに参加したい。

⑤ R L I について

R L I は「活性化」が目的。地区予算 0 円から 140 万円まで様々。

24 地区加盟、予定 4 地区。未加入 10 地区

日本支部委員長 北清治

事務局は第 2750 地区 事務局長 猿渡昌盛、委員 高田修

ホームページ作成、会員の研修のデータベース化来年 7 月開始。

問題点)

ディスカッション・リーダーの養成が急務。

10 年かかって、普及と養成が実施されている。

その他に事務員機能充実、データベース化が試みられている。

研修は I、II、III ステージへと研修が実施され、その後、修了書授与まで

歴史)

国際 R の常設プログラムにはまだなっていない。

1992 年スタート

2002 年規定審議会にプログラム申請した。

10 年間推移を見て評価される。

2013 年規定審議会でも多地区合同プログラムとして公認された。

2014 年 R I 会長コメントが出された。現在、米山記念奨学会と同じレベルである。

第 2740 地区の方針

多地区合同プログラムに、リーダー（会長幹事、地区委員長、新人）を 10 名ずつ定期的に参加研修させる。自費扱い。地区会議の方式をファシリテーションを用いて会議する。

2～3 年かけてディスカッション・リーダーを養成し、その後加入を検討する。

理由) 実施地区でも、なかなかディスカッション・リーダーが育たないのが現状である。本格的に内容が習得される必要がある。

最近はロータリー哲学を教える新人教育がなされていないのが現状である。ロータリーの良さが古参会員は理解しているが、新人が習得することなく、ライオンズとロータリーの区別さえわからない新入会員が多い。(小船井修一、釧路 R C)

◎新人教育の場が必要で、退会を防止するには R L I が必須と考えられる。

その他

第 2 回九州ガバナー会開催 12 月 4 日 議題①ライラ開催について ②第 7 回日台親善大会福岡開催協力について

ローターアクトクラブ設立協力 (アドバイス)

R L I 設立準備協力 (研修参加)



地区大会開催の御礼

地区大会実行委員長 **池田 榮雄** (諫早北RC)

このたび、令和改元後初めてのR I 第2740地区 地区大会が晩秋の諫早の地で開催されることとなりました。ホストクラブである諫早北クラブは、第8グループのコ・ホストクラブのご協力のもと年余に亘り準備を進めてまいりましたが、地区内外の温かいご支援により、当地区大会を開催することができました。

その上、佐賀・長崎両県に亘る地区内56クラブの会員の皆様多数のご参加に加え地区内外よりガバナー・パストガバナーご夫妻のご参加を得て、11/8、9、10の3日間、盛会のうちに、滞りなく無事に終了いたしましたことに心より御礼を申し上げます。

初日の危機管理セミナーでは、「若者よ輝け！ されば世界は君と共に輝く」のテーマで第2660地区高槻西RC近藤真道氏のご講演の中で、ロータリーの青少年交換留学生対応の実例を挙げて、セクハラ問題につき言及し警鐘を鳴らされました。

夕方からの歓迎晩餐会では、今回R I 会長代理の招聘はありませんでしたが、地区内外ガバナーの令夫人・令嬢を交え160余名のご参加のもと和やかな中に大きな盛り上がりが見られました。

中日の11月9日、午前中のエクスカッションでは市内「天祐寺」(諫早家菩提寺) 見学、青少年の集い、大会4委員会が催され、午後は参加クラブ映像紹介に続き、本会議第1部では、点鐘のあと来賓挨拶、千葉憲哉地区ガバナーの挨拶と続き、ガバナーは今回R I 会長代理を招聘しなかった理由を述べ、R I 会長ご本人による、本大会への動画メッセージを会場で紹介され、参加者全員がマローニー会長のメッセージを共有することができました。

第2部では、人気タレント、ケント・ギルバート氏が記念講演で「素晴らしい国・日本に告ぐ」の表題で熱く語られ、含蓄と示唆に富んだ内容に一般参加の市民と共に全員が一様に深い感銘を受けました。

最後は各種表彰に続き、ガバナーエレクト花島光喜氏の紹介、ノミニー塚崎寛氏の紹介とご両人の挨拶、決意表明の後、ロータリーソング斉唱と点鐘で無事閉会となりました。

夜の大懇親会は800名近い参加者で、会場あふれんばかりの盛会、時を忘れての歓談の後、別れを惜しみつつ次期大会の主催者花島ガバナーエレクトの万歳三唱によって、散会となりました。

大会最終日は、いよいよ恒例の記念ゴルフ大会。天候晴・うす曇、風なしの最高のゴルフコンディション。朝7時半ショットガン方式で全18ホールから一斉にスタート。

午後1時半には、全員がほぼ一斉にホールアウトし、表彰式が行われ、ゴルフ部実行委員が精力的に集めた豪華景品を巡って表彰式でもバトルが交わされ、和気あいあいの内にお開きとなり再会を誓い合っ解散となりました。

最後に、当地区大会への惜しみないご理解とご協力とを頂いた当地区ロータリアンの皆様ならびに関係者各位に、深甚なる謝意と心からの御礼を申し上げます。

この度は誠に有難うございました。

青少年に関する危機管理

危機管理委員会 委員長 栗林 英雄 (諫早北RC)

第2740地区、2019～2020年度の地区大会が11月8日から3日間にわたり、諫早市にて開催された。初日の8日には歓迎晩餐会に先立ち、ロータリーにおける危機管理セミナーが開催されて、各クラブの会長、幹事、地区役員が聴講することとなった。講師は第2660地区高槻西RCの近藤真道氏で、青少年交換留学について長年の経験豊富、指導力抜群で貴重な講演が期待された。

ロータリーは世界の恒久平和を最大の目標に掲げており、その目的遂行のためにローターアクト、インターアクト、RYLA、交換留学生、米山奨学生など若い世代の人たちをそのプロジェクトに参加させているため、時として思わぬ事態が生じることがある。そこで当日は青少年に関する危機管理が主題となった。冒頭、Shine! and the World shine with You 「若者よ輝け！ されば世界は君と共に輝く」という言葉がスクリーンに弾んだ。若者が交換留学によって異国の文化に触れ、そこで見聞した有形無形の財産がやがて本人の努力によって開花し、両国の友好親善の懸け橋となり、ひいては世界平和に貢献するわけである。そのよい例として紹介されたのが、嘗ての留学生の一人、ポーランド出身のアントーニ・スロドコフスキー氏が優秀なジャーナリストに授与されるピューリッツァー賞を受賞したというのである。これなどは好個の例であろうが、現実には必ずしもそうではない。

中にはそのような資質に欠けたものもいて、いろいろな問題を引き起こしており、危機管理という備えが不可欠となってきたのである。

それはどのような場合だろうか。

- ホームシック、ホストファミリーとの不和、環境への不適応
- 交通事故に巻き込まれる
- 自然災害に遭遇する
- 薬物、異性との交遊

などが紹介されたが、重要な案件として挙げられたのが性的虐待、セクハラ被害に遭っているのである。

特にロータリアンとの直接的な被害は、訴訟ということに発展すればロータリーにとっては社会的にも苦境に立たされる。これに対するRIの姿勢は被害状況を隠蔽せず、すぐに通報して第三者にゆだねることを提唱する。高い職業倫理観を有するロータリアンがこの種のトラブルに関与したとなればRIの名誉失墜となるので、即座に身分はく奪である。従って常にロータリアンは誠実、高潔、高い倫理性を保つ心がけを求められる。

留学生を「わが子として思う」思いやり、愛情、慈悲が青少年をこれらの恥ずべき事態から救い、ひとりの人間として育てていく。

この事態を回避するため「青少年のためのハラスメント相談窓口」メール・アドレス anytime@ri2660.gr.jp を来日して早い時点で、本人に通知、周知徹底させておき、少しでもそれらしい問題が生じた際には相談窓口へ通報するよう、その指導教育を推奨している。

裏表紙内に危機管理ポスターを掲載しているので、お忘れなくご活用ください。

「インターアクト前期指導者研修会」報告

インターアクト委員会 委員長 徳川清隆 (唐津RC)

「インターアクト前期指導者研修会」が2019年10月12日(土) インターアクターと顧問の先生、ローターアクターとロータリアンの参加で開催しました。

この研修会では、ロータリーの5大奉仕部門である青少年奉仕について理解する目的で開催しております。併せて、インターアクターのリーダーシップの養成へ繋がるような研修でもあります。

大石竜基地区幹事の点鐘で開会、来賓挨拶を頂きました。

第1部「インターアクトをもっと知ろう!」として、参加校の代表者による活動発表を行い佐世保高専 IAC、唐津西 IAC の事例発表をさせていただきました。

また、今回はローターアクト委員長の高松茂信委員長をはじめ地区ローターアクト代表堀山幸平さん他ローターアクト関係者5名の参加を頂きました。

地区代表の堀山幸平さんからローターアクトの活動事例を頂きました。その中で、会員増強の話に触れた際、同じロータリー青少年ファミリーとしてインターアクトからローターアクトへ繋がるよう、インターアクターへ理解を求められました。

第2部では、「海洋ごみとプラスチック」と題し、NPO法人環境カウンセリング協会長崎 理事 矢野博巳氏による基調講演を頂きました。矢野氏は対馬の漂着ごみをきっかけに漂着ごみ問題にかかわられ環境省の環境カウンセラーに登録されておられます。

今回の講演を拝聴し、参加者の多くは、海洋ごみ問題が現実的に悪化していることが理解でき、地球環境への意識が一層高まったと思います。

その後、長崎女子商業高校インターアクトクラブの皆さんによる問題提起の発表がなされ、第3部のグループディスカッションに進んでいきました。

グループディスカッションでは、基調講演を聴いての感想を発表、海洋ごみとプラスチックの問題について対策や問題解決への取組み、実際の活動への取組みを模索して頂きました。

最後に、グループディスカッションのまとめとして3グループの代表者が発表を行い、松田地区副幹事の総評を頂き、研修会の終了となりました。

ご参加頂いた皆様、ご支援頂きました方々に感謝しご報告いたします。



九州4地区合同青少年交換学生 長崎旅行(くんちツアー)

国際青少年交換委員会 委員 梅本 國和 (長崎RC)

去る10月7日から8日、2740地区国際青少年交換委員会は、九州内の2700地区、2720地区及び2730地区と合同で、各地区内の国際交換留学生21名を招いて、長崎旅行(くんちツアー)を実施しました。

初日お昼前、集合場所のJR長崎駅前には、鹿児島、宮崎方面から4名、福岡方面から11名、そして佐賀、長崎方面から6名の留学生が続々と集まり、改札口付近は国際色豊かな高校生たちで活況を呈しました。それから一行は、市内大浦のみらく苑で昼食をとりました。学生たちは、中華料理を楽しみながら、各人の留学生活についての情報を交換して会話を弾ませました。

それからホテルにチェックインした後、長崎原爆資料館に行きました。学生たちは、神妙な面持ちで、原子爆弾が人、街、物にもたらした甚大な被害を記録する写真、展示物を丁寧に見学し、原子爆弾の恐ろしさと平和の大切さを学びました。

資料館見学後、原爆落下中心地に行きました。皆は「まさにこの場所に、上空から原子爆弾が落下し、多大な被害をもたらしたのだ。」と想像しました。

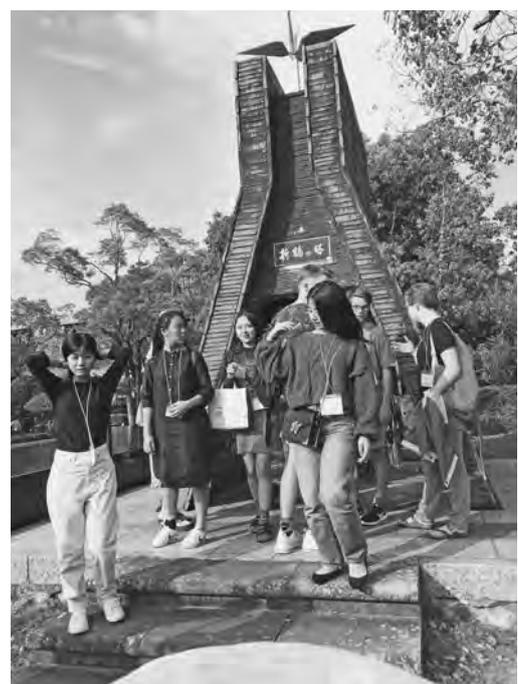
それから平和公園に行き、平和の泉、各国から贈呈された彫刻、そして平和祈念像を見学し、この日のために折って来た千羽鶴を、平和祈念像横の折り鶴の塔内にかけて国際平和を祈念しました。

快晴の青空の下、平和公園の穏やかさをしばらく味わった後、一行はおくんちの会場の一つである中央公園に移動しました。本年の演し物は、今博多町の「本踊」、魚の町の「川船」、玉園町の「獅子踊」、江戸町の「オランダ船」、籠町の「龍踊」でした。学生たちは、3時間、会場と一体となって、華麗な踊り、力強い船回し、勇壮な龍踊等を熱心に鑑賞しました。

おくんち見学後は、長崎西洋館内かがりやで懇親会を開催しました。会には千葉ガバナー、大石地区幹事にもご出席頂き、総勢38名が参加しました。千葉ガバナーからは、学生たちに、流ちょうな英語での熱いメッセージも頂きました。皆は、和食、しゃぶしゃぶ料理を楽しみながら、一層の懇親を深めました。

懇親会后、学生たちは樋口地区委員のマイクロバスで稲佐山に移動し、世界新3大夜景に認定された、稲佐山から長崎港を見下ろす夜景を満喫しました。

2日目は、早朝にホテルをチェックアウトした後、マイクロバスでハウステンボスに行きました。入場後はそれぞれが自由行動で園内を楽しみ、午後3時に出口にて解散し、全行程を終えました。





ロータリー財団 補助金事業（ネパール）

地区R財団委員 隅 康 二（佐賀西RC）

低所得国は、日本のような高所得国とは異なり、今なお感染症が死につながる重篤な疾患です。特に水の設備不足、知識不足の問題から重篤な下痢性疾患に罹ってしまうことが多く、地震や洪水等で被災すると夥しい数の命が失われてしまう状況にあります。水と衛生の問題は国連のSDGs（2015）でよく知られるようになりましたが、世界規模での最重要課題の一つと認識されており、国際ロータリーでは2013年より重点分野と位置付けて力を注いでいます。

第2740地区にネパールが大地震（2015）で被災した後も、復旧の目処が立たない地区が散在しているという情報が入ってきたのは2017年のことでした。財団委員会では、災害復興支援の一助となるべく、特に水と衛生の問題に焦点をあてて取り組みを始めました。

当地区の元奨学生である片岡一生氏の縁故を通じて、ネパールのPatan Durbar Square RC（PDSRC）より情報を入手し、2018年に現地調査に赴き、R財団本部に調査結果と事業計画を添えて補助金を申請しました。リバイズの繰り返しは半年に及びましたが、資金の80%を設備工事、20%を教育事業の費用とする事業計画にて本部より91,875ドルの資金使用の許可がおりました。

設備は2020年3月頃の完成に向けて工事を順次進めています。設備の完成に先立っての教育事業を、9月21日より1週間、ネパールのDhading地区およびLalitpur地区における6つの学校において実施しました。クラブ単位で行う支援例は他にも見られますが、地区を単位として行う支援例は殆どなく、在ネパール日本大使にもお越し頂くなど比較的大きな規模での教育事業を行うことができました。

教育の目的としては、

1. 学校がその地区の水と衛生問題の改善、向上をリードする拠点となること
2. 大規模災害の折には復旧の中心的役割を担うことができるようにすること
3. 教育を受けた子ども達（生徒達）が地域の人々を啓発する小さな“先生”になってもらうこと、

この3点を掲げました。

教育の内容としては、

1. 2740地区にて学校の先生向けテキストの作製を行うこと
2. ネパールの各学校を訪問し、直接先生方への講義を行うこと
3. 先生方とロータリー会員が一緒になって生徒、保護者、地域住民の皆さんとともにワークショップを行うこと、

この3点をミッションとしました。

Dhading地区は首都Kathmanduから遠く、道路状況が悪い山岳地域にあるため、Jana Shakuti Schoolに生徒、先生、地域住民の皆さんに多く参加協力して頂いてワークショップを行いました。Lalitpur地区は5つの学校校区から生徒、先生、地域住民の皆さんにKhokanaという野原にバスで参集して頂き、一堂に会して数百人規模でのワークショップを行いました。衛生教育は薬剤師である吉岡義治氏（佐賀南RC）がリードし、化学実験、講義、爪切りなどの衛生習慣、石鹸を用いた手洗いの方法等、1日かけてワークショップを行いました。

ネパールでは異なる学校の生徒がお互いに交流を行うということはめったになく、生徒たちは当初緊張した面持ちでしたが、講義を受けたり、遊んだりしているうちに最後は全員が大きな輪になって、「Reshama firiri」というネパールの代表的民謡を全員で合唱するなど思い出深く、しかも教育としては大変効果的な事業ができたことと思います。

その夜は日本大使公邸にて晩餐会が開催されました。千葉憲哉ガバナーからの書簡をお渡しし、大使からは「日本国政府を代表して、第2740地区の事業に感謝を申し上げます」という答礼を頂きました。

世界の最貧国ネパールは、決して安全が保証されているわけではなく、私たちにふりかかる病気や事故など不安もありましたが、現地のロータリアンの友情に支えられながら計画通りにプロジェクトを達成することができました。

* 今回の教育プログラムへの参加者は以下の通りでした。

大村RCから西川義文氏、佐賀西RCから堤貞喜氏、円田稔氏、佐賀南RCから古川尋美氏、吉岡義治氏、神埼RCから西村明美氏、R財団関係者として片岡一生氏、隅康二の8名でチームを編成し現地に臨みました。またこの企画、運営の全段階においてPatan Durbar Square Rotary Clubの関係者約40名にご協力頂きました。

「米山の集い」報告

米山記念奨学委員会 委員 大川 正二郎 (佐賀北R C)

去る10月6日(日)、諫早商工会議所において米山記念奨学委員会の主催で「米山の集い」が開催されました。「米山の集い」は、10月の米山月間を迎えるにあたり、本年4月からの上半期を振り返り、また、今後下半期に向けて勉学だけでなく出前卓話等の活動にも頑張ろうというもので、千葉憲哉ガバナー等の来賓を迎えて、米山記念奨学生、カウンセラー、大学関係者、地区委員等約40名が参加しました。

集いでは、DVD「世界へ届け米山の懸け橋」で各地の米山記念奨学生のロータリアンとの交流やカウンセラーとの絆、元米山記念奨学生の母国での活躍等が紹介され、米山記念奨学事業や地区の状況、学友会についての説明がなされました。また、全員で記念撮影をした後は、お弁当を食べながらの親睦会が開催されました。

親睦会では、奨学生や担当カウンセラー、大学関係者の報告や挨拶が行われました。奨学生は、各所属クラブでの例会への出席等の活動や奨学生になって学んだこと、ロータリアンへの感謝、これからの勉学や奨学生としての活動の誓い等を述べました。また、カウンセラーからは、奨学生との交流の様子が紹介され、カウンセラー自身にとっても勉強になったと感想を述べられていました。大学関係者からは、米山記念奨学事業に対する期待が寄せられました。

和気あいあいとした秋の1日でした。





ガバナー公式訪問クラブ報告



島原RC 8月6日(火)

会長 小嶺 嘉浩 幹事 吉田 清隆

島原ロータリークラブは、昭和39年（1964年）、長崎ロータリークラブをスポンサークラブとして会員30名で結成されました。現在会員数は31名、毎週火曜日お昼にホテル南風楼で例会を開催しています。

クラブのモットーは、「ロータリーはどこまでも楽しく」です。大きな歌声で始まり、笑顔と笑いの絶えない例会運営、様々な行事も常々楽しんで参加できるようにいろんな仕掛けを会員が作っています。

クラブの自慢は、RACとIACを提唱していることです。RACは前年度年次大会で最優秀クラブ賞、IACは4年連続で地域貢献部門金賞をいただきました。各会員が、積極的に例会に参加し、ともに汗を流し活動してきた結果だと自負しています。

これからも、会員全員で心をつなげて一人でも多くの仲間を募り、地域に貢献できるように活動してまいりたいと思います。

最後になりましたが、日頃から親身になって指導いただく比良孝蔵ガバナー補佐に会員一同感謝申し上げます。



佐世保RC 8月21日(水)

会長 木村 公康 幹事 有蘭 良太

千葉憲哉ガバナー、法師山真人ガバナー補佐、大石竜基地区幹事を迎えて公式訪問例会を開催致しました。

例会前の懇談会では、昨年実施した会員満足度アンケートの調査報告を受けました。評価については良好でしたが、アンケート不参加が半数を超えており、活性化に後向きでありました。これらのアドバイスは今後のクラブ運営に大いに役に立つものになりました。

昨年度は福田金治ガバナーを輩出し、2018年11月16・17日には地区大会の開催、海上自衛隊艦艇見学、海上自衛隊音楽演奏会を行いました。又、記念事業として健全な青少年の育成のため、ハワイ短期留学プログラムで14名の高校生を派遣しました。

佐世保RCは1951年2月21日に創立され、来年度はクラブ創立70周年を迎えます。本年度は準備委員会を設け、佐世保RCにふさわしい式典、記念事業を行いたいと思います。そのためにも、会員相互の親睦を深め、友情を育む事で魅力あるクラブとなるよう努力してまいりたいと思います。



国際ロータリー第2740地区2019～2020年度 千葉憲哉ガバナー公式訪問 2019年8月21日 於 佐世保玉屋

ガバナー公式訪問クラブ報告



福江RC 8月23日(金)

会長 柳田 靖夫 幹事 片山 雅文

8月23日(金)午後12:30よりカンパーナホテルにおいて、千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、大石竜基地区幹事、松田洋一地区副幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、当クラブの会長、副会長、会長エレクト、幹事と、千葉ガバナー、浦ガバナー補佐、大石地区幹事、松田地区副幹事との事前協議では、活発な意見交換がなされ、予定より15分ほど前倒しで協議を行って良かったと思ったほどでした。例会時の千葉ガバナーの卓話は、スライドを用いて地区の活動方針を詳しくかつ分かりやすく説明して頂きました。

例年だとガバナーは、世界中のガバナーが集まる会合の話やRIの活動方針を説明されますが、千葉ガバナーはあえてRIの方針には一切ふれず、地区の方針のみを強調されたことに共感し、感銘を受けました。

また夜の懇親会では、酒を酌み交わしながら、ロータリーの柱である「奉仕」について、千葉ガバナーからわかりやすく説明して頂き、「親睦」を深めながら勉強になった有意義な懇親会でした。

さて、当クラブでは会員35名で活動しています。観月会、観桜会では奥様方も参加され、「親睦」を深める場として重要な行事となっており、また各種団体の3名の代表で争う“愛のチャリティー歌のコンサート”に毎年参加し、3名の歌手だけでなく当クラブ一丸となって、優勝めざし練習に参加し絆を深めています。

また青少年奉仕活動として中学生野球大会を主催したり、英語教科の学力向上の為に教材を援助し、毎年その教材からの早押しクイズ大会にも参加しています。

今後さらに会員増強に努め、「奉仕」と「親睦」を追求し、福江ロータリークラブの発展に努力していく所存です。



福江中央RC 8月23日(金)

会長 杉 秀宣 幹事 本間 一義

8月23日(金)、午後6時30分より観光ビルはたなかにおいて千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、大石竜基地区幹事、松田洋一地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、浦ガバナー補佐と福江中央RC理事とのクラブアッセンブリーを行い(8月6日のガバナー補佐訪問が台風の影響により中止になった為)その後、千葉ガバナーとの懇談会にて当クラブの長所、問題点を千葉ガバナーよりご指導頂き、我々からの質問に有意義なアドバイスを頂きました。例会時の千葉ガバナーの卓話はアンケート結果からわかる当クラブの現状及び問題点等を笑いを交えご説明頂き、時間が足りないくらいの内容でした。例会終了後はお泊りである事を幸いに福江RCさんと合同で千葉ガバナー御一行と懇親会を開催し、酒を交えながら交流を深めるとともに、例会時には語られていなかった千葉ガバナーのロータリーに対するお考えをお聞きすることが出来ました。お疲れのところを長時間お付き合い頂き誠にありがとうございました。

当クラブは今年度45周年を迎えます。千葉ガバナーからお褒め頂いた少人数クラブの良さを基に「会員の親睦」と「奉仕活動」を充実させ、福江ロータリークラブとの交流、意見交換を活発に行い、五島内でのロータリークラブのイメージアップ及び会員増強に努め、次なる50周年に向けて活動して参りたいと思います。以上、ガバナー公式訪問クラブ報告と致します。



親睦活動(観桜会)



奉仕活動(五島高校インターアクトクラブと合同での清掃)

ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀大和RC 9月10日(火)

会長 川浪 正大 幹事 内田 早美

9月10日(火)千葉憲哉ガバナー、白石公太郎ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会前の懇談会においては、予定より早く到着されたこともあり、多くの時間を費やして頂きましたが、クラブごとに作成された資料をお持ち頂いたことに、大変感動いたしました。

資料に基づいてご指導を頂戴し、当クラブについての理解をより深められたと思います。

また、クラブの親睦の深さをお褒め頂いたことについては、大変光栄でございました。

例会の卓話の中では、ロータリーの創設から始まるロータリアンとしての哲学について改めてご教示頂きました。特に職業奉仕の考え方、捉え方については新たな発見をすることができました。会員においても大変感銘を受けておりました。

今後も会員間の親睦を深め、会員増強に努めるとともに、奉仕の理念のもと活動していく所存でございます。千葉ガバナーはじめ、御来訪いただいた役員様に感謝の念をこめ、厚く御礼申し上げます。



佐世保中央RC 9月12日(木)

会長 南部 建 幹事 田中 啓輔

令和元年9月12日(木)、セントラルホテル佐世保において、千葉憲哉ガバナー・大石竜基地区幹事・岡田金助ガバナー補佐が当クラブを訪問されました。

例会に先立ちまして、当クラブの南部会長・田中幹事・池永会長エレクトとの懇談会があり、職場訪問について「クラブのメンバーが、自身の職業を通じて社会貢献をする所を見学すること」が本来の職場訪問の目的であって、単なる社会科見学になっていないかなど、御指摘をいくつか頂きました。

一方、当クラブには長期的な視野でクラブの方向性を探求していくための「クラブビジョン委員会」というものがありますが、他のクラブでは見られない独自性のある取組みとして高く評価して頂きました。



他にも、当クラブには、ゴルフやダイビング、温泉旅行などの同好会的な集まりがあり、チャーターメンバーから入会歴の浅いメンバーまで幅広い人たちが一緒に親睦を深めており、今後も親睦を通じてクラブの活性化と退会防止につなげていきたいと思っております。

ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀南RC 9月17日(火)

会長 古川 尋美 幹事 嘉村 幸彦

本年9月17日千葉憲哉ガバナー、山崎唯之ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

ガバナーを交えた懇談会におきましては先般、会員から回収したアンケートを基に、ガバナーより当クラブに対して外部から見た適切なるアドバイスを頂きました。

更に例会時におきましても、ROTARYの根本的なお話やサステイナブルなROTARYにするにはという内容も、アンケートを交えてお話し頂き、今後の指針とすべく会員一丸となってROTARY活動に邁進したいと思いました。

最後にご訪問頂きました千葉ガバナーはじめ地区役員の皆様には厚く御礼申し上げると共に、ご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



2018. 10月 シチメンソウ清掃様子



2019. 9. 17 公式訪問例会時集合写真



伊万里RC 9月18日(水)

会長 峯 輝正 幹事 植田 雅典

千葉憲哉ガバナー・辻幸徳ガバナー補佐・大石竜基地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を開催致しました。

・例会前の懇談会での話題

1) ガバナー：クラブの現況と活動報告書の中で活動報告が月毎に細かく報告されており、年間の活動状況が手にとるようにわかり、「素晴らしい」、これは幹事さんが書かれたのですか。

クラブ：いいえ、事務局が「伊万里ロータリークラブ週報」をまとめてくれて

います。

2) ガバナー：ある区域でライオンズクラブが4クラブあり、ロータリークラブが1クラブあります。この現状をどう思いますか。ロータリーの目的である、「奉仕の理念」を広報する必要があると思いますが、このことは卓話でも触れます。

クラブ：会員増強については、当クラブの課題でもあります。ただ、会費会員ではなく、会員の親睦を深め、例会には努めて出席してもらい、ロータリアンとは「何か」を学んでいくようなクラブにしたい。

3) ガバナー：アンケート調査結果でクラブに受け入れられていないが1名、アンケート不参加が6名(20%)います。これらの人は退会予備軍であり、後ろ向き会員と考えられます。

クラブ：アンケートについては初めてのことであり、例会時の短い時間で回答しており、このアンケートの重要性を感じていた会員は少なく、クラブに受け入れられないと回答したのは冗談ではないかと受け止めています。クラブ活動の現況からみて、そのような人は見当たらないので、今後の活動状況、アンケート調査を通じてクラブ運営を図っていき

きたい。

4) ガバナー：「市内小学校交流かるた大会：社会奉仕委員会」・「青少年剣道：青少年奉仕委員会」と活動を行っています。地区補助金のプロジェクトがあるのをご存じですか。

クラブ：補助金を活用できるように、2月開催予定の補助金管理セミナーへ参加したいと思

・ガバナーの卓話

奉仕の理念はService above self (利己利他の調和) を基とし職業奉仕を行う。有償ではかの人にできない良質な仕事をする。その利益によって社会に奉仕する。ただ単に社会に奉仕するのではなく、良質な仕事をするために職業倫理を含め、自己研鑽と実践に努めなければならない。

改めて、ロータリアンとは何かを学びました。ガバナーの想いがロータリアンの心に響くことを祈念いたします。

・例会後の楽焼

公式訪問例会終了後、千葉ガバナーと辻ガバナー補佐に楽焼を書いてもらいました。



千葉ガバナーの楽焼



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀北RC 9月25日(水)

会長 立石 泰彦 幹事 原口 勉

令和元年9月25日(水)、千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、山崎唯之第2グループガバナー補佐が当クラブへ公式訪問されました。

例会では千葉憲哉ガバナーより本来のロータリアンの在り方、変化に対応していくこと等多くを学びました。また、アンケート結果に対する改善事項の報告があり、本年度、改善出来る様当クラブも頑張りたいと思います。

当クラブでは今年50周年を迎える事となりました。当クラブではどん3の森への植樹、又、耕作放棄地を有効活用し土地の耕し～そばの種まき～栽培～乾燥～脱穀～製粉～そば打ちをして、老健施設の利用者への寄贈などの社会奉仕を行ってきました。

本年度50周年記念事業をするにあたって、一部の施設ではなく出来るだけ多くの佐賀市民の皆様に寄与出来る事はないかと考えました。

そして佐賀市役所の方と協議したところ、佐賀駅バスセンターの大型サイネージはどうかということになり、55インチのマルチモニターサイネージを寄贈する事となりました。

運営をどうするか、何を映し出すかなど佐賀市役所の方と長い時間をかけて何度も協議を重ねました。

昨今、海外からの観光客も多いのでまずは佐賀の観光スポットなどを主体に災害時の情報などを流す予定です。

情報に関しては色んなカテゴリーがありキャパシティーは無限大ですので、このサイネージがロータリークラブのPRも含め、地域に貢献していく事でこの50周年事業の意義を歴史の一ページとして残せます事を祈念しております。今後も60周年100周年と歴史を重ねていくうえで当クラブのロータリアンの成長及び地域貢献をしていきたいと思ひます。



長崎RC 9月26日(木)

会長 光安 幸夫 幹事 藤岡 良規

千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催しました。

千葉ガバナーより「長崎RCは旧知の先輩も多く、今回の公式訪問の中での大きな山である」とのご発言がありました。和やかな中で本年度会長幹事、次年度会長幹事との例会前の懇談も終了し、例会内では千葉ガバナーによる「クラブ内アンケート調査の再トライ」などのお話を頂き、最後は当クラブ田口パストガバナーと固い握手をされ、滞りなく例会終了となりました。

さて、当クラブの長い歴史の中で継続的且つ積極的に取り組んできた事業の1つとして「青少年奉仕」の活動が挙げられます。国際青少年交換事業においては、友好クラブである米国セントポールRCとの留学生交換を1966年よりほぼ休止することなく継続的に実施しております。また当クラブはインターアクト、ローターアクトの両方を提唱している数少ないクラブであり、その活動内容も担当のロータリアンが極めて熱心に支援しています。昨今ローターアクトクラブは年々提唱クラブが減少しており、会員数も激減するなどの危機的事態に陥っておりますが、当クラブ提唱の長崎ローターアクトクラブは15名の会員で充実した活動をしております。当クラブがホストを務めさせて頂く、来年2月開催予定の9、10グループのインターシティミーティングではロータリーの青少年奉仕の重要性をテーマに開催予定で鋭意準備中です。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀RC 10月3日(木)

会長 山下 雄司 幹事 益田 裕司

10月3日に千葉ガバナーの公式訪問は、2740地区最後から2番目に無事開催することが出来ました。

私達は、1985年よりクラブ独自で公益信託佐賀ロータリークラブ奨学基金を設立し、佐賀市内の高校に在籍する、人格・学業共に優れ、これからの社会を担う人材育成の為にこれまでに153名の学生に奨学金を授与して参りました。今後もこの活動を続けていきたいと考えております。

また、千葉ガバナーよりご指摘を受けました会員の満足度を上げることに关しましては、卓話を充実させる工夫を考えております。最近では、提唱IACの佐賀清和高校IAC元会長で現在長崎国際大学RAC会長の三原千明さんに「人との出会い」というテーマで、IACに入ったきっかけから年次大会を担当した時の苦労話、RACへつながったことや人との繋がりを話してもらいました。特にやって失敗するより、何もやらない事の方が大きな失敗だということは、当日参加してくれた現役佐賀清和高校IACの部員はもとよりロータリアンの心にも響いたものでした。今後も例会を充実させるよういろいろと工夫をしていきたいと考えております。

さらに今年度は全国RYLA研究会を佐賀で初めて開催することとなっております。

現在クラブ内実行委員会で準備を進めているところですが、来年2月9日成功させる為2740地区の皆様のご協力をお願いします。



諫早北RC 10月3日(木)

会長 田島 幸一 幹事 東村 久儀

令和元年10月3日18:30よりL&Lホテルセンリュウにおいて、第2740地区ガバナー千葉憲哉様、第8グループガバナー補佐栄田元信様、地区幹事大石竜基様、ビジターとして第7グループガバナー補佐比良孝蔵様、大村北RC麻生康友様を迎えて、地区56クラブの最後を飾るガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立っては、会長、幹事と懇談していただき、55クラブを回られた感想や今後の問題点などをご指摘いただき、大変参考になりました。

例会卓話においては、ロータリーの原点に始まり、「奉仕の理念：親睦・奉仕」、「職業奉仕」についてわかりやすく説明され、理解を深めることができました。

加えて、第2740地区「地区方針・戦略」の計画の8つの方針を具体的に述べられ、地区大会に向けて気の締まる思いを再確認しました。

千葉ガバナー、大石地区幹事におかれましては、7月16日の北松浦RCをスタートに、56クラブをめぐる地区ガバナー公式訪問、大変お疲れ様でした。





2019年9月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計		
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減						7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減			
第1グループ	佐賀	4	70.8	74	5	73	5	1	2	-1	-1	第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	62	0	0	0	0	0	0	
	小城	4	67.7	30	2	31	3	0	0	0	1		佐世保東	4	79.1	23	0	24	0	0	0	0	0	1	
	牛津	4	79.8	30	0	34	1	0	0	0	4		佐世保北	3	100.0	40	2	40	2	0	0	0	0	0	
	多久	4	75.7	38	5	37	4	0	1	-1	-1		佐世保中央	4	85.5	46	1	47	1	0	0	0	0	1	
	佐賀大和	4	70.2	26	6	26	6	0	0	0	0		佐世保東南	4	68.8	39	0	40	0	0	0	0	0	0	1
	小計		72.8	198	18	201	19	1	3	-2	3		HTB佐世保	4	80.2	23	2	23	2	1	1	0	0	0	
第2グループ	佐賀西	3	81.4	38	2	42	3	4	0	4	4	第7グループ	大村	4	91.0	48	4	49	4	0	0	0	0	1	
	佐賀北	3	74.2	45	1	46	2	0	0	0	1		島原	4	81.7	30	2	31	2	1	0	1	1		
	佐賀南	4	81.6	38	4	41	4	0	0	0	3		雲仙	4	82.9	14	0	14	0	0	0	0	0		
	神埼	4	79.7	37	4	37	4	0	0	0	0		大村北	4	91.5	24	1	25	1	0	1	-1	1		
	佐賀空港	3	77.8	18	1	18	1	0	0	0	0		島原南	4	70.2	25	0	25	1	0	0	0	0		
	小計		78.9	176	12	184	14	4	0	4	8		大村東	3	94.4	37	3	38	4	1	0	1	1		
第3グループ	有田	3	74.5	28	0	30	1	0	0	0	2	第8グループ	諫早	4	87.1	72	0	75	0	0	0	0	3		
	武雄	3	87.5	56	5	56	5	0	0	0	0		諫早北	4	78.2	74	4	74	4	0	0	0	0		
	鹿島	4	89.1	34	4	33	4	0	0	0	-1		諫早西	4	96.5	45	0	45	0	0	0	0	0		
	嬉野	4	82.6	26	2	26	2	0	0	0	0		諫早多良見	4	87.1	32	0	34	0	0	0	0	0	2	
	大町	0	0.0	11	0	15	0	0	0	0	4		諫早南	2	80.0	14	8	15	9	0	0	0	0	1	
	小計		86.7	165	11	170	12	0	0	0	5		小計		85.8	237	12	243	13	0	0	0	0	6	
第4グループ	唐津	4	91.1	61	0	62	0	0	0	0	1	第9グループ	長崎	4	84.1	74	0	73	0	0	0	0	-1		
	伊万里	4	91.4	29	0	29	0	0	0	0	0		福江	4	82.0	33	0	35	0	0	0	0	2		
	唐津東	4	87.4	50	0	51	0	1	0	1	1		長崎北東	4	77.6	41	3	41	2	0	0	0	0		
	唐津西	4	88.9	34	0	35	0	0	0	0	1		福江中央	3	83.9	21	0	21	0	0	0	0	0		
	伊万里西	3	95.5	41	0	41	0	0	1	-1	0		長崎西	3	78.1	43	1	44	1	0	0	0	1		
	唐津中央	4	86.6	37	3	38	4	0	0	0	1		長崎琴海	3	67.7	11	0	11	0	0	0	0	0		
小計		90.1	252	3	256	4	1	1	0	4	小計		78.9	223	4	225	3	0	0	0	0	2			
第5グループ	佐世保	4	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1	第10グループ	長崎北	3	81.2	80	0	79	0	2	1	1	-1		
	平戸	4	70.8	29	2	29	2	0	0	0	0		長崎南	4	81.3	72	0	73	0	0	0	0	1		
	北松浦	4	91.5	25	0	25	0	0	0	0	0		長崎東	4	71.2	40	2	43	2	3	0	3	3		
	佐世保西	4	79.9	24	4	24	3	0	0	0	0		長崎みなど	3	82.8	30	1	30	1	0	0	0	0		
	松浦	4	85.7	26	1	28	1	0	0	0	2		長崎中央	3	94.5	55	0	55	0	1	1	0	0		
	小計		85.6	182	7	185	6	0	0	0	3		長崎出島	4	72.9	71	12	71	12	0	1	-1	0		
												小計		80.6	348	15	351	15	6	3	3	3			
												56クラブ合計		83.0	2,192	97	2,233	103	15	9	6	41			

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年9月末までの増減です。

*大町RCは9月の例会を「災害復旧のため休会」としました。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりましたの方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀RC
猪野 雄介 君
野村證券(株)佐賀支店
支店長



唐津東RC
宮島 治 君
宮島醤油(株)
常務取締役 経営企画室室長



HTB佐世保RC
柚木 達矢 君
ハウステンボス(株)
営業部長



島原RC
柴田 松広 君
(株)日進開発
専務取締役



大村東RC
石橋由美子 君
スナック 森羅
代表



長崎北RC
野田 賢司 君
(株)長崎ユタカ
代表取締役



長崎北RC
脇山 信人 君
長崎自動車(株)
取締役自動車本部長



長崎東RC
板坂 光剛 君
(株)シンエイ
代表取締役



長崎東RC
宮崎 豊 君
宮崎豊土地家屋調査士事務所
代表者



長崎東RC
植木 博路 君
弁護士法人 ALAW & GOODLOOP
代表社員



長崎中央RC
大塚 道隆 君
西部通信工業(株)
代表取締役社長



寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	石坂和彦	大村
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	藤永辰弘	佐世保南
	橋場邦武	長崎
	浜中洋	長崎北東

米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名
米山功労者 マルチプル	駒井英基	佐賀南
	古川尋美	佐賀南
	江副了	佐賀南
	園田嘉生	佐賀南
	宇土義継	佐世保南
	岩永正人	長崎
米山功労者	嘉村幸彦	佐賀南

文庫通信 [379]

ロータリー文庫通信379号 2019年10月 記念講演

「ロータリーの基本」とは？これまで多くの先達が語ってきた。今回、このことを考えさせてくれるロータリーの地区大会やIMでの記念講演をいくつか選ばせていただいた。特に、ビチャイ・ラタクル元RI会長は日本のいくつもの地区で多くの感動的な講演を残されている。その中でも、国際ロータリーのあり方に大きな変化をもたらした2016年の規定審議会直後の青森での講演は、ロータリーの基本とロータリアンのあるべき姿を分かりやすく語りかけてくれた忘れえぬ講演である。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
“Back to Basics” ロータリーの基本に返ろう	ビチャイ・ラタクル D.2830西第1グループ I.M.	2015	45P	※
他人の金で奉仕をするという虚構	佐藤千壽 PG 遺稿 (D.2790土屋亮平 PG 代読) D.2760地区大会	2008	9P	※
ロータリアンの矜持	藤川享胤 D.2590地区大会	2017	8P	※
Rotary—かえりみて、あすを考える	久野薫 D.2630地区大会	2017	16P	※
奉仕の心	阿部志郎 D.2780地区大会	2001	7P	※
日本人とロータリー	前原勝樹 D.261地区大会	1979	11P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

JICA海外協力隊

マダガスカル通信

Vol.6



発行/2019年10月31日 発行者/酒井 貴子(2018-2019年度 ローターリー財団奨学生)

マダガスカル全国放映の料理番組に出演！

9月から10月にかけては、色々な研修や日本への一時帰国など、移動ばかりしていた期間でした。そんな中、10月の一大イベントは、マダガスカル全国放送のテレビで料理番組に出演するというものでした。来マダ約半年というマダガスカル語初心者にとっての大役！一生懸命準備して臨んでみたのですが…。

マダガスカルで料理番組へ出演！

マダガスカルでは子供の栄養不良が大きな問題となっており、特に5歳以下の子供の50%近くが慢性的な栄養失調であると言われています。実際に農村の2歳以下の子供の食事調査をした際も、コメや揚げ物などの小麦粉、油の消費がかなり多い一方で、野菜や肉、乳製品などをほとんど摂っていない家庭が見られました。そんな中で、マダガスカルの協力隊員の多くが栄養改善に取り組んでおり、そのような隊員で構成された「料理分科会」というコミュニティで情報交換を行っています。

今回、「料理分科会」では栄養のあるレシピをより多くの人に知ってもらうために全国放送のテレビで放映する料理番組を製作しました。以前にも先輩隊員がこのようなテレビ番組を製作していたのですが、今回は看護師さんなどの保健隊員が離乳食を紹介するなど、2歳以下の子供の栄養摂取によりフォーカスしたものとなりました。

今回紹介したレシピは以下のものです。

- (1) ピザ (2) ニンジンケーキ (3) 蒸しパン*
- (4) 牛乳スープ (5) ピクルス (6) おからハンバーグ*
- (7) プリン (8) 肉まん (9) パン粥*
- (10) お好み焼き

*は離乳食

撮影はマダガスカルの番組制作会社によって行われました。首都にあるスタジオに本格的な料理番組用のセットが設営されており、マダガスカル人のプロデューサーやカメラマンなどのプロに囲まれての撮影となりました。

今回の撮影で面白かったのは、アシスタントとして実際に一緒に活動している方を招き一緒にテレビ出演したことです。私はまだ農村での調理講習会などの経験がなかったのでJICA事務所のスタッフの方と行いましたが、先輩隊員は農村で一緒に栄養改善を行っている方と一緒に出演していました。彼らにとってもこのような機会はもちろん人生初で、緊張しながらも楽しんでた姿が印象的でした。農村で実際に生活し働いている人々が出演することで、視聴者がテレビをより身近なものとして感じてくれると良いなと思います。



撮影の様子。プロの方々に囲まれて撮影を行いました。



カメラの前は照明と左にあるまどの熱でとても暑かったです。

私の担当レシピはニンジンケーキでした。撮影では調理のポイント毎に撮影するため、あらかじめ完成品を用意し、材料を切っておくなど、撮影の前の準備が多かったです。また、私のマダガスカル語がまだ十分うまくなかったことに加え、カメラ前でとても

緊張してしまったこと、さらに失敗しないようにと調理に意識が向かいすぎてしまったことで、最後の方はアシスタントの方のマダガスカル語での質問がうまく理解できなくなってしまいました。しかし一緒に撮影を行った先輩隊員が助けてくださり、何とか撮影を終えることができました。テレビ放映は11月とのことですが、何とかうまく編集してくれることを祈るばかりです(笑)。



1週間の首都滞在は…

今回の撮影では一週間首都に滞在しました。首都には任地には絶対におしゃれなカフェやレストランなどがたくさんあり、久しぶりにフランス料理やおいしいケーキを楽しみました。しかし、首都に上がると、いつもなぜかお腹を壊してしまいます。任地の方が道端で作られたお腹を壊しそうなものを食べているのに…。首都ではきれいなスーパーやレストランで食品を購入しますが、もしかしたら衛生状態は田舎よりも悪いのかもしれない。



任地では絶対においしいチーズケーキ。

アンタナナリボ大学で文化交流

10月は私の同期でアンタナナリボ大学で日本語教師をしている高村さんの日本文化の授業に参加させていただきました。日本語学科の1年生でしたが、すでにとても日本語が上手で、驚きました。授業では日本語の動物鳴き声クイズを行い、とても盛り上がりました。遠く離れたマダガスカルでこんなにたくさんの人が日本に興味を持ってくださっていると喜びを感じたひと時でした。



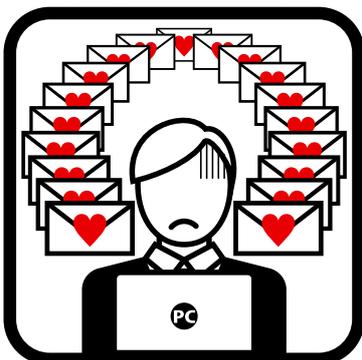
あなたは大丈夫ですか？

それもセクハラですよ！！

STOP

その行為をセクシャルハラスメントどうかを決めるのはあなたではありません。
無意識にしているあんなことこんなことが冗談で済まされない場合があります。
相手に配慮した言動を心掛けましょう。

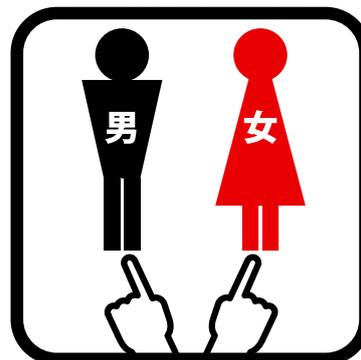
一方的なメール攻勢



噂話や性的冗談



性別で決めつけない



しつこい誘い



スキンシップ



熱視線



ロータリアンはセクハラと受け止められる行動・言動をしないことを宣言します。

Rotary
第2660地区



芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

廣津 雲仙（書道家）

芸術文化の分野において、書は絵画や詩歌、小説などと比較し決して万人に馴染深いものではない。日常接している文字を題材にしているものの、その作品には容易に近寄りたくない一種の風格のようなものが備わっているからであろうか。とは言え、墨汁をたっぷり蓄えた毛筆でもって、一気に書き上げられ均整がとれて見る者を圧倒するものでも、どこかに優しさや懐かしさを秘めているものである。

諫早市高来町の出身である廣津氏は書道研究「墨滴会」の初代会長として、後進の指導に当たられるなど日本書道界の重鎮の座にあられた。日展審査員や中京大教授を歴任され、書道発展への貢献は県文化功労者表彰が何よりの証であろう。

雲仙や諫早湾を望む高来町のふれあい会館には、氏の書碑が建立されており、活動の拠点や異郷の地に移しても、心は忘れることなくふるさとに向けられていた。郷土への温情が「愛」となって、ここに刻印されている。毎年九月には、「尾花忌」が開催され、諫早市芸術文化連盟が顕彰委員会と共に氏の功績を讃えている。



廣津雲仙書碑

編集後記

先日は第2740地区の地区大会に、初めて運営する側として参加させていただき、準備の大変さと、ロータリアンの方々の行動力の凄さと、大会成功へ向けた情熱を感じることが出来ました。この経験を今後の活動に活かしていきたいと思えます。IACの募金活動への多大なるご協力にも感謝いたします。

(川崎)



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉 憲 哉

2020. 1

Vol.

7



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

表紙の写真説明

雲仙岳を遥かに
遠く見渡す白木峰
白銀に輝く丘の上
吹きぬける北風に
梢はヒューッと笛をふく

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
佐賀豪雨被災地支援報告	3
社会奉仕セミナー報告	5
ロータリー財団セミナー報告	6
会員数・出席報告	7
新会員・物故者紹介・寄付者紹介	8
第2740地区ロータリー財団委員会	
グローバル補助金ネパール事業	10
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



新年おめでとうございます

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

令和2年、あけましておめでとうございます。

今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本ロータリー100周年の記念すべき年です。東京ロータリーが米山梅吉と福島喜三次により1920年設立され、100年目となります。現在日本には会員数89,788人、クラブ数2,261クラブと大きく発展してきました。(2019年9月末日現在) その間、関東大震災では世界中のロータリアンから災害支援を受けました。第2次世界大戦では残念ながら、国際ロータリーを脱退しましたが、戦時中は日本独自のロータリー活動を展開するなど波乱万丈の戦前史でした。戦後、国際ロータリーに復帰後も「ロータリー哲学」は失われず、ロータリーの掲げる「奉仕の理想」が実現されています。さらに、近年多くの新興国にもロータリークラブが新設され、国際ロータリーの「世界に良いことをしよう」の奉仕活動が世界中に広がっています。特に国連UNICEFとの連携によるポリオ撲滅活動はあと一息のところまでできています。

2019-2020年度マローニー年度を振り返ると、年度が始まって、半年数々の出来事がありました。中期計画(5年ごと)が新たに始まり、4月に開催された規定審議会(3年に一度)では「柔軟性」に基づく数々の案件が採択され、多くの日本のロータリアンは変化にどのように対応すべきか躊躇しました。

我々日本人は大変まじめな人種です。規則が決まったら、何が何でもきちんと決まり事を守ろうと考え、厳守すべきと判断します。だから、「え〜、例会は月4回しなくてもよい。メーキャップは年度末でよい。職業分類が無くなった? ロータリーはどこに行ったのか?」と誰もがブーイング。日本ロータリー独立論まで飛び出す始末です。

マローニー会長は就任以来、何度も日本を訪問され、我々日本のロータリアンと膝を交え、これらの問題について意見交換を行いました。マローニー会長は「世界には多様に富むいろいろな文化、習慣、歴史がある。だから日本人は職業奉仕を、フランス人は環境問題を、インド人は規則を大切と考える。ロータリーが活性化するためには、それぞれの国のロータリアンはその国のロータリー観で行動してほしい。自分たちが育ててきたロータリー観を捨てる必要はない。規定審議会で決まったことは柔軟性を持って解釈、運用してほしい。」と述べておられました。

賢明なるロータリアンの皆様はマローニー会長のこの発言で理解できたと思います。結論は「不易流行」ということです。日本のロータリアンはこれまでのとおり「例会、職業奉仕の考え方」を捨てる必要はないのです。ロータリーのレガシー、哲学を大切にする誇り高いロータリアンであればよいのです。むしろ、その誇りをなくすことが危惧されるのです。小船井PG(釧路RC)は「最近ではロータリー哲学を教える新人教育がなされていないのが現状である。ロータリーの良さが古参会員は理解しているが、新人が習得することなく、ライオンズとロータリーの区別さえわからない新入会員が多い」と言われておられます。現代は飽くなき利己のみを求める金融資本主義的経済がはびこり混乱しています。現在こそロータリーが掲げる「利己と利他の調和」の精神が健全な経済活動には必要と考えられます。ロータリー哲学は



決して古い理論とはいえません。

最近の規定審議会の変化は「会員資格は無職でも親類でも誰でもよい」などと会員を増やすことにのみ注力するのは「ロータリーのライオンズ化」であると言えます。会員増強の裏で「会員の質」を問う非難の声が上がっているのはこの現れです。ロータリアンは専門職を持った地域で選ばれた人の集まりです。ロータリー哲学の教えを紐解く大事な時期にきたとも言えます。

ロータリーの素晴らしさに感激した年でもありました。佐賀豪雨災害の際、第2740地区のガバナー補佐の皆様が現地調査と視察支援をすぐに動いていただきました。そして34地区からなるガバナー会へ災害報告をしましたところ、日本中のロータリアンが4000万円に及ぶ支援金を届けて頂きました。現地では自らも被災しながらも、それぞれの職種のロータリアンが災害支援に動いていました。支援金を激甚災害指定自治体に贈呈しましたが、残念ながら取材に来たマスコミがロータリーとはいかなるものかを良く知りませんでした。公共イメージの大切さを実感した次第です。

昨年度末には驚く事件がありました。アフガニスタンではポリオ投与を行っていたロータリアンが凶弾に倒れた事件があった、と11月のロータリー研究会で聞いたばかりでした。同じアフガニスタンで中村哲医師が凶弾に倒れたとの報道です。世界は驚愕しました。残念無念の一言です。「平和には武器はいらない。薬より水だ」と言って、灌漑に人生をささげた方です。ロータリアンは中村医師の志「照一隅」を忘れてはいけないと思います。今年のインターアクト地区大会では黒崎医師の感動する話の中でその志の困難さを聞いたばかりです。ロータリーは平和を願う団体です。ポリオ根絶にあと一息なのに実現不可能なのはこのような世界で最悪の政治的要因があるからです。戦闘地域での平和活動は如何に困難かがわかります。

いよいよ7月からは花鳥エレクトによる新しい年度が始まります。1月にはサンジェゴでの国際協議会、ついで地区研修セミナー、PETS、地区委員会キックオフミーティング、地区研修協議会と続きます。その間に、各クラブの周年行事、IM、委員会研修、アンケート調査などがあります。アンケート調査は花鳥ガバナーの公式訪問には必要ですから必ず御協力くださいますようお願いいたします。

6月にはロータリー・ハワイ国際大会が開催されます。第2740地区ナイトは6月9日です。皆様多数ご参加くださいますようお願いいたします。

佐賀豪雨被災地訪問でロータリーの在り方を考える

ガバナー 千葉 憲 哉

12月3日佐賀豪雨災害への寄付金を届けに、大石地区幹事と佐賀を訪問した。武雄市役所玄関には平岡AG、白石AG、武雄RC会長、多久RC会長、大町RC会長など被災地区のロータリアンが出迎えられた。武雄市役所の来賓室へ案内されると、すでに報道各社が待ち構えていた。

来賓室へ小松武雄市長、横尾多久市長、水川大町町長が入ってこられ、われわれロータリアンが挨拶。まず、ガバナーの私から災害のお見舞いと寄付金贈呈に至る経緯を説明。その後、3名の方それぞれに1000万円の日録贈呈。両市長・町長が感謝の意を述べられた。

その中で、全国34地区89,500人のロータリアンから届けられた寄付金をどのように使いたいのか？を3名の方々が話された。武雄市長は、「災害弱者に重点的に配分したい」。多久市長は、「災害で破壊された地区



への支援」に、同じく大町町長は、「ボタ山崩壊による地域復興、油汚染田園の復旧などに使いたい」と話された。要するに、「地元で有効に利用したい」という事である。

その災害用のお金の集め方であるが、平岡ガバナー補佐の助言で、寄付金を「義援金」ではなく「支援金」として使わせてほしいとの依頼があった。その理由は日赤などが集める「義援金」ならば寄付先を指定できず、どこに使われるか不明である。前例として、北部九州豪雨災害では「義援金」として集められたため、被災地朝倉には十分には届かなかったということであった。

そこで、全国ガバナー会で、今回、「義援金」ではなく、「支援金」として使用させていただくとの了解が得られた。地元自治体が自由に使えるお金として贈呈できた。両市長・町長の意図は実現可能である。

また、両市長・町長から今回の地元ロータリアンの活動経緯を聞かれましたので、「災害3日後、平岡ガバナー補佐がガバナーを連れて被災地を視察、更に平岡・白石ガバナー補佐を中心に佐賀県域内各クラブ会長幹事が被災状況を調べ、ガバナー事務所に報告を受けました。全国ガバナー会へその状況を報告し、それが多額の支援金集めにつながった。」という経緯に三者様に、ロータリーの支援の速さ、連携と行動力に驚いておられた。

世間では「ロータリーとは何か？ 何をしているのか？」とよく問われる。

ロータリーとは職業人が「奉仕の理想を実現する団体」である。最近はお金と併せてNPOやボランティアの協力など人的支援の必要性が求められる。災害時におけるロータリーの奉仕活動とは、まずは、職業奉仕、社会奉仕である。ロータリアンが自らの専門職業を災害復旧に生かすことにある。

今回も地元のロータリアンは自らの職業を通して災害復興に行動している。建設業の方は建設機械や車両を復旧活動に使い、飲食業の方はボランティアの方に配食サービスを提供したとお聞きした。行政は、進んで行政施設のスペースを廃材置き場に提供している。しかもロータリアンは、元議員がいたり、商工会議所役員がいたり、普段から自らの職業を通じて地元行政としっかりつながっており、災害地では刻々と変化する中、何が今、求められているかを把握し、ガバナー事務所に報告され、全国のロータリーに発信できた。職業人の集まるロータリー組織ならではの活動である。

報道ではその後に新たに起こった千葉、長野、東北など他地区の災害が次々と報道され、佐賀豪雨災害のその後の実態も災害地以外の人からは忘れられつつある。

でも復旧は今からである。短期的活動では地域は災害から立ち上がれない。そこで、最近、ロータリー財団の6つの活動（疾病、平和推進、水と衛生、母子健康、地域経済）に加えて、新たに「災害支援」のための基金が設立された。即時、短期、長期にわたった災害支援が可能となった。人的奉仕を今後、現地で実現したいと考えている。改めて、温かい気持ちを届けて頂いた一人一人の全国のロータリアンに深く感謝申し上げます。ロータリアンとして誇りを感じました。

「ロータリアンの視点の大切さを忘れてはいけない」と考えさせられる災害地訪問であった。



社会奉仕セミナー報告

地区社会奉仕委員会 委員長 **帯屋 徹** (大村RC)

日時 2019年10月27日(日) 13:00~18:00

場所 東彼杵総合会館 大会議室

セミナー当日は、千葉ガバナーには、他地区の年次大会の出席のため、ガバナー代理で花島光喜ガバナーエレクト、並びに駒井英基パストガバナー研修委員長、塚崎寛ガバナーノミニ、大石地区幹事やガバナー補佐の皆様にもご参加いただきました。又、児童虐待の防止をテーマに講演を頂きました慈愛園理事長・潮谷義子先生にも、心から御礼を申し上げます。

セミナーのプログラムは、前半では各クラブの活動実績アンケートを佐藤誠委員(雲仙)が集計、発表を行いました。近年社会奉仕の傾向として環境保全事業から、人間尊重事業への取り組みへの移行が顕著であること、汗を流す事業からお金を出す事業への移行、社会奉仕を通しての、RC公共イメージアップの取り組みがまだ足りないのでは、などの報告がありました。

続いて社会奉仕事業実績の発表を、本年度の3つの指針に沿った活動をされた、4クラブの代表の方に発表をお願いしました。①「ロータリーデーの推進」としてグラウンドゴルフ大会に400名を集め開催された大村東クラブ ②「地区補助金事業の活用」として松浦クラブの日本を代表する地場水産を学ぶ「特別支援学級体験学習」③児童虐待関係の事業として、長崎みなみクラブの「子供食堂長崎」への支援活動、長崎出島クラブの「おしごと探検隊」等の発表を頂きました。

RCの公共イメージアップを大きな目的として3つの活動方針を推し進めていくための手本となる活動実績であると思います。

後半では、今緊急の社会問題である、児童虐待について、前熊本県知事で現慈愛園理事長、日本福祉大学理事長でもあられ、児童虐待防止の活動の旗手として活躍を続けていらっしゃる潮谷義子先生を迎え、「児童虐待一命の育ちは支えられているのだろうか?」というテーマでお話をいただき、虐待を巡る現況やその背景、里親制度、予防対策、子供の発育への影響、共生社会を目指す生き方、などの興味深い講演を頂きました。

その講演をよりよく理解するための、ウォーミングアップとして、児童虐待防止「今我々に何ができるのか」を議題に10グループに分かれていただきファシリテート方式により、ディスカッションを行っていただきました。ファシリテーションとは近年ロータリーの研修の中で取り入れられている方式であり、当地区では初めての取り組みとなります。この試みが当地区のロータリー研修の新たな一歩になることを祈り、ファシリテーターとして協力頂きました他委員会の皆様や、セミナーの準備等でお世話をいただいた宮田事務局にも心から御礼を申し上げ、報告に代えさせていただきます。



ロータリー財団セミナー報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 岡村 康 司 (長崎南 R C)

去る11月24日長崎ではローマ法王訪問で厳重警備の中、東彼杵では90名が出席しロータリー財団セミナーが賑やかに開催されました。

このセミナーは11月の財団セミナー、翌年2月に行われる補助金セミナーと合わせて年2回行っておりますが、11月は財団の概要を理解していただくことを目的として合わせて各委員会の活動報告もなされます。2月は財団が持つ各種の補助金についてその運用と手続きについての説明がなされ、この2段階の研修によって財団の事業が各クラブへ普及浸透することを主な目的としています。

今年は上記の目的に加えとりわけグローバル補助金の活用を促すべく、記念の講演会を企画しました。講師は長年タイの少数民族「アカ族」の子供たちの識字率向上のため日本語学校を設立して支援活動されているロータリアン、原田義之氏に現地の状況を詳しく語っていただきました。(詳しい内容については写真の本をぜひ買っていただければ幸いです)



千葉ガバナー点鐘、挨拶、財団委員長の私岡村より本年度セミナーの開催趣旨と活動報告を行い、継続事業の関係で前年度委員長の西川さんから前年までの財団の支援活動の報告をいただきました。その後2016～2017年度グローバル補助金留学生の片岡一生君より帰国報告があり、休憩を挟んで原田義之氏の講演となりました。

現役を退いてから64歳でタイに赴き、現地の子供たちがおかれている悲惨な状況を少しでも改善すべく、残りの人生のすべてをかけておられる原田氏の話はやった者でなければ絶対に語れない、聴く者はそんな鬼気迫るものを感じていたと思います。用意した本はほとんど完売し、印税を引いた残金はタイの子供たちのための支援となりました。



講演が終わって後半のプログラム、財団学友委員会の森本さん(小委員長)とポリオプラス委員会の上田さん(小委員長)からそれぞれ今年度の報告があり、最後は花鳥ガバナーエレクトの講評でセミナーを締めくくりました。

原田義之先生にはこのセミナーのために遠くタイ国よりお越しいただいて貴重なお話を拝聴しました。出席された地区内各クラブの会長幹事さん、他財団関係の委員の皆さん、ありがとうございました。





2019年10月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	82.6	74	5	76	5	3	0	3	2
	小城	4	61.8	30	2	30	3	0	1	-1	0
	牛津	4	74.8	30	0	34	1	0	0	0	4
	多久	4	84.5	38	5	38	4	1	0	1	0
	佐賀大和	4	73.1	26	6	26	6	0	0	0	0
	小計		75.3	198	18	204	19	4	1	3	6
第2グループ	佐賀西	3	78.1	38	2	43	3	1	0	1	5
	佐賀北	4	77.7	45	1	45	2	0	1	-1	0
	佐賀南	4	71.2	38	4	41	4	0	0	0	3
	神埼	3	84.2	37	4	37	4	0	0	0	0
	佐賀空港	3	70.8	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		76.4	176	12	184	14	1	1	0	8
第3グループ	有田	4	70.7	28	0	31	1	1	0	1	3
	武雄	3	91.1	56	5	56	5	0	0	0	0
	鹿島	4	91.4	34	4	33	4	0	0	0	-1
	嬉野	4	89.4	26	2	26	2	0	0	0	0
	大町	5	62.7	11	0	15	0	0	0	0	4
	太良	4	92.5	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		83.0	165	11	171	12	1	0	1	6
第4グループ	唐津	3	92.3	61	0	61	0	0	1	-1	0
	伊万里	3	86.6	29	0	29	0	0	0	0	0
	唐津東	4	87.8	50	0	51	0	0	0	0	1
	唐津西	4	89.0	34	0	35	0	0	0	0	1
	伊万里西	4	97.3	41	0	41	0	0	0	0	0
	唐津中央	4	87.6	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		90.1	252	3	255	4	0	1	-1	3
第5グループ	佐世保	5	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1
	平戸	4	79.3	29	2	28	2	1	2	-1	-1
	北松浦	4	86.3	25	0	25	0	0	0	0	0
	佐世保西	4	85.9	24	4	24	3	0	0	0	0
	松浦	5	84.3	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		87.2	182	7	184	6	1	2	-1	2
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	64	0	2	0	2	2
	佐世保東	4	78.1	23	0	24	0	0	0	0	1
	佐世保北	3	100.0	40	2	40	2	0	0	0	0
	佐世保中央	4	89.7	46	1	47	1	0	0	0	1
	佐世保東南	5	68.8	39	0	40	0	0	0	0	1
	HTB佐世保	4	76.4	23	2	23	2	0	0	0	0
小計		85.5	233	5	238	5	2	0	2	5	
第7グループ	大村	4	88.0	48	4	49	4	0	0	0	1
	島原	4	81.6	30	2	30	2	0	1	-1	0
	雲仙	3	89.6	14	0	14	0	0	0	0	0
	大村北	4	92.1	24	1	24	1	0	1	-1	0
	島原南	4	68.0	25	0	25	1	0	0	0	0
	大村東	3	86.9	37	3	38	4	0	0	0	1
小計		84.4	178	10	180	12	0	2	-2	2	
第8グループ	諫早	4	81.1	72	0	75	0	0	0	0	3
	諫早北	4	79.1	74	4	74	4	0	0	0	0
	諫早西	4	90.7	45	0	45	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	88.6	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	2	73.3	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		82.6	237	12	243	13	0	0	0	6
第9グループ	長崎	4	83.4	74	0	74	0	2	1	1	0
	福江	3	85.1	33	0	35	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	74.4	41	3	41	2	0	0	0	0
	福江中央	4	81.4	21	0	21	0	0	0	0	0
	長崎西	4	79.0	43	1	43	1	0	1	-1	0
	長崎琴海	4	57.5	11	0	11	0	0	0	0	0
小計		76.8	223	4	225	3	2	2	0	2	
第10グループ	長崎北	2	81.6	80	0	79	0	0	0	0	-1
	長崎南	4	81.3	72	0	73	0	0	0	0	1
	長崎東	3	69.5	40	2	43	2	0	0	0	3
	長崎みなと	3	81.8	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	2	95.1	55	0	55	0	0	0	0	0
	長崎出島	3	81.5	71	12	72	12	1	0	1	1
小計		81.8	348	15	352	15	1	0	1	4	
56クラブ合計			82.3	2,192	97	2,236	103	12	9	3	44

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年10月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりましたの方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀RC
真島 和博 君
長崎放送(株) (NBCラジオ佐賀)
ラジオ局長兼佐賀局長



佐賀RC
後藤 昌弘 君
全日本空輸(株)佐賀支店
支店長



佐賀RC
竹井 晋治 君
西日本新聞佐賀総局
総局長



多久RC
田中 秀和 君
多久観光バス(株)



佐賀西RC
松村 淳一 君
佐賀ガス(株)
代表取締役社長



佐賀西RC
郷田 正 君
九州電力(株)佐賀営業所
所長



佐賀西RC
一ノ瀬裕子 君
フリーアナウンサー



佐賀西RC
日野 和仁 君
日野法律事務所
弁護士



佐賀空港RC
江頭 活広 君
磯頭
代表



有田RC
西山 研吾 君
共立エレクトクス(株)
代表取締役



平戸RC
荒木 孝仁 君
(株)清和
専務取締役



佐世保南RC
宗 博美 君
佐世保港湾運輸(株)
代表取締役



佐世保南RC
卜部 篤志 君
学法) 聖和女子学院
理事長



長崎RC
森田 誠 君
長崎自動車(株)
取締役経営企画本部長



長崎RC
下田 尚人 君
日本銀行長崎支店
支店長



長崎出島RC
嘉村 大輔 君
松尾建設(株)長崎支店
支店長



物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



小城RC
倉永 圓宰 君
(享年82歳)



佐賀北RC
富崎 一己 君
(享年83歳)



唐津RC
野口 晶教 君
(享年68歳)



平戸RC
塩澤 恒雄 君
(享年80歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	近 藤 竜 一	佐世保北
	三 谷 秀 和	佐世保北
	白 倉 一 男	諫 早 北
	高 田 祐 治	長崎中央
	今 村 茂 雄	長崎出島
	楊 爾 嗣	長崎出島
	村 木 昭一郎	長崎出島
	殿 村 周 三	長崎出島
	鉄 川 進	長崎出島
	北 島 利 彦	長崎出島
	澤 山 俊 雄	長崎出島
	堤 祐 敬	長崎出島
	喜々津 京 子	長崎出島
	山 田 佑 子	長崎出島
	藤 岡 秀 則	長崎出島
	有 馬 裕 幸	長崎出島
	谷 川 喜 一	長崎出島
	山 形 浩 介	長崎出島
	福 島 誠	長崎出島
	草 野 幸 子	長崎出島
ポール・ハリス・フェロー	山 口 孝 司	長崎出島
ベネファクター	今 村 茂 雄	長崎出島

米山記念奨学会			
種 類	氏 名	クラブ名	
米山功労者メジャードナー	富 田 耕 司	佐世保北	
米山功労者 マルチプル	花 島 光 喜	鹿 島	
	西 沢 雅 幸	佐世保南	
	中 島 閔 二	佐世保北	
	辻 本 善 樹	諫 早 西	
	山 崎 祥 弘	諫 早 西	
	朝 永 万左男	長 崎	
	岩 永 信 昭	長崎北東	
	崎 永 剛	長 崎 北	
	米山功労者	前 谷 逸 生	唐 津 東
		牧 野 博 一	佐世保北
松 永 祐 司		佐世保北	
田 島 慎		佐世保北	
松 田 亜由美		佐世保北	
船 津 学		佐世保北	
八 木 順 平		佐世保北	
藤 岡 秀 則		長崎出島	
米山功労法人	北 島 利 彦	長崎出島	
	山 口 孝 司	長崎出島	
	(有)フカヤ	唐津中央	

第2740地区ロータリー財団委員会 グローバル補助金ネパール事業



Dhadingの小学校の生徒たち



手洗いの訓練光景



プロジェクト参加者



先生方に対する講義の様子



地震で倒壊したトイレの改修工事



野原で行った400人規模のワークショップ

水と衛生に関する改善プロジェクト（2019年9／21～9／27）

プロジェクトには、西川義文（大村RC）、堤 貞喜、円田 稔、隅 康二（佐賀西RC）、古川尋美、吉岡義治（佐賀南RC）、西村明美（神埼RC）、片岡一生（D2740R財団学友）の8名が会計や広報などそれぞれ役割を分担してチームを組みました。設備工事は2020年3月の完成予定ですが、工事完成の前に現地にて水と衛生に関する教育プログラムを行うために現地訪問を行いました。

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

まえがき

生涯、諫早を離れることのなかった

草野源二郎氏の短歌の中に、

諫早の自然は多くの題材を提供している。

水鳥たちの羽音や啼き声という

聴覚が捕えるかれらへの

思いの深さがそうである。

小さき命へも心を寄せて

草野源二郎（歌人）

草萌えて帰りそびれし真鴨三羽水濁りたる春の川ゆく

冬川に遊ぶ真鴨の数増してわが朝夕の往反たのし

遙かなる水上にいて啼き交わす番ひの鴨の声いたいたし

川筋に啼くよしきりの透る声わが怠慢のこころ揺さぶる

痛切に啼きわたりゆく何鳥ぞ瀬音こもれる薄明の中

歌集『本明川』より

葦辺は水鳥のねぐら（本明川）

編集後記

令和2年の初春を迎えた。昨年は自然災害が相次ぎ、心ならずも暗いニュースに明け暮れた。今年は東京オリンピックが開催され、歴史的な年となるだろう。ロータリー年度も下半期に突入、各クラブとも新たな奉仕に向けて進もう。（緒方）



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



Rotary

2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2020. 2

Vol. **8**



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

表紙の写真説明

ほの暗き
山路を朱に
染めはゆる
落花のツバキ
影やいたわし

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
第5回オリエンテーション&クリスマス会報告	4
2020~2021年度 地区セミナー・協議会日程のお知らせ	5
R文庫通信 [380]	5
会員数・出席報告	6
新会員・物故者紹介・寄付者紹介	7
鎮西学院高等学校の平和教育・ インターアクトクラブの活動について	9
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



ライラ(RYLA)の在り方を考える。

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉憲哉

来る2020年2月9日に佐賀市で佐賀ロータリークラブがホストとなり、第12回全国RYLA研究会が開催されます。

このニュースを聞かれたロータリアンは「えーっ、RYLAってそもそも何?」とか「RYLAはうちのクラブでやった事があるけどむずかしいなあ、えーっ、全国レベルを開くの?」とかの疑問が出てくると思います。当然です。地区で行われるRYLAは56クラブが年1回の開催担当ですから、通常の経歴のロータリアンならば、入会中、1回当番クラブになるかどうかです。自分のクラブが当番に当たらなければRYLAとは何か? どう運営すればいいのか? そしてその意義は? ということを真剣には考えません。

ではRYLAとは何でしょうか。RYLA (Rotary Youth Leadership Award) とは「地域社会、国際社会に奉仕する青少年のリーダーを養成すること」です。

RYLAは1959年にオーストラリア・クイーンズランド州創設100周年を記念してイギリス王女を派遣した際、ブリスベーンRCが王女と同じ年代の青年を集め、社会教育プログラムを実施したのが発祥です。日本では1976年第366地区(今の大阪中央地区と大阪南部地区)で開催され、全国に広がりました。目的は「地域社会の若い人々の指導力および善良な市民としての資質や個人の能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる機会を設ける。」ということです。その後、ガバナーの権限、目標、活動カリキュラムの中心、RYLAにおける活動内容、RYLAに関するロータリアンの活動、RYLAセミナーおよびプログラム等がRI理事会で次々と決定されてきました。しかしながら、多くの地区におけるRYLAでは1年に1回のクラブ持ち回りで、講演者をお願いし、青少年を集め、恒例として一泊の研修を終えることが恒例となり、RYLAの意義が担当クラブで論議されたり、RYLAの成果としてライラリアンがその後、どのようになったか? が問われることなく過ごしてきたのが現状なのです。

しかし、第2680地区を中心とした40数年にわたる、全国大会のRYLA研究会とセミナーの活動は全く異なっていました。その中心に日本のRYLAの発展に大きく寄与された方がお二人おられます。元RI理事今井鎮雄PGと深川純一PGです。今日、RYLAが素晴らしいものに育ったのは、このお二人による素晴らしい提言、御指導の賜物と思います。今井氏は実践の指導において、深川氏はロータリー理念に基づくRYLA理論の提言を構築され、お二人で日本におけるRYLAをけん引してこられ、多くのロータリアンとライラリアンに感動を与えてきました。

今井鎮雄PGは青少年、特に弱者に対する考えの基礎として「みんながどう生きるか?」が問題であり、問題解決のための研修手段として御自身のYMCAでの経験を活かして、グループ・ワークを取り入



られました。「**組織キャンプ教育**は集団の中での人間の成長、個人の性格がグループ内でどのように変容していくかを学ぶ場である。グループの中で人は育つ。だから、メンバーの個人成長を助けようと試みるためには、グループという場でR Y L Aを育成されるべきである。」これが今井氏の考えで、瀬戸内海の余島でR Y L Aキャンプが実行される基盤となりました。

深川純一P Gは「人間の魂の在り方」としてどのようにR Y L Aを発展させるべきかを考え、R Y L Aの**3つの柱、基礎的要素**を提言された。

1) 受講生の個人倫理の確立

2) R Y L Aを運動体として構成する原理

3) 時代の変遷とともに変わりゆく**地域社会のニーズに対して、受講生たちが如何に実践していくのか**要するに、地域社会、国際社会に奉仕する青少年のリーダーを育成すること、これが**R Y L Aの基本**であると述べておられます。

お二人のご努力で今日のR Y L Aの基本理念と構想があります。このことは、全国R Y L A研究会に出席された歴代のR Y L A地区委員長、パストガバナーの皆様はご承知の事と存じます。だからこそ、第2740地区で全国大会を開催するハードルの高さを感じる方が多いと思います。しかし、今、全国に広げるという行動をしなければ、お二人の長年の御努力は報われません。是非、**我々の後に次ぐ、若いリーダーの為にたちあがろう**ではありませんか。

今回、当地区に全国R Y L A研究会開催の要請がありました。同時に、全国大会の研究会とセミナーを実現されてきたことを引き継ぐとき、その重さは計り知れません。今回の開催は当地にとって、既存の在り方を変革する最良の機会でもあります。第2680、2660、2670地区をはじめ34地区の多くのロータリアンやライラ学友、チームライラが応援にやって来ます。R Y L Aのセミナーが青少年にとって、人生観が大きく変わるきっかけになるようなものにする為に、今回の研究会でそれぞれの地区のR Y L A委員会がどのような改革が必要であるのかを学ばなければなりません。九州でR Y L Aセミナーが開催できる日が来ることを夢見て、今回の研究会を楽しみましょう。

最後に、この試みに快く賛同し御協力いただいたR I J E M事務局、第2680地区のR Y L A委員会、第2740地区R Y L A委員会の皆様、会場の提供をいただいた西九州大学、企画・運営していただいた全国大会副実行委員長の野口清P G、山下雄司会長はじめとする佐賀R Cのクラブの皆様、また、インターアクトの皆様に深く感謝申し上げます。

(引用；第10回全国R Y L A研究会報告書より)

2020年2月9日(日曜日) 西九州大学佐賀キャンパス 佐賀市神園3-18-15 電話 0952-31-3001

9時開場、10時開会、終了15時50分

特別講演 「何故！ ロータリーがR Y L Aを行うのか！」 三木清R I理事

そのほか、2019 J A P A N R Y L A報告、全国R Y L A委員長会議、分科会

第5回オリエンテーション&クリスマス会報告

R I D2740地区 国際青少年交換委員会 インバウンドコーディネーター YEO 下津浦 正明

新年明けましておめでとうございます。

本年度は、R I D2740地区国際青少年交換委員会交換プログラム（15歳～19歳）に来日している交換留学生は、4カ国カナダ、米国、オーストラリア、台湾より、ケンジー フォード（加）、ミワ クレア（加）、イアン ブラック（米）、ジェイムス ウィットフォード（豪）、ルビー バーンズ（豪）、ティファニー ポー（台湾）の6人です。

本年度5回目の12月度委員会は、期末までの活動の内、ジャパンツアー、派遣学生次年度プログラム参加学生選考、などです。本年度から派遣学生の必携品目共同購入を試みております。

委員会の後は、毎年恒例のクリスマス会が催されました。クリスマス会の初めに、カナダからの留学生ケンジー フォードさんがフルートの演奏とクリスマスソングをとともロマンチックに熱唱してくれました。

クリスマス雰囲気を盛り上げてくれて、本当に感謝です。

会の終わりには、皆それぞれが持ち寄った、小さなクリスマスプレゼントの交換です。大きく輪になって、音楽に合わせて手から手へプレゼントを回します。音楽が止まった時に手にしたプレゼントが貰えます。この月信が配布される頃には、オーストラリアからの2名が既に帰国しておりますが、このクリスマス会はその2人（ジェイムス ウィットフォード君とルビー バーンズさん）の送別会も兼ねています。素晴らしく日本語も上達して、2人とも学校の人気者です。きっと、直ぐにまた、日本にやってくると思います。親善大使として十分な役目を果たしてくれました。

2020年度は当地区からは過去最大の7人の学生を派遣する予定です。国際青少年交換委員会も大変忙しくなります。

委員会は、受け入れて頂いた各学校を回り、学費の免除、スクールバスの費用、制服の貸し出し、などなど沢山の無償のご支援をお願いして、スポンサークラブの負担の軽減に努めています。

皆様には、益々のご支援、ご協力を仰ぐこととなりますが本年度も、何卒宜しくお願い致します。





2020～2021年度 地区セミナー・協議会日程のお知らせ

◆地区チーム研修セミナー

日時 2020年2月23日(日) 登録受付 14:00/開会 14:30 会場 割烹 清川 (鹿島市)

◆会長エレクト研修セミナー

日時 2020年3月15日(日) 登録受付 12:30/開会 13:30 会場 割烹 清川 (鹿島市)

◆地区委員会キックオフミーティング

日時 2020年4月12日(日) 登録受付 12:30/開会 13:00 会場 鹿島市 エイブル

◆地区研修・協議会

日時 2020年5月17日(日) 登録受付 12:30/開会 13:30 会場 武雄市文化会館

※懇親会会場 武雄センチュリーホテル

◎2020～2021年度地区大会

日時 2020年10月23日(金)～25日(日)

会場 武雄市文化会館

国際ロータリー第2740地区 ガバナーエレクト事務所

〒849-1315 佐賀県鹿島市大字三河内甲290-7

TEL: 0954-69-1705 FAX: 0954-69-1706

E-mail: ri2740hanashima@athena.ocn.ne.jp

文庫通信 [380]

ロータリー文庫通信380号 2019年12月 ロータリーの古典文献から今を考える

10月初旬に松宮元R1理事から論稿が届いた。以前、文庫から「ロータリーの解析」の原書のコピーを持ち帰られたことがある。原書を座右に置き、未来のロータリーの姿に思いを馳せ、思索を重ねて書き上げた論稿だと思う。1935年「ロータリーの目的」がほぼ今の形になった頃、そこに込められたロータリーの基本理念は何だったのか。1927年オステンド国際大会を契機に四大奉仕部門を取り入れた時が、ロータリーの最初の大きな転換期であった。今はそれ以上の大きな転換期を迎えている。2019年規定審議会制定案19-117の採択により、国際ロータリーは「公共慈善団体」を目指すことになったのだから。皆さんの今の思いを是非文庫へ寄稿してください。(N.S.)

書名	著者/出版社	発行年	頁	※
「ロータリー解析(The Meaning of Rotary)」を読む	松宮剛 -	2019	10P	※
ロータリーの綱領	直木太一郎 -	友: 1972 ・2月	5P	※
THE MEANING OF ROTARY	Vivian Carter R.I.B.I	[1927]	82P	※
The Meaning of Rotary ロータリー解析	Vivian Carter 著; 田中毅訳 -	1999	101P	※
The Aims and Objects Plan Pamphlet No.3	- R.I.	1931	53P	※
目標設定プラン-四大奉仕-(The Aims and Objects Plan Pamphlet No.3)	東昭二訳 -	-	39P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

2019年11月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第1グループ	佐賀	4	68.4	74	5	75	5	0	1	-1	1	
	小城	4	69.1	30	2	29	3	0	1	-1	-1	
	牛津	4	68.6	30	0	34	1	0	0	0	4	
	多久	4	75.3	38	5	38	4	0	0	0	0	
	佐賀大和	3	62.3	26	6	26	6	0	0	0	0	
	小計		68.8	198	18	202	19	0	2	-2	4	
第2グループ	佐賀西	3	74.4	38	2	43	3	0	0	0	5	
	佐賀北	4	63.4	45	1	46	2	1	0	1	1	
	佐賀南	4	75.4	38	4	40	4	0	1	-1	2	
	神埼	4	85.7	37	4	38	4	1	0	1	1	
	佐賀空港	3	72.1	18	1	18	1	0	0	0	0	
	小計		74.2	176	12	185	14	2	1	1	9	
第3グループ	有田	3	75.3	28	0	31	1	0	0	0	3	
	武雄	3	92.7	56	5	55	5	0	1	-1	-1	
	鹿島	4	90.6	34	4	33	4	0	0	0	-1	
	嬉野	4	89.8	26	2	27	2	1	0	1	1	
	大町	4	63.3	11	0	15	0	0	0	0	4	
	太良	4	92.5	10	0	10	0	0	0	0	0	
	小計		84.0	165	11	171	12	1	1	0	6	
第4グループ	唐津	3	90.5	61	0	61	0	0	0	0	0	
	伊万里	3	88.9	29	0	29	0	0	0	0	0	
	唐津東	4	89.0	50	0	51	0	0	0	0	1	
	唐津西	4	90.9	34	0	35	0	0	0	0	1	
	伊万里西	4	94.5	41	0	41	0	0	0	0	0	
	唐津中央	4	89.6	37	3	38	4	0	0	0	1	
	小計		90.6	252	3	255	4	0	0	0	3	
第5グループ	佐世保	4	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1	
	平戸	4	85.0	29	2	28	2	0	0	0	-1	
	北松浦	4	93.9	25	0	25	0	0	0	0	0	
	佐世保西	4	80.4	24	4	24	3	0	0	0	0	
	松浦	4	86.2	26	1	28	1	0	0	0	2	
	小計		89.1	182	7	184	6	0	0	0	2	
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	64	0	0	0	0	2	
	佐世保東	4	77.0	23	0	24	0	0	0	0	1	
	佐世保北	3	100.0	40	2	44	2	4	0	4	4	
	佐世保中央	4	87.6	46	1	47	1	0	0	0	1	
	佐世保東南	4	61.3	39	0	40	0	0	0	0	1	
	HTB佐世保	4	75.8	23	2	23	2	0	0	0	0	
	小計		83.6	233	5	242	5	4	0	4	9	
	第7グループ	大村	4	80.6	48	4	49	4	0	0	0	1
		島原	4	78.0	30	2	31	2	1	0	1	1
		雲仙	3	91.8	14	0	14	0	0	0	0	0
大村北		4	92.9	24	1	26	2	2	0	2	2	
島原南		4	65.0	25	0	25	1	0	0	0	0	
大村東		3	86.6	37	3	38	4	0	0	0	1	
小計			82.5	178	10	183	13	3	0	3	5	
第8グループ	諫早	5	86.2	72	0	75	0	0	0	0	3	
	諫早北	3	87.0	74	4	74	4	0	0	0	0	
	諫早西	3	93.1	45	0	45	0	1	1	0	0	
	諫早多良見	4	93.3	32	0	34	0	0	0	0	2	
	諫早南	2	80.0	14	8	15	9	0	0	0	1	
	小計		87.9	237	12	243	13	1	1	0	6	
	第9グループ	長崎	3	91.0	74	0	75	0	1	0	1	1
福江		3	84.3	33	0	34	0	0	1	-1	1	
長崎北東		4	77.5	41	3	41	2	0	0	0	0	
福江中央		3	76.5	21	0	21	0	0	0	0	0	
長崎西		3	86.9	43	1	43	1	0	0	0	0	
長崎琴海		3	65.0	11	0	11	0	0	0	0	0	
小計			80.2	223	4	225	3	1	1	0	2	
第10グループ		長崎北	3	80.1	80	0	80	0	1	0	1	0
		長崎南	3	86.0	72	0	72	0	0	1	-1	0
		長崎東	5	77.6	40	2	43	2	0	0	0	3
	長崎みなと	4	82.7	30	1	30	1	0	0	0	0	
	長崎中央	3	98.4	55	0	54	0	0	1	-1	-1	
	長崎出島	4	77.1	71	12	72	12	0	0	0	1	
	小計		83.6	348	15	351	15	1	2	-1	3	
56クラブ合計			82.5	2,192	97	2,241	104	13	8	5	49	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年11月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀西 R C
吉野 雅晴 君
株式会社吉野商店
代表取締役社長



佐賀北 R C
尾辻 和明 君
株式会社九電工佐賀営業所
所長



神埼 R C
野田 明裕 君
トヨタ紡織九州株式会社
専務取締役



嬉野 R C
吉牟田誠一郎 君
吉牟田建材株式会社
代表取締役



佐世保北 R C
早田 貴志 君
株式会社オフィス 早田
代表取締役



佐世保北 R C
戸畑 教幸 君
ラウンジ伊勢
代表



佐世保北 R C
永石浩一郎 君
株式会社エコー
代表取締役



佐世保北 R C
村上 英毅 君
医療法人愛和会 村上内科
理事長・院長



島原 R C
横田 直樹 君
ホテル南風楼
営業課長



大村北 R C
末吉 弘丞 君
セントラル開発株式会社
総務部長



大村北 R C
小柳恵美子 君
ビッグ・カントリー
社長



諫早西 R C
山口 博幸 君
コーヨー
代表



長崎 R C
山下 達矢 君
全日本空輸株式会社長崎支店
支店長



長崎北 R C
平尾 豊幸 君
大和ハウス工業株式会社長崎支店
支店長

物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



佐賀RC
七田 秀徳 君
(享年81歳)



武雄RC
八谷 時彦 君
(享年77歳)



諫早西RC
木村 暢義 君
(享年64歳)



福江RC
有川 一男 君
(享年73歳)



長崎南RC
川脇 輝也 君
(享年79歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	緒 方 信 行	佐世保北
	福 田 俊 郎	佐世保北
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	二ノ宮 健	佐世保北
	村 瀬 高 広	佐世保北
	近 藤 竜 一	佐世保北
ポール・ハリス・フェロー	西 山 保 広	有 田
	朝 長 万左男	長 崎
ベネファクター	蒲 池 芳 明	佐世保北

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	福 田 俊 郎	佐世保北
米山功労者マルチプル	鳥 巢 維 文	長 崎
米山功労者	野 中 績 宏	武 雄
	上 杉 芳 邦	佐世保南



鎮西学院高等学校の平和教育・インターアクトクラブの活動について

ガバナー月信編集委員 川崎 健 (諫早北RC／鎮西学院高等学校校長)

1881年アメリカ人宣教師C. S. ロング博士によって長崎市東山手に建てられ、今年で創立138周年の鎮西学院は、1945年8月9日長崎市に投下された原子爆弾によって、当時西日本一と称された地上4階、地下1階建ての鉄筋コンクリート建ての校舎が一瞬にして倒壊し、在籍していた教職員・生徒百数十名の尊い命が奪われるという、未曾有の大惨事を経験しました。あの日校舎内で被爆された千葉院長が発せられた叫び、“War is hell.”「戦争は地獄だ」という言葉を忘れぬよう、今現在は諫早の地に移転しておりますが、実際の被爆校として、平和教育を継続して行ってまいりました。毎年8月9日には同法人内の幼稚園から高校・大学までの児童・生徒・学生が一堂に会し、本部棟前にあります原爆慰霊碑に対して献水及び献花をして御霊の安らかならんことを祈念し、また不戦の誓いを新たにしているところであります。

今年度は「平和大行進」を、原爆記念日前日の8日に、3年ぶりに実施いたしました。これは、被爆地である竹の久保の旧校舎跡地にある現活水高校から、諫早にある鎮西学院高校まで約30kmの行程をクラスごとのリレー方式で繋ぎ歩き、参加者全員で平和の大切さを共に考え、社会に訴えかけるというものです。趣旨をご理解いただいた上で、本校関係者のみならず、諫早北RCのロータリアンの方々にも多数御参加いただきました。真夏の暑い日ではありましたが、長崎駅における出発式には田上長崎市長、諫早市役所前の上野市長にも御参加いただき、大変意義のあるものとなりました。

更に今年は、本校インターアクトクラブの特筆すべき出来事として、以下の二つの出来事がありました。

一つ目は本校国立大学進学コース2年在籍の内山洸士郎君が、第22代の高校生平和大使の一員となり大役をこなしたということです。彼は6月にバチカンに赴きローマ教皇との謁見を果たし、核兵器の廃絶と世界平和の実現を直接訴え、8月にはジュネーブの国連本部に高校生1万人署名活動で集めた活動史上最多211,547筆の署名を提出し、更に11月には、来日したローマ教皇と長崎で再会を果たし、記念式典においてローマ教皇に点火のための火種を渡すという大役を次々とこなしました。彼はそこに至るまでに、自ら進んで平和大使に志願し、毎週街頭に立って署名活動を行い、核兵器の廃絶と世界平和の実現を訴え続けてくれました。数多くのメディアに対して、自らの平和に対する強い思いを隠さず堂々と受け答える姿には、自分の学校の生徒ながらも、強く感銘を受けました。

二つ目は、本校グローバルイングリッシュ（GE）コース2年在籍の宮田杏さん、中田呼夏さん、大崎蒼生君の3名が、この夏休み中に海外ボランティアの研修に参加したということです。宮田さんは日本赤十字社主催の南太平洋バヌアツに（全国で8名）、中田さんは同じく日本赤十字社主催のベトナムに（九州地区で15名程度）、その狭き門を潜り抜けてそれぞれが参加する資格を得ました。また大崎君は、長崎ウエスレヤン大学のタイ・カンボジアのスタディーツアーに唯一の高校生として参加しました。宮田さん・中田さんは、それぞれが日本赤十字社から両国に送られた支援金が具体的にどのように使われているのかという現場を見学したり、それぞれその地域の方々との交流を行ったりなど、とても貴重な経験を積んでまいりました。また、大崎君は、当地の孤児院を巡り物資を届けたり、そこで子どもたちや地域の方々との交流したりという経験を積んできました。元々ボランティア活動や国際貢献といったことに興味があった3人は、帰国後インターアクトクラブ内において報告会を行い、その様子を部員たちと共有するなど、ますます意欲的に様々な活動に取り組んでいます。

高校生時代にこうした実体験を積むことはその後の人生に大きな違いを生むものと思います。彼らの偉業を称え、今後を期待すると同時に、その後に続く後輩たちを育てることが本校インターアクトクラブの責務の一つであると感じているところです。



平和大行進中の姜院長



高校生平和大使の内山君



日本赤十字社バヌアツスタディーツアー



日本赤十字社ベトナムスタディーツアー



長崎ウエスレヤン大学タイ・カンボジアスタディーツアー

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

有明海の思ひ出

伊東 静雄（詩人）

馬車は遠く光のなかを駆け去り

私はひとり岸辺に残る

わたしは既におそく

天の彼方に

海波は最後の一滴まで沸り墜ちたり

沈黙な合唱をかし処にしてゐる

月光の窓の恋人

叢にゐる犬 谷々鳴る小川……の歌は

無限な泥海の輝き返るなかを

縫みながら

私の岸に辿りつくよすがはない

それらの気配にならぬ歌の

うち顫ひちらちらとする

緑の島のあたりに

遙かにわたしは目を放つ

夢みつつ誘はれつつ

如何にしばしば少年等は

各自の小さい滑板にのり

彼の島を目指して滑り行ったたらう

あゝわが祖父の物語

泥海ふかく溺れた児らは

透明に 透明に

無数なしゃっばに化身をしたと

まえがき

この詩に中田直宏氏が作曲された混声合唱曲が完成し
二〇〇〇年九月二十四日に初演であった。今は見る
影もない広大な干潟に、子供らは滑り板一枚で漕ぎ出し、
溺死してシャッパに化身したという壮大なスケールの歌。

〈初演演奏会プログラムより〉

編集後記

2月といえば節分。江戸時代以降は特に立春（毎年2月4日ごろ）の前日を指す場合が多い。長崎市の手熊・柿泊では「モットモ爺」という風習があるらしい。小生は大阪在住経験があるので専ら恵方巻きの丸かぶりである。（雅）



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2020. 3

Vol.

9



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

表紙の写真説明

いつしか水ぬるみ
汀の草花にも
春の息吹きが
寒中飢をしのいだ
水鳥たちの声たかし

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
新会員セミナー報告	4
インタラクティブ後期指導者研修会報告	5
米山学友会総会報告	6
会員数・出席報告	7
新会員・物故者紹介	8
寄付者紹介	9
国際大会（ハワイ）地区ナイトのご案内	9
国際ロータリー第2740地区 地区大会記念事業 「本明川飛び石さんぼみち案内板設置」	10
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



クラブに戦略委員会を作って運用してください

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

どんな会社でも事業計画を作ります。部長に丸投げはしません。社長、部長、課長、係長、スタッフ全員が仕事を始める前に事業内容を把握するのは当たり前です。ロータリークラブも奉仕事業体ですから、当然戦略（計画、目標）が必要です。奉仕事業は戦略から始まるとクラブが活性化します。

戦略委員会について

今年度から、戦略委員会設置を各クラブにお願いいたしました。戦略委員会は地区にありましたが、動いておりませんでした。また、クラブにも戦略委員会が存在しないところが多かったと思います。

戦略委員会というのは地区（又はクラブ）で行われる地区（又はクラブ）事業を単年度事業にするか？ 経年度ですか？ を事業について事業計画と内容を検討する委員会です。ロータリーでは運営及び奉仕事業について事業内容と時期、人、事業費について計画をたて、決定し、理事会にかけるまでの作業が行われます。

ここで、2020年2月8日に行われた地区の戦略委員会の実例を挙げ、やり方を説明します。

- 1) **構想提示**：戦略構想はガバナーおよび各委員会からの提案を集めました。提案者からその内容を説明してもらい、提案理由とその内容を把握。根回しが必要でしたので該当者に相談しました。提案戦略構想は3つ、①RYLA改革について②アンケート調査について③新会員セミナーについてでした。
- 2) **根回し**：①については今までのやり方を変える為に、当地区RYLA山口委員長及び委員の方と次いでガバナーと花鳥ガバナーエレクト、塚崎ガバナーノミニーとのRYLA改革提案を説明し、戦略委員会への提案の了解を得ました。
- 3) **委員会開催**：①～③について地域戦略委員会に提案しました。出席者は戦略委員会委員長 崎永PG、委員 駒井PG、花鳥GE、塚崎GN、ガバナー、オブザーバーとして斎藤元RI理事、田口PG、野口PG、大石地区幹事、松田地区副幹事とが参加されました。斎藤元RI理事が参加されたのはRYLAについての他地区の現状をコメントしていただく為でした。
- 4) **内容**：委員会を開催し、①RYLA改革構想については花鳥年度までは今までのとおり行う事。同時に花鳥年度から準備委員会を設置し、RYLAの基本理念と青少年ファミリーを念頭に置いたセミナー内容とすることに決まりました。②アンケート調査についてはガバナー補佐によるクラブ協議会、ガバナーによる公式訪問の資料として活用するために必要であり、クラブ改革の必須資料との認識で合意。③新会員セミナーは地区セミナーとクラブセミナーの年間2回すること。



5) 説明：次に、諮問委員会にかけて了解を頂き、次年度の事業として地区チーム研修セミナー、P E T S、キックオフミーティングでその内容が説明される。

6) 実行：2020年～2021年度事業開始となる。

以上が実際の戦略委員会の実例です。

各クラブに戦略委員会設置をお願いいたしました。

上記のプロセスにてクラブの**戦略委員会を6月中までに開催**してください。次年度の会長、幹事、委員長、委員で奉仕事業の提案をし、次年度理事会にかけ、7月の新会長が運営方針に基づく、事業計画を作る際、各委員会任せではなく、クラブ会長、幹事、委員長、委員、クラブ会員全員の総意で事業を上程するようにしてください。勿論、**アンケート調査の結果を反映する奉仕事業計画**となることをお願いいたします。

「とこしえに平和を」 緒方 聖 (諫早北RC)

頬を打つ横なぐりの吹雪に耐えて

ヨハネ・パウロ二世の壮絶な祈りは

三十八年前の長崎にて捧げられた

その情景は脳裏に焼きついて忘れがたい

だが その甲斐なくこの地上での争いは

幾たび繰り返されたことだろう

そして 今 教皇フランシスコが再びこの地へ

殉教と被爆の痛ましい歴史が刻まれたこの街に

小雨けむる大会場につどうキリスト教者

数多の人々の思いは天をつらぬき

折からの暗雲をはらい 希望の太陽が輝きだした

共に神に祈ろう

何より弱き者への愛を忘れぬよう

この地上から戦争が消滅するまで

核を持つことが 人間として大罪であることを

あの焼け焦がれた少年の遺体を何と知る

とこしえに平和を 共に祈ろう



(黒焦げの少年)

新会員セミナー開催の報告

会員増強委員会 委員長 佐藤 豊 (長崎琴海R.C)

日 時：2020年1月19日(日) 13:00～16:00

会 場：東彼杵総合会館 文化ホール

参加者数：各クラブより180名(内女性14名) 地区役員24名 合計204名

千葉ガバナー年度当初より計画してきた「新会員セミナー」を上記要領で開催しました。最大の目標は、3年未満の会員に退会者が多く集中していることから、知識やロータリアンとしての自立を手助けすることにあります。

プログラムでは、主に新会員に分かりやすく説明がなされました。

- ①演題「ロータリーの魅力」 千葉憲哉ガバナー
- ②「たかがロータリー、されどロータリー」 岩永信昭パストガバナー
- ③「ロータリーとはどのような会合なのか」 駒井英基パストガバナー

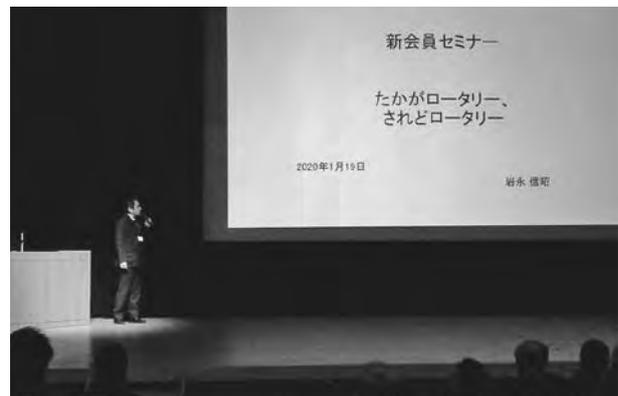
プロジェクターを通して、熱意と友情を体感できる内容で良く理解できたと確信しました。要所では、会場内から質問があり意見交換ができたことも有意義なことでした。

当日のご参加の皆様と講師を快くお引き受けいただいた千葉ガバナー、岩永パストガバナー、駒井パストガバナーに心から感謝をいたします。

更に当日の運営のために大活躍していただいた委員会の皆様にもお礼を申し上げます。

当日配布資料の内容は、新会員が優れたロータリアンとして成長していただけるものと思います。

今後も地区内の会員増強目標達成に役立てるようお願いしつつ報告と致します。





「インターアクト後期指導者研修会」報告

インターアクト委員会 委員長 長戸和光 (牛津RC)

「インターアクト後期指導者研修会」が、2020年2月1日(土)、東彼杵会館教育センターにて、千葉憲哉ガバナー、第2740地区のインターアクター45名と各提唱校の顧問の先生方、ロータリアン等が参加して開催されました。

今回の研修では、『もっと知ろう！ロータリーの青少年ファミリーについて』のテーマの下、ロータリーの青少年ファミリーの関係者に集まって頂き、ロータリーの5大奉仕部門である青少年奉仕の活動について広く紹介し、インターアクターがその活動について更に興味を深めて頂くとともに、将来に亘ってロータリークラブの活動に関わって頂くことに繋げることを目標として実施しています。

研修会は、千葉憲哉ガバナーの点鐘で開会し、ガバナー挨拶を頂戴しました。

その後、第1部として、まずは、インターアクトの提唱校のうち、佐賀清和高校（佐賀RC提唱）と鎮西学院高校（諫早北RC提唱）から、先のインターアクト年次大会にて国際奉仕部門の表彰を受けた活動内容について発表頂きました。引き続き、青少年ファミリーからの発表として、国際青少年交換留学生であるMiwa ClareさんとKenzie Fordさんより、それぞれの生活する地域や家族について、ROTEXの花畑和希さんから海外に留学をした経験やそれによって得た知見等について、米山記念奨学生である戴娟娟さんからは、日本に留学した理由や今後の人生の展望等について、ローターアクトからは、会長の堀山幸平さんより、所属するローターアクトクラブの活動内容等について、それぞれ発表がありました。さらに、樋口征司国際青少年交換委員及び大家和義米山記念奨学委員長からは、ロータリークラブの事業である国際青少年交換及び米山記念奨学生の各制度について、大変熱の籠もったご紹介を頂きました。

第2部では、「みんなで楽しみましょう！」のテーマのもと、武雄市レクリエーション協会会長の森恵美氏によるレクリエーションを行い、時間の短い中でしたが、参加全員での交流を楽しみました。

そして、最後に松田洋一地区副幹事より総評を頂き、研修会は終了となりました。

今回の研修会にご参加頂いた皆様、ご支援頂いた皆様にはこの場をお借りして感謝を申し上げますとともに、インターアクト委員会では、毎年2回指導者研修会を開催しており、今度も多くのインターアクターやロータリアンにご参加頂きたくご案内申し上げて、今回の報告とさせていただきます。



米山記念奨学会・学友会「総会・懇親会」

米山記念奨学会 地区委員長 大家和義 (小城RC)

米山記念奨学生2019年度生には、(中国・韓国・ベトナム・モンゴル・トルコ・バングラディシュ・マレーシア) 現在7か国の学生がいます。その学生にはお国の名物料理を作って頂き、後の会食にあてました。当地区出身の米山記念奨学生OBで、地区内又は隣接地区へ就職をしている、更に地区外の大学へ進級している学生等へ連絡を入れ、新旧のOB会として「学友会」が有ります。

当地区の米山記念奨学会で繋がったそれぞれの国の仲間、友人となった友好国の仲間の皆さんが一堂に会し、親交を深めて頂く為に、この「学友会」が有り、会則の役員は全て米山記念奨学生で当地区内に就職をしているOBの皆さん・現役の学生で構成し、学友会長・副会長・幹事・会計までが海外の方で、これに監事としてロータリアンである米山記念奨学会地区委員長が、学友会担当として参加しています。勿論、米山記念奨学会の地区委員長・地区委員の皆さんの、応援が無ければ学友会の「総会・懇親会」の開催は、難しかったのではと思われます。この様な形で開催出来るのも、全てはロータリアンの皆さんの「心と絆」で成り立っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

更には、日本の友人・親日家を増やし、平和を実践する人材を育てる。『平和日本を世界へ!』の思いで頑張っています。

今年は、会場と準備の都合で、令和2年1月26日(日)・佐賀市の「ほほえみ館」にて、開催しました。AM10:00に集合し、地区委員は会場の準備、米山記念奨学生は調理に取り掛かりました。OBの学友達はAM12:00受付にも拘わらず、早めに来て母国の後輩の米山記念奨学生の調理を手伝っていました。開会式の時間まで、調理に手を掛けてくれました。最初に、全体写真を撮り、司会は米山記念奨学生の戴ケンケンが行い、来賓の紹介をし、地区委員長の開会の挨拶の後、趙学友会長の挨拶と来訪OBの学友たちを紹介し、千葉ガバナーの挨拶と乾杯で、食事・交流会が始まりました。参加者の紹介と一緒に手料理の10品の紹介を受けながら、食事を取りました。投票でベスト3の食事コンテストも有り、記念品を贈呈しました。食事中、ピング大会が実施され先着順に景品を頂き、また参加者全員に本村地区委員より、記念の丸房露を頂きました。

最後に、駒井米山記念奨学会理事の総評を頂き、閉会の辞を学友会副会長の楊ケンシン君が行い、閉会しました。式を閉じてから、皆で後片付けを行い、来年多くの学友と会えることを楽しみに解散しました。





2019年12月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減						7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	76.4	74	5	75	5	0	0	0	1	第6グループ	佐世保南	3	100.0	62	0	63	0	0	1	-1	1
	小城	4	67.2	30	2	29	3	0	0	0	-1		佐世保東	3	80.5	23	0	24	0	0	0	0	1
	牛津	3	73.3	30	0	34	1	0	0	0	4		佐世保北	4	100.0	40	2	44	2	0	0	0	4
	多久	3	78.6	38	5	38	4	0	0	0	0		佐世保中央	3	92.0	46	1	49	1	2	0	2	3
	佐賀大和	4	68.3	26	6	25	5	0	1	-1	-1		佐世保東南	3	63.4	39	0	40	0	0	0	0	1
	小計		72.8	198	18	201	18	0	1	-1	3		HTB佐世保	4	81.3	23	2	23	2	0	0	0	0
第2グループ	佐賀西	3	78.1	38	2	44	3	1	0	1	6	第7グループ	大村	4	90.0	48	4	49	4	0	0	0	1
	佐賀北	4	72.9	45	1	46	2	0	0	0	1		島原	4	75.0	30	2	31	2	0	0	0	1
	佐賀南	4	75.6	38	4	40	4	0	0	0	2		雲仙	4	88.1	14	0	14	0	0	0	0	0
	神埼	4	80.6	37	4	38	4	0	0	0	1		大村北	4	87.1	24	1	26	2	0	0	0	2
	佐賀空港	3	74.3	18	1	18	1	0	0	0	0		島原南	3	68.2	25	0	24	1	0	1	-1	-1
	小計		76.3	176	12	186	14	1	0	1	10		大村東	4	92.4	37	3	38	4	0	0	0	1
第3グループ	有田	4	76.6	28	0	31	1	0	0	0	3	第8グループ	諫早	3	77.6	72	0	75	0	0	0	0	3
	武雄	4	93.6	56	5	54	5	0	1	-1	-2		諫早北	4	81.7	74	4	73	3	0	1	-1	-1
	鹿島	4	85.2	34	4	33	4	0	0	0	-1		諫早西	4	96.5	45	0	45	0	0	0	0	0
	嬉野	4	91.3	26	2	27	2	0	0	0	1		諫早多良見	4	89.4	32	0	34	0	0	0	0	2
	大町	4	66.7	11	0	15	0	0	0	0	4		諫早南	2	80.0	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		84.7	165	11	170	12	0	1	-1	5		小計		85.0	237	12	242	12	0	1	-1	5
第4グループ	唐津	4	93.3	61	0	61	0	0	0	0	0	第9グループ	長崎	3	86.9	74	0	75	0	0	0	0	1
	伊万里	4	88.2	29	0	29	0	0	0	0	0		福江	3	80.0	33	0	33	0	0	1	-1	0
	唐津東	4	86.8	50	0	51	0	0	0	0	1		長崎北東	3	78.4	41	3	40	2	0	1	-1	-1
	唐津西	3	87.7	34	0	34	0	0	1	-1	0		福江中央	3	83.6	21	0	20	0	0	1	-1	-1
	伊万里西	3	93.3	41	0	40	0	0	1	-1	-1		長崎西	4	84.3	43	1	43	1	0	0	0	0
	唐津中央	3	88.8	37	3	38	4	0	0	0	1		長崎琴海	3	77.4	11	0	11	0	0	0	0	0
小計		89.7	252	3	253	4	0	2	-2	1	小計		81.8	223	4	222	3	0	3	-3	-1		
第5グループ	佐世保	3	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1	第10グループ	長崎北	4	77.3	80	0	76	0	0	4	-4	-4
	平戸	4	75.8	29	2	28	2	0	0	0	-1		長崎南	4	85.9	72	0	71	0	0	1	-1	-1
	北松浦	4	91.5	25	0	25	0	1	1	0	0		長崎東	3	75.8	40	2	43	2	0	0	0	3
	佐世保西	4	76.1	24	4	23	3	0	1	-1	-1		長崎みもと	4	84.4	30	1	30	1	0	0	0	0
	松浦	4	86.7	26	1	28	1	0	0	0	2		長崎中央	3	98.8	55	0	53	0	0	1	-1	-2
	小計		86.0	182	7	183	6	1	2	-1	1		長崎出島	3	79.2	71	12	72	12	0	0	0	1
													小計		83.6	348	15	345	15	0	6	-6	-3
													56クラブ合計		83.0	2,192	97	2,227	102	4	18	-14	35

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年12月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀西RC
手塚 智司 君
手塚労務管理事務所
副所長



北松浦RC
永安 利行 君
株式会社森電機計装工事
代表取締役



佐世保中央RC
澤田 磨 君
株式会社清栄
代表取締役社長



佐世保中央RC
濱田 憲治 君
officeはまだ株式会社
取締役

物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



武雄RC
石丸 博 君
(享年74歳)



福江RC
才津 為夫 君
(享年92歳)



寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団			米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名	種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	村 里 愛 子	大 村	米山功労者 メジャードナー	大 神 邦 明	佐 世 保
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	合 瀬 一 男	神 埼		本 多 善 彦	雲 仙
	小 林 正 明	神 埼		黒 田 隆 雄	諫 早 北
	迎 雅 瑞 嗣	鹿 島		佐々野 邦 久	福 江
	坂 本 安 治	唐津中央	米山功労者 マルチプル	西 村 明 美	神 埼
	西 川 義 文	大 村		合 瀬 一 男	神 埼
	江 口 照 年	大 村		花 島 光 喜	鹿 島
	酒 井 美 克	大 村		迎 雅 瑞 嗣	鹿 島
	橋 本 政 二	諫 早 北		福 田 綱 吉	伊万里西
	北 島 博 志	福 江		永 田 章	北 松 浦
	許 斐 義 彦	長 崎 西		原 田 徹	雲 仙
水 本 由 幸	長 崎 西	福 田 宥 晃		雲 仙	
ポール・ハリス・フェロー	梅 津 健 太 郎	多 久		七 條 健	雲 仙
	横 尾 成 人	北 松 浦		山 口 大 司	諫 早 西
	片 山 雅 文	福 江	米山功労者	空 閑 彰 彦	神 埼
	柳 田 靖 夫	福 江		杉 秀 宣	福江中央
	杉 秀 宣	福江中央		峰 利 克	長 崎 東



国際大会（ハワイ）地区ナイトのご案内

国際大会は、2020年6月6日～10日、ハワイ ホノルルで開催され、第2740地区では「地区ナイト」を下記のように計画しております。

千葉ガバナーを囲んでハワイでの楽しいひと時を過ごしたいと存じます。

たくさんのご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：2020年6月9日 18：00～

場 所：HOUSE OF WONG（ハウス オブ ウォン 中華料理）

住 所：477 Kapahulu Ave, Honolulu, Oahu, HI

電 話：（+1）8087320818

会 費：一人 10,000円

お席の都合がありますので、先着50名様までとさせていただきます。

国際ロータリー第2740地区 地区大会記念事業 「本明川飛び石さんぽみち案内板設置」

第2740地区の2019-2020年度地区大会記念事業として、国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所諫早出張所山村健志様のご賛同、また本明川オピニオン懇談会の長崎大学2018創成プロジェクトの企画をいただき、「本明川飛び石さんぽみち」の案内看板が贈呈されました。

この案内看板は、県内の大学生と諫早市の画家、池田義信先生によりデザインされました。本明川沿いの9つの橋の兩岸などに21カ所設置されています。案内看板があることで、より多くの市民、観光客の皆様にはわかりやすく散策していただき、本明川周辺の観光資源となり諫早中心部の活性化に一翼を担っていただければと思っております。

また、2020年2月13日(休)に完成式が行われ、その模様は各報道番組や新聞にも取り上げていただきました。



芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

ふるさとへの思慕

市川氏は脚本家として人気の絶頂にあり、この紙面で紹介したい人物であった。只、以前地方紙で目にした彼の郷土への深い思いが嬉しくて、そのことに絞ることにした。その言葉は「ここには人を魅了する華やかなものは何もない。だけど、心に疲れを宿す人はどうか来てほしい。秋の田んぼの黄金の穂波、吹き渡る穏やかな風、遠くに聞こえる豊作を祝う浮立の音、これらがきつと癒してくれるから」と記憶している。

また、一昨年十一月に発刊された「脚本家 市川森一の世界」の中でト書の文章を読み、彼もまた詩情豊かな才能の持ち主と分かり誇らしく思った。

「林で書いた詩」(伊藤 整) のト書 市川森一

その季節、枯葉は鳥に変わって森を舞う。

秋から冬に移っていく日々の、ある日あるときの風にのって……

樹木を離れ、地上に朽ちて土に還るまでの間の、わずか数秒間……

鳥に変わった枯葉の群れは、渦を描いて森の空間を輪舞する。

此処は北国の森……



編集後記

今冬、話題をさらったのはコロナウイルスによる新型肺炎だろう。人間の移動、物流の動きが激しい現代、病気の拡散も同じ。一見華やかなクルーズ船、この閉鎖空間は実験場と化した。オリンピックが心配だ。(緒方)



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



Rotary

2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2020. 4
Vol. 10



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
全国RYLA研究会報告	4
第7・8グループ インターシティミーティング報告	6
第9・10グループ インターシティミーティング報告	8
国際ロータリー財務報告	9
会員数・出席報告	11
新会員・物故者紹介	12
寄付者紹介・文庫通信	13
マダガスカル通信	14
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

表紙の写真説明

水面にくらき橋のかげ
緋寒ざくらは艶めいて
春浅き頃くれないに
コロナコロナで人来ずば
ひとり淋しく散りはてぬ

Governor's message



新型コロナウイルス感染症危機における 第2740地区の対応について

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

〈ロータリーと新型コロナウイルス感染症〉

昨年の年末、中国に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は瞬く間に全世界を恐怖に陥れた。いつ終息するのかいまだ不明である。ロータリーに於いても、3月に入ると全国の地区大会はじめ、次々に行事の中止や延期が発表され、例会さえ中止が相次いでいる。RI RIJYEMなどから次々と対応についてコメントが出された。母国からの帰国勧告などで、ロータリー留学生は帰国すべきかどうか、の判断が問われている。国内外の情報に背中を押された結果、重い腰を上げた地区・クラブでも中止や延期となる事態は、行事を企画してきた会員を絶望感と脱力感に落とし入れた。しかし、感染者が出ていない地区は対応が遅れ、地域差が出ているのが実情である。

〈新型コロナウイルス感染症〉

ロータリーの地区とクラブに於いてはリーダーの判断と素早い決断が求められる。判断の基となるデータや知見が大切となる。

まず、**医学的常識**であるが、①ウイルス感染症：新型コロナウイルス感染症とはいえ、普通のウイルス感染症であるから、感染しても**正常な免疫力を持つ人ならば、感染後2週間で抗体ができるはずである**。感染者の多く（ほぼ8割）は軽症であり軽快する。感染源となる感染者を多数発生（クラスターという）させないことが大切である。②免疫弱者：**最も注意すべき免疫力の弱い人は感染すると致命的となる**から、感染予防のための隔離と、重症感染者を治療することである。③予防：コロナウイルスはエンベロープ（脂肪被膜）を持つから、アルコールなどでこれを除去すればウイルスは死滅する。だから**アルコールや石鹸でよく手を洗うこと**、そして唾液や痰を他人へ接触させないために**マスクを使用**することが大切。④治療：治療薬やワクチンは実用化の段階にないから**原因療法はできない**。⑤終息とは最後の感染者が出た日から**4週間以上感染者が発生していない**ときにはじめて**終息宣言**となる。

など、以上の5つの項目は判断材料の基本的医学常識として知っておくべきです。

〈マスコミの新型コロナウイルス感染症報道〉

日本ではTVで感染症学や公衆衛生学の専門領域以外の一般コメンテーターと言われる人がいろいろ私見を述べられているため、国民はマスコミによる報道で不必要な情報に過剰に反応しているように思える。どのチャンネルでも、一様に、一日中、コロナ、コロナと報道し、不安が煽られるだけである。必要な情報と単なる噂話が混在し、見解が異なる専門家と称される人の意見が話されるので素人にはチンプン、カンブン。まるで井戸端会議。マスコミに振り回されては**本末転倒**である。真実を聞きたい。海外を見ると、CNNやBBCの報道では一つのニュースとして報道しているが、安心できる必要な感染症と公衆衛生学者の医学的常識のコメントをきちんと報道しています。上記5つを参考とすれば落ち着いて行動できるはずである。



〈コロナ危機に対する当地区の行動〉

今回第2740地区はどのような過程で全員帰国の判断をしたかを説明します。3月10日夜、緊急に危機管理委員会を招集・開催しました。帰国させる、させないの判断の前に、前提としてまず

- ① 危機対応対象は国際ロータリー交換学生プログラムに従った生徒であるということです。もし、プログラムに従っていない学生（地区ロータリー手続きプログラムがなされていない学生）ならば、ロータリーの地区資金や補助を受けられず、行事にも参加できず、RIJYEMの適応にもならないし、もちろん母国からの帰国命令に従おうと従わなくともロータリーには一切関係は無い。ということです。そういう派遣学生を世話していたら、そのクラブはRI登録抹消となります。
- ② 今回の帰国が通常の派遣学生の不祥事によるロータリーによる帰国命令と違い、流行病ということで、帰国命令が国家的判断でなされることです。国家がロータリーの上位者である。国家判断がロータリーに優先する。

そこで①のプログラムに沿った派遣学生についてですが、
帰国しない場合 帰国せず、そのまま滞在させ続けると、もし、コロナ感染をその留学生がおこした場合、ガバナーの責任は重くなるということです。なぜなら、留学生が感染を起こし、重体化したらガバナーを親が訴える事態になります。

「訴訟を避けることができる場合は滞在し続けた留学生がどのような結果（死を含む）になっても、世話している派遣先の地区ガバナーを留学生の親と派遣国のロータリークラブが訴えないと確認の了解ができた場合のみ」そのまま滞在し続けることが可能です。

もし、確認承諾せず、そのまま滞在させずぐずぐずしているうちに、パンデミックになれば世界各国が派遣学生本人の入国拒否を宣言することになる。（すでにイタリアがそうなっている。）留学生が感染しなくても、コロナ終息が出るまで帰国できないし、相手国が終息していないならば帰国させたくとも、相手国から入国を拒否されることが予想される。仕方なく、終息し、出国・帰国許可が出るまで留学生を世話し続けることになる。以上、インバウンドの場合を説明したが、アウトバウンドの場合も同じことが言える。弁護士にこのケースを法的に判断していただいたところ、「すぐに全員帰国させるのが一番リスク（道義的責任）が少ないですよ。」とのアドバイスを受けました。つまるところ、ガバナーのトップダウン的判断しかないのです。

そこで、①本人の意思確認。②母国の帰国命令の有無③相手地区・RC及び親への帰国理由説明と了解④受け入れクラブへの報告⑤地区委員会とガバナーへの報告⑥帰国手続き⑦RIへの72時間以内の報告という、一連のステップを行うことを指示し、全員帰国をガバナーとして決定した。

〈まとめ〉

天災・流行病は突然に起こる。3.11と同じく、最良の判断と行動をリーダーは即座に求められる事態です。行動にはまず情報です。私はガバナーとしてRI、日本ロータリー、他地区の対応の情報を取得し、地区の状況を判断し、ガバナー事務所から各クラブへ対応のお願いを発信しました。私が発信した情報にて56ロータリークラブの会長は、地区委員長はどのように行動して頂いているのでしょうか？ 他地区、他のクラブの判断に横並びではいけない。的確に第2740地区内の情報を集めて、柔軟に判断すべきで、過剰反応はいけないと考えています。クラブ運営でのコロナ対応のポイントは国際交換学生を守る事、会員を守る事です。行動には情報と上記の5つの医学的常識および標準クラブ定款です。そこで、会員の中で糖尿病やがんの既往者、高齢者など免疫力の弱い人は少なくとも例会など集会参加は遠慮してほしいと発信した。勿論、「流行病の際は理事会で例会を取りやめることができる。」と標準クラブ定款第8条に記載されている点にも留意してほしい。

新型コロナウイルス感染症のピークおよび終息がいつかはまだわかりません。これからもロータリアンの皆様の適切な対応を望みます。

全国RYLA研究会報告

佐賀RC 幹事 益田 裕 司

ガバナー月信第8号で千葉ガバナーよりご紹介頂いておりました、第12回全国RYLA研究会が北は北海道から南は沖縄まで全国より150名の方に参加頂き2020年2月9日佐賀市において開催されました。

まず、三木明RI理事による「何故！ ロータリーがRYLAを行うのか！」をテーマに特別講演をして頂き、RYLAの参加者を若手の指導者に育てる為、教えるより「考える環境をつくる」ことを念頭に置き、理屈を述べるのではなく、人と人との出会いの中からロータリーとはいったい何なのかその心を見つけて欲しいと強調された。

その後、2会場に分かれ「JAPAN RYLAセミナー報告会」と「全国青少年奉仕委員長（RYLA委員長）会議」が開催され、「JAPAN RYLAセミナー報告会」ではJAPAN RYLAセミナー受講生 田中康太郎氏（RID2660）と古波津大地氏（RID2580）の2名による報告をして頂きました。

「全国青少年奉仕委員長（RYLA委員長）会議」では、第1号議案 次回全国RYLA研究会開催地区の提案がなされ、2021年3月19日、20日に山形県（RID2800）で開催することが承認された。第2号議案 未来の全国RYLA研究会のあり方については、RYLAのデータ資料庫設置について議論された結果、全国のRYLA資料を管理する組織を作るための検討委員会を発足し、RI理事に委嘱するという提案がなされ承認された。

その後、参加者全員による記念撮影と昼食を挟み、午後からは3分科会に分かれそれぞれのテーマに基づき進められた。

第1分科会は野口清PG（RID2740）による、「第2740地区のRYLAの変遷」の講演の後、「各地のRYLAの現状と課題」というテーマで、山口宏二RID2740 RYLA委員長をコーディネーターに、小林充氏（RID2580）、河野活氏（RID2700）、三角雄介氏（RID2720）の3名でパネルディスカッションをし





て頂いた後に、4つのグループに分かれそれぞれグループディスカッションを行った。

第2分科会は黒田建一RID2680 危機管理委員長による「ロータリーにとっての危機管理」の講演を頂き、「何故、危機管理が問題か」「危機管理の基本原則」について事例等を踏まえて分かり易く説明を頂いた。その後3つのグループに分かれ「何故、危機管理が重視されるのか」「ロータリー活動の中で危機管理はどのようにしているのか」「青少年活動についての危機管理はどのようにしているのか」についてグループディスカッションを行い、自地区、自クラブの現状や他地区の状況を討議しあい、情報交換の場として有意義なディスカッションが出来た。

第3分科会は阪本龍太郎RID2680 学友会次期会長による「RYLA学友会の必要性と今後について」の発表後、坂東隆弘氏 (RID2680) をモデレーターに、古波津大地氏 (RID2580学友)、田中康太郎氏 (RID2660学友)、阪本龍太郎氏 (RID2680学友) をパネラーとして「学友会の未来について」というテーマでパネルディスカッションを行い、RYLAをすることにより「気づき」、その「気づき」をどう人生に活かしていくかをサポートし、受講生が内発的なリーダーシップを取れるようにしていくことである。今後は「人を変えるRYLA」を探求していくことを目指したいとの意見がなされました。その後、3つのグループに分かれ「学友会が必要なのか」についてグループディスカッションを行い、学友会が無い地区もあるが、学友会は必要であり、RYLAを通じてネットワーク作りが必要だとの意見で纏まった。

最後にこの全国RYLA研究会に参加して、RYLAは若手の指導者を育てるのではなく、RYLAを通して自分も成長することであるということを感じる事が出来ました。また、全国規模の大会を佐賀にて初めて開催するというチャレンジを与えて下さった千葉ガバナーをはじめ快く会場を提供頂いた福元PG、開催にあたりご協力を賜りました佐賀清和高校インターアクトクラブの皆様並びに2740地区の皆様にご挨拶申し上げます。



第7・8グループ インターシティミーティング報告

諫早RC 会長 酒井明仁

2020年2月15日(土)14:00 第7・第8グループ インターシティミーティングがホテルグランドパレス 諫早「千寿の間」で行われました。

「チェンジからチャレンジへ」をスローガンに、ロータリーを変えていこう、いろんなことにチャレンジする契機にしていこうとの思いで、今回のIMは計画されました。

式典開会式は型通り、国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱から始まりました。ソングリーダーは野中英二君（諫早RC）で、にこやかなタクトがIMを祝福しているようでした。田島幸一大会副実行委員長（諫早北RC）の開会の言葉で開会式典がはじまり、栄田ミーティングリーダー、比良ミーティング副リーダーのスムーズな進行、大会SAAの西村亘君（諫早RC）の流れるような司会で、開会式典は順調に進んでいきました。

千葉憲哉ガバナー挨拶が終わり、栄田元信ミーティングリーダーの挨拶で開会式は終了いたしました。



14:40 基調講演第1部の松本幸治様は、「日本の子育てにおけるチャレンジとは」と題して講演いただきました。

松本幸治様は、2014年より1年2カ月にわたり、国際ロータリーのロータリー財団地区補助金奨学生として英国のエジンバラ大学大学院に留学され、カウンセリングの修士課程を学ばれた方で、その留学経験、そして留学を終えて陸路で剣道をしながら日本に帰るといふ、素晴らしい体験を語って頂きました。



また現在の仕事である児童養護施設での体験、日本人が高度経済成長の中で忘れた地域の中での子育てなど、話していただきました。私たちロータリアンが、もっと子供を地域で育てるということに関わっていかねばならない。もっと隣のやかましいおやじにならないといけないと思いました。

15:55 基調講演第2部の川本如寛(ゆきひろ)様は、「100^キウォークは歩く禅」と題して、小倉東ロータリークラブの有志で他の団体が行っていた行橋～別府100^キウォークに参加したのが契機で、他の団体が止められた100^キウォークを小倉東ロータリークラブ主催でやりはじめたこと。あまりにも参加者が多く、現在では実行委員会主催のスタイルに変わっていること。事前の100^キ清掃や100^キウォーク開催時の清掃、ボランティアの育成、運営の仕方などのこと。また歩きを通じての心の葛藤、肉体との葛藤、もう二度と歩かないと言う方々がまた歩く様子など。現在は4500人が参加する、国内最大の100^キウォークになっていることなど、楽しく淡々と話して下さいました。

100^キを何度も歩かされている体験からにじみ出るような説得力、言葉の力、体から満ち溢れる生気を感じる事が出来ました。素晴らしい体験でした。この体験をチャレンジにつなげたいと思いました。

閉会式直前大村ロータリークラブの60周年事業に関するキャラバンが行われました。

講演時間が少し足りなかったようですが、16:55 講演第2部を終え閉会式典に入りました。久保泰正



大会副実行委員長（諫早西RC）の閉会の言葉で閉会式典は終了。

17：15 閉会点鐘を行い、会場設営のためコーヒブレイクを行いました。

17：35 大会幹事村田好隆（諫早RC）が主催する諫早ビッグジャズオーケストラの演奏を聴きながら懇親会場へ入場。大会幹事をやりながらトランペットを吹き、歌まで唄うという八面六臂の大活躍で、懇親会に彩りを添えて頂きました。諫早ビッグジャズオーケストラの皆さん、ありがとうございました。

17：40 宮崎パストガバナーの開会、若杉能将大会副実行委員長（諫早多良見RC）の乾杯で賑やかで楽しい懇親会が行われ、第7・第8グループの懇親が深まりました。

懇親会の司会は、大会親睦委員長水田明光君（諫早RC）で、明るい滑らかな声で懇親会を盛り上げてくれました。

18：50 恒例のロータリーソング「手に手つないで」斉唱となり、実行委員の永江圭爾君、小林靖明君、永尾典嗣君（以上諫早RC）から実行委員長と地区幹事でソングリーダーをと声がかかり、酒井実行委員長、大石地区幹事が円陣の真ん中でソングリーダーをやるというおまけができました。

19：00 万歳三唱を大会副実行委員長中島毅洋君（諫早南RC）が、やや緊張の中で行い、2019年～2020年国際ロータリー第7・第8グループ インターシティミーティングは終わりを迎えました。

このIMに関わられたすべての方々に、感謝申し上げます。諫早ロータリークラブのポテンシャルは高いな～とつくづく思ったIMでした。



第9・10グループ インターシティミーティング報告

IM実行委員長 川原 強 (長崎RC)

去る2月11日(火)建国記念の日にホテルニュー長崎にて、Intercity Meetingが開催されました。ホストクラブは長崎RC、コ・ホストクラブは長崎北RC、千葉ガバナーはじめ、パストガバナー各位、ガバナー補佐、地区役員の方々など総勢330名のご参加を頂きました。

今回のIMのテーマは「ロータリーを紡ぐ～青少年奉仕を考える」と致しました。この趣旨は、第9・10グループ、12クラブの活動の糸が結び合い、織りなし、紡ぎあうことにより、お互いの独自性は尊重しながらも、連携を深めあうことで、より強い絆、よりよい活動になるようにとの想いを込めたものです。

基調講演の講師には、「ワールドカップを日本に呼んだ男」として有名な徳増浩司氏に「ラグビーワールドカップ2019が教えてくれたこと」という演題にて、ご講演頂きました。講演では、日頃からの国際交流の大切さ、大会誘致でのご苦労など自らの体験を通してお話頂きました。これは、ロータリーの青少年奉仕活動の基本理念である指導力養成並びに国際交流活動において、今後のロータリーの活動に大いに参考になる講演であったと思います。

講演会終了後は各クラブにお願いした青少年奉仕活動アンケートについて紹介し、各クラブがどのような青少年奉仕活動を行っているのかを知って頂き、今後は、このアンケート結果が、連携ありきではなく、個々のクラブの独自性を尊重しながら、活動によってはクラブ間の垣根を越えた交流が生まれる契機になればと思います。その後、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、国際青少年交換学生の活動紹介、今後の課題について事例報告を行い総括と致しました。

当地区、第9・10グループにおいても、RACの減少やIAC会員の減少、RYLAの活性化、交換留学生受け入れ、派遣など多数の問題を抱えています。

これらのプログラムは私たちロータリークラブにとって、ロータリーの精神を理解して社会に貢献できる青少年を育成するといった大変大事なプログラムであると考えます。ロータリー会員の高齢化、会員の減少などが進む現状を考えれば、将来のロータリークラブの発展はこれらのプログラムを充実し、発展させなければあり得ないのではないかと考えます。本IMを機に、私たちは青少年奉仕プログラムの大切さを再認識し、それぞれのクラブで活動を活性化して頂きたく今回のIMを開催させて頂きました。



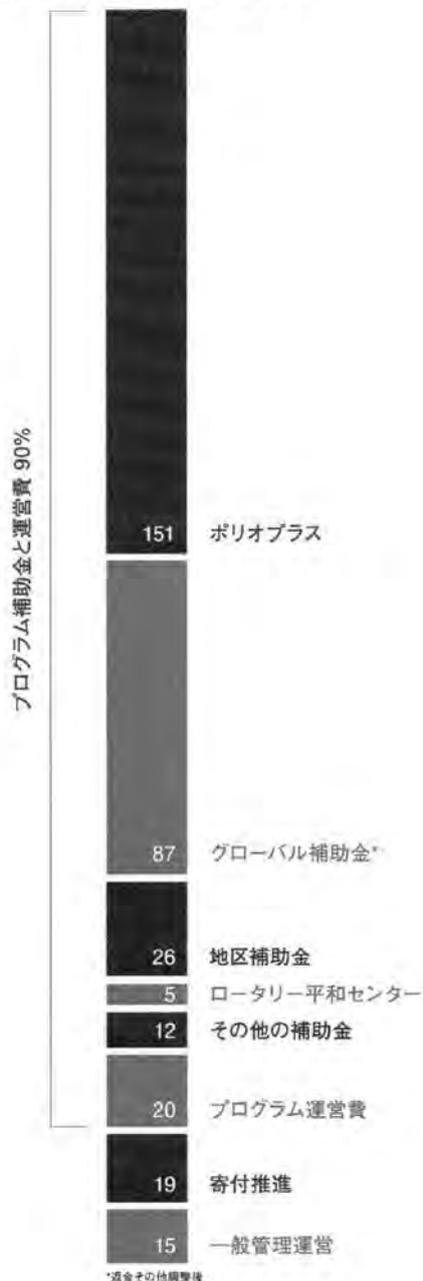


2018-2019年度 国際ロータリー財務報告

ほぼすべての国で活動する世界的な団体として、ロータリーは資金管理を慎重に行っています。

財務

ロータリー財団の
支出：3億3500万ドル



国際ロータリー 収支報告

2018会計年度と2019会計年度 (6月期) (単位1000米ドル)

会計年度累計	2018年6月	2019年6月
収入		
会費	\$73,330	\$77,713
投資純益	3,265	2,092
支援業務その他の活動	27,803	33,404
収入合計	\$104,398	\$113,209
支出		
運営費	\$79,394	\$79,213
支援業務その他の活動	19,471	26,944
一般剰余金	1,196	667
支出合計	\$100,061	\$106,824
為替差損	\$(1,080)	\$(617)
純資産の増加	\$3,257	\$5,768
純資産 (期首)	\$136,839	\$140,096
純資産 (期末)	\$140,096	\$145,864

ロータリー財団 収支報告

2018会計年度と2019会計年度 (6月期) (単位1000米ドル)

会計年度累計	2018年6月	2019年6月
収入		
寄付	\$341,135	\$321,901*
投資純益	55,322	37,975
補助金その他の活動	1,751	640
収入合計	\$398,208	\$360,516
支出		
プログラム補助金	\$277,225	\$281,091
プログラム運営費	24,892	20,275
寄付推進	20,117	19,049
一般管理運営	5,304	14,790
支出合計	\$327,538	\$335,205
為替差損	\$(1,608)	\$(661)
誓約未収入金のための予備費	\$(440)	\$(1,673)
純資産の増加	\$68,622	\$22,977
純資産 (期首)	\$1,058,676	\$1,127,298
純資産 (期末)	\$1,127,298	\$1,150,275

*予測収入5840万ドルおよびポリオプラス基金振替の額1490万ドルは含まれていません。

常に先を見ながら進むリーダーとして、私たちは、ロータリーの特徴でもある、クラブ、奉仕、学びの機会を現・未来の世代にも提供していく新しい方法を模索しています。

ローターアクトが加盟クラブの一種に

これまでプログラムの一つであったローターアクトの立場が高められ、国際ロータリーの加盟クラブの一種となりました。ロータリアンとローターアクターは、会員としての体験は異なるものの、奉仕のパートナーとして、持続可能な変化を生み出すために協力しています。

新しい種類の補助金

ロータリーは、ロータリー重点分野の一つ以上に沿った複数年にわたるプログラムを毎年1件支援するため、申請競争率の高い新しい「大規模プログラム補助金」を現在開発しています。大きなインパクトを与えることに焦点を当てたこの補助金は、地域社会が特定したニーズに取り組み、広大な地域および/または人口の多い地域において測定可能な成果とインパクトを与えることを目的としています。

ロータリーは、大規模プログラム補助金を通じて、他団体と協力の下、証拠に裏付けられた大規模なプロジェクトを実施し、世界中の人びとにさらに大きなインパクトをもたらすことができます。この補助金により、広大な地域または地域全体のニーズに大規模な解決策を実施するための専門知識や能力を会員が身につけることができます。

重点分野を一部改称

ロータリー財団管理委員会は、グローバル補助金の受領資格をより明確にし、プロジェクトの種類を加え、環境に取り組む活動をクラブがより多く実施できるようにするために、ロータリーの重点分野に関する変更を承認しました。以下は、現在ロータリーが重点的に取り組んでいる分野です。

- 平和構築と紛争予防
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 地域社会の経済発展

ロータリアンへの支援

国際ロータリーへの会費は会員一人につき64ドルです。この収入は、会員、クラブ、地区への支援のために活用されます。会費収入は以下のように配分されます。





2020年1月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	72.6	74	5	75	5	1	1	0	1
	小城	3	68.9	30	2	29	3	0	0	0	-1
	牛津	3	84.2	30	0	33	1	0	1	-1	3
	多久	4	77.2	38	5	38	4	0	0	0	0
	佐賀大和	3	74.7	26	6	25	5	0	0	0	-1
	小計		75.5	198	18	200	18	1	2	-1	2
第2グループ	佐賀西	3	80.7	38	2	44	3	0	0	0	6
	佐賀北	3	68.4	45	1	47	2	1	0	1	2
	佐賀南	4	75.8	38	4	40	4	0	0	0	2
	神埼	4	78.9	37	4	38	4	0	0	0	1
	佐賀空港	3	70.3	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		74.8	176	12	187	14	1	0	1	11
第3グループ	有田	4	72.6	28	0	31	1	0	0	0	3
	武雄	3	92.6	56	5	53	5	0	1	-1	-3
	鹿島	4	85.9	34	4	33	4	0	0	0	-1
	嬉野	4	85.1	26	2	26	1	0	1	-1	0
	大町	4	65.0	11	0	15	0	0	0	0	4
	小計		82.3	165	11	168	11	0	2	-2	3
第4グループ	唐津	4	93.7	61	0	61	0	0	0	0	0
	伊万里	3	90.8	29	0	29	0	0	0	0	0
	唐津東	4	91.3	50	0	50	0	0	1	-1	0
	唐津西	4	92.9	34	0	35	0	1	0	1	1
	伊万里西	4	95.2	41	0	40	0	0	0	0	-1
	小計		92.2	252	3	253	4	1	1	0	1
第5グループ	佐世保	3	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1
	平戸	4	77.4	29	2	28	2	0	0	0	-1
	北松浦	4	89.2	25	0	26	0	1	0	1	1
	佐世保西	3	80.0	24	4	22	3	0	1	-1	-2
	松浦	4	81.3	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		85.6	182	7	183	6	1	1	0	1
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	63	0	0	0	0	1
	佐世保東	3	75.8	23	0	25	0	1	0	1	2
	佐世保北	3	100.0	40	2	45	2	1	0	1	5
	佐世保中央	4	88.3	46	1	49	1	0	0	0	3
	佐世保東南	4	63.8	39	0	40	0	0	0	0	1
	小計		84.4	233	5	245	5	2	0	2	12
第7グループ	大村	4	89.0	48	4	49	4	0	0	0	1
	島原	4	84.7	30	2	31	2	0	0	0	1
	雲仙	3	87.2	14	0	14	0	0	0	0	0
	大村北	4	85.8	24	1	25	1	0	1	-1	1
	島原南	4	70.0	25	0	24	1	0	0	0	-1
	小計		84.2	178	10	181	12	0	1	-1	3
第8グループ	諫早	4	79.6	72	0	76	0	1	0	1	4
	諫早北	4	83.5	74	4	73	3	0	0	0	-1
	諫早西	4	93.6	45	0	45	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	93.9	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	2	83.4	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		86.8	237	12	243	12	1	0	1	6
第9グループ	長崎	4	83.9	74	0	75	0	0	0	0	1
	福江	4	83.9	33	0	33	0	0	0	0	0
	長崎北東	4	81.6	41	3	40	2	0	0	0	-1
	福江中央	4	90.0	21	0	19	0	0	1	-1	-2
	長崎西	3	75.4	43	1	43	1	0	0	0	0
	小計		80.2	223	4	221	3	0	1	-1	-2
第10グループ	長崎北	3	82.3	80	0	76	0	0	0	0	-4
	長崎南	4	83.2	72	0	70	0	0	1	-1	-2
	長崎東	3	85.9	40	2	45	2	2	0	2	5
	長崎みなと	3	89.6	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	3	97.6	55	0	52	0	0	1	-1	-3
	小計		85.2	348	15	345	15	2	2	0	-3
56クラブ合計			83.1	2,192	97	2,226	100	9	10	-1	34

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2020年1月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀RC
吉松 潤二 君
マルゼンユニフォームセンター
代表取締役



佐賀北RC
百武 雄介 君
㈱佐賀養蜂産業
代表取締役



唐津西RC
山下善太郎 君
㈱山下至誠堂
代表取締役



北松浦RC
北村 英彦 君
ゆうあいホームはなぶさ
施設長



佐世保東RC
原田 良太 君
社会福祉法人 宮共生会
理事長



佐世保北RC
野口好太郎 君
エスエムエルグループ㈱
代表取締役



諫早RC
奥田 修史 君
創成館高等学校
理事長・校長



長崎東RC
伊藤 玄 君
㈱平安閣サンプリエール
支配人



長崎東RC
樋口浩太郎 君
尾崎行雄司法書士事務所
司法書士

物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



牛津RC
野田 榮治 君
(享年74歳)



寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	原 隆 司	武 雄
	大 原 玉 瑞	長崎北東
ポール・ハリス・フェロー	中 尾 光 吉	大 村 東
	山 下 徹	諫早多良見
	新 北 輝 秋	諫早多良見

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者マルチプル	田 中 博	唐 津
	岩 永 信 昭	長崎北東
米山功労者	原 隆 司	武 雄
	本 城 史 郎	唐 津

文 庫 通 信 [381]

ロータリー文庫通信381号 2020年2月 文庫デジタル化資料より

現在ロータリー文庫は電子図書館を目指し、資料のデジタル化を推進しています。これまで著作権、個人情報等の関係で「公開」を控えていましたが、資料の収集、保管だけでなく、会員の皆様の一層の便宜を図るため、また、ご期待に沿うべく、7月1日よりID、パスワードを設定し、資料を公開することに決定しました。今回は2014年以来、精力的にデジタル化してきた資料の一部をご紹介します。

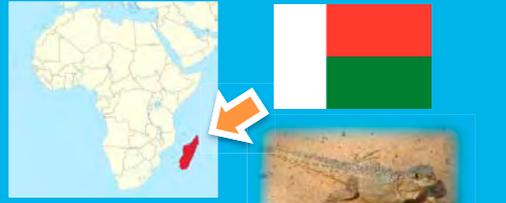
書 名	著者/所属クラブ	発行年	頁	※
ロータリー理解推進月間に因んで (例会スピーチ)	増田房二/京都山科 RC D.265 PDG	2000	7P	※
回首原点-ロータリーの心を尋ねて(その7)	佐古亮尊/大村北 RC D.2740 PDG	2011	224P	※
新ロータリーを語ろう	久野 薫/神戸東 RC D.2680 PDG	2015	132P	※
夢を語り、現在(いま)を刷新 (ガバナー月信ロータリーコラム総集編)	刀根莊兵衛/敦賀 RC D.2650 PDG	2017	67P	※
ロータリーの心をたずねて	富田英壽/甘木 RC D.2700 PDG	2017	104P	※
ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案	黒田正宏/八戸南 RC D.2830 PDG 元R 理事	2017	71P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

JICA海外協力隊

マダガスカル通信

Vol.9



発行/2019年1月31日 発行者/酒井 貴子 (2018-2019年度 ローター-財団奨学生)

キリンディでうんざりするほど見たイグアナ

ロータリーからのお客様、来マダ！

少し遅めの正月休みを取り、ロータリークラブ2740地区からマダガスカルに来てくださった喜多先生、西川先生にマダガスカルを案内しました。大きな目的は今後のロータリークラブによるマダガスカル支援を見据えた視察でしたが、せっかくマダガスカルに来たということで、マダガスカルでおそらく一番有名な観光地、ムルンダバのバオバブ並木を訪れました。今回はその旅のハイライトとしてバオバブ並木とキリンディ森林保護区を紹介します。

バオバブ並木

トラブルは、日本から到着する飛行機から始まりました。9日のお昼過ぎに到着する予定が、天候不順によって飛行機が遅延し、早朝2時に到着、西川先生の荷物がロストバゲージし、その手続きに時間がかかったことで、ホテルに着いたのは早朝3時でした。そこからホテルで2時間程仮眠を取り、すぐにムルンダバ行きのフライトのため、再び空港に向かいました。



マダガスカル航空のフロヘラ機。首都からムルンダバまでは、時間と短いフライトでした。

ムルンダバは日本人の間で有名なバオバブ並木がある場所です。高地にある首都は夏の今でも涼しく過ごしやすいのに対し、ムルンダバは海辺のためかなり蒸し蒸ししており、じっとしているのに汗が噴き出してくるほどでした。

ムルンダバに着いてすぐに有名なバオバブ並木に向かいました。バオバブはアフリカやオーストラリアなどに分布していますが、マダガスカルでは6種類の固有種があり、ムルンダバではそのうち4種類を見ることができます。ムルンダバに住む人々にとってバオバブの木は神様としてあがめられています。昔は森といえるほどたくさん生えていたバオバブの木ですが、周辺で稲作が始まって水を引き入れたことで、乾燥を好むバオバ

ブの木は多くが枯れてしまい、今はぼつぼつと生えているという感じです。



バオバブの並木道(左)、双子のバオバブ(左下)そして愛し合うバオバブ(右下)。訪れたのが雨季の一月だったため、バオバブには緑の葉が生い茂っています。何百年も前から生えているバオバブはとて大きく、感動しました。



左がムルンダバ最大のバオバブです。神聖な場所のため、この一帯に入ると際には靴を脱がなければなりません。ムルンダバの人々は、木の根元をさきつけているそうです。木の根元にはお酒が供えられています。

キリンディ森林保護区

2日目はキリンディ森林保護区へ。ここには8種類のサルのほか、たくさんイグアナや

ヘビ、鳥などの動物が生息しています。サルはほとんどが夜行性のため、訪問したお昼にはペロシファカ(左)とチャイロキツネザル(右)などを観察できました。



キリンディまで向かう道はもちろん舗装されておらず、でこぼこドロドロの道を車で進みました。酔いやすい人は酔い止めが必須です！



ハプニング続きの旅路

ムルンダバは本当は3泊の予定でしたが、首都に向かう飛行機がキャンセルになってしまい、もう一泊滞在することに。。マダガスカル航空の悪評はやはり本当でした。結局、翌日朝にはフライトが出ることになりましたが、予定を大幅に変更せざるを得ず、私の任地、アンブシチャへは行くことができませんでした。また、西川先生は荷物が手元に届かずマダガスカル滞在中、最後の2日間以外は荷物なしで過ごされました。マダガスカルで初めての遠方への旅行へ同行させていただき、予定通りにはいかないという、アフリカ旅行の洗礼を受けた気がしました。

ヴェズ族の日焼け止め

ムルンダバでは漁村で暮らすヴェズ族を訪ねました。ヴェズ族は私の任地に住むベチレオ族よりも色が黒く髪の毛も縮れていて、アフリカ大陸の影響がより強いように思いました。かなり気温が高く太陽光も激しいムルンダバでは、右の写真のように樹皮で作った日焼け止めを顔に付けている人がいたのが印象的でした。また、魚を食べるからか、ヴェズ族は体格の良い子供達が多かったようにも思います。



芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

まえがき

諫早市出身の洋画家で、終生コスモスの絵を描き続けた稀有な作家。コスモスが持つ優しさや癒しの花影を前景として画面に配し、その作品が放つ言葉やメッセージを背景に滲ませながら制作される。白木峰高原に常設のコスモス花宇宙館には氏の大作が展示されており、四季を通してファンタジーの世界に浸ることができる。追憶と題するこの作品は、氏の作品の中でも極めてまれなモノクロの表現が特徴で、死者への追悼、祈りが感じられる。

追憶

荒木 幸司（洋画家）



編集後記

編集を行っている今（3月）は、とにかく新型コロナウイルスの話題で持ちきりである。今月号が発刊される頃には是非一段落してほしいと願っている。東京オリンピックも風前の灯火…そこに全てをかけてきた方々のご努力を考えると心が痛む。このウイルスに関連して様々な被害にあわれた方々が癒される時が来ることとロータリアンの皆様方のご健康を心より祈念いたします。

（川崎）



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



Rotary

2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2020. 5
Vol. 11



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
RI 会長メッセージ	4
2020~2021年度 地区チーム研修セミナー報告	5
第4グループ インターシティミーティング報告	6
基本理念セミナー報告	7
補助金管理セミナー報告	8
緊急報告 新型コロナについて	9
ネット例会及び理事会、委員会 開催の奨め	11
寄付者紹介	11
会員数・出席報告	12
新会員・物故者紹介	13
国際青少年交換学生帰国報告	14
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

表紙の写真説明

川床の多良熔岩のなせるわざ
あまたの瀧はつらなりて
流れゆたかに いや深く
本明川のナイアガラ

Governor's message



ロータリーが教えてくれた事

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

残り2カ月となりました。今回はガバナーになって、得たもの、それは皆様の心に残したいものについて述べさせていただきます。

ガバナーになるにあたって、少しでもロータリーを知ろうと、ノミネー時代から、いろいろな資料を読ませていただきました。「手続き要覧」、「ロータリー章典」、「ロータリー財団章典」は勿論、源流の会からの数々の文献、源流の会から提供されているインターネット資料、田中毅P Gの「源流の会の講演内容」、小西宗十氏翻訳のシェルドン・コース全集、そして佐古亮尊P Gによる「ロータリーの森を歩く」などです。他には、多年度分のロータリーの友、ガバナー月信さらに地区大会資料、My Rotaryの閲覧など数えれば限りありません。ロータリー章典は数年ごとに内容が書き換えられており、その度ごとに内容変更を確認するの必要があり、ロータリー活動になくてはならない参考書です。また、ロータリーの歴史上、ロータリー哲学の成り立ちの資料として田中毅P Gの提供されたシェルドンの文献の収集はロータリー哲学の真実を裏付けるものとして、医師らしい研究方法と論理組み立てはとても貴重なものです。そして、時々刻々と変化するロータリー情報について源流の会の「ロータリーの広場」「炉辺談話」「源流の会出版物」などは田中毅P Gの熟考された私見がのべられており、私のロータリーへの疑問を解決するとても有意義なものと思えました。また、数多くのP Gの皆様の講演会資料、ロータリー研究会資料などもとてもロータリーの理解に役に立ちました。

その中で、私に最もロータリーについて教えて頂いた本は佐古亮尊P Gが書かれた大村北ロータリークラブ創立30周年記念として出版された「ロータリーの森を歩く」でした。何度でも読み直す価値があり、新入会員に真っ先に薦めたい本であると思えました。

佐古亮尊P Gの思索はロータリアンの皆さんが知っておくべきと思っていたある日、私が懇意にしている財界九州の鳥海和史氏が立ち寄った折、雑談中に私がガバナー月信に載せようとしていた原稿を見せたら、これ、頂けませんか？ と言ったので、つい渡してしまいました。財界九州の2月号の「opinion」に載ってしまいました。その内容は佐古亮尊P Gから教えて頂いた「利己と利他の調和」でした。これはロータリーの最も大切な哲学とと思っていましたので、ロータリアンの皆様にこれこそロータリーの真髄、ロータリアンには常に心に持っていてほしいと思えましたので書かせて頂きました。

以下、皆様に読んでいただく為に、本文を転載いたしました。

「利己と利他の調和」を求める経済理論の必要性

人間は「欲望」と「思いやり」の二つの矛盾する心を持ち、心の中で葛藤する。利己心と利他心、この二つの心は人間の生活のあらゆる場面で遭遇する。

例えば商売をすると沢山売って、沢山儲けたいと思う。儲けたらその儲けは自分のものだから独り占めしたいと思う。これは利己心である。自分がかわいいからです。これは人間の性^{さが}ともいえる。

ところが、温かい家庭環境に育った人ならば、自分だけ独り占めしたら、心のどこかで自分だけ儲けたら、どこかにやましいなと思う心が出てくる。自分一人だけが儲けに関わったのではなく、他人が関わっている事に気づく。その人にも儲けを分けてあげないといけなくなる。これが他人を思いやるという利他心である。社会生活ではボランティアや奉仕につながる心です。



市場のレベルで考えると「見えざる手」という言葉を残したアダム・スミスは「人々が利己的行動をしても市場に自動調整機能があるので、政府が介入すべきでなく市場に任せよ」と言いましたが、現実には利己心が勝るために市場の混乱が起きたのです。だから19世紀の原始資本主義社会で起きた貧富による社会の矛盾を是正するために教会や奉仕団体が社会の底辺を救ったのです。

利己と利他の葛藤はビジネスにおいては単純だが重要な意味を持ちます。利己心だけならば、その場限りで大儲けしたらそれでよい。ビジネスでお世話になった周りの人間関係などどうでもよいということになる。騙すことだって平気となり当然、信頼も信用も生まれません。では利己的ビジネスマンと再度取引したいと思う人がいるだろうか？ もし、ビジネスに関与したステークホルダーすべてに儲けを分けることを行うビジネスマンがいるならば、再度取引したいと思うであろうし、リピーター顧客出現につながる。

すなわち利他を行えるビジネスマンは事業が栄えるということである。そのことに気づいたシカゴのビジネススクールの指導者が100年前に存在した。その人の名前はアーサー・シェルドンという人である。彼はビジネスにおけるサービスを「利他と利己の調和」と定義した。彼はビジネス成功のコツを「最も多くサービス（利己と利他の調和）をする者は最も多く報われる。」と言った。当時、シカゴは初期資本主義の始まった時期で、自分さえよければよいというビジネスマンばかりでした。その中で、彼の理論を実践したビジネスマンは大儲けしたのです。1930年に起こった経済恐慌の中でも彼の唱えるビジネス理論を実践した企業は生き延びたのです。彼のビジネススクールは隆盛を極め、注目を集めました。強欲資本主義全盛時代。その最中に利他を唱える経済学理論は時期尚早と考えられた時代でした。ケインズが「雇用・利子および貨幣の一般理論」を唱える遙か以前の出来事でした。しかし、戦後、「利己と利他の調和」の大切さを忘れて、リベラリズム、マネタリズム、新自由主義、金融資本主義などの経済学が跋扈し、ついにはリーマン・ショックが起こったのは周知の事実です。最近、大企業の経営者が多額の報酬を得ることが問題になっています。利己を主張した経済理論がすでに行き詰まっています。温故知新、もう一度シェルドンの意見に耳を傾ける時です。シェルドンの研究者田中毅氏によれば「シェルドンの業績は、その影響範囲が限られていたため、過小に評価されていますが、当時、誰一人として知らなかった修正資本主義という、全く新しい経営学に基づく経済政策を先取りしたものであり、もしもロータリークラブの世界やシェルドン・スクールといった狭い社会に留まらず、政府の経済政策として採択されていたら、その後の世界の政治や経済にどのような変化をもたらしたか、想像は果てしなく広がります。ごく一部の人が理解できないミクロ経済の政策でしたが、もし政府のマクロ経済として採択されていたら、大恐慌は起こらなかつたらうし、その結果としての第二次世界大戦も起こらなかつた可能性すらある、世界経済を転換させる、価値ある政治経済理念だったのではないのでしょうか」と述べています。同じく「ロータリーの森を歩く」の著者佐古亮尊氏は商売に於ける「利己と利他の調和」について「仕入れ先を思いやる心が確かな品を気持ちよく納入させることになり、それによって客は確実な品物を買って喜ぶ。自分の納めたものが人様に喜んでもらえたということで、自分の仕事に誇りを持つ。買っていただいてありがとう。売ってもらってありがとう。これが心の交流の伴った商行為である。」と述べています。まさに利己と利他が調和して継続性のあるビジネスが成り立つ。今、必要とされる考え方ではないでしょうか？

企業でも「利己と利他の調和」が求められています。強欲企業や強欲経営者は社会から退場させられる事態となっています。利己と利他の心があれば、企業では経営者は従業員に「今日も働いてくれてありがとう。」従業員も「今日も働かせていただいてありがとう。」となる。おかげで家族が幸せに暮らせます。経済界も需要と供給が有効に回転することになる。利己だけを求める経済理論は不要です。心と心の通じ合う「利己と利他の調和」を求める経済理論が今、必要なのです。

いかがでしょうか？ 皆様企業経営をされている方々ばかりです。皆様と違い、一開業医の私には経営哲学は持ちあわせていませんでした。でもロータリーが医療しか知らない私に経営の真髄を教えて頂いたと思います。佐古亮尊 P G、田中毅 P G に深く感謝申し上げます。

R I 会長メッセージ

ロータリアンの皆さま



現在、新型コロナウイルス（COVID-19）が私たちの生活のあらゆる側面にリアルタイムで影響を及ぼしており、ロータリアンは通常とは異なる事態に直面しています。「世界を変える行動人」として自由に動き、会合を開き、支援の手を差し伸べて世界に関与できることが最善の状態ではありますが、目下の状況では、一緒に学び、成長し、そして奉仕することが非常に困難となっています。

リーダーシップが求められる今日、私たちは地域社会のリーダーとなっており、多くの点において今こそ私たちが必要とされるときとなります。私たちはこれまで、助けを必要としている人びとに迅速に支援を提供するため、行動し、協力する能力を証明してきました。それはまさに、現在の世界で必要とされているスキルです。新型コロナウイルスに対する世界的な取り組みは各国での行動にかかっており、ロータリーには、すべての国と地域社会で、それらの行動を前進させるための能力が備わっています。

ロータリアンは、ロータリークラブ、ローターアクター、インターアクターと協力し、あらゆる技術を駆使して大きなプロジェクトに取り組むことができます。実際、保健当局が必要とされる情報を伝えたり、必要な機器や支援を提供したりする際に、ロータリークラブが力となる例が数多くあります。

ロータリー会長、そして会長エレクトとして、私たちは今後のロータリー行事に関して極めて真剣に検討を行ってきました。ご存じかもしれませんが、私たちは国連との協力関係に焦点を置いた二つの会長主催会議（それぞれパリとローマが開催地）を中止するという困難な決定を下しました。また、ロータリー地区とクラブには、国や地元の保健当局の勧告に従って、近く開催予定の会合や行事を中止または延期することを推奨しております。

この困難な状況において、すでに多くのクラブや地区が、テクノロジーを賢明に駆使し、それぞれの地域社会でリーダーシップを発揮する機会を見出しています。例として、イタリアのEクラブは新型コロナウイルスへの認識向上を目的としたオンラインセッションをライブ発信し、台湾のクラブは企業や薬剤協会と連携して手の消毒液ボトル1600本を基隆市に提供し、スリランカでは保健推進局によるウイルス対策メッセージの配信を援助するため複数クラブがソフトウェアとハードウェアのアップグレードを支援しています。

今は、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを革新的な方法で示す機会となります。また、私たちはWHOと地元保健当局の勧告に注意深く従うべきであり、それには、感染を引き起こしうる不必要な接触を減らすためにクラブの行事や会合を中止することも含まれます。私たちが注力できることは、恵まれない境遇にある人びとが孤立や不安に対応できるよう支援し、保健当局が現況に対処できるよう支援するなど、各地域社会での活動となるでしょう。

私たちはリアルタイムでこの状況に対応しています。最新情報は、[rotary.org](https://www.rotary.org/ja)の[新型コロナウイルス関連ページ](#)をご参照ください。

私たちのほぼ全員にとって、これは前例のない挑戦です。しかし同時に、人びとと地域社会を導き、世界を良い方向へと導くための意義ある新しい方法を見つける機会ともなります。

私たちは、地元と世界中で地域社会を守り、かつ強化するために多くを実現する団体の一員であることを、かつてないほどに誇りとすることができるようでしょう。

心を込めて

2019-2020年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

2020-21年度国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク



2020～2021年度 地区チーム研修セミナー報告

地区チーム研修セミナー 実行委員長 大坪 稔 (鹿島RC)

2月23日(日)鹿島市の割烹「清川」にて首題の研修セミナーが開催されました。花島ガバナーエレクトより次年度のガバナー補佐・地区委員長の紹介と委嘱状交付、地区関係者の紹介がされました。

□次年度テーマは【ロータリーは機会の扉を開く】

次年度のRI会長はドイツのホルガー・クナーク氏。次年度RI会長テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」に決定したと報告されました。その意は「ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく無限の機会への招待であり、私たちのあらゆる活動がどこかで誰かのために機会の扉を開いていると。」

□次年度地区ビジョン

花島ガバナーエレクトは地区ビジョンとして「RIテーマを理解した地域の特性にあった活動による具現化」、「ロータリーの原点である『親睦』と『職業奉仕』を根幹とした世界、地域社会での良い変化の創出」、「それぞれが『魅力ある・元気ある・個性ある』クラブになることを目指すこと」を掲げ、さらに、地区目標として以下のような具体的な説明がされました。

- ①地区運営 [DLP] (地区リーダーシップ・プラン)：ファシリテーション委員会を新設・奉仕プロジェクトに職業奉仕委員会を入れる・ローターアクトクラブの活動見直し・新クラブの設立・『新RYLA検討委員会』を設立・ポリオ根絶・自然災害被災者への救済活動
- ②クラブ運営 [CLP] (クラブ・リーダーシップ・プラン)：(ファシリテーション)方式例会を試行・戦略計画委員会の全クラブ設立
- ③ロータリー財団への支援：
 - ・寄付金『ゼロ』クラブ『ゼロ』の継続。
 - ・ロータリー財団への年次寄付目標 1人平均：150ドル/年間
 - ・米山記念奨学会への年次目標 1人平均：16,000円/年間
 - ・ポリオプラスへの支援 月1回「ワンコイン運動への協力依頼」

□研修セミナー

福田地区研修リーダー (PG) により、「ガバナー補佐・地区委員長の業務内容について」と題した講演をしていただきました。講習はリーダー自ら作成された「ロータリーの手引き」を用いて「ロータリーの主要な知識」について、具体的で分かり易い実践的なお話をいただきました。ロータリアンとして、また次年度の地区活動を支える立場の役割を理解する、たいへんよい機会となりました。



千葉ガバナー



福田地区研修リーダー (直前ガバナー)



花島ガバナーエレクト



研修会場風景 (割烹清川)

第4グループ インターシティミーティング報告

I M実行委員長 中島 幸利 (唐津RC)

国際ロータリー第2740地区第4グループでは、令和2年2月24日(月)唐津シーサイドホテル「虹の間」において2019～2020年度INTERCITY MEETINGを実施しました。

新型コロナウイルスによる感染リスクが懸念される中、開催が危ぶまれましたが、何人かのドクターのご意見を頂くとともに、会場入口に消毒液を設置するなどしてなんとか開催にこぎつけることができました。

ここ数年、我々が学んできたロータリーのクラブ奉仕や職業奉仕に対する考え方に対して、現在のR Iのそれは少し異なってきているのではないかとわれてきました。そうした中、本州のとあるパストガバナーが会報「ロータリーの友」に「職業奉仕は本当にロータリーの根幹なのか？」というご意見を掲載され、全国的に衝撃が走り、賛否の意見が戦わされたことは記憶に新しいところです。その後も、例会の頻度、make upのあり方、職業分類、職業奉仕の考え方など新しい指針が示される度に違和感を強くする昨今、R Iにおいてどのような議論がなされているか大変気になるところでした。

今般、I Mを計画するに当たって、現在R Iでどのような議論がされているのか、その論点は何かといったことについて、規定審議委員であられるパストガバナー岩永信昭様に、「温故知新」というテーマでご講話をお願いしたところ快くお引き受けいただきました。

当日は、ご来賓として千葉憲哉ガバナー、同令夫人、隅田達男パストガバナーをお迎えし、多数の会員の出席のもと、I Mを開催することができました。

講演内容の詳細は別紙に譲りますが、岩永パストガバナーから古いロータリーも理解し、新しくこんな風が変わってるんだということを理解して、奉仕・親睦といった部分は根本部分は変わっていないということを理解しなければならない。ロータリーは今も昔も変わらず、奉仕の理想を遍く世の中に浸透させるための団体である。これまでの五大奉仕「クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕」を「クラブ管理運営・会員増強・公共イメージ・ロータリー財団・奉仕プロジェクト」の категорияで捉えるクラブリーダーシッププラン(CLP)が提唱されている。R Iでは、戦略計画から行動計画に移っている。その中核的価値観は、奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップという5つのキーワードで示され、これらを具体的に実践することが重要であるとされていることをご説明いただきました。

短時間ですべてを理解するのは難しいと思いましたが、学びを進めていきたいと思えました。

末尾になりますが、講師をお引き受けいただきました岩永パストガバナー、千葉ガバナーほかご来賓の皆様、新型コロナウイルスによる感染症が懸念される中ご出席いただいた第4グループの会員の皆様、そしてホストクラブとしてI M開催に様々な準備を頂いた唐津RCのスタッフの皆様に、心から感謝申し上げます。



基本理念セミナー報告

基本理念委員会 委員長 吉岡 義治 (佐賀南RC)

年度末を前に、お忙しい中 セミナーにご参加して頂いた皆様、誠にありがとうございました。

今回のセミナーを開催するにあたり、準備に半年の期間を要しました。

基本理念委員会は、ロータリーを知り、ロータリーの魅力を知ること、会員減少に歯止めがかかればという千葉ガバナーの要望で設置されました。

「ロータリーとは何か？ さらに行動するにはどうしたらよいか？」を考えてもらう委員会という、大変ハードルの高いものでした。委員会としての活動をどのようにすればよいか、例会がどうすれば盛り上がるかを考え抜いて、行き着いたところが「RLIディスカッションリーダー研修会でのファシリテーションを使った会議方式」でした。

ロータリーでのファシリテーションとは、例会活動が円滑に進むように、そして例会の成果を最大化できるように促進することです。そのためには話の流れを整理し、参加者の合意形成をサポートするファシリテーターが必要となります。

ちょうど2700地区のご厚意で「2700地区RLIDL研修会」へ我が地区からも受講させていただける事となりました。10名の方をお願いし、福岡で「パート1～3」までのプログラムを月に1回、朝から晩までの集中講義を受講、そして終了し、ファシリテーターになりました。

基本理念委員会のメンバーの他、駒井英基パストガバナー、高木義和次年度ガバナー補佐、帯屋徹社会奉仕委員会委員長、久保泰正公共イメージ委員会委員長、徳川清隆インターアクト委員会委員長、藤永勝之次年度会員増強委員会委員長、池田敬介佐賀北クラブパスト会長の方々です。ご快諾いただき感謝いたしております。それぞれの専門とする奉仕部門を超えて一緒に受講していただいたことは、大変、意味深いことだと思っています。今後もいろんなセミナーへ、また例会への参加要請の際には宜しく願いいたします。

今回のセミナーでは、ファシリテーションを今後の例会に取り入れていただきたく思い、会長・幹事に参加をお願いしました。

さてセミナーですが、特別講師にRLI日本支部ファシリテーター委員長の中村靖治先生をお迎えし「ロータリーの基本理念とこれからのセミナーの進め方について」というテーマで講演して頂きました。

その内容をふまえ、参加者全員によるテーブルフォーラムを40分間行いました。9つのテーブルに分かれ10名程度の人数で、

- 1：貴方のクラブではクラブの活性化についてどのような取り組みをしていますか。
- 2：今後、貴方のロータリークラブの活動の中での重要な事と思われることについて。
- 3：貴方にとって、ロータリークラブとはどのような目的の会合だと考えているのか。

という3つのテーマで9人のファシリテーターを進行役として行いました。

どのテーブルでも時間が経つのを忘れるくらい活発な意見が飛び交っていました。

終了後、いくつかのテーブルに協議を発表してもらい、最後に中村靖治先生からアドバイスを頂きました。今後に期待する大変有意義なセミナーとなりました。

まだ我が地区では始まったばかりの会議方式ですが、ロータリーの活性化に繋げていければと思います。



補助金管理セミナー報告

ロータリー財団委員会 委員長 岡村 康 司 (長崎南RC)

11月は国際ロータリーの「R財団月間」となっています。例年通り2740地区内のクラブの例会にお邪魔して30分の卓話を行ってまいりました。今回は8クラブの例会に参加し、R財団の成り立ちと歴史、現在の活動状況などについて話をさせていただきましたが、それぞれのクラブのロータリー財団に関する関心の高さというものを知りました。

R財団委員会のいちばん大きな役割は、各クラブが行ういろいろな奉仕活動の資金の一部としてR財団の補助金を使っていただく事です。その補助金を受給できる条件として、地区主催のR財団セミナーと補助金管理セミナー（毎年11月と翌年2月）に出席し、内容を理解していただく必要があります。

本セミナーの中身は、次年度に行う事業についての地区補助金の申請方法が中心となりますので、次年度の財団委員会関係の方々を対象に行うものであります。R財団セミナーでの復習の部分もありますが、先ず地区補助金、グローバル補助金の仕組みを理解していただければ実際の補助金申請の手続きもわかりやすくなります。ということでセミナー前半の一部は私ロータリー財団委員長の岡村より、R財団の現況報告と補助金の活用について、報告を行いました。

続いて次年度補助金委員長の西川義文さん（大村RC）から配布した資料テキストに基づき地区補助金申請の手順を丁寧に説明してもらいました。

MOU（クラブの参加資格認定覚書）の提出をお願いするとともに、多くのクラブの地区補助金申請を希望しております。

前半が終了し休憩を挟んで、後半最初のプログラムは「2740地区の寄付金の現状報告」を資金推進委員長の古賀秀仁さん（伊万里西RC）にしてもらいました。

資金推進委員会では、常に3つの目標を掲げています。

- ① ロータリー財団への寄付を一人年間150ドル
寄付額は2019年12月現在76,020.41ドル
- ② ロータリー財団寄付0クラブを無くすこと
- ③ ロータリーダイナースクラブカード入会のお願い

次に「地区補助金・グローバル補助金事業の事例報告」として、2019年にネパールの小学校で行った水と衛生の支援・教育事業について隅康二さん（佐賀西RC）が報告されました。

ご存知と思いますが、ネパールで行ったこの事業は、ロータリーの友3月号「特集 水と衛生月間」の記事として詳しく紹介されました。

喜多清基さん（島原RC）からJICA海外協力隊 酒井貴子さん（2018-19 財団奨学生）のマダガスカル通信の紹介をしていただきました。

最後になりましたが、次年度地区補助金を活用した奉仕活動を実施していただけるクラブが増えることを願っております。

たくさんの方々のセミナー参加にお礼申し上げ、全クラブのご活躍を期待しております。



緊急報告 新型コロナについて

第2740地区 2019-2020年度ガバナー 千葉 憲 哉

世界中が新型コロナ発生で最初はすぐにも収まるかのように考えていましたが、新型コロナの重症化拡大とともに、社会そのものの停止、崩壊状態が進行し、生命の危機さえ覚える事態となりました。世界中の人々が身体的、精神的、経済的にも追い詰められています。我々ロータリアンはこのような事態に遭遇し、どのように行動すべきでしょうか？

まずはロータリアン自身、その家族の為に何をすべきか？ は、それぞれ個人の状況により生命の確保、生活の維持を優先すべきです。ついで、社会に果たす役割を考えます。

第2740地区の地区活動について

まず、IMや周年行事の延期もしくは中止を推奨しました。次に各地区で行われた地区大会や記念行事参加中止。国際大会中止と参加取り消し通知、例会の休止の通知などです。

特に国際青少年交換学生、米山奨学生、ロータリー財団奨学生についてです。国際青少年交換学生についてはインバウンド、アウトバウンド共に学生の早期帰国と感染予防とその周知でした。インバウンドの1名（本人家族ともに残留希望、祖母が日本在留）を除いて全員帰国しました。委員会の皆様の懸命な御努力で実現しました。最大の問題は国際青少年交換学生、米山奨学生、ロータリー財団奨学生が次年度実行可能か？ ということです。現在の国境閉鎖状態では7月からの国際青少年交換学生派遣は不可能です。また、米山奨学生については米山奨学生の選定は終了、また修了式などは中止され、次年度はすでに決定されており、日本在住の方が多いため奨学金授与は可能ですが、例会場で授与できるか？ カウンセラーが十分できるか？ というところです。ロータリー財団奨学生については、すでに派遣国に在住している者は帰国せず、活動中で、健康・勉学状態の把握と家族への情報交換や連絡が行われています。しかし、次年度のロータリー財団奨学生の選考は先日済ませましたが、派遣できるか未定です。

例会再開について

ガバナーとしての希望は、例会再開について、**会員の健康を第一**に考えて再開を決定することです。**出席率100%を目指すクラブ**があります。100%出席率はRIに報告すべき事項ではありません。年度末までに他クラブでメイクアップするとか、出席免除を利用するか？ クラブ独自で方法をお考えいただきたいと思えます。地区としては非常事態であり、通常の規定を当てはめることは考えていません。

100%出席に関する三木RI理事への質問のご返事

個人的考えと前置きし、「出席率についてRIが出席率についての指示を出すことはありません。6月末までにメイクアップができない可能性は大いにあります。100%を目指すロータリアン、クラブにとっては何とかそれをクリアしたいと考えておられることは当然です。ロータリアンが、他のクラブを訪問したいと思い、そのクラブが例会を開いていなかった場合、訪問したいロータリアンにその意思があれば、それでメイクアップとみなしてもいいのではないかと思っています。他のクラブを訪問して何かを学びたい、仲間と友情を交換したい、そして心を磨きたい、行きたいと思うクラブがたまたま例会をしていない場合は、柔軟にメイクアップととらえてもいいと思えます。心配ならEクラブを利用してください。」とのことです。

コロナ感染の今後の展望について

ロータリアンの皆様の関心事は例会の再開です。現在、感染拡散防止のために例会休止をそれぞれのクラブで決定されています。いつから再開できるのでしょうか？ 第2740地区の新型コロナ発生の現況を見てください。4月19日現在の感染者は佐賀16名、長崎17名です。**重態者や死者は発生していません。だからと言って安心してよいのでしょうか？** 長崎県による疫学調査では東京・大阪みたいに、もし感染爆発が起こったら、感染者4600名、入院必要者2600名、重傷者90名と予想されています。そのために長崎県、長崎県医師会、各地区の医療機関、介護施設は感染予防のための対策指導と感染防止行動、重症度に基づく医療機関の機能分担を懸命になされています。新型コロナの治療法が現在ありませんから、**医学的収束には治療薬開発、その利用、ワクチン開発及び接種を含めて、患者発生時点から治癒までは18カ月から24カ月を要すると**されています。すなわち、安心して日常活動できるのは最悪来年までかかるということです。例会再開は程遠いということになります。このまま第2740地区で感染爆発が起こらないことを祈るばかりです。

フェイス・シールド寄贈について

先日、第2760地区（愛知）の伊藤靖祐ガバナーから全国の地区にフェイス・シールド寄贈の提案がなされました。内容は「自治体や医師会を通して、あるいは直接医療施設に防護具としてフェイス・シールドを寄贈するものです。東海地区の素材メーカーの協力を得て早く、安く、大量に生産し全国に配送していただけることになりました。」佐賀・長崎県医師会はどのくらいの量を希望されるのか？ 財源はどうか？ 感染防止の為会議ができない現在、ロータリアンの皆様のご了解はどのようにしてとるのか？ の検討が必要でした。そこで両県医師会長に直接お尋ねし、「是非寄贈（約3万個です。）願いたい。」とのことでした。ロータリアンの皆様とは危機管理委員会を4月22日に開催し、御了解を得たいと思っています。財源は、地区の財団委員会や地区財源を検討させていただきます。

アンケート調査について

「アンケート調査について例会休止だからできない。どうしたらよいですか？」との質問がありました。アンケート調査は会員自身が自分のクラブの状態（クラブの長所・短所を知り、クラブの理想像・未来像を知る事）を把握するために行うものです。それをクラブ協議会や公式訪問で利用するというものです。しかし、今年はクラブ協議会や公式訪問が実現できるかどうかさえ現在は未定です。だから、**クラブ協議会や公式訪問開催が決定されたら、その前までに実施し、集計したらいい**と思います。エレクト事務所からのクラブ協議会や公式訪問開催の情報を確認してください。クラブ活性化実現のために、是非継続していただけたら幸いです。

最後に

私の年度はあと2カ月が残っています。その間に危機管理委員会、地区戦略会議、花島エレクトへの引継ぎ、新旧ガバナー補佐交代式、諮問委員会などです。どのような形で開催するか？ 検討中です。すべてのロータリー活動が中断され、クラブ会長幹事はじめ、事業企画や準備にご苦労された皆さまは残念の事と思います。ロータリー活動ができるのも健康あっての事です。**皆様の健康を第一に考え行動してください。**一日も早い新型コロナの収束を祈ります。



ネット例会及び理事会、委員会 開催の奨め

中 島 閏 二 (佐世保北RC・地区HP作成担当)

「新型コロナウイルス」の影響で皆様のクラブは、クラブ例会や理事会の休会が余儀なくされていると思います。

この感染症がいつ終息するか分からない状況の中、ロータリークラブの活動も大きく制限されています。そこで今、話題になっているインターネットを介してのネットミーティングやネットセミナー（ウェビナー）が注目を集めています。

国際ロータリーも今、ネットでの例会や理事会の開催を推奨しています。

そして、すでに国際ロータリーや一部のロータリークラブはネットを介しての会議や例会を開催しています。

例をあげますと北海道の2500地区においては、地区協議会やPETSなど全てネットを介して行ったとの報告を受けています。

Face to Faceの例会や理事会、委員会の開催が難しい中、このようなネット会議ツールを導入しネット例会や理事会などを行ってみられてはいかがでしょうか？

導入費用はとても安価で2,000円／月程度です。クラブがひとつのアカウントを取得しクラブ会長さんなり幹事さんが中心となって運用していただければ、会員の皆さんはネット例会や理事会に無料で参加することができます。

国際ロータリーが推奨するネット会議ツールはZoomというツールです。他にも多くの同じようなネット会議ツールがありますので皆様のクラブに適したものを選んで活用して下さい。

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	高 木 栄	大 村 東
	宮 崎 清 彰	諫 早 北
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	原 口 公 郎	佐 世 保 西
	森 邦 芳	長 崎 南
ポール・ハリス・フェロー	山 口 幸 子	武 雄
	松 永 いづみ	平 戸
ベネファクター	松 尾 友 平	長 崎 南

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	花 島 光 喜	鹿 島
	為 永 伸 夫	大 村 東
米山功労者マルチプル	福 山 和 彦	神 埼
	松 本 勝	長 崎
米山功労者	下津浦 正 明	佐 世 保 南

2020年2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	68.0	74	5	76	6	1	0	1	2
	小城	4	64.6	30	2	29	3	0	0	0	-1
	牛津	4	78.0	30	0	33	1	0	0	0	3
	多久	4	87.4	38	5	38	4	0	0	0	0
	佐賀大和	3	62.7	26	6	25	5	0	0	0	-1
	小計		72.2	198	18	201	19	1	0	1	3
第2グループ	佐賀西	2	83.1	38	2	43	3	0	1	-1	5
	佐賀北	4	58.2	45	1	46	2	0	1	-1	1
	佐賀南	3	72.8	38	4	40	4	0	0	0	2
	神埼	3	79.6	37	4	38	4	0	0	0	1
	佐賀空港	3	68.5	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		72.4	176	12	185	14	0	2	-2	9
第3グループ	有田	3	74.2	28	0	31	1	0	0	0	3
	武雄	3	90.6	56	5	53	5	0	0	0	-3
	鹿島	3	90.6	34	4	33	4	0	0	0	-1
	嬉野	4	84.6	26	2	26	1	0	0	0	0
	大町	4	71.7	11	0	15	0	0	0	0	4
	太良	4	87.5	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		83.2	165	11	168	11	0	0	0	3
第4グループ	唐津	3	96.9	61	0	61	0	0	0	0	0
	伊万里	3	88.8	29	0	29	0	0	0	0	0
	唐津東	3	91.2	50	0	50	0	1	1	0	0
	唐津西	4	92.3	34	0	37	0	2	0	2	3
	伊万里西	4	96.4	41	0	40	0	0	0	0	-1
	唐津中央	4	80.6	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		91.0	252	3	255	4	3	1	2	3
第5グループ	佐世保	4	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1
	平戸	4	81.1	29	2	28	2	0	0	0	-1
	北松浦	4	91.3	25	0	26	0	0	0	0	1
	佐世保西	3	82.7	24	4	22	3	0	0	0	-2
	松浦	4	75.9	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		86.2	182	7	183	6	0	0	0	1
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	62	0	0	1	-1	0
	佐世保東	4	77.0	23	0	25	0	0	0	0	2
	佐世保北	3	100.0	40	2	45	2	0	0	0	5
	佐世保中央	4	94.6	46	1	49	1	0	0	0	3
	佐世保東南	3	63.8	39	0	41	0	1	0	1	2
	HTB佐世保	3	74.9	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		85.0	233	5	245	5	1	1	0	12
第7グループ	大村	3	87.4	48	4	48	4	0	1	-1	0
	島原	3	79.9	30	2	31	2	0	0	0	1
	雲仙	4	88.5	14	0	14	0	0	0	0	0
	大村北	4	91.3	24	1	25	1	0	0	0	1
	島原南	4	67.5	25	0	24	1	0	0	0	-1
	大村東	3	83.9	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		83.1	178	10	180	12	0	1	-1	2
第8グループ	諫早	4	86.2	72	0	76	0	0	0	0	4
	諫早北	4	83.2	74	4	73	3	0	0	0	-1
	諫早西	4	94.8	45	0	45	0	0	0	0	0
	諫早多良見	3	87.9	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	2	80.0	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		86.4	237	12	243	12	0	0	0	6
	第9グループ	長崎	3	94.0	74	0	75	0	0	0	0
福江		3	79.6	33	0	33	0	0	0	0	0
長崎北東		3	83.6	41	3	40	2	0	0	0	-1
福江中央		3	86.0	21	0	19	0	0	0	0	-2
長崎西		3	91.6	43	1	43	1	0	0	0	0
長崎琴海		3	87.1	11	0	11	0	0	0	0	0
小計			87.0	223	4	221	3	0	0	0	-2
第10グループ	長崎北	2	96.0	80	0	74	0	0	2	-2	-6
	長崎南	3	83.2	72	0	72	0	2	0	2	0
	長崎東	4	84.0	40	2	46	2	1	0	1	6
	長崎みなと	3	85.4	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	2	96.3	55	0	52	0	0	0	0	-3
	長崎出島	4	89.9	71	12	72	12	0	0	0	1
	小計		89.1	348	15	346	15	3	2	1	-2
56クラブ合計			83.6	2,192	97	2,227	101	8	7	1	35

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2020年2月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりましたの方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀RC
三根真奈美 君
一般社団法人碧生会
代表理事



唐津東RC
池田 禎博 君
唐津土建工業(株)
営業部長



唐津西RC
中嶋 泰輔 君
九州パッケージ工業(株)
代表取締役



唐津西RC
濱口 博成 君
(株)ハマグチ
代表取締役社長



佐世保東南RC
中村 寿弥 君
(有)中村商事
代表取締役



長崎南RC
中山 紀男 君
(医)中山小児科クリニック
理事長



長崎南RC
辻原 隆 君
ツジハラ防水
代表



長崎東RC
原田 幸二 君
一般社団法人長崎交流センター
代表理事

物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



唐津東RC
小柳 敏文 君
(享年54歳)



長崎北RC
松延 脩 君
(享年83歳)

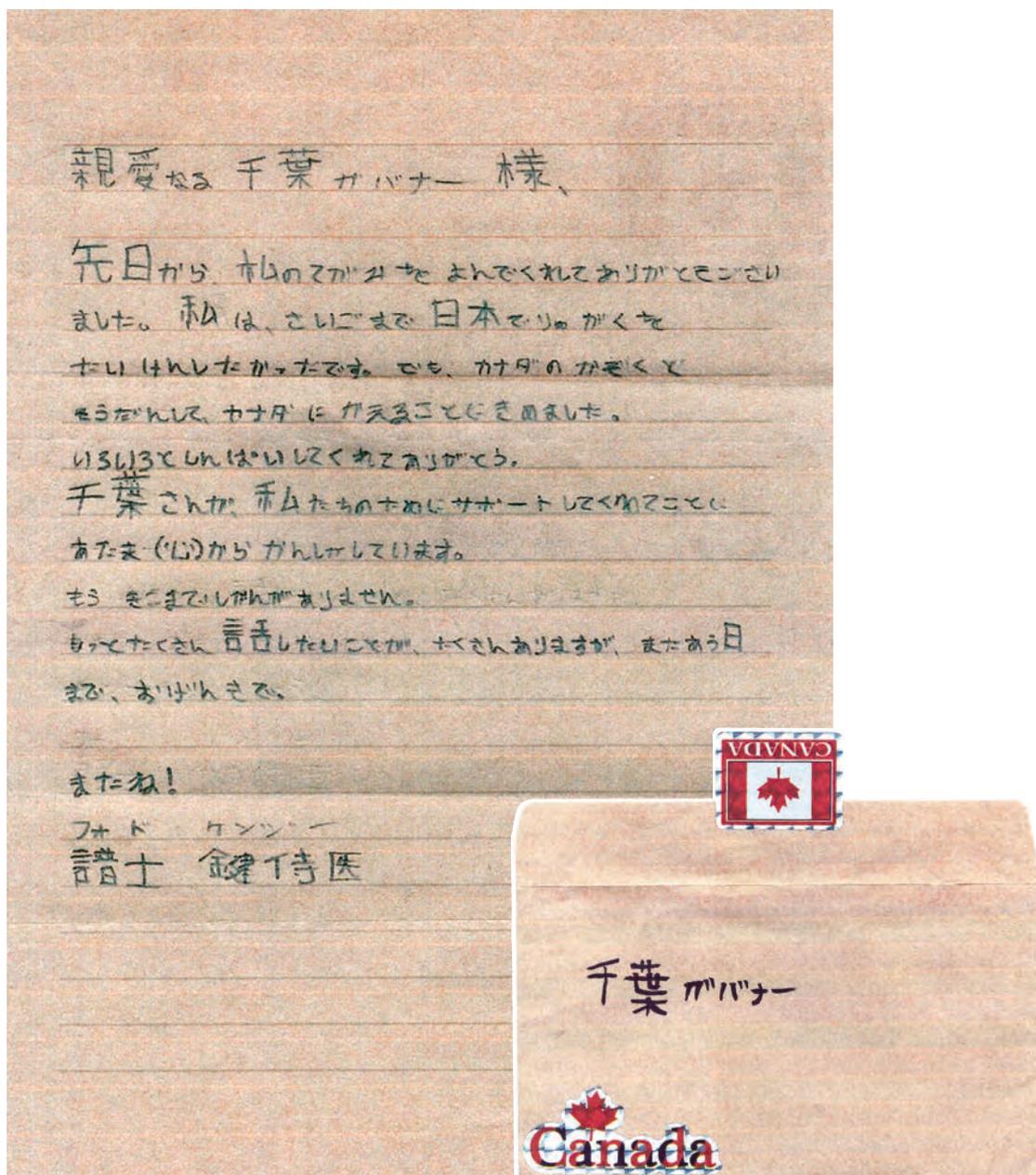
国際青少年交換学生帰国報告

国際青少年交換委員会 委員長 アーリー・ジェフリースチュアート (諫早多良見RC)

COVID-19 (新型コロナウイルス) の感染拡大を受け、青少年交換派遣学生は全員 (3名) 日本へ帰国しました。青少年交換受入学生も3名、母国へ帰国しております。

留学期間が4カ月余り残っていましたが、健康と安全を第一に考えアウトバウンド、インバウンドの帰国を決定しました。

ここに、帰国したケンジーさんの手紙を紹介いたします。彼女は当初、残留を希望しておりました。ガバナーは帰国を促しながらも本人の希望を重視しており、ケンジーさんは日本に残ることを委員会に伝えておりました。しかし、ご両親の説得があり3月24日に帰国の途につきました。ケンジーさんの想いが詰まったお手紙です。



芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。



まぼろしの魚

風木雲太郎 (詩人)

失明の詩人が

お土産にくれた干乾しの魚も盲目だった

有明海の

潟に生れ潟に育ち潟を食べながら生きた

この魚は

海にあるときは不思議に透明だった

土地の人はこの魚をスボタロウと呼ぶ

翼すぼの軽くはかない姿の連想からだろう

雲仙岳が遠ざかるバスの中で

包みをひらいてこの魚の姿を見たとき

失明の詩人の暗黒を見たような気がした

天目に干され黒褐色に凝固し

細くゆがんだ平たい棒のような魚

小さい歯をむき出し

白い目がとび出て海蛇に似ている

黒い潟に生きる宿命とその執念が

その魚の異形となっている

(以下 省略)

詩集『たこつぼの花』より

編集後記

新型コロナウイルス感染症でロータリーも危機に瀕している。例会は休会、各種セミナーも中止、PETSでさえも各グループにての開催と聞いた。会員の親睦も深められないまま、職業奉仕に努めるのみである。

早い終息と例会再開を祈るばかりである。

(雅)



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2020. 6
Vol. 12



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
2020-2021年度 会長エレクト研修セミナー報告	3
ガバナー補佐退任挨拶	4
地区委員長退任挨拶	9
会員数・出席報告	17
新入会員・物故者紹介・寄付者紹介	18
ガバナーノミニー・デジグネート決定のお知らせ	19
文庫通信 [382]	19
報告 フェース・シールド寄贈について	20
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

表紙の写真説明

黄金の穂波ゆらして
はつ夏の風ふき渡る
さわさわと豊作の歓び
大きなうねりがどこまでも
もう刈り入れの音がする

Governor's message



ロータリー2019-2020年度私の走馬灯

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉憲哉

先月のガバナー月信で私がロータリーで得た一番の思いを書かせて頂きました。第2740地区のバスターガバナーの皆様からのロータリーの真髄「利己と利他の調和」を教えて頂きましたことは人生の教訓でした。先日、「ポスト・コロナの世界をどのように救うか？」とのTV番組がありました。「新型コロナ感染症により世界は1930年の世界恐慌以来の経済恐慌をもたらすと言われており、パラダイムシフトを起こす。世界を救うのは「利他」である。」と、フランス経済学者ジャック・アタリが指摘していました。その指摘に私は思わず「そうだ！ ロータリーだ。」と叫びました。ポスト・コロナの世界恐慌を救うのはロータリーの「利己と利他の調和」の精神であると改めて、その確かさを自覚しました。確かに、1930年の世界恐慌の時、「利己と利他の調和」を守ったロータリアンの企業が倒産を免れたのはロータリーの歴史上の有名な事実です。「利己と利他の精神」を忘れないなら、コロナ恐慌を乗り越えるはずです。ロータリーはポリオなど感染症に挑戦し、何よりも企業経営の理念を教えてください。ロータリーに誇りを持つ時代が100年以上続いてきました。これからもロータリアンであり続けて、ロータリー活動を楽しんでください。

1年間、大変お世話になりました。やっと6月がきました。無事に花鳥ガバナーエレクトに引継ぎが行われたら、お役目が終わります。

諫早北RCの緒方聖君に月信編集長を担当していただきました。月信を読まれている皆様は転載されている写真とその説明、芸術家の視点、諫早の文人の作品紹介、詩の格調高さに気づかれたでしょう。四季折々の本明川沿いの写真一枚一枚も実際に現場に自ら撮影に行かれ、文章も推敲に推敲を重ねて練り上げられているものです。文芸の郷、諫早ならではの人材、同編集長の素晴らしい感性による力作でした。また、校正、編集にと協力していただいた諫早RCの廣渡雅也君と諫早北RCの川崎健君に感謝いたします。皆様の努力にもかかわらず、私のガバナーメッセージの内容が“いまいち”だったのはご勘弁ください。

振り返って、この1年、私がロータリーに何ができたのか？ と、あれもしたかった、これもしたかった、でも何もできなかったと反省しきりです。当初、公式訪問と地区大会をうまく務めることが私の役目と思っていました。ところが、昨年7月以来、いろいろなことがありました。佐賀の豪雨災害、年が明けたら、新型コロナ感染と世の中がひっくり返るような出来事が起こり今も続いています。今年3月以後、数か所の地区でのIMやクラブ周年行事ができなくなりました。例会まで中止せざるをえない事態です。例年に無い出来事でしたが、豪雨災害時には平岡清宏ガバナー補佐、国際青少年交換学生の早期帰国などでは委員会の皆様に、4月27日の新型コロナのフェース・シールド緊急寄贈では第2760地区の伊藤靖祐ガバナー、大石竜基地区幹事に助けて頂きました。

全ての皆様から驚くような支援を頂きました。なんとと言っても全てを取りしきってくれたガバナー事務所宮田真由美さん、川口文子さん、いつでも私の勇み足の尻ぬぐいをしてくれ、いつも側にいて手足を動かしてくれた地区幹事の大石竜基さん、公式訪問のお世話、数々の問題解決に常に協力していただいたガバナー補佐の10人の皆様、地区大会はじめ地区の役員を務めて頂いた所属クラブの諫早北RCの皆様、ロータリーに無知な私を温かくアドバイス、指導して頂いたバスターガバナーの皆様、クラブ訪問時も温かく迎えて頂いた第2740地区の56クラブの会長・幹事そしてクラブ会員一人一人の方々のお顔と手のぬくもりが今も残っています。ロータリアンの中には、仕事や地域での知り合い、学生時代の同級生、大学の恩師、先輩方とお会いし、訪問時、拝顔させて頂き、思わずほっとさせて頂きました。また全国34地区のガバナーおよび令夫人の方々、そして日本ロータリーの皆様、地区いや日本の全ロータリアンが地区大会訪問時に私と妻に注いでいただいた温かい思い出が走馬灯のように目に浮かんでいます。人生の終盤になり、人生観が急に180度変わり、私を取り巻く世界が広がりました。人生の最大の忘れる事のできない出来事でした。すべての人に感謝してもし尽くせません。1年間の思い出の写真とロータリーの資料が山のように貯まりました。そして側でいつもロータリアンとしてアドバイスと海外、国内の訪問を支えてくれたのは妻でした。感謝。



2020－2021年度 会長エレクト研修セミナー報告

次年度地区幹事 迎 雅瑠嗣 (鹿島RC)

新型コロナウイルスの感染拡大で自粛ムードが広がり、当初3月15日(日)を予定しておりましたが4月12日(日)に変更し、内容に充実を図りながら時間短縮をして、鹿島市の割烹 清川で開催することになりました。

ところが、4月7日に7都府県に対し緊急事態宣言が発令された為、この状況下での開催を中止せざるを得なくなりました。

そこで、第2740地区の第1～第10グループのガバナー補佐にお願ひし、グループ別で最少人数での開催とさせていただきます。

PETSの資料として、「会長エレクト研修セミナー」の冊子と「DVD」を作成し、各グループに配布し、その資料をもとにセミナー開催となりました。

「DVD」は、前編にRI会長エレクト ホルガー・クナーク氏の2020～2021年度テーマと方針、後編に花島エレクトの2740地区ビジョンや地区運営方針(DLP)並びにクラブ運営(CLP)を取り上げ、理解しやすいようにしております。

以上の事を各グループのガバナー補佐にお願ひし、ご指導いただいた事を厚く御礼申し上げますと共に、このような状況の中でセミナーにご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

◎各グループの会長エレクト研修セミナー (PETS) 開催



ガバナー補佐退任挨拶



第1グループ ガバナー補佐 **白石公太郎** (牛津RC)



早いものであつと云う間に1年が過ぎてしまいました。就任挨拶、クラブ協議会、公式訪問等、各クラブの皆様方には大変御世話になりました。

今年度は、千葉ガバナーによるアンケート調査に始まり、ロータリー活動に対する意識改革を促す1年の始まりでもありました。大石地区幹事はじめ、2740地区の10グループのガバナー補佐の皆様とお会いし、色々と御指導を頂きました。又各クラブの会長・幹事の方々との出会い、ロータリーに対する熱意と行動力に心より感謝申し上げます。クラブ訪問の際には、ロータリーを良く理解し、実践されているクラブが多く、それぞれのクラブが地域に密着した奉仕活動をされている事に大変感銘を受けました。

昨年、2740地区は1クラブ減の56クラブとなりました。ロータリーには会員増強と退会防止は大変重要なものです。経済環境の変化と共に、若手経営者の減少、後継者不足等さまざまな要因はあると思いますが、ロータリーは楽しい、入会したいと思えるような魅力ある奉仕団体にしていきたいものです。

又、昨年は8月の集中豪雨により甚大な被害にあわれた方も沢山おられたと思います。そして今年は新型コロナウイルスが世界的な拡がりを見せ、何時終わるかも分からない現状に私達ロータリアンの活動も制限され、各種行事や奉仕活動等、実行委員の皆様がギリギリまで頑張っておられた企画も中止や延期になり、大変残念でなりません。

最後になりますが、1年間ガバナー補佐として何も出来なかった事を御詫びすると共に、御指導頂きました千葉ガバナー始め、大石地区幹事、第2グループ山崎ガバナー補佐、そして各クラブの会長・幹事の皆様の温かい御支援・御協力に心より感謝申し上げます。本当に有難う御座いました。



第2グループ ガバナー補佐 **山崎 唯之** (神崎RC)



ガバナー補佐の大役を引き受け、後悔と不安の中で初めてのガバナー補佐研修に参加致しました。第2グループガバナー補佐の肩書きが印字された名刺を頂き、さらなる責任の重さを感じました。しかし、他グループのガバナー補佐の方々と名刺交換をし、お話を伺えば皆様不安をお持ちだとわかり安心しました。

地区研修、地区協議会、ガバナー補佐研修と千葉ガバナーの方針とロータリーの知識を深めながら7月を迎えました。

早速、担当クラブへのクラブ協議会、そしてガバナー公式訪問が始まりました。

その中での8月末の佐賀豪雨によりガバナー公式訪問の延期、それにもまして、甚大な被害が出た、第3グループ、第1グループの会員の方々を危惧致しました。

9月には無事、クラブ協議会、ガバナー公式訪問をすべて終え、10月19日の佐賀北クラブ50周年、11月9日の地区大会を盛会裏に終え一安心致しました。

年が明け、佐賀クラブがホストされました全国RYLA研究会も盛会裏に終わり、あとは第1、第2グループ合同IMを無事終えればと思っていた矢先、新型コロナウイルスにより中止となりました。ホストクラブである佐賀クラブの方には申し訳なくおわび申し上げます。最後になりましたが、一年間ご指導いただきました、千葉ガバナー、大石地区幹事、他グループのガバナー補佐の皆様、第2グループ5クラブ会長、幹事並びに会員の方々の温かい友情によりまして一年を終える事が出来ました。心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。



ガバナー補佐退任挨拶



第3グループ ガバナー補佐 平岡 清宏 (武雄RC)



今この原稿を書いていますのが、4月の中旬です。皆様に読んで頂いている時、新型コロナウイルスの関係で、世の中がそしてロータリーがどう変化しているのか予測もつきません。

第3グループガバナー補佐として、6RCとなって初めてのクラブ協議会・公式訪問の最中に、佐賀豪雨災害が8月末に発生し、状況が一変しました。地区内外のロータリアンのお蔭様で義援金を賜り、被災された地域・会員企業に、仲間として勇気と希望を頂きました。

復興も落ち着き、さあこれからグループ内の事業をと楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルスの影響で、3月より各クラブ共、例会さえも開催出来なくなりました。残されておりましたI・M並びに親睦ゴルフ大会も中止に追い込まれてしまいました。嬉野RCさんは、楽しみにされておられた50周年のお祝いも断念されました。

正味8カ月しか活動ができておりませんが、グループ内の会員諸兄と楽しく交流させて頂きました事が、大きな財産となりました。欲を言えばもっともっと交流をとの思いがありますが、未曾有の危機の前では無力なものでして残念で仕方ありません。

千葉憲哉ガバナー、大石地区幹事、同期ガバナー補佐の皆様には、色々ご指導を賜りありがとうございます。良きご縁を頂いたとこれからも大事にさせていただきます。

最後になりますが、グループ内6RCの会長・幹事さんを始め170名の会員のご支援に深く感謝申し上げます。退任のお礼の挨拶とさせていただきます。



第4グループ ガバナー補佐 辻 幸徳 (唐津RC)



2019-2020年度2740地区第4グループのガバナー補佐として退任挨拶を申し上げます。

補佐として唐津・伊万里各地区での新旧会長幹事会への参加から活動が始まりました。

各々のクラブ協議会では千葉憲哉ガバナーの地区方針(テーマ)の概要・背景を説明、そして「アンケート調査」の内容・改善点を共有すべく協議会に参加を致しました。

それぞれのクラブ訪問時には心温かく迎えて下さり、ガバナー公式訪問随行と共に貴重な素晴らしい思い出深いものになっています。

ガバナー補佐会議では2740地区での諸々の情報が共有され、また同日に開催された各種セミナーも改めてロータリーを知る良い機会になりました。

下半期では残念ながら新型コロナウイルス感染の拡大に伴い諸々の行事が中止、延期になりました。その中でもぎりぎりのタイミングでIMを開催できた事は多くの会員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

グループ内の各クラブ運営に関し補佐として千葉ガバナーを十分にアシスト出来たか心もとないですが、今後ともこの度築かせて頂いたご縁を大切にロータリー活動を続けて参りたいと思います。

最後になりましたが1年間の長きに渡り補佐として支えて下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

ガバナー補佐退任挨拶



第5グループ ガバナー補佐 **法師山真人**（北松浦RC）



思い起こせば、一昨年のこと、ガバナー補佐就任の要請があり、自分には荷が重い役職と思いましたが、以前先輩会員よりロータリーに於いては、役職を与えられたら素直に受け、努力を重ねる事が自分を育てる事だと言葉を頂いた事を思い出して受諾しました。

それから、ガバナー補佐研修会、ガバナー補佐会、ガバナークラブ公式訪問に於いて、千葉ガバナーと大石地区幹事のロータリーに対する熱き思いを受け、特に千葉ガバナーのクラブ訪問卓話に於いては、今までのガバナーとは違った観点からロータリーを平易に解説して頂き、この人の下でなら一年間頑張れると確信してやってきました。

まず、ガバナー事務所としては、この一年2740地区全クラブに於いて、クラブ内の諸問題に対するアンケート調査を実施し、各クラブの現状の分析を行い将来の展望を明らかにされた事。

次に、ガバナー補佐会に於いては、地区幹事出席のもと、第3グループ内での河川氾濫被災に対する被災クラブへの見舞金送金名目等に関し、各ガバナー補佐の明確な意見交換には、誠に感じ入りました。

また、第5グループの皆様には、ガバナー補佐就任挨拶、クラブ協議会、ガバナー公式訪問において温かい歓迎を受けました。そして、平戸、松浦、北松浦の合同例会と懇親ゴルフ大会を開催して頂き、誠に有難うございました。

最後になりましたが、千葉ガバナー、大石地区幹事、ガバナー事務所の職員、同期のガバナー補佐、皆様の今後の御健闘を願い、退任の挨拶と致します。



第6グループ ガバナー補佐 **岡田 金助**（ハウステンボス佐世保RC）



佐世保市内第6グループ・ロータリークラブ会員の皆様、2019～2020年度ガバナー補佐でクラブ例会に出席させて頂きました、1年間ありがとうございました。後半2020年6月までクラブ訪問を予定していましたが、新型コロナウイルス対策で出席ができませんでした。千葉ガバナーがお伝えできなかったこと、ロータリーへの思いを皆様にお伝えできなかったことは残念に思っています。

「今、ロータリーは危機なんです！……」から始まって、各クラブそれぞれにアンケート調査の結果を見ながら、ロータリークラブのありようをお話しできたことを、私は学ばせていただきました。

佐世保市内6クラブは歴史ある伝統クラブですから、創立者の思いこそがクラブの伝統であり、歴史となつて今があるということでしょう。各クラブを訪問しながら会員の皆様と情報を共有できたことは、とても喜ばしいことでした。

ロータリーからのあれを見て学びなさい、これを学びなさいと言われるかもしれませんが、何処にも、何も書いてないです。つまりは自分で探して学びなさいです。自己啓発は自分で探しなさい、学びなさいということでした。各クラブを訪問しながら私が多くのことを学ばせていただきました。Covid-19を克服して新たに皆様に会える日を楽しみにしています。

ガバナー補佐退任挨拶



第7グループ ガバナー補佐 **比良 孝蔵** (大村北RC)



有難う御座いました！ ガバナー事務所をはじめ第7グループの皆様のご支援に感謝申し上げます。

ガバナー補佐就任以来、「光陰矢の如し」で、まだ見たことのない世界の先に何が見え、何を感じることができるのか？ 少しの不安と大きな期待感の中で、事前教育というべきベッツ、地区研修協議会、新旧ガバナー補佐会議に始まりグループ内、各クラブに対し就任挨拶、クラブ協議会、ガバナー公式訪問や地区大会、インターシティー・ミーティング、各種セミナーに適度な緊張感の毎日は充実した日々でございました。前期において所属クラブ仲間と行動したメイク・アップツアーは大村3クラブと島原3クラブの皆様との夜の例会及び懇親会は生涯の良き思い出です。後期には再度メイク・アップツアーやゴルフコンペを兼ねた懇親会の開催を計画中でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でクラブ例会、各種セミナー、国際大会、クラブ創立記念式典等と共に中止に追い込まれたことは残念ではありません。殆ど活動できなかった事を申し訳なく思い、何処かへ何かを忘れてきたような虚空を感じます。

しかし、国際ロータリーのテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」と地区方針のチャレンジしよう「変化、活性化、つながる、伝える」はこの苦難にロータリアンが打ち勝っていかなければならないと云う暗示だったような気がいたします。この状況はロータリーを顧みる良き機会でありましたので、佐古亮尊PG著書「ロータリーの森を歩く」を再度読み返し、先達の経験の中から学ぶべき点がたくさんあったように感じました。これからも「四つのテスト」と「寛容の精神」を支えに精進していきたいと思えます。

最後にロータリアンの皆様のご健康とご多幸をお祈りし、退任の挨拶と致します。

感謝。



第8グループ ガバナー補佐 **栄田 元信** (諫早RC)



波乱と激動の1年が終わろうとしています。2018年12月諫早での次年度ガバナー補佐研修会から始まり、2月は地区チーム研修、3月はPETS、4月第8グループ新旧会長幹事会、5月地区研修・協議会、6月は新旧ガバナー交代式、第1回ガバナー補佐会議、米山記念奨学会委員長セミナーと準備を重ね、7月からのスタートは順風満帆でした。7～8月は諫早南RC、諫早多良見RC、諫早西RC、諫早RCのクラブ協議会及びガバナー公式訪問、諫早北RCは9～10月におわり、9月に佐賀県の豪雨災害に対する全国のロータリークラブからの義援金の配分について検討し、のちに激甚災害の指定を受けた自治体へ直接届けることとなりました。10月は社会奉仕セミナー、11月は地区大会に合わせて危機管理セミナーに参加、地区大会は諫早文化会館とL&Lホテルセンリュウで開催され歓迎晩餐会にはRI会長代理を招待しない画期的な晩餐会でした。今後の参考になれば幸いです。さらに11月にはロータリー財団セミナー、2月に補助金管理セミナーが開催され、2月15日には第8・7グループ合同IMを開催しました。翌16日に基本理念セミナーが開催され、ここで地区主催の会議等が終わります。だれもここでRC活動がストップするとは思ってもよらないことでした。1月に中国武漢で発生が発表された新型コロナウイルスは世界へと広がり始め市内の小中学校の卒業式は来賓なしで行われ、各種会合は中止や延期を余儀なくされ、諫早RCの60周年記念式典・懇親会も一旦5月末に延期されましたが、中止となりました。例会は4月の第1週目4月3日(金)は開催されましたが、以降は5月中までの休会が決まっています。先が見通せない中、次年度の準備がスタートできない状況にあります。このように長期(現時点で3～5月)に亘って例会が開催できない異常事態はロータリー始めて以来のことと思われます。いずれは収束すると思えますが、何時どのような状況で収束するか分かりません、そしてその時ロータリーはどのような役割を果たすべきなのでしょう、どのような事態になろうともその時の最善を尽くすべきと考えます。皆さんこの難局に対して力を合わせて乗り切りましょう。

ガバナー補佐退任挨拶



第9グループ ガバナー補佐 **浦 信夫**（長崎琴海RC）



ガバナー補佐として一年間大変お世話になりました。各クラブを訪問させて頂き、諸先輩の前に額に汗かきながら挨拶をするという貴重な経験もできました。千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、地区内のガバナー補佐の皆様と活動できましたことを嬉しく思います。殊に第10グループ小野原ガバナー補佐はじめ、第9、第10グループの会長、幹事の皆様には何かとご協力頂き、ありがとうございました。

2018年12月22日のガバナー補佐予定者会議に始まり、地区チーム研修セミナー、PETS、キックオフミーティング、協議会等参加しながらも、満足のいく活動となし得なかった自身の取り組みに反省しきりでの降板の時となってしまいました。

公式訪問の折、各クラブの会員の皆様と顔を合わせたり、地区大会やインターアクト年次大会でのホストクラブの活躍を拝見し、改めてロータリークラブの活動の意義を実感致しました。第9、第10グループのインターシティミーティングではホストクラブの皆さんの尽力に感謝申し上げます。

で、すんなり終わるはずが、終盤にきて新型コロナ蔓延で例会その他あらゆる会合に支障をきたすこととなり、混乱の中に年度末を迎えようとしています。どれだけ皆様のためになれたかわかりませんが、出会いと経験の充実した一年を送らせて頂きありがとうございました。

最後に、ガバナー事務所の皆様には、出だしから終盤まで何かと迷惑ばかりおかけし、申し訳ありませんでした。いたずらに年数だけ重ねてきましたが、これを機会に少しでも前進できれば幸いです。ありがとうございました。



第10グループ ガバナー補佐 **小野原卓嗣**（長崎北RC）



就任以来9、10グループの皆様大変お世話になっております。特に第10グループの皆様にはクラブ協議会、ガバナー公式訪問の節は温かく迎えて頂き有意義な時間を持たして頂き感謝申し上げます。

又2月のI・Mでは長崎クラブホストクラブの下で開催致し五島からも多数参加頂き9、10グループの懇親を深めた楽しい会になりましたことを感謝致します。

新型コロナ発生のため3月より各クラブ例会休会が続いており寂しい思いをしています。

しかし我が身、家族、会社が大変な時期です。乗り切っていきましょう！ 6月もし例会が開催されましたらクラブ訪問にお伺いし1年間のお礼を申し上げたいと思いますが叶わない時はこの文をもちましてお礼と致します。

有難う御座いました。



地区委員長退任挨拶



基本理念委員会 **吉岡 義治** (佐賀南RC)



皆様のご協力を得て、この1年間委員会を運営できたことに感謝いたします。

「ロータリーとは何か? さらに行動するにはどうしたらよいか?」を考えてもらう委員会としてこの委員会は誕生しました。

退会による会員減少を防ぐには、まずは例会を盛り上げることです。それには、「奉仕の理念」「ロータリーの理念」について議論を深め、高い倫理基準を保ち、自らの仕事を高潔なものにする必要があります。その上で、もっと一般の方々にもわかりやすく、より具体性をもって奉仕の形で社会に還元することが大事です。

そこで熟考し、RLIディスカッションリーダー研修でのファシリテーションを使った会議方式を取り入れました。

ロータリーのファシリテーションとは、例会活動が円滑に進むように、そして例会の成果を最大化できるように促進することです。

その為には、マルチな進行役のファシリテーターが必要となります。そこで、地区の何人かの奉仕部門の委員長の方に声をかけ、3回に渡るRLIディスカッションリーダー研修を受講して頂きました。

その結果10名のファシリテーターが誕生しました。

もっと身近になるよう、今後も地区内にファシリテーターを増やしていきます。

近い将来、各クラブの例会が、毎回、皆が活発な意見を出し、切磋琢磨して己の限界を知り、自分の職業への転機を見出すことのできる場所になればと願います。



クラブ管理運営委員会 **竹田 健介** (平戸RC)



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、例会も3月からずっと休会が続いています。そしていつ終息するとも知れぬ中で、自粛を強いられ、行動を制限されています。クラブ管理運営委員会はクラブの円滑な運営を助けることにあります。それぞれのクラブが活発な活動をしていくためには、それを担う新しい世代の人たちが必要です。どうしても会員を増強していくことが求められます。どうしたら会員を増やすことができるのか。もっと魅力的な例会運営をし、各自が充実したロータリーライフを送ることができるのか。いつの時代も、そのことに注力し、その歴史を積み重ねてきました。しかし毎週の例会リズムがなくなり、まずは自分たちの事業の行く末を優先しなければならない状態になりました。約100年前の世界恐慌にも匹敵する経済危機とも言われています。その当時、1933年のボストン大会で一人の代表委員が問いかけました。「危機の時には、人々は悪いものの矯正に急ぐ傾向がある。現状はロータリーが一時的にその理想の一部を下げることを意味するだろうか」。チェスリー・ペリーは返答します。「私たちは大邸宅や、高級車や、強いては銀行口座さえなくてもやっていける。これらは幸福の絶対条件ではない。しかし、一つ私たちが失ってならないものはビジョンだ。そして一つ私たちがしてならないことは、他者への奉仕という理想の一時停止を許すことである」世界各地のロータリークラブは、会員の多くが経済的にも苦しいにもかかわらず、各地域で最も困窮している人々を助けるプロジェクトを開始した。私たちも目の前の危機を乗り越え、先人に誇れる行動をとりたいものです。

地区委員長退任挨拶



会員増強委員会 **佐藤 豊** (長崎琴海RC)



「ロータリーは世界をつなぐ」の年間テーマのもと千葉ガバナー年度がスタートした。2019年5月19日開催の地区研修・協議会では活動方針として次の4項目を発表した。

1. 退会防止のため新会員への教育実施
2. クラブ運営の見直し(会長の時間・出席率の向上)
3. 家庭集会、ロータリーデーの活性化
4. 会員候補者のフォローアップ(SAKUJI大作戦)

7月28日(日)東彼杵総合会館 会員増強セミナー(ガバナー月信No.3 P.4報告)

1月19日(日)東彼杵文化ホール 新会員セミナー(ガバナー月信No.9 P.4報告)

特に今期は、新会員(入会3年以内)の皆様がロータリーへの知識と関心を深めて頂くことを願って3冊のテキストを全クラブへお届けした。多額の費用を要したが、千葉ガバナーの決断で実現できたことは記憶に新しい。更に、新会員向けの講師として熱意あるお話を頂いた千葉ガバナー、岩永信昭バスターガバナー、駒井英基バスターガバナーに心からお礼を申し上げます。

第1～第10グループガバナー補佐の皆様にも力強いご支持をいただき感謝いたします。

一連のこうした活動が充分実施できたことは、10名のロータリアンが会員増強委員としてご活躍頂いたことです。井手浩利(佐賀大和)、古川健太郎(佐賀西)、中山晴義(佐賀南)、藤永勝之(鹿島)、西島治(唐津)、貞方正一(平戸)、馬場貴博(佐世保中央)、上田善行(大村北)、石本潤治郎(諫早北)、折式田一豊(長崎西)の皆様です。(敬称略)

会場準備から最後の片づけまで精一杯の役割を果たしていただき、心強い仲間でロータリアンのお手本と確信しました。有難うございました。

更に、会場の予約や2回のセミナー開催時は受付など多岐にわたるお手伝いを快くお引き受けくださったガバナー事務所の宮田さんにお礼を申し上げます。

次年度は花島ガバナー年度となり、藤永勝之氏が会員増強委員長としてご活躍頂けることになっています。

新型コロナウイルスの影響は私達の第2740地区に限らず、日本中、世界中のロータリーの活動を激変させています。

周辺の事情が厳しい時だからこそ、ロータリークラブの存在意義は重要性を増していると確信して会員増強を進めていきましょう。全てのロータリアンにこの一年のご指導、ご協力に対して感謝と万感の思いをお伝えして退任挨拶といたします。ありがとうございました。



公共イメージ委員会 **久保 泰正** (諫早西RC)



まず皆様に公共イメージ委員会の活動にご理解とご協力、またご支援を賜りましたことを御礼申し上げます。

当地区に公共イメージ委員会が初めて作られてから3年の間、委員長を務めさせていただきました。2017-18駒井ガバナー、2018-19福田ガバナー、2019-20千葉ガバナーと3人の個性豊かなガバナーのもと、公共イメージ委員会の基礎作りから始め3年目にしてやっと全国レベル並みの委員会に追いつきました。その間、多くの皆様のご協力をいただいたことを改めて感謝申し上げます。

次年度からは、これまでの公共イメージの活動を基礎にして、さらなる飛躍、進化が必要となります。

特にロータリーの一番のウイークポイントであるロータリーのIT化、例えば今回の新型コロナウイルスの感染拡大によるロータリーの協議会の開催、地区委員会の開催が中止になる中、新たにIT化の導入によるリモートワークでの解決策や、クラブの例会の休会が数カ月続く場合に、どのようなIT化をめざすのか、またZOOMなどでどのように例会を続けていくのかの課題が浮き彫りになりました。

このように全く新しい問題が持ち上がっています。これまで以上に会員の絆をより強くしていく方法を、また新しいやり方を考えていかなければなりません。

今回のコロナ危機もロータリー115年の歴史から学んでいけば、きっとアフターコロナの世界でもロータリーは更なる繁栄をしていくに違いありません。

新しいロータリー活動を新しい人にバトンタッチできることに感謝申し上げて、皆様に対する私の退任の挨拶といたします。

地区委員長退任挨拶



社会奉仕委員会 **帯屋 徹** (大村RC)



本年、千葉ガバナーの下、地区社会奉仕委員長を務めさせて頂き、色々な体験を通し学ぶことの多い一年間であり、ご指導ご協力頂きました皆様にまずもって、心より感謝を申し上げます。

特に社会奉仕委員の皆様には、地区研修協議会や地区社会奉仕セミナーの準備などを含め委員会を7回、佐賀の洪水視察等多くの時間を費やして頂き、ご協力賜りました、皆様の友情に支えられて委員長の責務を全うできました事、衷心より御礼を申し上げます。

又、昨年10月に開催いたしました社会奉仕セミナーには、元熊本県知事、慈愛会理事長で在られます、潮谷義子先生を迎えての、「児童虐待一命の育ちは支えられているのだろうか?」の講演、又、千葉ガバナーが提唱されているファシリテーション方式による「児童虐待防止—今我々に何ができるのか」をテーマに参加者が10グループに分かれファシリテーションに熱心に取り組んでいただきました。この当地区初の試みが、地区ロータリー研修の新たな一歩を踏み出せたのではないかと考えております。

又、2017年6月RI理事会において

- 職業奉仕委員会と青少年（新世代）奉仕委員会の責務を、社会奉仕委員会に統合する。
- ロータリー地域社会共同体とロータリー親睦活動委員会の責務を、社会奉仕委員会に統合する。
- 地区クラブ奉仕委員会をなくす。

この事を2019年7月より開始するとの決定がなされ（当然クラブには自治権が在るので命令ではなく推奨という形では）奉仕プロジェクト部門が大きく変わろうとしています。当地区においても地区の社会奉仕、職業奉仕委員会が無くなったり復活したり、なぜこんなことになるのか不思議に思っらっしゃる方も多いと思います。そんな変動の時なのです。次年度は社会奉仕、職業奉仕委員会とも共存すること、今日まで続けてきた地区社会奉仕活動を継続発展していただけますようお願いし、次期佐藤誠委員長にバトンタッチをしたいと思っております。

※最後に卓話の依頼を受けておりました各クラブ様には、例會中止となり、折角の機会を頂いたのに大変残念です、申し訳ありません。



ローターアクト委員会 **高松 茂信** (鹿島RC)



平成28年よりローターアクト委員として活動し、本年度念願のローターアクト委員長に就任いたしました。まず突き付けられた事は10クラブ中、5クラブが活動休止中という厳しい現実でした。では残った5クラブは全て安泰かと言えばそうではありません。世の中でいう所のアラサーは、色々な問題を抱えているようです。社会的にも丁度、中間管理職を任せられ上司と部下の間に立たされるのもこの頃だし、結婚という人生の転機が訪れるのもこの頃ではないでしょうか。

皮肉にもこのようなイベントはアクト活動において向かい風になる事が多く、事実鹿島ローターアクトでも、出世や結婚により活動が衰退してしまった感があります。まあこれは誰が悪いという事では無いでしょう。ただ現在アクトのアイデンティティが問われているとするならば、「アクトで何を学ぶか」ではないでしょうか。ただ集まってボランティア的な事をする、ただ集まって食事会をするだけでは2740地区のアクトの先は見えていません。具体例を挙げるならば勉強会を開くべきではないでしょうか。職場や学校では教えてもらえない「今この瞬間をどう生きるか?」など学んでいくのはどうでしょうか。

一年間本当に有難うございました。

地区委員長退任挨拶



インターアクト委員会 **徳川 清隆** (唐津RC)



地区インターアクト委員長を退任するにあたりご挨拶を申し上げます。

初めに、地区インターアクト年次大会(2019/8/3 長崎ブリックホール開催)では、ホスト校として事前準備から大変ご尽力頂いた海星高等学校のインターアクトの皆さん、それをご支援いただきました長崎西RCの許斐会長はじめ会員の皆様方の力強いお力添えで、成功裏に終わり感謝致すとともに関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

尚、詳細につきましては「第37回インターアクト年次大会報告書」に纏めてありますので一読下さい。

また、本年度、年2回計画していた指導者研修会は、予定通り実施できました。前期指導者研修会(2019/10/12 東彼杵会館)では、テーマ「地球環境を考えよう!」とし、矢野博巳様(NPO環境カウンセリング協会長崎理事)の「海洋ごみとプラスチック」の基調講演を通じて、ワークショップを実施し、参加者へより深い海洋ごみについて見識醸成と課題把握ができたと思います。ここでは、ローターアクト地区代表堀山幸平様とメンバーの皆様がグループリーダーとして参加頂き、ローターアクトへの親近感が芽生えた機会にもなりました。後期指導者研修会(2020/2/1 東彼杵会館)では、テーマ「国際理解と国際平和」とし、ロータリー青少年奉仕の理念の下、インターアクト、青少年ファミリー(ローターアクト、国際交換留学生、ROTEX、米山記念奨学生)の方々に参加頂き、其々の活動内容を拝聴、青少年ファミリーが友情と交流の機会が得られたところで。この様な機会を継続することは国際理解と国際平和へ繋がっていくと思います。

今年度、2740地区内のインターアクトクラブへの例会訪問を計画しました。

其々のクラブによって形式は少し違っていました。内容は常に吟味され実施されていると感じたところです。後半予定していた例会訪問は、社会環境の感染悪化により断念せざる事となったのは予想もしなかったところです。

地区委員会で検討をしていた「インターアクト活動認定書」は、今年度、初めての発行となり希望されたインターアクトクラブには配布を既に終えたところです。

最後になりますが、これまでに、委員会を支えて頂きました地区委員の皆様、ご支援を頂きました提唱ロータークラブの関係各位、そして、ご協力頂きました地区関係各位に感謝申し上げ退任挨拶といたします。1年間有難うございました。



RYLA委員会 **山口 宏二** (長崎RC)



地区委員として3年、委員長として3年、計6年間務めさせて頂きました。

本年度のRYLAにつきましては、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止により中止と致しました。昨年からはホストクラブとして開催の準備を進めて頂いた長崎北RCの方々へは感謝申し上げます。

2月には佐賀RCがホストクラブとして、全国RYLA研究会が開催されました。東京並びに神戸にて毎年開催されておりましたが、RYLAの全国的な連携、普及並びに情報共有を目的として、今年は当地区で、来年は2800地区山形にて開催される予定です。私も研究会の分科会にて、「RYLAの現状と課題について」とのテーマにてパネルディスカッションのコーディネーターを担当させて頂きました。他の地区の開催方法並びに運営方法などは、地区によって様々です。多くの地区は地区内に各グループ等から選任された地区委員が定期的に協議しながら開催するのが一般的です。2740地区では40年間の長きに渡りグループ毎にホストクラブが移行する形式にて開催されてきました。この開催方法は、ホストクラブの文化や歴史的な背景を取り入れた独自のRYLAを開催できることや、普段青少年奉仕活動を実践できないクラブがこの活動に寄与できること、またクラブが活性化できるなど多くの利点があります。しかしながら、よりRYLAの理念を高いレベルで開催できているかなど問題点も多くあります。今後は新任の相浦委員長のもと、私も地区委員の一人として、地区内の指導者育成の場としてのRYLAを見守っていきたいと考えています。地区内多くの方々からRYLAについてご支援頂ければと思います。



地区委員長退任挨拶



国際青少年交換委員会 **アーリー・ジェフリー スチュアート** (諫早多良見RC)



Rest, Recover, Reflect, and Revise

The events of 2019 that have spilled into 2020 have certainly challenged us all. From the political upheaval in Hong Kong, to the bushfires in Australia, to the novel coronavirus COVID-19 global pandemic. For the past few months, Rotary International has been challenged with a situation unlike anything we have seen in the history of the Rotary Youth Exchange Program. The 2019-2020 exchange year has essentially come to a grinding halt for most programs around the world, and we are all trying to salvage what is left of the current year. Therefore, for the remainder of the 2019-20 exchange year, as well as for the 2020-21 exchange year, we will use this time to rest, recover, reflect, and revise how we can better serve our Rotary Youth Ambassadors.

We currently have 7 students who began the orientation program last year in July. Those students have chosen to continue with the orientation program. Nearly all of them will postpone their departure by one full year. This will give us, both here and abroad, the opportunity to rest and recover physically, mentally, and economically. At the same time, we are reflecting on how we currently run our program, and how we will revise what we do in the future.

Finally, I can't thank all of the committee members enough for the many hours they worked in order to make sure all of our inbound and outbound exchange students were safe. I am humbled by their dedication to the Rotary Youth Exchange Program. We will finish this year quietly. However, we are determined to get back to 100 percent next year under the new leadership of Seiji Higuchi as chairperson.

Thank you everyone for your endless support!

休息し、回復し、熟考し、修正する。

2020年にあふれ出た2019年の出来事は、疑いなく私たち全員に挑戦をしました。香港での政治的激動からオーストラリアでの山火事、そして新型コロナウイルスCOVID-19の世界的流行に至るまで。過去数か月間、国際ロータリーは、私たちがロータリー青少年交換プログラムの歴史の中で見たことのない状況に直面しました。2019年から2020年の交換年は、世界中のほとんどのプログラムが基本的に停止となり、私たちは皆、今年度に残されたものを回収しようとしています。したがって、私たちは、2019年から20年の残りの期間と2020年から21年の交換年の期間を利用して、休息し、回復し、ロータリー青少年大使への奉仕の方法を熟考し、見直します。

現在、私たちには7人の生徒たちがいますが、そのほとんどが、昨年7月にオリエンテーションプログラムを開始しました。学生たちはオリエンテーションプログラムを続けることを選択しました。彼らのほぼ全員が出発を1年延期するでしょう。これにより、国内及び国外の双方で、身体的、精神的、そして経済的に休息し、回復する機会が得られます。同時に私たちは、現在のプログラムの運営方法を熟考し、将来の取り組みをどのように修正するかについても検討しています。

最後に、すべての委員会のメンバーが、私たちのインバウンドおよびアウトバウンドの交換留学生全員の安全を確保するために、何時間にもわたって働いてくれたことに対して、私はどんなに感謝しても感謝しきれません。彼らのロータリー青少年交換プログラムへの献身に私は恐縮します。今年は静かに終了します。ただ、来年は樋口誠司氏が新委員長に就任し、100%に戻す決意です。

皆様の末永いご支援に感謝します！

地区委員長退任挨拶



ロータリー財団委員会 **岡村 康司**（長崎南RC）



ロータリー財団は、人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を推進するプロジェクトに補助金を授与します。財団を通してロータリー会員は数千ものプロジェクトを実施して安全な水の提供、疾病との闘い、平和の推進、基本教育の提供、地域経済の発展を支援してきました。そしてロータリー財団は世界の先頭に立ってポリオ撲滅のリーダー的存在でもあります。そういう崇高な理念のもとに2740地区財団委員会は今年度もグローバル補助金を用いた奨学生の派遣を行い世界中で活躍できる人材を育ててまいりました。今年度は谷口大輔君がカナダのトロント大学、金子浩士君がイギリスのサセックス大学院、地区補助金事業で黒田裕美さんがアメリカのラトガース大学と3名の奨学生を送り出しました。

毎年11月がロータリー財団月間で今年度も地区内8クラブを回りロータリー財団にまつわる卓話をさせていただきました。また同時に11月24日の財団セミナーには、20年以上にわたりタイで識字率の向上の活動をされている原田義之先生（タイ国ダムロン高校日本語教師）を講師にお招きして現地での活動報告をしていただきました。地区内から多くの財団関係のメンバーに参加いただきました。翌年2月には補助金セミナーを開催し主に地区補助金の仕組みと活用方法について詳しく周知を行いました。

今年のご承知のように3月から新型コロナウイルスの影響でロータリー活動も停止しています。

財団委員会としても留学生の派遣を停止することなく、感染拡大防止には十分な配慮をして選考に必要な会議を進めてまいりました。次年度のグローバル補助金奨学生として長崎大学(院) 賀来敬仁君を留学させる予定です。

次年度も財団委員会を統括する委員長を留任いたしますが本年度はお世話になりました。



補助金委員会 **園田 嘉生**（佐賀南RC）



2019～2020年度のロータリー財団部門の補助金委員長を無事務めさせていただきました。

ところが、任期の後半にあっては新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）により、ロータリー活動がほぼ中止となって活動の一部が保留ないし延期状態になりました。なかでも、ロータリー奨学生にとっては緊急事態宣言の発令等により、国外渡航に対する禁止等もあり留学を中断せざるを得なかった留学生もあり、本当に残念だったと思います。したがって、補助金委員会の活動についても今年度は目に見えて実績はなくお役に立てなかったと感じています。

ただ思い出になるとすれば、2019年11月16日(土)にロータリー財団地域セミナーが神戸ポートピアホテルに於いて開催され、その出席者として参加できた事が一番印象に残りました。特にグローバル補助金申請が承認されるためのポイントを学ぶ事ができた事が実績だと思います。そして、国際ロータリー財団が事業目的としている、博愛・慈善・教育・人道的支援の水と衛生、さらに地域活性化を図りながら展開している事業が重要となっている事を理解し学びました。

このような事業を支援していく上で我が国の公益法人ロータリー財団も協力財団として活動しているのです。そこで、次年度は地区によるDDF（地区財団活動資金）の活用を促進するため、前年度以前から使いきれずに地区で多額の繰越金が発生しているので未配分DDFの20%までを増額使用できます。その他「年次基金」1人当たり150ドルの寄付を目標とし、ポリオプラス基金1人当たり30ドルの寄付を目標としています。

早くこの新型コロナウイルスが終息し、平常通りのロータリー活動に戻るように願い、次年度の委員長はじめ委員の皆様に対し引継ぎもままならなかった事をお詫び申し上げ、委員長退任の挨拶と致します。ありがとうございました。



地区委員長退任挨拶



資金推進委員会 **古賀 秀仁** (伊万里西RC)



皆様からのご寄付ありがとうございます

ロータリー財団は1917年アーチ C. クランフ国際ロータリー会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案したことに始まり現在に至ります。

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供しています。

勿論この資金は皆様のご寄付によるものです。

ご承知の通り現在は地区補助金制度が設立されており当地区では年々地区補助金の申請件数が増えています。この資金源を確保するためにも更なる財団寄付の増額が必要です。

今年度目標財団寄付一人平均150ドルこそ達成できませんでしたが多額のご寄付ありがとうございました。今年度申請していただいた地区補助金が次年度において地域に奉仕し、公共イメージアップに繋がる事を期待します。

ロータリー財団は最近、新型コロナウイルス関連の申請があった場合にすぐに補助金を授与できるよう、災害救援基金に300万ドルを充てました。引き続き補助金を授与していくため、災害救援基金へのご寄付を皆さまにお願いして退任のご挨拶とします。



ポリオプラス委員会 **上田 康雄** (長崎北RC)



一年間、エンドポリオに対するご支援ありがとうございました。

ポリオは1988年には世界125カ国において年間35万例が発生していました。ポリオプラスなどの活動により2009年には約1600例まで減少、2018年は33例でした。しかし2019年はナイジェリアでの発症はありませんでしたが、パキスタン146例、アフガニスタン29例と全体では増加しています。ナイジェリアは2017年以後、発症は0となっています。

現在、世界では新型コロナウイルスによるパンデミックが起きていますが、各国のポリオ根絶チームは、今まで築いてきたインフラを活用して、特にポリオ常在国の人々を新型ウイルスから守るべく支援に乗り出しているとのことです。

次年度も引き続きポリオプラス委員長を務めさせていただきます。引き続き、ご支援のほどよろしく申し上げます。

地区委員長退任挨拶



資金管理委員会 **竹内** 一（長崎北RC）



本年度（2019～2020）を以て委員長職を退任致します。

当委員会では、地区補助金・財団補助金の管理を通して補助金を利用するクラブに向けての財団事業の周知と利用の推進を行いました。

また本年度は、これまで申請等の手続きが「煩雑でわかりづらい」というご意見を反映してできるだけ申請を簡素化し、各クラブが使いやすい補助金を目指して活動して参りました。お陰様で多くのクラブの皆様を活用していただき当初の目的が達成できたと思います。

次年度新しい委員長とメンバーの方に引き続き使いやすい補助金を目指して活動して頂ければと思います。

一年間ガバナー事務所の皆様・各クラブの事務局の皆様には大変お世話になりました。

今後共宜しくお願い致します。



米山記念奨学委員会 **大家 和義**（小城RC）



ロータリーの1年、2019年7月～2020年6月までの任期の後半に、この世界を襲った新型コロナウイルス（COVID-19）により無事に終えることができず、心残りのまま引き継ぐことに誠に申し訳なく思っております。

私と同じく、千葉ガバナー・大石地区幹事と共に、地区委員の皆さん、56クラブの会長・幹事・米山委員長・会員の皆さんも同じ思いでしょう。唯、今年の2月に至る事業までのロータリアンの皆様の温かい厚情を頂き、深く感謝申し上げます。

旅立った10名の米山奨学生の皆さんに、寄り添ったお世話が出来たのだろうか？

長崎・佐賀県内の各大学へ留学している15名の米山記念奨学生の皆さんとは、学校の始業と同じく、2019年の4月の「オリエンテーション」時より付き合いが始まり、2020年の3月の「修了式」までが15名の米山記念奨学生の皆さんと一緒に行動する事業でありましたが、（5名の2回生が居ます。）この最後の「修了式・歓送会」が開催出来ずに送り出す事になり、贈る言葉が言えなかったのが心残りでした。

この期間の事業は、5月「米山委員長セミナー」・6月「学校説明会」補助・7月「研修視察旅行」・8月「カウンセラー・奨学生研修」・9～12月「出前卓話」・米山月間の10月「米山の集い」・11月次年度、「面接官のオリエンテーション」補助・12月「面接試験」補助・1月「学友会・総会、懇親会」など、思い起こせば一つひとつに色々なことがあり、充分なお世話ができたのかと思いつつ、修了した米山記念奨学生の各人が「学友会」の一員として、将来を切り開いていくことを願いつつ、常に連絡の取れるように、「学友会」の充実を図り、末長いお付き合いができればと思っております。

又、米山記念奨学会は常に、年度を重複して段取りをしていかなければなりませんので、ガバナー・地区幹事・事務局・地区委員の皆さんの協力を頂かなければ、遂行が難しいので、今後とも切に宜しくお願い致します。更には、56クラブのロータリアンの皆さんの浄財の基に、成り立っておりますので、皆さんのご協力をお願い致します。

2020年の4月からは、次年度の16名（+1名秋入学）の米山記念奨学生の皆さんとの付き合いが始まっております。既に、16名の米山記念奨学生の皆さんは変則的な4月の「オリエンテーション」を経験し（奨学生のみ）、カウンセラー・お世話クラブとの面会などと共に、今後の地区・委員会などの事業参加が難しいのではと思いつつも、これから2021年の3月までに、地区大会・米山の集い・出前卓話・国際交流会・総会・面接試験など年中行事がありますので、ロータリアンの皆様に米山記念奨学生に励ましの声掛けをお願いし、地区委員長の退任の挨拶とさせていただきます。



2020年3月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	0	0.0	74	5	72	5	0	4	-4	-2
	小城	2	69.0	30	2	28	3	0	1	-1	-2
	牛津	0	0.0	30	0	33	1	0	0	0	3
	多久	0	0.0	38	5	38	4	0	0	0	0
	佐賀大和	1	76.0	26	6	25	5	0	0	0	-1
	小計		29.0	198	18	196	18	0	5	-5	-2
第2グループ	佐賀西	1	66.7	38	2	43	3	0	0	0	5
	佐賀北	1	67.4	45	1	44	2	0	2	-2	-1
	佐賀南	0	0.0	38	4	39	4	0	1	-1	1
	神埼	1	77.8	37	4	38	4	0	0	0	1
	佐賀空港	1	78.0	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		58.0	176	12	182	14	0	3	-3	6
第3グループ	有田	1	81.8	28	0	31	1	0	0	0	3
	武雄	3	88.0	56	5	51	5	1	3	-2	-5
	鹿島	1	93.8	34	4	31	4	0	2	-2	-3
	嬉野	4	100.0	26	2	25	1	0	1	-1	-1
	大町	2	73.3	11	0	14	0	0	1	-1	3
	小計		88.2	165	11	162	11	1	7	-6	-3
第4グループ	唐津	1	85.3	61	0	61	0	0	0	0	0
	伊万里	2	87.9	29	0	29	0	0	0	0	0
	唐津東	1	80.9	50	0	48	0	0	2	-2	-2
	唐津西	2	87.5	34	0	37	0	0	0	0	3
	伊万里西	1	94.3	41	0	40	0	0	0	0	-1
	小計		72.6	252	3	251	4	0	4	-4	-1
第5グループ	佐世保	1	100.0	78	0	78	0	0	1	-1	0
	平戸	0	0.0	29	2	27	2	0	1	-1	-2
	北松浦	0	0.0	25	0	26	0	0	0	0	1
	佐世保西	0	0.0	24	4	22	3	0	0	0	-2
	松浦	0	0.0	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		20.0	182	7	181	6	0	2	-2	-1
第6グループ	佐世保南	0	0.0	62	0	61	0	0	1	-1	-1
	佐世保東	0	0.0	23	0	25	0	0	0	0	2
	佐世保北	0	0.0	40	2	45	2	0	0	0	5
	佐世保中央	0	0.0	46	1	49	1	0	0	0	3
	佐世保東南	1	62.0	39	0	41	0	0	0	0	2
	小計		10.3	233	5	243	5	0	2	-2	10
第7グループ	大村	2	91.4	48	4	47	4	0	1	-1	-1
	島原	1	75.9	30	2	31	2	0	0	0	1
	雲仙	0	0.0	14	0	12	0	0	2	-2	-2
	大村北	0	0.0	24	1	25	1	0	0	0	1
	島原南	0	0.0	25	0	24	1	0	0	0	-1
	小計		27.9	178	10	177	12	0	3	-3	-1
第8グループ	諫早	1	78.9	72	0	75	0	0	1	-1	3
	諫早北	2	69.2	74	4	73	3	0	0	0	-1
	諫早西	2	95.4	45	0	45	0	0	0	0	0
	諫早多良見	2	92.4	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	1	80.0	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		83.2	237	12	242	12	0	1	-1	5
第9グループ	長崎	1	81.5	74	0	71	0	0	4	-4	-3
	福江	0	0.0	33	0	32	0	0	1	-1	-1
	長崎北東	0	0.0	41	3	39	1	0	1	-1	-2
	福江中央	0	0.0	21	0	19	0	0	0	0	-2
	長崎西	1	82.1	43	1	42	1	0	1	-1	-1
	小計		41.8	223	4	214	2	0	7	-7	-9
第10グループ	長崎北	1	74.0	80	0	71	0	0	3	-3	-9
	長崎南	0	0.0	72	0	72	0	0	0	0	0
	長崎東	0	0.0	40	2	46	2	0	0	0	6
	長崎みなと	0	0.0	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	1	95.1	55	0	50	0	0	2	-2	-5
	小計		28.2	348	15	340	15	0	6	-6	-8
56クラブ合計			45.9	2,192	97	2,188	99	1	40	-39	-4

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2020年3月末までの増減です。
 *COVID-19感染防止のため例会休会有り。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



武雄RC
前田 浩尚 君
(株)京都屋
代表取締役社長

物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



唐津東RC
宮島傳兵衛 君
(享年98歳)



雲仙RC
豊田 康裕 君
(享年72歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	栗 林 英 雄	諫 早 北
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	岩 崎 修 一	諫 早 北
	浦 信 夫	長 崎 琴 海
ポール・ハリス・フェロー	松 尾 裕 之	小 城
	嘉 村 幸 彦	佐 賀 南

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	栗 林 英 雄	諫 早 北
米山功労者マルチプル	吉 田 知 之	諫 早 西
米山功労者	佐 伯 秀 人	長 崎 出 島



ガバナーノミニー・デジグネート決定のお知らせ

2019-2020年度 第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

2022～2023年度ガバナー候補者の推薦について、2019年11月ガバナー月信（Vol.5）にて、地区内クラブ会長宛に募集通知をいたしましたところ、佐賀ロータリークラブ様より推薦の申し出がありました。期限内の推薦は1件でした。

従いまして、国際ロータリー細則第12条030節「指名委員会手続」の定めにより、ガバナー指名委員会に於いて指名されました上村春甫氏（佐賀RC）が、2022～2023年度ガバナーに就任する、ガバナーノミニー・デジグネートに選出されたことを公表いたします。

文庫通信 [382]

ロータリー文庫通信382号 2020年4月 新型コロナウイルス禍の下で

新型コロナウイルス感染の拡大はロータリー活動に多大な影響を与えています。ハワイでの世界大会は中止となりました。国内においても、PETSや地区大会の中止を余儀なくされました。その中で、特に「幻の講演」となったD2650地区大会RI会長代理の鳥居PDGの「RI現況報告」を掲載します。

また「緊急事態宣言」により、外出の自粛を要請され在宅時間が多くなり、ロータリーについて考える機会が与えられました。そこで今回は、115年を超えるロータリーの歴史の中で、ロータリーの奉仕哲学とその奉仕の実践に関する基本原理を簡明かつ的確に表現している「決議 23-34」について、更に、国際ロータリーという組織の本質は何かを考える意味で、2019年規定審議会で事務総長に与えられた「CEO(最高経営責任者)」という名称が何を意味しているかについて、考えていただければと思います。

書名	著者/出版社等	発行年	頁	※
RI現況報告「ロータリーの変遷と本質」 (D2650地区大会 RI会長代理)	鳥居 滋/岡山東RC D2690PDG	2020	13P	※
決議23-34はロータリーのキイ・ポイント である (増補改訂版 関西ロータリー研究会)	末積 正/神戸RC D268	1987	125P	※
決議23-34 歴史的背景と意味 (D2680 職業奉仕講演会) (P.P.T.174枚)	刀根 莊兵衛/敦賀RC D2650PDG	2018	17P (29P)	※
CEOとして最強の権限を与えられた事務総長 (追加資料提供: D2650PDG刀根莊兵衛)	田中 毅/尼崎西RC D2680PDG	2020	4P (13P)	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

報告 フェース・シールド寄贈について

2019-2020年度 第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

さる4月27日、長崎県医師会館で長崎県医師会長森崎正幸氏にフェース・シールドの寄贈を行いました。第2760地区の伊藤靖祐ガバナーの呼びかけで全国34地区にフェース・シールドを寄贈しようという提案がありました。フェース・シールドとは医療関係者が感染防御目的で顔面を覆うものです。今回、新型コロナウイルス感染のパンデミックで世界中の医療関係者には必須のものです。伊藤ガバナーのご協力で素材メーカーが自主制作するものです。ほぼ原価の1個100円で作成し、全国に配布してくれるというものです。4月中頃、早速、長崎県医師会と佐賀県医師会に要望をお聞きしましたところ、長崎県が2万個、佐賀が1万個欲しいということでした。ところが、長崎港内の修理中のクルーズ船内で乗務員（635人）に感染者が発生したとの報道。長崎県庁には配布できるフェース・シールドの在庫がないということがわかり、長崎県医師会から緊急に1000個欲しいとの連絡が入りました。ガバナー事務所からメーカーに問い合わせたところ、すぐに4月25日に発送していただける事になりました。

そこで4月27日に贈呈式となったのです。

贈呈する前の4月22日に急遽、新型コロナウイルス感染についての危機管理委員会を開催。議題としてフェース・シールド寄贈を検討していただきました。参加者全員の賛同を得ましたので贈呈することになりました。しかし、問題は財源です。地区財団委員にお尋ねすると、地区補助金が一部使える事。そして世界社会奉仕の財源が蓄積しているのでそれから一部使用できることがわかり合計300万円が用意できました。

長崎県においてはまだクラスター発生は無く、集団発生はクルーズ船内のみです。しかし、1名の感染者は長崎市内の医療施設に入院治療中です。病院内感染防止がもっとも大切です。病院崩壊が起きないようにしなければなりません。そのためにも医療従事者の感染防護は必要です。長崎大学関係者の話では長崎県の感染者のピークは7月前後と予想しているそうです。ロータリー行事、例会も6、7月までは困難かもしれません。

今後、新型コロナウイルス感染におけるロータリーの支援活動が求められるでしょう。自らの健康もあります。自らの仕事もあります。「命あつての仕事」かもしれませんが、次年度はロータリー活動には苦難の時期でしょう。「自分には何が出来るか?」を考え、できることをする。」ことが次年度のロータリアンの在り方でしょう。



長崎県医師会の森崎正幸会長



佐賀県医師会の池田秀夫会長と花島光喜ガバナーエレクト

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

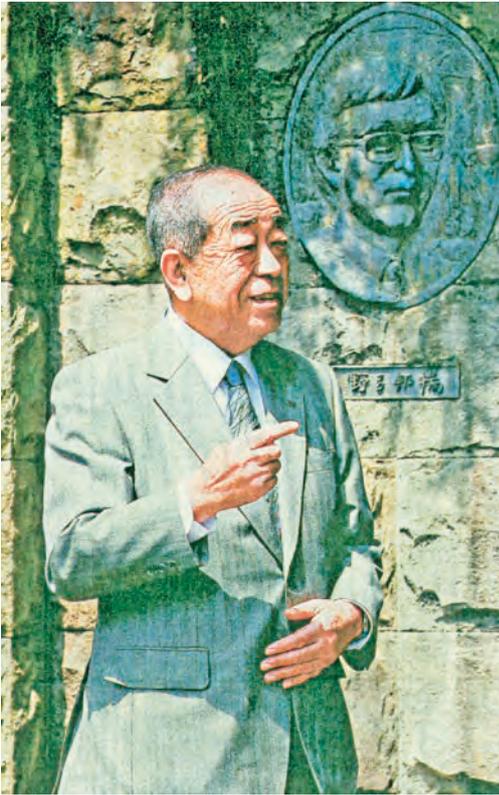
シュガーロードの守り人

森 長之（諫早市芸術文化連盟名誉会長）

菓秀苑森長の会長、諫早市芸術文化連盟会長を長年にわたって勤め上げ、地域の文化発展に多大な貢献をした人物。二〇一二年、長崎新聞でもながさき人紀行で紙面一ページを使って詳しい記載があった事は、まだ記憶に新しい。諫早ロータリークラブでも入会五十五年を誇る古参のロータリアンであり、更に完全無欠席で表彰も受けている。

「おこし」と言えはひなびた和菓子というイメージがあるが、その伝統を守りながらも多彩な工夫を凝らして、時代への適応を真剣に実行している。更に生カステラなどへの挑戦にも目を見張るものがあり、驚きである。当地区は古来、交通の要衝として、物流にも関与してきたところだが、江戸時代のいわゆるシュガーロードを考える時、穀倉地帯の米と砂糖とのコラボレーションは想像に難しくはない。昔から菓子文化が営々と続いてきた所以であろう。

「菓子は文化なり」の信念を旗印に、シュガーロードの良き文化継承者として、その責を果たしている。



（長崎新聞2012. 5. 12より転載）

編集後記

2020年がスタートしたと思ったら、もう5月後半。特に2月以降コロナ関連で毎日頭を悩ませてきたので、ことさらに早く感じる。せっかく編集委員に選んでいただいたのに、自分のことで精いっぱいの後悔の日々。ノーベル賞の山中教授が述べておられた、『resilience（対応力）と感謝』この2つを忘れずにこの時代を乗り切りたい。このような時こそロータリーは社会を回す手助けをせねばと改めて感じている。

（川崎）



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



Rotary

2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

総集編

Vol. 13



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
RI 会長メッセージ	3
コロナ禍とロータリアン	4
地区幹事退任挨拶・フェースシールド寄贈報告	7
すべてのロータリアンへのご挨拶!	8
2020-21 グローバル補助金奨学生選考会報告	11
4～6月会員数・出席報告	12
4～6月新入会員・物故者紹介・寄付者紹介	15
地区資料	19
2019～2020年度 月信編集を終えて	裏表紙

表紙の写真説明

二人してかわす
睦まじき交代の握手
その温もりは熱き血潮のあかし
心うきうき どきどきの二人

Governor's message



国際ロータリー第2740地区の未来に向けて

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉憲哉

2019-20年度は新型コロナにより、年度の3分の1がほぼ休止状態になりました。IMや周年行事を企画し、準備されてきたクラブ会員の皆様に大変申し訳ない事態となりましたことを残念に思います。まずは、皆様の温かいご声援とご支援で素晴らしい1年を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

地区におきましてもやり残したことがたくさんあります。

①会員減少対策、②RYLA再構築、③ローターアクトクラブ再興、④全クラブ戦略委員会設置、⑤RLYAの確立、⑥My Rotaryの全会員登録です。⑦アンケート調査の継続と集計など時間と手間のかかる重い内容ばかりです。

花鳥ガバナーの地区目標の中にいずれの項目も入っておいりましたので安心いたしました。花鳥ガバナーありがとうございます。花鳥ガバナーの目標達成の暁には地区内の改善に向けて動き出すのではないかと思います。

私がガバナー終了時になって、いくらかがいても時代と共に移りゆく、「ロータリーを改革することはかなり難しかった。」ということを感じさせられました。勿論、私のリーダーシップの欠如が大きいと思います。でもロータリアンの協力を得られれば、解決できる解決法があることがわかりました。

私がガバナー月信5月号で「ロータリーが教えてくれた事」で「利己と利他の調和」を「サービス」ととらえる考え方を述べさせていただきました。この考え方はロータリー創立時のシェルドンの考え方です。ロータリアンならば、すでに熟知し、実行していることです。驚いたことに、この考え方は、100年後の現在、ジャック・アタリ（フランスの政治哲学者・現代世界3大思想家、フランス大統領特別顧問、欧州復興開発銀行総裁）の考え方と一致しています。今日、世界は環境問題、人口問題、核兵器問題、世界的感染症、民主主義の崩壊など人類が滅亡する大問題が山積し、解決できないでいます。放置すると人類滅亡までになるとされています。これらの問題解決にジャック・アタリは、**世界を救うのは他利主義（愛他主義）である**と言っています。そして、「世界の現状を深く理解し、世界を改革する必要性を痛感したのなら、あとは行動するだけだ、世界はこのようにして蒔かれた様々な種により変化するのだ。無数の「自分自身になる」が統合すれば、世界は変わる。何故なら、彼らは当然ながら利他主義だからだ。」と述べています。

そうです。政治家任せでは世の中は変わりません。ロータリーもリーダー任せでは変わりません。一人一人のロータリアンがロータリーの真髄「利己と利他の調和」を理解し、行動しなければ、世界も、日本も、地区も、ロータリークラブも、ロータリアン自身も変わりません。

新型コロナ感染症は世界の在り方を一変させました。世の中の混乱はまだまだこれからです。あらゆる価値観が変化し、ロータリーの在り方も大きく変貌するでしょう。前年度と同じ、前例どおりなどといった刹那主義、先送り主義は通用しなくなりました。自分たちで新しい生き方を見つけなくてはなりません。大変な年度になりましたが、「ロータリーの変えるべきところは変える。変えるべきでないところは変えない。」を守って、皆様でロータリーの価値観を意義あるべきものとすべく、親睦と奉仕に手をつなぎましょう。願わくば、コロナの第2波、第3波が来襲しないことです。100年前のスペイン風邪の経験が教えることは新型コロナはスペイン風邪とよく似ている事を踏まえると第1波より第2波もしくは第3波の方が毒性は強く変異し、死者がたくさん出るだろうということです。ロータリーのこの10月から2月にかけては行事予定も実行が困難になることさえ予想されます。花鳥年度が無事に経過することを祈りつつ筆をおきます。



RI 会長メッセージ

地区ガバナー 各位

2019年国際協議会で私たちは、2019-2020年度の計画を練りながら、「ロータリーは世界をつなぐ」を実感しました。皆さまのガバナー年度の最初の9カ月間には、リーダーシップを発揮し、世界を変える行動人としてロータリーの成長、新クラブの結成、若いリーダーの参加促進、ロータリーへの家族の参加にも取り組んでいただきました。皆さまのリーダーシップのおかげでこれらの分野で大きな前進を遂げることができ、行動人として引き続き、未来のために邁進することができました。

しかし、アロハガバナーの皆さまが真にリーダーシップを発揮されたのは、任期の最後となる3カ月ではなかったでしょうか。ほとんどのアロハガバナーが、長年計画してきた地区大会や会合を中止せざるを得なくなりました。新型コロナウイルスという保健の世界的課題に直面し、クラブ内で、そして世界とつながり続けることの難しさが露呈されました。私たちの国際的な友情を維持しつつ、距離を保ちながらも、この世界的パンデミックの中で私たちがいかに活動を継続していけるのかを自問しなければなりません。そこで、すべての会合をオンライン会合に移行させ、自宅から地区の業務や各種の奉仕活動を管理することが求められました。

アロハガバナーの皆さまは、通常の場合のみならず、このような課題の多いときにこそ、素晴らしいリーダーシップを発揮してくださいました。あるアロハガバナーの一人から、このようなコメントがありました：「人の真価が問われるときに、私たちはガバナーを務めたと思います。食料、シェルター、医療の提供など、ロータリーファミリーは支援を必要とする人たちに手を差し伸べました。また、人道的活動を行う仲間たちからも惜しみない支援を受け、この危機に地域社会を救うために、それを生かすことができました。そして何より、私たちが愛する人だけでなく、決して会うことがないだろう人たちをも支援できました」

今私たちは、クラブでの新しい経験をつくりだすことの重要性を実感しています。私たち全員が一度にこれを経験することになろうとは夢にも思いませんでした。私が望むのは、今年度私たちが達成したことが、次年度にも継承されていくということです。さらに重要なのは、今回の危機で私たちが示した柔軟性や適応性が、今後もロータリーが変化し続けるのを可能にするということです。

今年度私たちは、共に非常に素晴らしい経験をしました。皆さまは今年度の活動を通じて、ロータリーを通じて世界をより良くできるということ、そして、世界から欠如しているもの、つまり、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップをロータリーが持ち合わせていることを示しました。人びとが求めているのは、まさにこのようなことです。今年度を通じ、皆さまはロータリーの本質と世界におけるロータリーの可能性を身をもって示してくださいました。

皆さまのご尽力に対し、ゲイと私より心から感謝申し上げます。地区ガバナーとしての皆さまのご尽力によって、ロータリーは適応し、奉仕の次の10年に向けて大きく前進することができました。アロハガバナーの皆さまとの私たち夫婦のつながりは、特別なものであると感じています。この特別なつながりを、これからも末永く保ち続けられることを願っております。今こそ「ロータリーは世界をつなぐ」のです。

心を込めて

2019-2020年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

コロナ禍とロータリアン

ガバナー 千葉 憲 哉 (諫早北RC)

①

戦争・天災
パンデミック
↓
経済崩壊
↓
パラダイム
↓
生き残りの方法？
命・経済

“コロナ禍とロータリアン”

ロータリアンは
世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリーテーマ

①総集編ではガバナーとして最後の卓話「コロナ禍とロータリアン」の紹介です。戦争や天災、パンデミックは社会を混乱に陥れ、経済崩壊を起こし、今までの世界を一変させる、いわゆるパラダイムシフトが起きます。人類は何度もそれを経験してきました。現在、コロナ禍によるパラダイムシフトのただ中、我々ロータリアンは生き残りとしてどのように生きればいいのでしょうか？ 今回はその答えを探します。

②

産業革命
18世紀半ばから19世紀
初期資本主義：強欲（私利私欲）

②今から約200年前に産業革命が起きました。それまでの封建的王朝政治が終焉し、王様は資本家、農民は労働者に置き換わりました。市民革命が起きたにもかかわらず、私利私欲に走る初期資本主義下では、一般市民たる労働者の生活は過酷な状態は変わりませんでした。

③

シカゴロータリークラブ設立
1905年 2月23日

③そんな時、1905年2月23日シカゴ・ロータリークラブが誕生しました。ロータリアンは最初、食うか食われるかの弱肉強食の中でどのようにすれば生き残れるか？ を考え、異業種の人々が支えあえば生き残れることに気づきました。でも自分だけ生き残るだけではいけない。社会に奉仕をしよう！ と立ち上がったのです。

④

第1次世界大戦
1914年7月28日から1918年11月11日
塹壕戦
戦死者1600万人
1913年 ロンドンデリーの歌(ダニー・ボーイ)

④まさにその時、第一次世界大戦がヨーロッパで始まりました。1週間で終わる予定がなかなか終わらせませんでした。実は過酷な戦場は塹壕戦でした。戦死者1600万人。戦争終結には1918年11月11日までの4年間がかかりました。

⑤

スペイン風邪 パンデミック 死者4,000~5,000万人
1914年7月28日~1918年11月11日
終息 約4年

⑤その4年の間に兵士が理由のわからない病気で次々と死んでいったのです。スペイン風邪が起こったのです。最初は米国西部で起こったインフルエンザでした。戦場が世界中に病気を広めたのです。スペイン風邪が終息するまでに4年の月日がかかり、戦争が終わるまで続いたのです。感染者数6億人。死者数5千万人。これがパンデミックです。

⑥

スペイン風邪：インフルエンザウイルスA型(H1N1型)
1918年~19年19年にかけて、全世界的に流行した、インフルエンザのパンデミックである。
感染者6億人、死者4,000~5,000万人。
参考：新型コロナウイルス 世界 2020年5月29日
感染者 5,803,416人、死者 359,791人。

流行	患者	死者	致死率
第1波 1918(大正7)年8月 1919(大正8)年7月	2116万8398人	25万7363人	1.22%
第2波 1919(大正8)年8月 1920(大正9)年7月	241万7307人	12万7666人	5.29%
第3波 1920(大正9)年8月 1921(大正10)年7月	22万4178人	3698人	1.65%
合計	2380万4673人	38万8727人	1.63%

日本におけるスペイン風邪の被害

⑥わが国も参戦。スペイン風邪の第1波では死者約26万人。第2波では12万人。第3波では約3600人。感染者数合計2380万人、死者数合計38万人でした。特に第2波の死亡率は5.29%にも及びました。

⑦

世界恐慌 1914年7月28日~1918年11月11日

⑦戦争、スペイン風邪に引き続き、経済恐慌が起き、ヨーロッパでは銀行取り付け騒ぎ、日本でも農村で飢餓状態まで起こりました。

⑧戦争終了後にアメリカでも経済恐慌が起きました。その時、シカゴ・ロータリーに入会したのがアーサー・シェルドンでした。シェルドンはビジネス・スクールの校長でしたが、ビジネスにおけるサービスを「利己と利他の調和」ととらえました。それを基に生まれたのがロータリーの「奉仕の理想」の哲学です。1つは「最もよく奉仕する者は最も報われる。」2つは「超我の奉仕」です。この哲学を守ったロータリアンは経済恐慌を乗り越えたのです。ロータリアンが経済的成功を収めたことは当時大きな出来事でした。ミクロ的修正資本主義の考え方です。この考え方は今も、100年以上続くロータリーの基本哲学です。

⑨その後、アメリカではケインズがマクロ的修正資本主義に基づき、ニューデール政策（フーバーダム建設などの公共投資など）が行われ、世界恐慌を乗り越えました。シェルドンの考え方はマクロでも間違っ

⑧



“He profits most who serves best”
最もよく奉仕する者、最も報われる

恐惶の中で立ち上がったのは
 Sheldonの経営理念に倣った
 ロータリアンの経営者だった。

アーサー・F・シェルドン
1921年(入会)～1930年(退会)

⑨



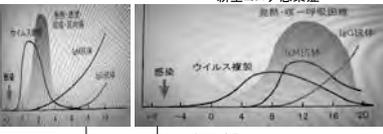
1933～39年ニューデール政策



雇用・貯蓄および賃金の一理論
ジョン・メイナード・ケインズ
「修正資本主義」

⑩

インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症

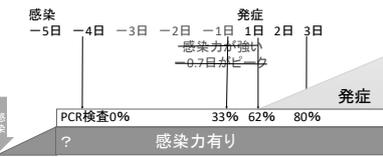


経過が遅い 感染～発症まで1週間以上
初期症状が長く、軽微いきなり重症化
抗体形成が遅い
PCR検査で30%見逃し

ペスト菌、インフルエンザウイルス、コロナウイルス

⑪

PCR検査だけでは感染者の特定に非効率。



感染 -5日 -4日 -3日 -2日 -1日 1日 2日 3日 発症

PCR検査0% 33% 62% 80%

感染力強い 0.7日かピーク

発症

Johns Hopkins University. 2021

⑫

DNAウイルス 二本鎖の構造 安定した複製 変異スピードが低い

RNAウイルス 一本鎖の構造 不安定な複製 変異スピードが高い 毒性が変化しやすい

遺伝子構造

⑬

COVID-19の変異株60種類以上



発生 12月12日 1月1日 1月15日 1月20日 2月12日 2月26日 3月11日

アジア 米国

⑭

ワクチン・抗ウイルス薬 未開発

必ず、第2波は来る

厳守(発症するまで手洗のみ)
① 密閉・密着・密接を避ける事
② マスクをする

ロータリー寄贈フェース・シールド
全国34地区 合計85万セット
長崎県・佐賀県 医師会、歯科医師会へのフェースシールド寄贈

いなかったのです。

⑩では、今回のコロナ禍に話を進めましょう。

まずは、**新型コロナウイルス感染症**とはどんな病気でしょうか？ 我々の体に感染するものには細菌とウイルスがあります。細菌は顕微鏡で見えますが、ウイルスは電子顕微鏡でしか見えないくらい小さなものです。ペスト菌は細菌ですが、スペイン風邪と新型コロナは共にウイルスです。通常、インフルエンザでは感染するとすぐに症状が現れ、抗体ができ始め、1～2週間で治癒します。ところが新型コロナは感染してもすぐには症状も抗体もできません。感染後10日目頃から症状と抗体ができ始めます。要するに感染に気付かないのです。**初期症状が長く、軽微な症状からいきなり重症化することがあるのです。死を免れても全経過に一月を要するのです。**

⑪ここで新型コロナウイルス感染症の最近の知見を説明します。

何故、いつものインフルエンザと比較して困難な病気かが見えています。新型コロナウイルス感染症はウイルスに感染してから7日経過して初めて症状が出現します。驚くことにPCR検査では発症1日前日(感染6日目)でも33%の陽性率。発症初日(感染7日目)でもPCR陽性率62%、発症3日目(感染10日目)で初めて80%です。ということは「**感染者でありながら、無症状でPCR陰性の人が感染を広げている人がいる。**」こととなります。政府はこの事実を国民に知らせると国民がパニックに陥ると心配したのです。だから、**マスク着用とソーシャルディスタンス**を強く求めたのです。これを無視したアメリカでは感染者が急増し、6月末現在、減少傾向さえ見えません。当初考えられていた「**感染力が強いのは0.7日前**」というのは間違いである事がわかったのです。

⑫更に、ウイルスにはDNAウイルスとRNAウイルスの2種類あります。

新型コロナのウイルス(COVID-19)はRNAウイルスです。DNAウイルスに比べて、RNAウイルスは1本鎖からなる構造であり、不安定であることから、**変異スピードが速く、毒性が変化しやすい特徴**があります。

⑬驚く事実はまだあります。変異スピードは驚くほど速いのです。2019年12月上旬頃発生した新型コロナウイルス(COVID-19)は急速に変異を開始し、3月の時点で60種類へ、6月には数百種類の新型コロナウイルス(COVID-19)が生まれていることとなります。大きくアジア型群、ヨーロッパ型群、アメリカ型群と分けられますが、更に変異するでしょう。すなわち、**たくさんの種類の新型コロナウイルス(COVID-19)があり、症状も毒性も感染力も抗体生成も異なるものである**ということですから。臨床医学的には困難な感染症であることに間違いありません。

⑭今急がれるのは抗ウイルス剤、ワクチンの開発です。スペイン風邪の先例にならば、**必ず第2波がやって来る**ということなのです。

国民が考えなければならないのは「**新型コロナウイルス感染症への対策**」と「**経済活動**」の事でしょう。後者に重点を置けば感染症が拡がり、国民の死者が増加し、前者に重点を置けば国民の生活ができなくなるという矛盾に立たされているのです。ロータリーは座して待ちません。早速、第2740地区の医療施設・福祉施設にフェースシールド寄贈を行いました。2300人一人一人のロータリアンの心が配られたことと思います。

⑮大量の死者に対応し、医師として絶望の淵に追いやられたイタリアのベネディクト医師は「**われわれの生き方が変わったのだという事を頭に刻み込まねばならない。**」とTIME誌で述べています。社会は激変しま

⑮世界の在り方変化

戦争・天災
パンデミック
↓
経済崩壊
↓
パラダイムシフト
既存の方法論
全く通用しない！
↓
生き残りの仕方？

社会は激変
リーダーは
即断・即決



パラダイムシフト
TIME 4月28日号

す。リーダーは変化にどのように対応すべきか判断と行動が求められます。

⑯



"He profits most who serves best"
最もよく奉仕する者、最も報われる

Service = "利己と利他の調和"

アーサー・F・シェルドン
1921年(入会)～1930年(退会)

⑯ではロータリアンはパンデミック後をどう生きるべきか？ に話を戻しましょう。経済崩壊にどう立ち向かうか？ です。ロータリーには哲学があります。

社会のリーダーとして持つべき哲学です。100年前にシェルドンが残した「He profits most who serves best」(最もよく奉仕する者、最も報われる。)という言葉です。利己と利他の調和を訴えました。100年前のロータリアンはこれを実践することでパンデミック後の経済恐慌を乗り切ったのです。

⑰



POST—新自由主義
「愛他主義」
「利他」が人類を救う
あなたの周囲に人々。次世代の人々に尽くせ！

BOOK「2030年ジャック・アタリのおもてなし
中絶する世界の中心をハイパードライブ」

ジャック・アタリ (仏: Jacques Attali, 1943年11月1日 -)
フランスの経済学者、思想家、作家、政治顧問。旧フランス領アルジェリアの首都アルジェ出身のユダヤ系フランス人。

⑰100年後の現在、この言葉と同じことを語る経済学者がいます。フランスが誇る思想家でフランス政府の政治顧問、ジャック・アタリです。今の世界は第2次世界大戦後の新自由主義に基づく経済理論で弱肉強食の経済を展開してきた。そのためにリーマン・ショックを起こし、多くの貧富格差を生んだ。ポスト自由主義経済理論は「愛他主義」であり、「利他」が人類を救うと述べている。「あなたの周囲にいる人、次世代の人々に尽くしなさい。」を実践することが自分を救うのです。ロータリー哲学そのものです。

⑱



1947年
BOOK「ペスト」

アルベール・カミュ

世界には伝染病、死、災禍、殺人、テロ、戦争、全体主義など、人間を襲う不条理な暴力が存在する。
(人生に希望を見いだせない絶望的な限界状況)

⑱今回のコロナ騒ぎの中、1947年アルベール・カミュが書いた「ペスト」を読み、教えられたことがあります。それは人類には常に不条理が存在する。「不条理とは人生に希望を見いだせない絶望的な限界状態」を言うが、それが人生では伝染病、死、災禍、殺人、テロ、戦争が起き、突然降りかかる。そんな時、人はどう生きるか？ どうすればよいか？ をカミュはペストの中で教えてくれました。

人は不条理な世界でも現実を受け止め、自分の信念に基づき、自分にできる事を懸命にやりきる事に尽きることだと述べています。

⑲



「ペストは決して死ぬことも消滅する事もない。
どこか幸福な都市に、
人間に不幸と教訓をもたらすために
人間を死なせに差し向ける日が来る事を
心棒強く待ち続けるであろう。」 (カミュ)

ロータリーは
世界をつなぐ

⑲最後に皆さんの記憶に残してほしい「ペスト」の一節を紹介します。

「ペストは決して死ぬことも消滅する事もない。
どこか幸福な都市に、
人間に不幸と教訓をもたらすために
人間を死なせに差し向ける日が来る事を
心棒強く待ち続けるであろう。」 (カミュ)

今回の新型コロナウイルス感染症は幸福に浮かれ、過ごしていた我々に突然、不条理を突きつけたのです。改めてコロナが人の生き方に警鐘を鳴らしてくれたのです。歴史は繰り返されただけなのです。

地区幹事退任挨拶

2019～2020年度地区幹事 大石 竜 基 (諫早北RC)



2014～2015年度の宮崎ガバナー時、当時の森地区幹事の下でガバナー事務所の事務局長をさせていただきました。まさか、5年後にまた我がクラブでガバナーを輩出するのは夢にも思わず、ましてや地区出向歴もない、わたくしごときが地区幹事をするとは微塵にも思っておりませんでした。千葉ガバナーから声を掛けていただいた時は、不安よりも千葉ガバナーの力になりたいという気持ちと、過去に2人のガバナーを輩出したクラブとしての責任感みたいなものを併せて感じ、お引き受けすることにいたしました。

予定者段階で、当時の福田ガバナーの協力を得、クラブアンケートの理解と協力を求めるため各グループを訪問いたしました。千葉ガバナーが掲げる「各クラブが主役」、それには分析が必要と中期戦略の中にも組み込まれた大切な事業でした。ご協力をいただいたメンバーの皆様に深く感謝いたします。

振り返ると、昨夏の激甚災害にも指定された佐賀の豪雨災害に始まり、下期全般にわたり現在にも影響を及ぼしている新型コロナに対しての支援活動で、期間中は東奔西走した思い出があります。あらためて、被害にあわれた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

エレクト時代を含め2年間の間にたくさんの出会いと交流をいただきました。私の財産となり得るものです。

力足らずの地区幹事でしたが皆様のご協力・ご支援に深く感謝申し上げます。

「ありがとうございました。」

フェースシールド寄贈報告

地区幹事 大石 竜 基 (諫早北RC)

去る6月2日佐賀県歯科医師会、6月10日長崎県歯科医師会、6月11日佐賀県社会福祉協議会内6団体にフェースシールドの寄贈を行いました。

全国的に感染者が増加しており、医療従事者の方々の感染防護は必要不可欠です。コロナウイルス感染予防対策として寄贈したことをご報告いたします。



佐賀県歯科医師会



長崎県歯科医師会

すべてのロータリアンへのご挨拶！

国際青少年交換委員長 アーリー・ジェフリー スチュワート (諫早多良見RC)

まず、2019-2020年度の国際ロータリー青少年交換プログラムのサポートにご協力いただいたすべての方々にお礼を申し上げます。この月刊誌のスペース全体を占めてしまうため、皆様全員を1人1人列挙することは不可能です。ですから、主要なグループに焦点を当てて感謝の気持ちを伝えたいと思います。ガバナー千葉、ガバナーチーム全体、そして諫早北ロータリークラブに感謝します。COVID-19コロナウイルスの世界的な大流行に対処するために、皆様が、数え切れないほどの超過勤務を行わなければいけなかったことにお礼を申し上げます。私はまた、地区2740国際青少年交換委員会のメンバーが提供してくれたすべての支援にも感謝します。状況を伝達し、調整するための多くの眠れない夜を過ごしました。RIJYEMチーム全体と34の地区青少年交換プログラム委員長全員に特に感謝します。ある地区が問題を抱えていたとき、他の地区が介入して助けてくれました。YEO TALKは、私たち全員がすべての学生を安全に帰宅させるのに役立つコミュニケーションライフラインでした。もう1つの重要な要素は、世界中のすべての交換地区とのオープンで頻繁なコミュニケーションでした。タイムゾーンはもはや関係ありませんでした。何時でもかまいませんでした。私たちは、重要な情報が利用できるようになると連絡しました。最後に、青少年交換学生とその家族に、私たちがあなた方の息子と娘を助けようとしたとき、私たちが理解し、私たちを支え、私たちに辛抱してくれたことに感謝します。

2019-2020年度の青少年交換年は非常にうまく始まりました。8月末までに、オーストラリア、アメリカ、カナダからの6人のインバウンド学生と、台湾からの初めての新しい学生がいました。同時に、4人の日本人青年交換学生がオーストラリアとアメリカに向けて出発しました。

通常、1年にわたる交換プログラムの最初の6カ月が最も困難です。最大の課題は通常、最初に言語であり、次に新しい文化に適応することです。今年は、3人の生徒が調整に格別苦勞しました。ホスト地区とスポンサー地区の両方の支援を受けた3人の学生のうちの2人は、これらの課題を克服することができました。

残念ながら、ホスト地区とスポンサー地区の両方、ホストクラブとスポンサークラブ、学生自身の家族とホストファミリーからの繰り返しの支援とカウンセリングその他の介入にもかかわらず、1人の学生はこれらの課題を克服することができませんでした。したがって、2019年9月と2020年2月の両方に「イエローカード」を受け取った後、学生は3月に、青少年交換プログラムの基準と義務を果たせなかったとして「レッドカード」を受け取りました。その生徒は結果として早く帰国しなければなりませんでした。

私たちが使っている「イエローカード」「レッドカード」のシステムについて少し説明します。私たちは、サッカーと同様の「イエローカード」と「レッドカード」のシステムを採用しています。「イエローカード」を受け取った場合、それは、その人が同じ行動を続けると、その人は「レッドカード」を受け取り、サッカーの試合を止めなければならないという警告を意味します。ロータリーの場合、学生が「レ



ドカード」を受け取った場合、交換は終了します。学生はできるだけ早く都合のよいときに自国に無事に帰国しなければなりません。

残念ながら、私たちが近年見ている主な問題の1つは、通信や娯楽のための電子機器の大量使用です。そのため、インバウンドとアウトバウンドの両方の学生を対象とする今後のトレーニングの一部には、コミュニケーションとエンターテインメントのための電子デバイスへの学生の依存度を減らす方法が含まれます。交換の成功は、生徒が直接人とコミュニケーションを取り、対話することにかかっています。

最後に、年度が終了したので、非常に前向きな見方で終え、来年に大きな期待を寄せました。まず、6月28日(日)に最後の年度末オリエンテーションを行いました。帰国した4人の生徒のうち3人が帰国のスピーチを行いました。私たちは皆、彼らが示した成熟度のレベルに非常に感銘を受けました。彼らの英語を話す能力も素晴らしかったです。また、残りの1人のインバウンド学生が別れのスピーチを行いました。特別ゲストとして、コロナウイルスの世界的大流行のために早く帰国しなければならなかったすべてのインバウンド学生が、ズーム会議を介してオリエンテーションパーティーに参加しました。パーティーに参加してくれた皆にとってとても幸せな再会でした！

次に、オリエンテーショントレーニングプログラムに参加している7人の生徒全員がトレーニングプログラムを継続したいと考えています。世界中で、ほぼすべての交換が2021～2022年度まで延期されています。したがって、学生達と樋口征司2020-2021年度国際青少年交換委員会委員長が2020-2021ロータリー年度を成功の年度とできるよう、私たちに支援してください。



イベント参加者全員の集合写真



特別ゲスト！ すべての外国の若者はZOOMミーティングを通じてオリエンテーションを交換しました。送別会のミワ クレアは驚きでした。



美和の反応！ 彼女は、仲間の青年交換学生が会議に参加するつもりだったことを知りませんでした。喜びの涙がたくさん！



社会的距離とマスクを着用！
ランチはおいしかった！



3人の学生のスピーチはすべて素晴らしかったです。そして美和の送別演説は素晴らしかった。これらの4人の学生全員が、優れたロータリー国際青少年交換学生青年大使です。私たちは皆、彼らの勤勉さと彼らがどれだけ学んだかということに感銘を受けました。これら4人の青年交換学生は、将来の青少年交換学生のための素晴らしいロールモデルです！



2020-21 グローバル補助金奨学生選考会報告

財団奨学・学友小委員会委員長 森本大輔 (大村RC)

前年度にセレクトされた奨学生の送り出しが終わると、次は、いよいよ新年度の新しい奨学生の選考が始まります。

まず、年が明ける頃までに、随時送られてくる奨学生の応募書類に目を通し、1月いっぱいをめどに、一次審査となる書類選考を行います。その書類選考に通過した応募者に対して、次に、委員会で面談を行った後、3月中旬頃をめどに2次審査となる面接及びプレゼンテーションによる試験を行います。そして、そこで選抜された応募者が晴れて、新年度の「国際ロータリー第2740地区グローバル補助金奨学生候補者」となり、留学前までに、アメリカのイリノイ州にある財団本部への申請（最終審査・3次審査）とロータリーの魂を学ぶべく当地区での教育に臨んでもらうことになります。

しかし、ご多分に漏れず、今年はここでもコロナ。選抜にかかわるこうした活動が本格化する時期に合わせて、新型コロナウイルスの活動が日本でも活発化。予定していたグローバル補助金奨学生の2次審査となる面接選考会は、「この騒ぎも、もうしばらくしたら落ち着くかもしれない……」「On-lineで実施するなんてありえない。面接選考会は直接集まっていたいで開催したい。」など私の浅はかな考えで、延期に次ぐ延期。最終的には、財団本部への申請の期限に追われるような形で4月に入ってバタバタと開催することとなってしまいました。しかも、通常、地区役員をはじめ地区財団委員会関係者他、総勢20名を超えるメンバーに出席していただいていたところが、今年度は異例中の異例。花島光喜ガバナーエレクト、岡村康司財団委員長、喜多清基財団奨学・学友小委員会委員と私の4名に応募者を加えた計5名での実施となってしまいました。関係各位には後に承認をいただくという、これまた異例の形となってしまいました。

しかし、こうして選抜された候補者ですが、今年度も大変優秀で魅力的な人材をセレクトしていただいたと考えています。

2020-21国際ロータリー2740地区グローバル補助金奨学生候補（財団本部の承認が下りるまであくまで候補者となり、この原稿を書いている今も承認がまだ下りていません。）賀来敬仁（かくのりひと）君。いみじくも呼吸器が専門の医師（現長崎大学病院勤務）。肺炎の研究をさらに深めるべく、いまだコロナが猛威を振っているアメリカのミシガン大学へこの8月に留学予定。

毎年、候補者には留学までにいくつかのクラブを訪問して卓話をしてもらうこともルーチンにしていますが、今年はかないそうもありません。2年後、改めて、そして直接ご紹介する日が来ると思います。どうぞそれまで楽しみにお待ちしております。

以上、今年度の奨学生選考会のご報告に代えて。

2020年4月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第1グループ	佐賀	1	58.5	74	5	73	5	1	0	1	-1	
	小城	2	61.5	30	2	27	3	0	1	-1	-3	
	牛津	1	82.8	30	0	33	1	0	0	0	3	
	多久	0	0.0	38	5	38	4	0	0	0	0	
	佐賀大和	1	70.0	26	6	25	5	0	0	0	-1	
	小計		54.6	198	18	196	18	1	1	0	-2	
第2グループ	佐賀西	1	61.1	38	2	43	3	0	0	0	5	
	佐賀北	1	100.0	45	1	45	2	1	0	1	0	
	佐賀南	0	0.0	38	4	39	4	0	0	0	1	
	神埼	0	0.0	37	4	38	4	0	0	0	1	
	佐賀空港	1	78.0	18	1	18	1	0	0	0	0	
	小計		47.8	176	12	183	14	1	0	1	7	
第3グループ	有田	1	54.5	28	0	33	2	2	0	2	5	
	武雄	0	0.0	56	5	51	5	0	0	0	-5	
	鹿島	0	0.0	34	4	31	4	0	0	0	-3	
	嬉野	4	78.6	26	2	25	1	0	0	0	-1	
	大町	1	78.6	11	0	14	0	0	0	0	3	
	太良	1	100.0	10	0	10	0	0	0	0	0	
	小計		44.5	165	11	164	12	2	0	2	-1	
第4グループ	唐津	0	0.0	61	0	61	0	0	0	0	0	
	伊万里	0	0.0	29	0	29	0	0	0	0	0	
	唐津東	1	100.0	50	0	49	0	1	0	1	-1	
	唐津西	1	81.8	34	0	37	0	0	0	0	3	
	伊万里西	0	0.0	41	0	40	0	0	0	0	-1	
	唐津中央	0	0.0	37	3	36	4	0	0	0	-1	
	小計		30.3	252	3	252	4	1	0	1	0	
第5グループ	佐世保	1	100.0	78	0	78	0	0	0	0	0	
	平戸	0	0.0	29	2	27	2	0	0	0	-2	
	北松浦	0	0.0	25	0	26	0	0	0	0	1	
	佐世保西	0	0.0	24	4	22	3	0	0	0	-2	
	松浦	2	82.1	26	1	28	1	2	2	0	2	
	小計		36.4	182	7	181	6	2	2	0	-1	
第6グループ	佐世保南	0	0.0	62	0	61	0	0	0	0	-1	
	佐世保東	0	0.0	23	0	25	0	0	0	0	2	
	佐世保北	0	0.0	40	2	44	2	0	1	-1	4	
	佐世保中央	1	100.0	46	1	49	1	0	0	0	3	
	佐世保東南	1	61.3	39	0	41	0	0	0	0	2	
	HTB佐世保	0	0.0	23	2	22	2	0	0	0	-1	
	小計		26.9	233	5	242	5	0	1	-1	9	
	第7グループ	大村	0	0.0	48	4	47	4	0	0	0	-1
		島原	0	0.0	30	2	30	2	0	1	-1	0
		雲仙	3	83.3	14	0	12	0	0	0	0	-2
大村北		0	0.0	24	1	24	1	0	1	-1	0	
島原南		0	0.0	25	0	19	1	0	5	-5	-6	
大村東		0	0.0	37	3	38	4	0	0	0	1	
小計			13.9	178	10	170	12	0	7	-7	-8	
第8グループ	諫早	1	63.2	72	0	76	0	1	0	1	4	
	諫早北	1	76.1	74	4	74	3	1	0	1	0	
	諫早西	1	93.3	45	0	47	0	2	0	2	2	
	諫早多良見	0	0.0	32	0	34	0	0	0	0	2	
	諫早南	0	0.0	14	8	15	9	0	0	0	1	
	小計		46.5	237	12	246	12	4	0	4	9	
第9グループ	長崎	1	76.6	74	0	72	0	1	0	1	-2	
	福江	1	62.5	33	0	32	0	0	0	0	-1	
	長崎北東	1	78.4	41	3	39	1	0	0	0	-2	
	福江中央	0	0.0	21	0	18	0	0	1	-1	-3	
	長崎西	1	79.0	43	1	42	1	1	1	0	-1	
	長崎琴海	2	50.0	11	0	11	0	0	0	0	0	
	小計		57.7	223	4	214	2	2	2	0	-9	
第10グループ	長崎北	0	0.0	80	0	71	0	0	0	0	-9	
	長崎南	1	58.8	72	0	75	0	3	0	3	3	
	長崎東	0	0.0	40	2	46	2	0	0	0	6	
	長崎みなと	0	0.0	30	1	30	1	0	0	0	0	
	長崎中央	1	87.8	55	0	51	0	2	1	1	-4	
	長崎出島	0	0.0	71	12	71	12	0	0	0	0	
	小計		24.4	348	15	344	15	5	1	4	-4	
	56クラブ合計		38.3	2,192	97	2,192	100	18	14	4	0	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2020年4月末までの増減です。

*COVID-19感染防止のため例会休会有り。



2020年5月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	0	0.0	74	5	72	5	0	1	-1	-2
	小城	2	64.0	30	2	26	3	1	2	-1	-4
	牛津	0	0.0	30	0	33	1	0	0	0	3
	多久	0	0.0	38	5	38	4	0	0	0	0
	佐賀大和	0	0.0	26	6	25	5	0	0	0	-1
	小計		12.8	198	18	194	18	1	3	-2	-4
第2グループ	佐賀西	1	76.9	38	2	43	3	0	0	0	5
	佐賀北	0	0.0	45	1	44	2	0	1	-1	-1
	佐賀南	2	78.1	38	4	39	4	0	0	0	1
	神埼	0	0.0	37	4	38	4	0	0	0	1
	佐賀空港	0	0.0	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		31.0	176	12	182	14	0	1	-1	6
第3グループ	有田	0	0.0	28	0	33	2	0	0	0	5
	武雄	0	0.0	56	5	51	5	0	0	0	-5
	鹿島	0	0.0	34	4	31	4	0	0	0	-3
	嬉野	0	0.0	26	2	25	1	0	0	0	-1
	大町	0	0.0	11	0	14	0	0	0	0	3
	小計		16.7	165	11	164	12	0	0	0	-1
第4グループ	唐津	0	0.0	61	0	61	0	0	0	0	0
	伊万里	0	0.0	29	0	29	0	0	0	0	0
	唐津東	0	0.0	50	0	49	0	0	0	0	-1
	唐津西	0	0.0	34	0	37	0	0	0	0	3
	伊万里西	0	0.0	41	0	40	0	0	0	0	-1
	小計		0.0	252	3	252	4	0	0	0	0
第5グループ	佐世保	0	0.0	78	0	78	0	0	0	0	0
	平戸	1	89.0	29	2	26	2	0	1	-1	-3
	北松浦	0	0.0	25	0	26	0	0	0	0	1
	佐世保西	0	0.0	24	4	22	3	0	0	0	-2
	松浦	1	92.9	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		36.4	182	7	180	6	0	1	-1	-2
第6グループ	佐世保南	0	0.0	62	0	63	0	2	0	2	1
	佐世保東	0	0.0	23	0	25	0	0	0	0	2
	佐世保北	0	0.0	40	2	44	2	0	0	0	4
	佐世保中央	0	0.0	46	1	49	1	0	0	0	3
	佐世保東南	0	0.0	39	0	41	0	0	0	0	2
	小計		0.0	233	5	244	5	2	0	2	11
第7グループ	大村	0	0.0	48	4	47	4	0	0	0	-1
	島原	0	0.0	30	2	30	2	0	0	0	0
	雲仙	0	0.0	14	0	12	0	0	0	0	-2
	大村北	0	0.0	24	1	24	1	0	0	0	0
	島原南	0	0.0	25	0	19	1	0	0	0	-6
	小計		0.0	178	10	170	12	0	0	0	-8
第8グループ	諫早	0	0.0	72	0	75	0	0	1	-1	3
	諫早北	0	0.0	74	4	73	3	0	1	-1	-1
	諫早西	0	0.0	45	0	46	0	0	1	-1	1
	諫早多良見	0	0.0	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	0	0.0	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		0.0	237	12	243	12	0	3	-3	6
第9グループ	長崎	3	78.2	74	0	72	0	0	0	0	-2
	福江	0	0.0	33	0	32	0	0	0	0	-1
	長崎北東	2	80.1	41	3	39	1	0	0	0	-2
	福江中央	0	0.0	21	0	17	0	0	1	-1	-4
	長崎西	0	0.0	43	1	42	1	0	0	0	-1
	小計		34.4	223	4	213	2	0	1	-1	-10
第10グループ	長崎北	1	98.4	80	0	74	0	3	0	3	-6
	長崎南	1	100.0	72	0	75	0	0	0	0	3
	長崎東	0	0.0	40	2	46	2	0	0	0	6
	長崎みなと	0	0.0	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	0	0.0	55	0	50	0	0	1	-1	-5
	小計		33.1	348	15	346	15	3	1	2	-2
56クラブ合計			16.4	2,192	97	2,188	100	6	10	-4	-4

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2020年5月末までの増減です。
 *COVID-19感染防止のため例会休会有り。

2020年6月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	74.0	74	5	74	5	3	1	2	0
	小城	4	75.0	30	2	27	3	0	0	0	-3
	牛津	4	91.3	30	0	33	1	0	0	0	3
	多久	3	82.9	38	5	37	4	0	1	-1	-1
	佐賀大和	4	87.6	26	6	25	5	0	0	0	-1
	小計		82.2	198	18	196	18	3	2	1	-2
第2グループ	佐賀西	4	76.9	38	2	41	3	0	2	-2	3
	佐賀北	4	70.2	45	1	43	2	0	1	-1	-2
	佐賀南	4	77.2	38	4	38	3	0	1	-1	0
	神埼	4	100.0	37	4	36	3	2	4	-2	-1
	佐賀空港	4	83.3	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		81.5	176	12	176	12	2	8	-6	0
第3グループ	有田	4	77.3	28	0	32	2	0	1	-1	4
	武雄	5	92.6	56	5	49	4	0	2	-2	-7
	鹿島	1	100.0	34	4	31	4	1	1	0	-3
	嬉野	0	0.0	26	2	24	1	0	1	-1	-2
	大町	2	78.6	11	0	14	0	0	0	0	3
	太良	3	100.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		74.8	165	11	160	11	1	5	-4	-5
第4グループ	唐津	5	92.9	61	0	61	0	1	1	0	0
	伊万里	4	89.4	29	0	28	0	0	1	-1	-1
	唐津東	4	86.8	50	0	50	0	2	1	1	0
	唐津西	4	91.1	34	0	35	0	0	2	-2	1
	伊万里西	4	97.2	41	0	37	0	0	3	-3	-4
	唐津中央	4	100.0	37	3	36	4	0	0	0	-1
	小計		92.9	252	3	247	4	3	8	-5	-5
第5グループ	佐世保	1	100.0	78	0	73	0	0	5	-5	-5
	平戸	4	83.3	29	2	26	2	0	0	0	-3
	北松浦	4	87.6	25	0	24	0	0	2	-2	-1
	佐世保西	5	70.0	24	4	19	3	0	3	-3	-5
	松浦	4	92.9	26	1	25	1	0	3	-3	-1
	小計		86.8	182	7	167	6	0	13	-13	-15
第6グループ	佐世保南	1	100.0	62	0	58	0	0	5	-5	-4
	佐世保東	1	80.0	23	0	25	0	0	0	0	2
	佐世保北	1	100.0	40	2	39	2	0	5	-5	-1
	佐世保中央	4	100.0	46	1	47	1	0	2	-2	1
	佐世保東南	3	70.0	39	0	37	0	0	4	-4	-2
	HTB佐世保	0	0.0	23	2	21	2	0	1	-1	-2
	小計		75.0	233	5	227	5	0	17	-17	-6
第7グループ	大村	4	89.5	48	4	46	4	0	1	-1	-2
	島原	1	76.6	30	2	26	2	0	4	-4	-4
	雲仙	0	0.0	14	0	11	0	0	1	-1	-3
	大村北	2	89.6	24	1	24	1	0	0	0	0
	島原南	4	75.0	25	0	18	1	0	1	-1	-7
	大村東	1	94.7	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		70.9	178	10	163	12	0	7	-7	-15
第8グループ	諫早	4	84.8	72	0	73	0	0	2	-2	1
	諫早北	4	78.3	74	4	72	3	0	1	-1	-2
	諫早西	4	100.0	45	0	45	0	0	1	-1	0
	諫早多良見	4	100.0	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	2	80.0	14	8	14	9	0	1	-1	0
	小計		88.6	237	12	238	12	0	5	-5	1
	第9グループ	長崎	3	85.7	74	0	67	0	2	7	-5
福江		4	84.0	33	0	33	0	1	0	1	0
長崎北東		4	84.2	41	3	38	1	0	1	-1	-3
福江中央		4	90.1	21	0	17	0	0	0	0	-4
長崎西		4	75.2	43	1	40	1	1	3	-2	-3
長崎琴海		4	66.7	11	0	10	0	0	1	-1	-1
小計			81.0	223	4	205	2	4	12	-8	-18
第10グループ	長崎北	5	83.6	80	0	73	0	0	1	-1	-7
	長崎南	4	72.9	72	0	70	0	0	5	-5	-2
	長崎東	4	83.7	40	2	39	2	0	7	-7	-1
	長崎みなと	4	90.2	30	1	31	1	1	0	1	1
	長崎中央	4	94.0	55	0	48	0	1	3	-2	-7
	長崎出島	3	79.8	71	12	70	11	0	1	-1	-1
	小計		84.0	348	15	331	14	2	17	-15	-17
56クラブ合計			81.8	2,192	97	2,110	96	15	94	-79	-82

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2020年6月末までの増減です。

*COVID-19感染防止のため例会休会有り。



新入会員紹介

4月

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀RC
山田 聡 君
(株)JTB佐賀支店
支店長



佐賀北RC
原口 忠浩 君
(株)九電工佐賀営業所
所長



有田RC
前川 弘子 君
SeaGull
代表



唐津東RC
井上 史 君
Photo Studio Inoue(株)
代表取締役社長



松浦RC
早川 宏 君
電源開発(株)松浦発電所
所長



松浦RC
川久保俊一 君
(株)九電工松浦営業所
所長



諫早RC
石部 邦昭 君
長崎ウエスレヤン大学
大学改革推進本部長



諫早北RC
片山 量海 君
宗教法人 明教寺
代表社員



諫早西RC
浦江 芳征 君
(株)大山
取締役



諫早西RC
長田 篤史 君
(有)長田製茶
代表取締役



長崎RC
岐部 孝典 君
(株)九電工長崎支店
支店長



長崎西RC
須齋 正幸 君
(株)出島リサーチ&コンサルツ
代表取締役社長



長崎南RC
貞松 憲 君
(株)不動産ラブ
代表取締役



長崎南RC
川脇 務 君
(株)二見
専務



長崎南RC
松尾 博之 君
シンセイテクノス(株)
取締役



長崎中央RC
瀬戸口裕正 君
(有)おしぼりながさき
代表取締役社長



長崎中央RC
青野 悠 君
青野・平山法律事務所
所長

5月



小城 RC
橋村 正之 君
(有)小城新生興業社
専務取締役



佐世保南 RC
原岡 謙行 君
(有)近代印刷
代表取締役



佐世保南 RC
鶴 大地 君
ティーズ・アート(株)
取締役営業部長



長崎北 RC
渡邊 隆 君
(有)渡邊商店
代表取締役



長崎北 RC
谷村 正夫 君
細野管工設備(株)
代表取締役社長



長崎北 RC
中山 大輔 君
(有)ダイイチ機設工業
代表取締役

6月



佐賀 RC
高岡 俊之 君
日本生命保険相互会社佐賀支社
支社長



佐賀 RC
萩原 毅 君
大和ハウス工業(株)佐賀支店
支店長



佐賀 RC
辻 大地 君
大和証券(株)佐賀支店
支店長



神埼 RC
末吉 裕明 君
佐賀エレクトロニクス(株)
取締役



神埼 RC
森田 浩文 君
(株)吉野ヶ里あいちゃん農園
取締役社長



鹿島 RC
宮崎 克明 君
佐賀銀行鹿島支店
支店長



唐津 RC
中島 大助 君
なかじま良建築
代表



唐津東 RC
辻村 圭介 君
佐賀新聞(株)唐津支社
支社長



唐津東 RC
松尾 裕 君
松尾建設(株)唐津営業所
営業所長



長崎 RC
渡邊 憲一 君
(株)電通九州長崎支社
支社長



長崎 RC
牟田 洋治 君
(株)ドコモCS九州長崎支店
支店長



福江RC

寺澤 信義 君

第一生命保険株式会社長崎支店福江営業オフィス
オフィス長



長崎西RC

志賀 博光 君

株式会社竹中工務店長崎営業所
所長



長崎みなとRC

川上 欣朗 君

株式会社ホンダ四輪販売長崎
企業販売課マネージャー



長崎中央RC

福井 直幹 君

キリンビール株式会社九州支社長崎支店
支店長



物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

4月



福江中央RC

中尾 盡一 君

(享年83歳)



福江中央RC

神之浦 潔 君

(享年59歳)



長崎西RC

深堀 俊一 君

(享年69歳)

5月



佐世保RC

山縣 義道 君

(享年83歳)

6月



長崎南RC

藤岡 士郎 君

(享年90歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団				米山記念奨学会				
	種 類	氏 名	クラブ名		種 類	氏 名	クラブ名	
4 月	マルチプル・ ポール・ハリス・ フェロー	山下 雄 司	佐 賀	4 月	米山功労者 メジャードナー	朝 永 春 郎	松 浦	
		田 島 広 一	佐 賀			小 川 春 彌	長 崎 南	
		北 川 弘 樹	佐 賀			岩 永 信 昭	長 崎 北 東	
		西 村 明 美	神 埼		米山功労者 マルチプル	牟 田 清 敬	佐 賀	
		八 江 正 光	諫 早			小 松 敏 正	佐 賀	
		7-リ-ジ-ア-スチ-ア-ト	諫早多良見			八 江 正 光	諫 早	
	益 田 裕 司	佐 賀	中 島 恒 幸			諫早多良見		
	ポール・ハリス・ フェロー	榎 屋 可 恵	平 戸		高 久 和 也	長 崎 南		
		合 瀬 一 男	神 埼		福 岡 桂	佐 賀		
	5 月	マルチプル・ ポール・ハリス・ フェロー	大 坪 稔		鹿 島	5 月	米山功労者	若 杉 能 将
住 江 潤 子			鹿 島	時 里 重 利	伊 万 里 西			
山 崎 光 英			伊 万 里 西	武 部 勝 海	松 浦			
堤 茂 樹			伊 万 里 西	小 松 由 美 子	松 浦			
山 本 規 仁			松 浦	酒 井 明 仁	諫 早			
千 葉 ま さ こ			諫 早 南	村 田 好 隆	諫 早			
ポール・ハリス・ フェロー		辻 田 耕 一 郎	鹿 島	米山功労者	吉 次 良 治		諫 早 西	
		鶴 田 憲 治	唐 津 東		千 葉 ま さ こ		諫 早 南	
		岸 川 恒 春	伊 万 里 西		小 木 学		伊 万 里 西	
		本 吉 直 之	松 浦		道 添 昭 仁		HTB佐世保	
		大 内 理 史	松 浦		杉 山 和 宏		HTB佐世保	
		井 手 陽 一	佐世保中央		立 川 豊 三 郎		諫 早	
		片 桐 康 利	佐世保中央		米山功労者メジャードナー		宮 崎 清 彰	諫 早 北
		田 添 直 記	佐世保中央		米山功労者 マルチプル		山 口 誠 二	佐 賀 北
		古 市 寛	HTB佐世保				福 山 和 彦	神 埼
		井 手 大 二	諫 早				福 地 善 孝	神 埼
		稲 永 卓 司	諫 早				峯 輝 正	伊 万 里
		6 月	メジャードナー				石 坂 和 彦	大 村
福 元 裕 二	佐 賀 北			進 藤 和 彦		長 崎		
福 山 和 彦	神 埼		三 宅 敏 彦	長 崎 西				
伊 藤 正 春	佐 世 保 東		三 浦 達 美	長 崎 東				
西 川 義 文	大 村		米山功労者	梶 原 光 廣		島 原 南		
根 来 博 文	諫 早			寺 坂 基 幸	長 崎 西			
栗 林 宏 光	諫 早			小 宮 裕 之	長 崎 中 央			
マルチプル・ ポール・ハリス・ フェロー	田 島 幸 一		諫 早 北	6 月	米山功労者	津 田 宏 二 郎	諫 早 北	
	本 田 清 秀		諫 早 北			栗 原 賢 司	牛 津	
	辻 本 善 樹		諫 早 西			古 川 清 文	佐 賀 北	
	栗 原 賢 司	牛 津	東 村 久 儀			諫 早 北		
	古 川 清 文	佐 賀 北	吉 田 良 尚			長 崎 西		
	根 来 博 文	諫 早	藤 村 昌 憲			長 崎 北		
	栗 林 宏 光	諫 早						
	田 島 幸 一	諫 早 北						



地区資料 (2019-2020年度)

目次

主な活動実績	20
2019-2020年度 会員数推移	21
2019-2020年度 出席率推移	22
ロータリー財団クラブ別寄付額	23
米山記念奨学会寄付金明細表	24
ロータリー財団寄付者	25
米山記念奨学会寄付者	27
米山記念奨学生・世話クラブ	29
国際青少年交換学生	30
ロータリー財団補助金奨学生	31
インターアクトクラブ一覧	32
ローターアクトクラブ一覧	32
年間行事報告	33
2019-2020年度 物故会員	37
2019-2020年度 地区会計報告	38

《主な活動実績》

I 2019-20年度会員数報告（2020年6月30日現在による）

■会員数報告

地区内会員数 2,110名 2019年7月1日現在比 82名減
 (内、女性会員 96名 2019年7月1日現在比 1名減)

II 第2740地区 各種表彰 受賞クラブ紹介

■ロータリー賞受賞クラブ

佐世保北ロータリークラブ
 佐世保東ロータリークラブ
 大村ロータリークラブ
 雲仙ロータリークラブ
 諫早西ロータリークラブ
 長崎みなとロータリークラブ

■ロータリー財団

100%ロータリー財団寄付クラブ 武雄ロータリークラブ
 ハウステンボス佐世保ロータリークラブ
 長崎南ロータリークラブ
 長崎出島ロータリークラブ

■ロータリー米山記念奨学会

達成クラブ	小城ロータリークラブ	1千万円
	佐賀南ロータリークラブ	1千万円
	神埼ロータリークラブ	1千万円
	大村北ロータリークラブ	1千万円
	長崎北ロータリークラブ	4千万円

クラブ創立記念特別寄付	雲仙ロータリークラブ（50周年記念）	10万円
	長崎北ロータリークラブ（63周年記念）	75万円



《2019-2020年度 会員数推移》

グループ	クラブ名	本年度初 会員数	うち、 女性会員	本年度中 新規会員	うち、 女性会員	本年度中 退会会員	うち、 女性会員	本年度末 会員数	うち、 女性会員	本年度初 比増減数	うち、 女性会員
第1グループ	佐賀	74	5	11	1	11	1	74	5	0	0
	小城	30	2	3	1	6	0	27	3	-3	1
	牛津	30	0	5	1	2	0	33	1	3	1
	多久	38	5	1	0	2	1	37	4	-1	-1
	佐賀大和	26	6	0	0	1	1	25	5	-1	-1
小計	198	18	20	3	22	3	196	18	-2	0	
第2グループ	佐賀西	38	2	6	1	3	0	41	3	3	1
	佐賀北	45	1	4	1	6	0	43	2	-2	1
	佐賀南	38	4	3	0	3	1	38	3	0	-1
	神埼	37	4	3	0	4	1	36	3	-1	-1
	佐賀空港	18	1	0	0	0	0	18	1	0	0
小計	176	12	16	2	16	2	176	12	0	0	
第3グループ	有田	28	0	5	2	1	0	32	2	4	2
	武雄	56	5	2	0	9	1	49	4	-7	-1
	鹿島	34	4	1	0	4	0	31	4	-3	0
	嬉野	26	2	1	0	3	1	24	1	-2	-1
	大町	11	0	4	0	1	0	14	0	3	0
	太良	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0
小計	165	11	13	2	18	2	160	11	-5	0	
第4グループ	唐津	61	0	2	0	2	0	61	0	0	0
	伊万里	29	0	1	0	2	0	28	0	-1	0
	唐津東	50	0	5	0	5	0	50	0	0	0
	唐津西	34	0	4	0	3	0	35	0	1	0
	伊万里西	41	0	1	0	5	0	37	0	-4	0
	唐津中央	37	3	1	1	2	0	36	4	-1	1
小計	252	3	14	1	19	0	247	4	-5	1	
第5グループ	佐世保	78	0	1	0	6	0	73	0	-5	0
	平戸	29	2	2	0	5	0	26	2	-3	0
	北松浦	25	0	2	0	3	0	24	0	-1	0
	佐世保西	24	4	1	0	6	1	19	3	-5	-1
	松浦	26	1	4	0	5	0	25	1	-1	0
小計	182	7	10	0	25	1	167	6	-15	-1	
第6グループ	佐世保南	62	0	4	0	8	0	58	0	-4	0
	佐世保東	23	0	2	0	0	0	25	0	2	0
	佐世保北	40	2	6	0	7	0	39	2	-1	0
	佐世保中央	46	1	3	0	2	0	47	1	1	0
	佐世保東南	39	0	2	0	4	0	37	0	-2	0
	H T B 佐世保	23	2	1	0	3	0	21	2	-2	0
小計	233	5	18	0	24	0	227	5	-6	0	
第7グループ	大村	48	4	1	0	3	0	46	4	-2	0
	島原	30	2	2	0	6	0	26	2	-4	0
	雲仙	14	0	0	0	3	0	11	0	-3	0
	大村北	24	1	4	1	4	1	24	1	0	0
	島原南	25	0	0	0	7	0	18	1	-7	1
	大村東	37	3	2	1	1	0	38	4	1	1
小計	178	10	9	2	24	1	163	12	-15	2	
第8グループ	諫早	72	0	5	0	4	0	73	0	1	0
	諫早北	74	4	1	0	3	1	72	3	-2	-1
	諫早西	45	0	3	0	3	0	45	0	0	0
	諫早多良見	32	0	2	0	0	0	34	0	2	0
	諫早南	14	8	1	1	1	0	14	9	0	1
小計	237	12	12	1	11	1	238	12	1	0	
第9グループ	長崎	74	0	7	0	14	0	67	0	-7	0
	福江	33	0	3	0	3	0	33	0	0	0
	長崎北東	41	3	1	0	4	2	38	1	-3	-2
	福江中央	21	0	0	0	4	0	17	0	-4	0
	長崎西	43	1	3	0	6	0	40	1	-3	0
	長崎琴海	11	0	0	0	1	0	10	0	-1	0
小計	223	4	14	0	32	2	205	2	-18	-2	
第10グループ	長崎北	80	0	6	0	13	0	73	0	-7	0
	長崎南	72	0	6	0	8	0	70	0	-2	0
	長崎東	40	2	7	0	8	0	39	2	-1	0
	長崎みなと	30	1	1	0	0	0	31	1	1	0
	長崎中央	55	0	4	0	11	0	48	0	-7	0
長崎出島	71	12	2	0	3	1	70	11	-1	-1	
小計	348	15	26	0	43	1	331	14	-17	-1	
合計		2,192	97	152	11	234	13	2,110	96	-82	-1

《2019-2020年度 出席率推移》

グループ	クラブ名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
第1グループ	佐賀	64.4	81.6	70.8	82.6	68.4	76.4	72.6	68.0	0.0	58.5	0.0	74.0	71.7
	小城	75.3	60.2	67.7	61.8	69.1	67.2	68.9	64.6	69.0	61.5	64.0	75.0	67.0
	牛津	74.5	85.2	79.8	74.8	68.6	73.3	84.2	78.0	0.0	82.8	0.0	91.3	79.3
	多久	73.7	75.2	75.7	84.5	75.3	78.6	77.2	87.4	0.0	0.0	0.0	82.9	78.9
	佐賀大和	72.8	74.0	70.2	73.1	62.3	68.3	74.7	62.7	76.0	70.0	0.0	87.6	72.0
小計	72.1	75.2	72.8	75.3	68.8	72.8	75.5	72.2	29.0	54.6	12.8	82.2	73.8	
第2グループ	佐賀西	73.0	69.8	81.4	78.1	74.4	78.1	80.7	83.1	66.7	61.1	76.9	76.9	75.0
	佐賀北	65.7	66.3	74.2	77.7	63.4	72.9	68.4	58.2	67.4	100.0	0.0	70.2	71.3
	佐賀南	73.6	69.4	81.6	71.2	75.4	75.6	75.8	72.8	0.0	0.0	78.1	77.2	75.1
	神埼	80.4	87.3	79.7	84.2	85.7	80.6	78.9	79.6	77.8	0.0	0.0	100.0	83.4
	佐賀空港	66.6	66.6	77.8	70.8	72.1	74.3	70.3	68.5	78.0	78.0	0.0	83.3	73.3
小計	71.8	71.9	78.9	76.4	74.2	76.3	74.8	72.4	58.0	47.8	31.0	81.5	75.6	
第3グループ	有田	69.0	73.3	74.5	70.7	75.3	76.6	72.6	74.2	81.8	54.5	0.0	77.3	72.7
	武雄	90.2	92.3	87.5	91.1	92.7	93.6	92.6	90.6	88.0	0.0	0.0	92.6	91.1
	鹿島	89.2	93.8	89.1	91.4	90.6	85.2	85.9	90.6	93.8	0.0	0.0	100.0	90.9
	嬉野	87.3	91.3	82.6	89.4	89.8	91.3	85.1	84.6	100.0	78.6	0.0	0.0	88.0
	大町	63.3	75.5	0.0	62.7	63.3	66.7	65.0	71.7	73.3	78.6	0.0	78.6	63.5
	太良	90.0	92.5	100.0	92.5	92.5	95.0	92.5	87.5	92.5	100.0	100.0	100.0	94.6
	小計	81.5	86.4	72.3	83.0	84.0	84.7	82.3	83.2	88.2	52.0	16.7	74.7	83.5
第4グループ	唐津	91.3	97.0	91.1	92.3	90.5	93.3	93.7	96.9	85.3	0.0	0.0	92.9	92.4
	伊万里	94.5	87.2	91.4	86.6	88.9	88.2	90.8	88.8	87.9	0.0	0.0	89.4	89.4
	唐津東	88.1	90.4	87.4	87.8	89.0	86.8	91.3	91.2	100.0	100.0	0.0	86.8	90.8
	唐津西	90.1	82.5	88.9	89.0	90.9	87.7	92.9	92.3	87.5	81.8	0.0	91.1	88.6
	伊万里西	94.7	96.7	95.5	97.3	94.5	93.3	95.2	96.4	94.3	0.0	0.0	97.2	95.5
	唐津中央	85.5	82.5	86.6	87.6	89.6	88.8	89.4	80.6	0.0	0.0	0.0	100.0	87.8
小計	90.7	89.4	90.1	90.1	90.6	89.7	92.2	91.0	75.8	30.3	0.0	92.9	90.8	
第5グループ	佐世保	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0
	平戸	75.8	74.8	70.8	79.3	85.0	75.8	77.4	81.1	0.0	0.0	89.0	83.3	79.2
	北松浦	90.0	87.0	91.5	86.3	93.9	91.5	89.2	91.3	0.0	0.0	0.0	87.6	89.8
	佐世保西	79.9	84.8	79.9	85.9	80.4	76.1	80.0	82.7	0.0	0.0	0.0	70.0	80.0
	松浦	90.7	85.7	85.7	84.3	86.2	86.7	81.3	75.9	0.0	82.1	92.9	92.9	85.9
小計	87.3	86.5	85.6	87.2	89.1	86.0	85.6	86.2	20.0	36.4	36.4	86.8	87.0	
第6グループ	佐世保南	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	佐世保東	82.0	81.2	79.1	78.1	77.0	80.5	75.8	77.0	0.0	0.0	0.0	80.0	79.0
	佐世保北	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	佐世保中央	88.7	85.9	85.5	89.7	87.6	92.0	88.3	94.6	0.0	100.0	0.0	100.0	91.2
	佐世保東南	63.5	61.5	68.8	68.8	61.3	63.4	63.8	63.8	62.0	61.3	0.0	70.0	64.4
	H T B 佐世保	80.8	82.3	80.2	76.4	75.8	81.3	78.4	74.9	0.0	0.0	0.0	0.0	78.8
	小計	85.8	85.2	85.6	85.5	83.6	86.2	84.4	85.0	10.3	26.9	0.0	75.0	85.6
第7グループ	大村	91.3	85.2	91.0	88.0	80.6	90.0	89.0	87.4	91.4	0.0	0.0	89.5	88.3
	島原	85.6	68.4	81.7	81.6	78.0	75.0	84.7	79.9	75.9	0.0	0.0	76.6	78.7
	雲仙	83.2	84.4	82.9	89.6	91.8	88.1	87.2	88.5	0.0	83.3	0.0	0.0	86.6
	大村北	86.0	87.5	91.5	92.1	92.9	87.1	85.8	91.3	0.0	0.0	0.0	89.6	89.3
	島原南	70.0	65.0	70.2	68.0	65.0	68.2	70.0	67.5	0.0	0.0	0.0	75.0	68.8
	大村東	88.5	83.9	94.4	86.9	86.6	92.4	88.8	83.9	0.0	0.0	0.0	94.7	88.9
	小計	84.1	79.1	85.3	84.4	82.5	83.5	84.2	83.1	27.9	13.9	0.0	70.9	83.4
第8グループ	諫早	81.0	81.8	87.1	81.1	86.2	77.6	79.6	86.2	78.9	63.2	0.0	84.8	80.7
	諫早北	72.3	81.5	78.2	79.1	87.0	81.7	83.5	83.2	69.2	76.1	0.0	78.3	79.1
	諫早西	96.5	95.4	96.5	90.7	93.1	96.5	93.6	94.8	95.4	93.3	0.0	100.0	95.1
	諫早多良見	94.7	93.2	87.1	88.6	93.3	89.4	93.9	87.9	92.4	0.0	0.0	100.0	92.1
	諫早南	84.4	86.7	80.0	73.3	80.0	80.0	83.4	80.0	80.0	0.0	0.0	80.0	80.8
	小計	85.8	87.7	85.8	82.6	87.9	85.0	86.8	86.4	83.2	46.5	0.0	88.6	85.5
第9グループ	長崎	83.9	86.3	84.1	83.4	91.0	86.9	83.9	94.0	81.5	76.6	78.2	85.7	84.6
	福江	86.7	81.8	82.0	85.1	84.3	80.0	83.9	79.6	0.0	62.5	0.0	84.0	81.0
	長崎北東	82.1	81.3	77.6	74.4	77.5	78.4	81.6	83.6	0.0	78.4	80.1	84.2	79.9
	福江中央	85.4	89.5	83.9	81.4	76.5	83.6	90.0	86.0	0.0	0.0	0.0	90.1	85.2
	長崎西	81.7	84.6	78.1	79.0	86.9	84.3	75.4	91.6	82.1	79.0	0.0	75.2	81.6
	長崎琴海	60.0	66.7	67.7	57.5	65.0	77.4	66.7	87.1	87.1	50.0	48.3	66.7	66.7
	小計	79.9	81.7	78.9	76.8	80.2	81.8	80.2	87.0	41.8	57.7	34.4	81.0	79.8
第10グループ	長崎北	79.9	79.4	81.2	81.6	80.1	77.3	82.3	96.0	74.0	0.0	98.4	83.6	83.1
	長崎南	81.6	80.2	81.3	81.3	86.0	85.9	83.2	83.2	0.0	58.8	100.0	72.9	81.3
	長崎東	75.9	69.1	71.2	69.5	77.6	75.8	85.9	84.0	0.0	0.0	0.0	83.7	77.0
	長崎みなと	82.0	91.4	82.8	81.8	82.7	84.4	89.6	85.4	0.0	0.0	0.0	90.2	85.6
	長崎中央	94.7	94.5	94.5	95.1	98.4	98.8	97.6	96.3	95.1	87.8	0.0	94.0	95.2
	長崎出島	78.2	82.6	72.9	81.5	77.1	79.2	72.6	89.9	0.0	0.0	0.0	79.8	79.3
小計	82.0	82.9	80.6	81.8	83.6	83.6	85.2	89.1	28.2	24.4	33.1	84.0	83.6	
合計	82.3	82.8	81.7	82.4	82.6	83.2	83.3	83.9	46.1	38.5	16.2	81.5	82.9	

※COVID-19により例会休会の月は平均出席率に反映していません。



《ロータリー財団クラブ別寄付額》 2019年7月1日～2020年6月30日

(単位：ドル)

クラブ名	会員数	年次寄付目標	達成率	一人当たり	年次寄付	ポリオプラス	恒久基金寄付	合計
佐賀	74	7,600	66%	67.43	4,990.00	1,000	0	5,990.00
小城	30	600	282%	56.36	1,690.91	0	0	1,690.91
牛津	30	1,143	139%	53.09	1,592.59	618.18	0	2,210.77
多久	38	1,000	100%	26.32	1,000.00	0	0	1,000.00
佐賀大和	26	0	0%	28.85	750.00	0	0	750.00
佐賀西	38	2,000	168%	88.16	3,350.20	0	0	3,350.20
佐賀北	45	4,500	57%	56.59	2,546.67	0	0	2,546.67
佐賀南	38	5,700	32%	47.37	1,800.00	0	0	1,800.00
神埼	37	3,700	194%	194.05	7,179.69	0	0	7,179.69
佐賀空港	16	0	0%	30.68	490.91	0	0	490.91
有田	28	0	0%	53.57	1,500.00	0	0	1,500.00
武雄	56	5,600	107%	106.61	5,970.08	0	0	5,970.08
鹿島	34	0	0%	137.44	4,672.91	0	0	4,672.91
嬉野	26	0	0%	10.00	260.00	0	0	260.00
大町	13	2,250	17%	28.85	375.00	0	0	375.00
太良	10	0	0%	5.00	50.00	0	0	50.00
唐津	61	9,300	1%	2.00	122.00	0	0	122.00
伊万里	27	0	0%	37.04	1,000.00	0	0	1,000.00
唐津東	50	0	0%	29.99	1,499.63	0	0	1,499.63
唐津西	34	0	0%	10.00	340.00	0	0	340.00
伊万里西	41	0	0%	73.17	3,000.00	0	0	3,000.00
唐津中央	37	0	0%	37.16	1,375.00	0	0	1,375.00
佐世保	78	0	0%	7.82	610.00	1,000	0	1,610.00
平戸	31	0	0%	64.52	2,000.00	0	0	2,000.00
北松浦	25	1,500	82%	48.93	1,223.17	0	0	1,223.17
佐世保西	23	0	0%	92.89	2,136.38	0	0	2,136.38
松浦	26	4,200	83%	134.62	3,500.00	0	0	3,500.00
佐世保南	62	4,000	125%	80.65	5,000.00	1,000	1,000	7,000.00
佐世保東	23	3,000	123%	161.04	3,703.83	787.1	0	4,490.93
佐世保北	40	7,000	107%	187.10	7,484.00	0	1,000	8,484.00
佐世保中央	46	0	0%	70.54	3,245.00	0	0	3,245.00
佐世保東南	39	0	0%	2.56	100.00	0	0	100.00
H T B 佐世保	23	2,400	96%	100.00	2,300.00	0	0	2,300.00
大村	48	6,200	133%	171.42	8,228.24	1,000	0	9,228.24
島原	30	3,000	104%	104.38	3,131.54	383	0	3,514.54
雲仙	14	500	102%	36.43	510.00	0	0	510.00
大村北	24	0	0%	56.25	1,350.00	0	0	1,350.00
島原南	25	0	0%	40.00	1,000.00	0	0	1,000.00
大村東	37	5,850	54%	86.08	3,184.78	0	0	3,184.78
諫早	72	7,200	90%	89.86	6,470.00	0	0	6,470.00
諫早北	74	11,100	114%	170.69	12,630.93	0	0	12,630.93
諫早西	45	4,500	48%	48.33	2,175.00	0	0	2,175.00
諫早多良見	32	0	0%	133.58	4,274.44	0	0	4,274.44
諫早南	14	1,500	87%	92.86	1,300.00	427	0	1,727.00
長崎	74	11,100	89%	133.85	9,905.11	2,000	1,000	12,905.11
福江	35	0	0%	113.35	3,967.29	500	300	4,767.29
長崎北東	40	4,000	140%	140.00	5,600.00	471.7	0	6,071.70
福江中央	21	0	0%	48.50	1,018.52	0	0	1,018.52
長崎西	43	6,450	41%	61.68	2,652.24	1,000	0	3,652.24
長崎琴海	11	1,650	61%	90.91	1,000.00	0	0	1,000.00
長崎北	80	12,000	99%	148.91	11,912.68	0	0	11,912.68
長崎南	72	7,300	109%	110.91	7,985.29	0	1,000	8,985.29
長崎東	40	0	0%	105.00	4,200.00	0	0	4,200.00
長崎みなと	30	2,000	8%	5.00	150.00	280.37	0	430.37
長崎中央	55	5,600	89%	90.35	4,969.30	1,000	0	5,969.30
長崎出島	71	7,100	101%	101.41	7,200.00	0	1,000	8,200.00
2740地区					7,000.00	3,000		10,000.00
合計	2,192			86.07	188,673.33	14,467.35	5,300	208,440.68

※目標額の設定がMy Rotaryからの入力となっておりますので、入力がなされていないクラブは目標額・達成率が出ておりません。

《米山記念奨学会寄付金明細表》 2019年7月1日～2020年6月30日

(単位：円)

クラブ名	今年度 普通単価	今 期 普通寄付	今 期 特別寄付	今期合計	会員数 (1月1日)	個人平均 寄 付 額	普通寄付金 累 計 額	特別寄付金 累 計 額	寄付累計額
佐 賀	6,000	447,000	300,000	747,000	75	9,960	14,781,000	18,610,000	33,391,000
小 城	3,000	91,500	235,500	327,000	29	11,275	3,934,750	6,333,500	10,268,250
牛 津	3,000	99,000	0	99,000	34	2,911	3,597,250	8,900,000	12,497,250
多 久	3,000	114,000	0	114,000	38	3,000	3,442,500	4,350,000	7,792,500
佐 賀 大 和	3,500	89,250	0	89,250	25	3,570	1,894,500	6,746,250	8,640,750
佐 賀 西	6,000	228,000	0	228,000	44	5,181	10,435,150	12,684,000	23,119,150
佐 賀 北	5,000	230,000	76,000	306,000	46	6,652	7,030,750	9,868,000	16,898,750
佐 賀 南	4,000	152,000	500,000	652,000	40	16,300	3,852,500	6,323,000	10,175,500
神 埼	4,500	166,500	612,000	778,500	38	20,486	3,594,750	6,789,407	10,384,157
佐 賀 空 港	3,000	54,000	0	54,000	18	3,000	984,400	0	984,400
有 田	4,000	132,000	176,000	308,000	31	9,935	5,368,000	2,852,000	8,220,000
武 雄	4,000	220,000	458,000	678,000	54	12,555	8,926,650	9,584,950	18,511,600
鹿 島	4,000	134,000	400,000	534,000	33	16,181	6,398,450	7,600,000	13,998,450
嬉 野	4,000	104,000	0	104,000	27	3,851	3,142,500	1,880,000	5,022,500
大 町	2,000	30,000	0	30,000	15	2,000	3,551,000	2,890,000	6,441,000
太 良	2,000	20,000	0	20,000	10	2,000	700,000	2,000,000	2,700,000
唐 津	3,000	183,000	200,000	383,000	61	6,278	7,417,070	12,200,000	19,617,070
伊 万 里	2,000	58,000	200,000	258,000	29	8,896	6,622,700	10,520,000	17,142,700
唐 津 東	4,000	202,000	100,000	302,000	51	5,921	6,368,750	8,635,000	15,003,750
唐 津 西	4,000	136,000	0	136,000	34	4,000	5,698,500	9,030,000	14,728,500
伊 万 里 西	4,000	162,000	300,000	462,000	40	11,550	7,277,000	15,744,000	23,021,000
唐 津 中 央	3,000	112,500	500,000	612,500	38	16,118	2,498,000	11,980,000	14,478,000
佐 世 保	3,000	237,000	100,000	337,000	79	4,265	10,651,300	75,363,000	86,014,300
平 戸	4,000	308,000	0	308,000	28	11,000	5,888,450	12,552,435	18,440,885
北 松 浦	4,000	100,000	100,000	200,000	25	8,000	5,115,500	12,396,370	17,511,870
佐 世 保 西	3,000	70,500	220,000	290,500	23	12,630	5,161,950	18,264,000	23,425,950
松 浦	4,400	123,200	300,000	423,200	28	15,114	4,155,500	7,886,221	12,041,721
佐 世 保 南	2,000	125,000	600,000	725,000	63	11,507	8,950,300	44,548,846	53,499,146
佐 世 保 東	2,000	49,000	170,000	219,000	24	9,125	6,119,500	18,427,679	24,547,179
佐 世 保 北	2,000	85,000	900,000	985,000	44	22,386	3,572,250	34,100,000	37,672,250
佐 世 保 中 央	2,000	96,000	0	96,000	49	1,959	3,338,000	7,100,000	10,438,000
佐 世 保 東 南	4,200	165,800	0	165,800	40	4,145	1,800,200	1,800,000	3,600,200
H T B 佐 世 保	4,000	88,000	200,000	288,000	23	12,521	2,482,000	5,300,000	7,782,000
大 村	4,000	194,000	0	194,000	49	3,959	7,055,350	4,784,000	11,839,350
島 原	3,000	93,000	100,000	193,000	31	6,225	4,949,550	2,500,000	7,449,550
雲 仙	4,000	56,000	500,000	556,000	14	39,714	4,856,250	8,859,500	13,715,750
大 村 北	2,000	50,000	116,000	166,000	26	6,384	3,609,000	6,452,000	10,061,000
島 原 南	4,000	98,000	100,000	198,000	24	8,250	2,560,000	1,400,000	3,960,000
大 村 東	3,000	112,500	200,000	312,500	38	8,223	3,147,000	7,950,000	11,097,000
諫 早	4,000	294,000	400,000	694,000	75	9,253	7,418,750	14,200,000	21,618,750
諫 早 北	4,000	294,000	900,000	1,194,000	73	16,356	9,155,000	28,390,000	37,545,000
諫 早 西	5,000	225,000	500,000	725,000	45	16,111	4,104,250	7,500,000	11,604,250
諫 早 多 良 見	4,000	132,000	244,233	376,233	34	11,065	3,137,500	6,264,429	9,401,929
諫 早 南	2,000	30,000	123,090	153,090	15	10,206	1,760,500	2,154,090	3,914,590
長 崎	5,000	367,000	795,014	1,162,014	75	15,493	18,242,850	33,979,258	52,222,108
福 江	0	0	240,000	240,000	33	7,272	6,077,250	14,753,449	20,830,699
長 崎 北 東	4,000	164,000	288,000	452,000	40	11,300	7,470,000	27,417,500	34,887,500
福 江 中 央	0	0	100,000	100,000	20	5,000	5,214,000	17,360,647	22,574,647
長 崎 西	4,000	172,000	442,000	614,000	43	14,279	6,716,160	18,627,840	25,344,000
長 崎 琴 海	2,000	22,000	0	22,000	11	2,000	1,329,500	4,933,830	6,263,330
長 崎 北	4,000	320,000	967,500	1,287,500	76	16,940	12,773,500	28,026,500	40,800,000
長 崎 南	4,000	286,000	978,000	1,264,000	71	17,802	13,835,050	34,675,783	48,510,833
長 崎 東	4,000	168,000	200,000	368,000	43	8,558	12,640,100	22,755,000	35,395,100
長 崎 み な と	3,000	90,000	0	90,000	30	3,000	3,763,250	8,850,000	12,613,250
長 崎 中 央	5,000	270,000	200,000	470,000	53	8,867	5,919,000	11,476,000	17,395,000
長 崎 出 島	4,000	286,000	424,000	710,000	72	9,861	3,355,000	10,471,000	13,826,000
2740 地区 その他	0	0	500,000	500,000	0	0	4,657,000	14,220,500	18,877,500
合 計		8,335,750	14,965,337	23,301,087	2,227	10,462	328,496,930	751,259,984	1,079,756,914



《ロータリー財団寄付者》

◆メジャードナー

氏名	クラブ名
緒方 信行	佐世保北
福田 俊郎	佐世保北
石坂 和彦	大村
村里 愛子	大村
菊地 廣行	大村北
高木 栄	大村東
栗林 英雄	諫早北
宮崎 清彰	諫早北
岩永 信昭	長崎北東

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ名
山下 雄司	佐賀
田島 広一	佐賀
北川 弘樹	佐賀
隅 康二	佐賀西
福元 裕二	佐賀北
合瀬 一男	神埼
小林 正明	神埼
西村 明美	神埼
福山 和彦	神埼
谷口 優	武雄
原 隆司	武雄
迎 雅瑠嗣	鹿島
大坪 稔	鹿島
住江 潤子	鹿島
山崎 光英	伊万里西
堤 茂樹	伊万里西
坂本 安治	唐津中央
原口 公郎	佐世保西
山本 規仁	松浦
矢次 保夫	佐世保南
宮地 学	佐世保南
山口 嘉浩	佐世保南
藤永 辰弘	佐世保南
伊藤 正春	佐世保東
近藤 竜一	佐世保北
三谷 秀和	佐世保北

二ノ宮 健	佐世保北
村瀬 高広	佐世保北
近藤 竜一	佐世保北
西川 義文	大村
江口 照年	大村
酒井 美克	大村
八江 正光	諫早
根来 博文	諫早
栗林 宏光	諫早
白倉 一男	諫早北
橋本 政二	諫早北
岩崎 修一	諫早北
田島 幸一	諫早北
津田 宏二郎	諫早北
本田 清秀	諫早北
辻本 善樹	諫早西
アーリー・ジェフリースチュアート	諫早多良見
千葉 まさこ	諫早南
嶋崎 真英	長崎
橋場 邦武	長崎
北島 博志	福江
浜中 洋	長崎北東
大原 玉瑞	長崎北東
許 斐義彦	長崎西
水本 由幸	長崎西
浦 信夫	長崎琴海
森 邦芳	長崎南
岡田 康信	長崎中央
有田 信一	長崎中央
高田 祐治	長崎中央
今村 茂雄	長崎出島
楊 爾嗣	長崎出島
村木 昭一郎	長崎出島
殿村 周三	長崎出島
鉄川 進	長崎出島
北島 利彦	長崎出島
澤山 俊雄	長崎出島
堤 祐敬	長崎出島
喜々津 京子	長崎出島

山田 佑子	長崎出島
藤岡 秀則	長崎出島
有馬 裕幸	長崎出島
谷川 喜一	長崎出島
山形 浩介	長崎出島
福島 誠	長崎出島
草野 幸子	長崎出島

◆ポール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ名
益田 裕司	佐賀
松尾 裕之	小城
栗原 賢司	牛津
梅津 健太郎	多久
古川 清文	佐賀北
嘉村 幸彦	佐賀南
西山 保広	有田
山口 幸子	武雄
辻田 耕一郎	鹿島
鶴田 憲治	唐津東
岸川 恒春	伊万里西
松永 いづみ	平戸
榊屋 可恵	平戸
横尾 成人	北松浦
本吉 直之	松浦
大内 理史	松浦
鶴田 征宏	佐世保南
井手 陽一	佐世保中央
片桐 康利	佐世保中央
田添 直記	佐世保中央
古市 寛	H T B 佐世保
中尾 光吉	大村東
井手 大二	諫早
稲永 卓司	諫早
東村 久儀	諫早北
山下 徹	諫早多良見
新北 輝秋	諫早多良見
朝長 万左男	長崎
片山 雅文	福江

柳田 靖夫	福江
杉 秀宣	福江中央
吉田 良尚	長崎西
藤村 昌憲	長崎北
山口 孝司	長崎出島

◆ベネファクター

氏名	クラブ名
野田 大介	佐世保南
蒲池 芳明	佐世保北
光安 幸夫	長崎
松尾 友平	長崎南
今村 茂雄	長崎出島

◆ポリオプラス

氏名	クラブ名
木村 公康	佐世保
作元 誠司	佐世保南
佐賀ロータリークラブ	
大村ロータリークラブ	
長崎ロータリークラブ	
長崎西ロータリークラブ	
長崎中央ロータリークラブ	
2740地区	



《米山記念奨学会寄付者》

◆米山功労者（メジャードナー）

氏名	クラブ名
花鳥光喜	鹿島
白川十郎	伊万里
大神邦明	佐世保
朝永春郎	松浦
富田耕司	佐世保北
福田俊郎	佐世保北
本多善彦	雲仙
南野健	大村北
為永伸夫	大村東
栗林英雄	諫早北
宮崎清彰	諫早北
黒田隆雄	諫早北
川野恒雄	諫早北
佐々野邦久	福江
岩永信昭	長崎北東
小川春彌	長崎南

武部勝海	松浦
小松由美子	松浦
矢次保夫	佐世保南
小川信	佐世保南
宇土義継	佐世保南
西沢雅幸	佐世保南
中島閔二	佐世保北
高木義和	島原
七條健	雲仙
福田宥晃	雲仙
原田徹	雲仙
八江正光	諫早
酒井明仁	諫早
村田好隆	諫早
森栄一郎	諫早北
池田榮雄	諫早北
辻本善樹	諫早西
山崎祥弘	諫早西
山口大司	諫早西
吉田知之	諫早西
吉次良治	諫早西
中島恒幸	諫早多良見
千葉まさこ	諫早南
岩永正人	長崎
朝永万左男	長崎
鳥巢維文	長崎
松本勝	長崎
進藤和彦	長崎
張本民雄	福江
岩永信昭	長崎北東
三宅敏彦	長崎西
崎永剛	長崎北
高久和也	長崎南
三浦達美	長崎東
岡田康信	長崎中央

◆米山功労者（マルチプル）

氏名	クラブ名
牟田清敬	佐賀
小松敏正	佐賀
山口誠二	佐賀北
駒井英基	佐賀南
古川尋美	佐賀南
江副了	佐賀南
園田嘉生	佐賀南
西村明美	神埼
合瀬一男	神埼
福山和彦	神埼
福地善孝	神埼
高原武彦	有田
花鳥光喜	鹿島
迎雅瑠嗣	鹿島
田中博	唐津
峯輝正	伊万里
福田綱吉	伊万里西
時里重利	伊万里西
永田章	北松浦

◆米山功労者

氏 名	クラブ名
福岡 桂	佐 賀
嘉村 幸彦	佐 賀 南
空閑 彰彦	神 埼
野中 績宏	武 雄
原 隆 司	武 雄
本城 史郎	唐 津
前谷 逸生	唐 津 東
小木 学	伊 万 里 西
上杉 芳邦	佐 世 保 南
下津浦 正明	佐 世 保 南
牧野 博一	佐 世 保 北
松永 祐司	佐 世 保 北
田島 慎	佐 世 保 北
松田 亜由美	佐 世 保 北
船津 学	佐 世 保 北
八木 順平	佐 世 保 北
道添 昭仁	H T B 佐世保
杉山 和宏	H T B 佐世保
梶原 光廣	島 原 南
中尾 光吉	大 村 東
立川 豊三郎	諫 早
若杉 能將	諫 早 多 良 見
有川 一男	福 江
杉 秀宣	福 江 中 央
寺坂 基幸	長 崎 西
峰 利克	長 崎 東
小宮 裕之	長 崎 中 央
藤岡 秀則	長 崎 出 島
北島 利彦	長 崎 出 島
山口 孝司	長 崎 出 島
佐伯 秀人	長 崎 出 島

◆米山功労法人

法人名	クラブ名
(株)松田電工	諫 早 北

◆米山功労クラブ

クラブ名
佐 賀 南
佐 世 保 南
佐 世 保 北
諫 早
諫 早 北
長 崎 北
長 崎 南
2 7 4 0 そ の 他



《2020学年度 米山記念奨学生・世話クラブ》

氏名	氏名 (カナ)	性別	国籍	学校名	課程	学年	期間	世話クラブ
馬 禎珠	マ ジョンジュ	女	韓国	佐賀大学	学部	4年	2019～21	牛津
レー チュン ハイ	レー チュン ハイ	男	ベトナム	長崎県立大学	学部	4年	2019～21	佐世保北
ホアン, キン ガン	ホアン, キン ガン	女	ベトナム	長崎国際大学	学部	4年	2019～21	佐世保南
ワン ノー ファズイラ ビンティ ワン ナジュム ッディン	ワン ノー ファズイラ ビンティ ワン ナジュム ッディン	女	マレーシア	長崎大学	学部	4年	2019～21	長崎出島
謝 冉	シャ ゼン	女	中国	佐賀大学	博士	4年	2019～20.9	神埼
バウケ, マチルダ エマニューエル	バウケ, マチルダ エマニューエル	女	フランス	活水女子大学	学部	4年	2020～21	大村
ヨス, チャンラダ	ヨス, チャンラダ	男	カンボジア	佐賀大学	修士	1年	2020～22	佐賀北
アメリア, リズキー	アメリア, リズキー	女	インドネシア	佐賀大学	修士	2年	2020～21	鹿島
ツイツェナイテ, カロリナ	ツイツェナイテ, カロリナ	女	リトアニア	佐賀大学	修士	2年	2020～21	佐賀西
曾 玉儒	ソウ ギョクジュ	女	中国	西九州大学	学部	4年	2020～21	佐賀南
グエン バン アイン	グエン バン アイン	女	ベトナム	長崎ウエスレヤン大学	学部	3年	2020～22	諫早南
リム, チン チイ	リム, チン チイ	女	マレーシア	長崎外国語大学	学部	3年	2020～22	雲仙
洪 恩穂	ホン ウンス	男	韓国	長崎国際大学	学部	4年	2020～21	HTB佐世保
魏 瑞俊	ギ ズイシュン	男	中国	長崎総合科学大学	学部	4年	2020～21	長崎西
趙 海宇	チョウ カイウ	男	中国	長崎大学	学部	3年	2020～22	長崎北
王 莉萍	オウ リヘイ	女	中国	長崎大学	博士	3年	2020～21	長崎
マハト アニル クマル	マハト アニル クマル	男	ネパール	佐賀大学	修士	1年	2020.10～22	佐賀

《国際青少年交換学生》

■2019-20年度 派遣学生

氏名	在籍校	派遣国	スポンサークラブ
力丸心南	Madison Robert M. Lafollette High School	アメリカ	武雄
松尾有澄	Everett High School	アメリカ	佐世保南
松本陸	Marian College	オーストラリア	諫早多良見

■2019-20年度 来日学生

氏名	在籍校	国	ホストクラブ
Kenzie FORD	長崎日本大学高等学校	カナダ	武雄
Po Chen WU	九州文化学園高等学校	台湾、中国	佐世保
Miwa CLARE	聖和女子学院高等学校	カナダ	佐世保南
James Robert George WHITFORD	創成館高等学校	オーストラリア	諫早多良見
Ian Nash BLACK	長崎東高等学校	アメリカ	長崎
Ruby Grace PARSONS BURNS	純心女子高等学校	オーストラリア	長崎中央

■2020-21年度 派遣学生 (予定)

氏名	在籍校	派遣国	スポンサークラブ
植松萌			鹿島
川添瑠々奈			佐世保南
安達凛			佐世保南
北島爽花			諫早
堀川純二郎			雲仙
徳永紗耶香			有田

■2020-21年度 来日学生 (未定)

氏名	在籍校	国	ホストクラブ



《ロータリー財団補助金奨学生》

■2019-20年度 グローバル補助金奨学生

氏名	教育機関	研究分野	留学国
谷口大輔	University of Toronto	疾病予防と治療	カナダ
金子浩士	University of Sussex	経済と地域社会の発展	イギリス

■2019-20年度 地区補助金奨学生

氏名	教育機関	研究分野	留学国
黒田裕美	Rutgers university, The State University of New Jersey	疾病予防と治療	アメリカ

■2020-21年度 グローバル補助金奨学生

氏名	教育機関	研究分野	留学国
賀来敬仁	University of Michigan Medical School	疾病予防と治療	アメリカ

■2020-21年度 地区補助金奨学生

氏名	教育機関	研究分野	留学国
高銀彬	University of Michigan	音楽学部 ピアノ専攻	アメリカ

《インターアクトクラブ一覧》

IAC名	提唱RC	創立	例会日時		事務所住所
佐賀清和高校	佐賀	1972. 7. 27	第3木	16:30	〒849-0919 佐賀市兵庫北2丁目14-1
牛津高校	牛津	1982. 7. 17	水	16:00	〒849-0303 小城市牛津町牛津274
佐賀女子高校	佐賀北	1978. 9. 19	第1・3木	13:10	〒840-0047 佐賀市与賀町153-1
有田工業高校	有田	1965. 2. 24	水		〒844-0012 西松浦郡有田町桑古場乙2902
武雄高校	武雄	1967. 12. 13	不定		〒843-0024 武雄市武雄町大字富岡7719 武雄商工会議所内 武雄RC
唐津西高校	唐津	1969. 11. 10	月1水	17:30	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 唐津RC
			月1土	15:30	
西海学園高校	佐世保	1980. 10. 20	不定		〒857-0011 佐世保市春日町29-22
聖和女子学院	佐世保南	1976. 1. 27	第1昼休み		〒847-0015 佐世保市松山町495
E. J. キングスクール	佐世保南	1989. 5. 1	不定		〒857-0056 佐世保市平瀬町 米海軍佐世保基地内
佐世保工業高等専門学校	佐世保北	2017. 2. 25	月1月	16:30	〒857-0872 佐世保市上京町6-21 上京ビル4F 佐世保北ロータリークラブ内
向陽高校	大村	1971. 6. 22	月1木	15:35	〒856-0825 大村市西三城町16
島原中央高校	島原	1978. 5. 20	不定		〒855-8550 島原市船泊町3415
大村工業高校	大村北	1963. 11. 30	第3金	16:00	〒856-0815 大村市森園町1079-3
大村城南高校	大村東	2001. 4. 23	不定		〒856-0835 大村市久原1-416
諫早農業高校瑞穂寮	諫早	1979. 2. 21	第3水	20:00	〒854-0043 諫早市立石町1003
鎮西学院高校	諫早北	1985. 5. 21	水	16:30	〒854-0082 諫早市西栄田町1212-1
長崎女子高校	長崎	1979. 1. 16	月1木	16:30	〒850-0834 長崎市上小島町1-11-8
五島高校	福江中央	1985. 3. 24	金	16:10	〒853-0018 五島市池田町1-1
海星学園	長崎西	1997. 5. 17	第1・3土	13:30	〒850-0911 長崎市東山手町5-3
長崎女子商業高校	長崎南	1976. 2. 24	水	16:15	〒850-0875 長崎市栄町2-10
純心女子高等学校	長崎中央	2014. 10. 4	不定		〒852-8515 長崎市文教町13-15
活水高等学校	長崎出島	2001. 9. 12	月1火	12:30	〒852-8016 長崎市宝栄町15-11

《ローターアクトクラブ一覧》

RAC名	提唱RC	創立	会員数	例会日時	事務所住所
佐賀	佐賀・佐賀北	1968. 12. 12		活動休止中	〒840-0826 佐賀市白山2-1-12 佐賀商工ビル4F 佐賀RC
鹿島	鹿島	1981. 5. 20	4	第1・3水 20:00	〒849-1311 鹿島市大字高津原4296-41 鹿島商工会館2F 鹿島RC
唐津東	唐津東	1973. 10. 18		活動休止中	〒847-0012 唐津市大名小路1-54 唐津商工会館5F 唐津東RC
長崎国際大学	佐世保	2005. 3. 13	8	第2・4木 18:30	〒857-0806 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 佐世保RC
島原	島原	1981. 4. 10	3	第1・3水 19:30	〒855-0012 島原市大手原町甲2307 島原RC
諫早	諫早	1970. 5. 29		活動休止中	〒854-0016 諫早市高城町5-10 諫早商工会議所内 諫早RC
長崎	長崎	1971. 2. 4	16	第1・3火 19:30	〒850-0057 長崎市大黒町14-5 ホテルニュー長崎地下1階 長崎RC
長崎北	長崎北	1970. 5. 20	6	第2・4木 19:30	〒850-0057 長崎市大黒町14-5 ホテルニュー長崎地下1階 長崎北RC



《年間行事報告》

7月	1日(月)	ガバナー事務所開設	諫早	
		ガバナー会議・ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	東京	
	4日(木)	第1回諮問委員会	諫早	
	7日(日)	第1回全国青少年交換委員長会議	東京	
	12日(金)	マイロータリー・クラブセントラルセミナー	諫早	
	13日(土)	第3ゾーン戦略計画推進セミナー	大阪	
	14日(日)	【米山記念奨学】米山奨学生研修旅行 ～15日(月)	熊本	
	16日(火)	北松浦RC公式訪問	松浦	
	17日(水)	唐津西RC公式訪問	唐津	
	18日(木)	平戸RC公式訪問	平戸	
	19日(金)	佐世保南RC公式訪問	佐世保	
	20日(土)	【インターアクト】第1回インターアクト委員会	諫早	
		【社会奉仕】第2回社会奉仕委員会	大村	
	21日(日)	【会員増強】第1回会員増強委員会	諫早	
	22日(月)	佐賀西RC公式訪問	佐賀	
	23日(火)	唐津RC公式訪問	唐津	
	24日(水)	島原RAC例会訪問	島原	
	25日(木)	唐津東RC公式訪問・伊万里西RC公式訪問	唐津・伊万里	
	26日(金)	唐津中央RC公式訪問	唐津	
	27日(土)	ゲイリー・ホアン管理委員長と懇談の集い	神戸	
	28日(日)	第2回ガバナー補佐会議	東彼杵	
		【会員増強】会員増強セミナー	東彼杵	
		【国際青少年交換】第1回地区委員会・オリエンテーション	諫早	
	29日(月)	諫早南RC公式訪問・武雄RC公式訪問	諫早・武雄	
	30日(火)	長崎みなとRC公式訪問	長崎	
	31日(水)	長崎北東RC公式訪問	長崎	
	8月	1日(木)	長崎琴海RC公式訪問	長崎
		2日(金)	長崎東RC公式訪問	長崎
		3日(土)	【インターアクト】インターアクト年次大会（海星高校）	長崎
		5日(月)	佐世保北RC公式訪問	佐世保
		6日(火)	諫早多良見RC公式訪問	諫早
7日(水)		島原南RC公式訪問	島原	
9日(金)		嬉野RC公式訪問	嬉野	
		【ロータリー財団】地区補助金奨学生・グローバル補助金奨学生壮行会	諫早	
18日(日)		【国際青少年交換】第2回地区委員会・オリエンテーション	諫早	
19日(月)		長崎北RC公式訪問	長崎	

《年間行事報告》

8月	20日(火)	H T B 佐世保 R C 公式訪問	佐世保
	21日(水)	佐世保 R C 公式訪問・諫早西 R C 公式訪問	佐世保・諫早
	22日(木)	大町 R C 公式訪問	大町
	23日(金)	福江 R C 公式訪問・福江中央 R C 公式訪問	福江
	24日(土)	【インターアクト】第2回インターアクト委員会	佐世保
	25日(日)	【米山記念奨学】米山奨学生出前卓話研修会	東彼杵
	27日(火)	長崎西 R C 公式訪問・大村 R C 公式訪問	長崎・大村
	30日(金)	諫早 R C 公式訪問	諫早
9月	2日(月)	ガバナーエレクト研修セミナー (GETS) ～3日(火)	東京
		長崎中央 R C 公式訪問	長崎
	3日(火)	佐世保西 R C 公式訪問・有田 R C 公式訪問	佐世保・有田
		【社会奉仕】第3回社会奉仕委員会	諫早
	4日(水)	地区研修リーダーセミナー (DTS)	東京
		長崎南 R C 公式訪問	長崎
	5日(木)	多久 R C 公式訪問・太良 R C 公式訪問	多久・太良
	6日(金)	長崎出島 R C 公式訪問	長崎
	7日(土)	雲仙 R C 公式訪問	雲仙
	8日(日)	【ローターアクト】アクトの日	長崎
	9日(月)	大村東 R C 公式訪問	大村
	10日(火)	鹿島 R C 公式訪問・佐賀大和 R C 公式訪問	鹿島・佐賀
	11日(水)	佐世保東南 R C 公式訪問・大村北 R C 公式訪問	佐世保・大村
	12日(木)	佐世保中央 R C 公式訪問	佐世保
	15日(日)	第3回ガバナー補佐会議	諫早
	17日(火)	神埼 R C 公式訪問・佐賀南 R C 公式訪問	神埼・佐賀
	18日(水)	伊万里 R C 公式訪問・小城 R C 公式訪問	伊万里・小城
	19日(木)	佐世保東 R C 公式訪問	佐世保
	20日(金)	牛津 R C 公式訪問	牛津
	22日(日)	【国際青少年交換】第3回地区委員会・オリエンテーション	諫早
25日(水)	佐賀空港 R C 公式訪問・佐賀北 R C 公式訪問	佐賀	
26日(木)	長崎 R C 公式訪問	長崎	
	長崎南 R C 創立55周年記念式典	長崎	
27日(金)	【RYLA】RYLA委員会	諫早	
28日(土)	【インターアクト】第3回インターアクト委員会	長崎	
10月	1日(火)	島原 R C 公式訪問	島原
	2日(水)	松浦 R C 公式訪問	松浦
	3日(木)	佐賀 R C 公式訪問・諫早北 R C 公式訪問	佐賀・諫早



《年間行事報告》

10月	4日(金)	第2回諮問委員会	諫早
		第1回戦略計画委員会	諫早
	6日(日)	【米山記念奨学】米山の集い	諫早
	7日(月)	【国際青少年交換】来日学生 長崎くんち見学旅行、平和学習 ～8日(火)	長崎
	12日(土)	【インターアクト】インターアクト前期指導者研修会	東彼杵
	19日(土)	佐賀北RC創立50周年記念式典	佐賀
	26日(土)	佐世保西RC創立50周年記念式典	佐世保
	27日(日)	第4回ガバナー補佐会議	東彼杵
		【社会奉仕】社会奉仕セミナー	東彼杵
【国際青少年交換】第4回地区委員会・オリエンテーション		諫早	
11月	1日(金)	【ロータリー財団】ロータリー財団委員会	諫早
	3日(日)	【国際青少年交換】交換学生 唐津くんち見学	唐津
	8日(金)	地区大会（歓迎晩餐会・危機管理セミナー）	諫早
		【米山記念奨学】米山記念奨学生国際交流会（鎮西学院高等学校）	諫早
	9日(土)	地区大会（本会議・記念懇親会）	諫早
	10日(日)	懇親ゴルフ大会	諫早
	16日(土)	ロータリー財団地域セミナー	神戸
	17日(日)	メジャードナー午餐会	神戸
		第2回ガバナー会・RI会長歓迎晩餐会	神戸
		第2回ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）	神戸
	18日(月)	ロータリー研究会 ～19日(火)	神戸
	23日(土)	【米山記念奨学】米山奨学生面接官オリエンテーション	佐賀
	24日(日)	第5回ガバナー補佐会議	東彼杵
		【ロータリー財団】ロータリー財団セミナー	東彼杵
12月	1日(日)	第2回全国青少年交換委員長会議	東京
	6日(金)	第3回諮問委員会	諫早
	7日(土)	【インターアクト】第4回インターアクト委員会	諫早
		【国際青少年交換】交換学生 鹿児島旅行 ～8日(日)	鹿児島
	8日(日)	【会員増強】第2回会員増強委員会	諫早
	15日(日)	【国際青少年交換】第5回地区委員会・オリエンテーション・クリスマス会	諫早
【米山記念奨学】2020学年度米山奨学生面接試験選考会		佐賀	
1月	8日(水)	長崎みなとRC創立40周年記念式典	長崎
	19日(日)	2020-2021年度 国際協議会 ～25日(土)	アメリカ サンディエゴ
		【会員増強】新会員セミナー	東彼杵
	26日(日)	【国際青少年交換】第6回地区委員会・オリエンテーション	諫早
【米山記念奨学】米山学友会総会・交流会		佐賀	

《年間行事報告》

2月	1日(土)	【インターアクト】インターアクト後期指導者研修会	東彼杵
		長崎東RC創立50周年記念式典	長崎
	2日(日)	第6回ガバナー補佐会議	東彼杵
		【ロータリー財団】補助金管理セミナー	東彼杵
	6日(木)	【資金管理】第1回資金管理委員会	諫早
	9日(日)	第12回全国RYLA研究会	佐賀
		第2回戦略計画委員会	佐賀
	11日(火)	第9・10グループ IM	長崎
	15日(土)	第7・8グループ IM	諫早
	16日(日)	【基本理念】基本理念セミナー	佐賀
		【国際青少年交換】第7回地区委員会・オリエンテーション	諫早
23日(日)	【米山記念奨学】2020学年度米山奨学生プレオリエンテーション	佐賀	
	2020-2021年度 地区チーム研修セミナー	鹿島	
24日(月)	第4グループ IM	唐津	
3月	10日(火)	【危機管理】第1回危機管理委員会	諫早
	15日(日)	2020-2021年度 会長エレクト研修セミナー (PETS)	各グループ
	29日(日)	【国際青少年交換】第8回地区委員会・オリエンテーション	諫早
4月	9日(木)	【ロータリー財団】グローバル補助金奨学生面接選考会	諫早
	12日(日)	【国際青少年交換】第9回地区委員会	諫早
	19日(日)	【米山記念奨学】2020学年度米山奨学生オリエンテーション	東彼杵
	22日(水)	【危機管理】第2回危機管理委員会	諫早
5月	27日(水)	【資金管理】第2回資金管理委員会	諫早
6月	11日(木)	【ロータリー財団】地区補助金奨学生面接選考会	WEB
	19日(金)	第4回諮問委員会	諫早
	20日(土)	新旧ガバナー補佐交代式	諫早
		【米山記念奨学】新旧米山記念奨学委員会	諫早
	28日(日)	【国際青少年交換】第10回地区委員会・オリエンテーション・送別会	諫早
	30日(火)	ガバナー事務所閉鎖	



《2019-2020年度 物故会員》

寺川定男	鹿島 R C	2019. 7. 31 逝去	享年 81歳
森 豊	佐世保北 R C	2019. 8. 25 逝去	享年 70歳
野口晶教	唐津 R C	2019. 10. 15 逝去	享年 68歳
倉永圓宰	小城 R C	2019. 10. 20 逝去	享年 82歳
塩澤恒雄	平戸 R C	2019. 10. 21 逝去	享年 80歳
富崎一己	佐賀北 R C	2019. 10. 24 逝去	享年 83歳
八谷時彦	武雄 R C	2019. 11. 3 逝去	享年 77歳
有川一男	福江 R C	2019. 11. 12 逝去	享年 73歳
七田秀徳	佐賀 R C	2019. 11. 17 逝去	享年 81歳
木村暢義	諫早西 R C	2019. 11. 17 逝去	享年 64歳
川脇輝也	長崎南 R C	2019. 11. 23 逝去	享年 79歳
中尾盡一	福江中央 R C	2019. 12. 11 逝去	享年 83歳
石丸博	武雄 R C	2019. 12. 16 逝去	享年 74歳
才津為夫	福江 R C	2019. 12. 26 逝去	享年 92歳
野田榮治	牛津 R C	2020. 1. 27 逝去	享年 74歳
小柳敏文	唐津東 R C	2020. 2. 1 逝去	享年 54歳
松延脩	長崎北 R C	2020. 2. 20 逝去	享年 83歳
豊田康裕	雲仙 R C	2020. 3. 12 逝去	享年 72歳
宮島傳兵衛	唐津東 R C	2020. 3. 31 逝去	享年 98歳
神之浦 潔	福江中央 R C	2020. 4. 13 逝去	享年 59歳
深堀俊一	長崎西 R C	2020. 4. 22 逝去	享年 69歳
山縣義道	佐世保 R C	2020. 5. 5 逝去	享年 83歳
藤岡士郎	長崎南 R C	2020. 6. 2 逝去	享年 90歳

2019-2020年度 地区会計報告

《地区資金一般会計、収支決算書》

(単位：円)

収入の部	科目	内訳科目	予算	決算	予算対比	
	(1)	地区資金	14,850,000	14,605,800	△ 244,200	
	(2)	地区大会分担金	11,925,000	11,808,400	△ 116,600	
	(3)	日本事務局分担金	R文庫協力金	675,000	663,900	△ 11,100
			全国G会運営費	450,000	442,600	△ 7,400
			平和奨学生支援金	33,750	33,405	△ 345
	(4)	特別会計分担金	360,000	354,080	△ 5,920	
(5)	特別会計受入金	5,000,000	5,000,000	0		
(6)	その他収入	0	106	106		
	本年度収入合計 (A)	33,293,750	32,908,291	△ 385,459		
	前年度繰越金		11,057,162	11,057,162		
	収入合計 (B)	33,293,750	43,965,453	10,671,703		

(単位：円)

支出の部	科目	内訳科目	予算	決算	予算対比		
	(1)	ガバナー関係費	G E国際協議会	1,200,000	1,200,000	0	
全国G・PG会議費			1,800,000	1,558,787	△ 241,213		
地区G・PG会議費			1,300,000	1,255,702	△ 44,298		
各種会議費			1,000,000	987,002	△ 12,998		
G記念品代			100,000	100,000	0		
渉外・広報費			500,000	388,400	△ 111,600		
小計			5,900,000	5,489,891	△ 410,109		
(2)			地区活動費・補助金	地区大会	11,925,000	11,808,400	△ 116,600
				地区研修・協議会	400,000	287,261	△ 112,739
				P E T S	400,000	371,659	△ 28,341
	地区委員会キックオフミーティング	300,000		265,620	△ 34,380		
	地区チーム研修セミナー	600,000		781,739	181,739		
	インターアクト助成金	600,000		548,600	△ 51,400		
	ローターアクト助成金	550,000		550,000	0		
	R Y L A助成金	150,000		150,000	0		
	全国R Y L A研究会	0		266,904	266,904		
R財団学友会	100,000	57,974	△ 42,026				
小計	15,025,000	15,088,157	63,157				
(3)	ガバナー補佐費		1,700,000	1,691,945	△ 8,055		
(4)	地区委員会費	基本理念委員会	300,000	491,587	191,587		
		クラブ管理運営委員会	200,000	12,960	△ 187,040		
		会員増強委員会	400,000	365,175	△ 34,825		
		公共イメージ委員会	250,000	121,500	△ 128,500		
		社会奉仕委員会	200,000	218,994	18,994		
		インターアクト委員会	600,000	286,459	△ 313,541		
		ローターアクト委員会	180,000	83,572	△ 96,428		
		R Y L A委員会	250,000	83,290	△ 166,710		
		ロータリー財団委員会	200,000	293,354	93,354		
		資金推進委員会	50,000	40,047	△ 9,953		
		資金管理委員会	50,000	57,500	7,500		
		ポリオプラス委員会	50,000	64,918	14,918		
		財団奨学・学友小委員会	150,000	132,735	△ 17,265		
		グローバル補助金小委員会	150,000	90,742	△ 59,258		
		地区補助金小委員会	150,000	152,350	2,350		
米山記念奨学委員会	550,000	550,000	0				
小計	3,730,000	3,045,183	△ 684,817				
(5)	日本事務局分担金	R文庫協力金	675,000	663,900	△ 11,100		
		全国G会運営費	450,000	442,600	△ 7,400		
		平和奨学生支援金	33,750	33,405	△ 345		
		小計	1,158,750	1,139,905	△ 18,845		
(6)	特別会計繰入金	世界社会奉仕資金	360,000	354,080	△ 5,920		
		規定審議会積立金	300,000	300,000	0		
		小計	660,000	654,080	△ 5,920		
(7)	危機管理委員会	0	67,662	67,662			
(8)	その他支出 (アンケート調査費)	5,120,000	565,196	△ 4,554,804			
	本年度支出合計 (C)	33,293,750	27,742,019	△ 5,551,731			
	本年度収支差額 (A) - (C)		5,166,272	5,166,272			
	次年度繰越金 (B) - (C)		16,223,434	16,223,434			



※地区資金特別会計 収支決算書

(単位：円)

		前年度繰越金	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越金
世界社会奉仕資金	予 算	*****	360,000	0	*****
	決 算	9,472,606	19,314,272	11,802,021	16,984,857
V T T	予 算	*****	0	0	*****
	決 算	5,000,000	0	0	5,000,000
規定審議会積立金	予 算	*****	300,000	0	*****
	決 算	0	300,000	0	300,000

※世界社会奉仕資金収入の部……2019-2020年度資金繰入金 354,080円、九州北部豪雨災害義援金 18,960,045円
 〃 支出の部……一般会計へ500万円繰入、米山梅吉記念館へ50万円、D2790台風災害支援金100万円、
 D2580首里城火災支援金100万円、フェースシールド寄贈（佐賀・長崎医師会、歯科医師会他）430万円、及び送金手数料

(単位：円)

		前年度繰越金	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越金
危機管理資金	予 算	*****	0	0	*****
	決 算	6,000,000	0	0	6,000,000

《ガバナー事務所費・月信費会計 収支決算書》

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	予算対比
収 入 の 部	G事務所分担金	10,575,000	10,401,100	△ 173,900
	月信費	3,825,000	3,762,100	△ 62,900
	R I補助金	1,239,370	1,239,370	0
	地区大会余剰金	0	135,313	135,313
	地区資金より	0	0	0
	その他収入	0	14	14
	収入合計 (A)	15,639,370	15,537,897	△ 101,473
	前年度繰越金		0	0
	収入合計 (B)	15,639,370	15,537,897	△ 101,473

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	予算対比
支 出 の 部	公式訪問費	500,000	451,488	△ 48,512
	人件費	3,200,000	3,142,494	△ 57,506
	月信費	3,825,000	3,909,194	84,194
	通信費	400,000	394,935	△ 5,065
	消耗品費	800,000	793,291	△ 6,709
	室料及び会議費	1,000,000	936,405	△ 63,595
	旅費交通費	400,000	358,040	△ 41,960
	G E事務所費	5,400,000	5,400,000	0
	直前G事務所費	100,000	100,000	0
	予備費	14,370	20,000	5,630
	支出合計 (C)	15,639,370	15,505,847	△ 133,523
本年度収支差額 (A) - (C)	0	32,050	32,050	
次年度繰越金 (B) - (C)	0	32,050	32,050	

《国際青少年交換事業会計 収支決算書》

(単位：円)

収入の部	科 目	予 算	決 算	予算対比
	国際青少年交換資金	4,050,000	3,983,400	△ 66,600
	クラブ負担金		171,000	171,000
	来日学生負担金		171,000	171,000
	その他		524,173	524,173
	本年度収入合計 (A)	4,050,000	4,849,573	799,573
	前年度繰越金		143,507	143,507
	収入合計 (B)	4,050,000	4,993,080	943,080

(単位：円)

支出の部	科 目	予 算	決 算	予算対比
	学生滞在費補助金	1,000,000	1,200,000	200,000
	学生旅行補助	1,300,000	1,656,355	356,355
	オリエンテーション費用	500,000	306,563	△ 193,437
	学生歓送迎会費他	300,000	288,460	△ 11,540
	委員会費・全国委員会費	300,000	424,444	124,444
	印刷費他	50,000	68,345	18,345
	通信費	50,000	45,485	△ 4,515
	R I J Y E M維持協力金	450,000	441,900	△ 8,100
	損害保険料	0	0	0
	予備費	100,000	0	△ 100,000
本年度支出合計 (C)	4,050,000	4,431,552	381,552	
本年度収支差額 (A)－(C)	0	418,021	418,021	
次年度収支差額 (B)－(C)	0	561,528	561,528	

地区人頭分担金の受入会計である地区資金（一般・特別）会計、ガバナー事務所・月信会計及び国際青少年交換会計の収支決算を、上記の通りご報告致します。

2019-2020年度 ガバナー 千葉 憲哉 / 地区幹事 大石 竜基 / 会計長 光石 尚彦

2019-2020年度収支決算について、帳簿並びに証票書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

監査 税理士 井手 雅康

◆米山記念奨学委員会補助金会計・収支報告書

(単位：円)

	収入の部	支出の部
米山記念奨学会助成金	1,145,000	
地区委員会助成金	550,000	
その他の収入	2	
前年度繰越金	0	
奨学生活動費		1,095,949
選考試験費		46,243
カウンセラー研修会費		132,843
委員会費		143,550
次年度への繰越金		276,417
合 計	1,695,002	1,695,002

地区米山記念奨学委員長 大家 和義

◆ROTEX勘定、収支決算書

(単位：円)

前年度繰越金	収入の部	支出の部	次年度繰越金
1,754,320	120,012	425,860	1,448,472

この会計は、ROTEX（国際青少年交換の派遣・帰国学生）の留学準備や帰国後の交流に資する資金勘定で、収入金は全て派遣学生の負担金による。



《地区資金から補助金を支出した先の収支決算報告》

①地区大会収支決算報告書（確定分）

(単位：円)

収入の部			
項目	内訳項目	登録料・出席者数	金額
人頭分担金		5,300円×2,228名	11,808,400
大会登録料	会員	10,000円×1,172名	11,720,000
懇親会	会員	8,000円×745名	5,960,000
	青少年	3,000円×13名	39,000
	小計		5,999,000
歓迎晩餐会	会員	15,000円×123名	1,845,000
来賓登録料	地区外	10,000円×4名	40,000
来賓懇親会	地区外	8,000円×1名	8,000
懇親会(家族)	地区外	8,000円×2名	16,000
来賓歓迎晩餐会	地区外	15,000円×3名	45,000
歓迎晩餐会(家族)	地区外	15,000円×8名	120,000
ゴルフ登録料	会員	5,000円×158名	790,000
	家族	5,000円×2名	10,000
	小計		800,000
祝儀他			930,047
収入合計			33,331,447

※余剰金は、ガバナー事務所会計へ繰入しました。

支出の部		
項目	内訳項目	金額
大会事務局	総務	4,269,019
	事務局	4,065,887
	会議費	1,427,379
	記念事業	669,240
歓迎晩餐会		3,720,917
懇親会		5,750,024
式典部会		6,149,493
会場設営部会		1,398,819
記念誌・広報部会		2,745,204
接待部会		257,126
救護部会		26,890
ゴルフ運営部会		1,116,136
ロータリー財団寄付		1,100,000
米山記念奨学会寄付		500,000
支出合計		33,196,134
余剰金		135,313
支出合計		33,331,447

②地区研修セミナー収支決算報告

(単位：円)

研修セミナー種別	収入	
	科目	金額
◆地区チーム研修セミナー	地区補助金	781,739
	収入合計	781,739
◆PETS (会長エレクト研修セミナー)	登録料収入	1,090,000
	地区補助金	371,659
	収入合計	1,461,659
◆キックオフミーティング	地区補助金	265,620
	収入合計	265,620
◆地区研修・協議会	登録料収入	3,580,000
	地区補助金	287,261
	収入合計	3,867,261

支出	
科目	金額
会場費・懇親会費	728,939
看板	49,680
雑費	3,120
支出合計	781,739
会場費・懇親会費	1,253,588
資料・印刷費	124,631
看板	83,440
支出合計	1,461,659
会場費・弁当代	170,309
看板	55,080
資料・印刷費	40,231
支出合計	265,620
会場費・懇親会費	3,078,329
資料印刷費	399,600
看板・垂れ幕	298,080
通信費	61,252
雑費	30,000
支出合計	3,867,261

《2019-2020年度 ロータリー財団DDF報告書》

地区補助金 (DG2085486)

※2019年7月レート 1ドル=108円

	クラブ名	プロジェクト名	確定額\$	確定額(円)
1	多 久	高齢者交流施設におけるAED設置及びAED講習会の実施	1,290	139,320
2	佐 賀 南	若い世代への教育支援プロジェクト（高等学校吹奏楽部生徒による社会福祉施設訪問と交流）	1,818	196,344
3	神 埼	作業療法分野を専攻する学生への教育支援と交流プロジェクト（西九州大学・作業療法学科・奨学金プロジェクト）COVID-19により事業中止	0	0
4	佐 賀 北	県内の障害者の方々へパラリンピック公式種目「ボッチャ」を習得してもらうプロジェクト	1,818	196,344
5	佐 賀 西	引きこもり状態にある若年者の社会参加支援プロジェクト	682	73,656
6	伊 万 里 西	地元小学校の生徒に、資源のリサイクルなど体験学習を通じて行う環境保全教育プロジェクト	1,000	108,000
7	平 戸	思春期の子どもをもつ家庭、保護者の悩みと解決への支援プロジェクト	455	49,140
8	松 浦	特別支援学校生徒に、植物の観察や触れ合いを通じて生命、農と食を学んでもらうプロジェクト	869	93,852
9	佐 世 保 東	「食と農」の分野を専攻する学生への教育支援と交流プロジェクト	818	88,344
10	佐 世 保 南	「ロボット工学」分野を専攻する学生への教育支援と交流プロジェクト	1,818	196,344
11	佐 世 保 北	水泳指導を通じて、知的障がいを持った青少年の健全育成を図るプロジェクト	1,545	166,860
12	佐 世 保 中央	人類的多様性（九州の弥生系農耕文化と北海道の擦文、オホーツク文化を各々基層とする現代社会）に学ぶ平和教育プロジェクト	1,818	196,344
13	H T B 佐世保	身体的、知的、精神障がい者（児）の自立支援（資格取得と社会参加を促す）プロジェクト	756	81,648
14	大 村	中学生、震災復興地 仙台訪問及び現地中学生との意見交換会開催	1,818	196,344
15	雲 仙	地球の温暖化など自然や環境の変化に関するawareness campain（啓発・意識向上）プロジェクト	1,818	196,344
16	諫 早	高齢者や若年者の“道迷い遭難”に対する防止プロジェクト	1,818	196,344
17	諫 早 北	幼児教育における“非認知能力”を育むプロジェクト	545	58,860
18	諫 早 西	ラグビー大会の運営を共に学びながら青少年教育を育むプロジェクト	1,600	172,800
19	諫 早 多良見	バレーボールの指導を通じて、養護施設入所児童の健全育成を支えるプロジェクト	1,818	196,344
20	諫 早 南	剣道大会の運営体験を通じて、少年男女の社会学習と健全育成を支援するプロジェクト	1,818	196,344
21	長 崎 西	離島における人口流出（人口減少）を防ぐための地域開発プロジェクト	909	98,172
22	福 江 中央	地域の特別支援学校への学習器材寄贈と生徒の健全育成を支援するプロジェクト	1,453	156,924
23	長 崎 北	児童擁護施設入所の子どもたちへの農業体験・農業学習を行う教育支援プロジェクト	1,455	157,140
24	長 崎 南	スポーツ大会の運営体験を通じて、少年男女の社会学習と健全育成を支援するプロジェクト	1,818	196,344
25	長 崎 東	児童養護施設入所の子どもたちの夢を育むプロジェクト（天文学及び造形学に関する教育プロジェクト）	1,182	127,656
26	長 崎 中央	福祉・児童教育を目指す学生への教育支援（animal-assisted activity）プロジェクト	682	73,656
27	2740	災害復興支援プロジェクト: Jana Shakti Primary School, Dhading 浄水タンクおよびトイレ改修、教室の照明改善	11,160	1,205,280
28	2740	災害復興支援プロジェクト: Shree Chandee Adarsha Saral Secondary Schoolのトイレ、手洗い場改修プロジェクト	12,758	1,377,864
29	2740	6重点分野強化プロジェクト: 「水と衛生」「疾病予防」グローバル補助金事業のための現地調査（マダカスカル）	16,470	1,778,760
30	2740	6重点分野強化プロジェクト: 先天性疾患に関連する睡眠障害の研究。奨学金（黒田裕子氏、留学先米国ラトガース大学）	13,636	1,472,688
31	2740	コロナ感染予防対策として地区内県医師会（長崎・佐賀）へ医療用フェースシールドを贈呈。	8,333	899,964
32	2740	管理運営費	1,831	197,748
		合 計	97,609	10,541,772

2019-2020年度地区補助金運営について、適正に執行されておりましたことを報告致します。

2019-2020年度 R財団委員長 岡村 康司 / 補助金委員長 園田 嘉生 / 資金管理委員長 竹内 一



2019~2020年度 国際ロータリー第2740地区ローターアクト代表事務局 決 算 書

収 入 の 部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	予 実 差	備 考
1 ガバナー事務局助成金	550,000	550,000	0	
2 負担金				
①代表事務局	400,000	390,000	10,000	
②地区行事	70,000	0	70,000	
小 計	470,000	390,000	80,000	
3 地区事業収入	0	0	0	
4 他地区登録料（各クラブ徴収）	0	-196,500	196,500	
5 提唱RC年次大会負担金	250,000	41,000	209,000	
6 雑収入	0	11	-11	
7 前期繰越	816,451	816,451	0	
合 計	2,086,451	1,600,962	485,489	

支 出 の 部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	予 実 差	備 考
1 負担金				
①地区行事	150,000	0	150,000	
②全国研修会負担金	50,000	50,000	0	
小 計	200,000	50,000	150,000	
2 交通費				
①地区内移動分	90,000	136,169	-46,169	
②他地区移動分	216,000	122,031	93,969	
③全国RA研修会分	54,000	0	54,000	
④第3ゾーン会議分	54,000	0	54,000	
小 計	414,000	258,200	155,800	
3 登録料				
①アクトの日	4,800	0	4,800	
②一泊懇親会	24,000	4,000	20,000	
③インターシティミーティング	9,600	0	9,600	
④RAC研修会	4,800	0	4,800	
⑤年次大会	72,000	0	72,000	
⑥公式訪問例会	12,000	4,000	8,000	
⑦2690地区交流会	57,600	0	57,600	
⑧7地区会	57,600	18,000	39,600	
⑨他地区年次大会	180,000	0	180,000	
⑩全国RA研修会	54,000	0	54,000	
⑪その他	15,000	10,000	5,000	
⑫第3ゾーン会議	54,000	0	54,000	
小 計	545,400	36,000	509,400	
4 祝金				
周年祝賀金	10,000	0	10,000	
小 計	10,000	0	10,000	
5 事務管理費				
①事務用品費	10,000	6,840	3,160	
②通信費	5,000	0	5,000	
③印刷・製本費	15,000	18,090	-3,090	
④地区広報費	5,000	0	5,000	
小 計	35,000	24,930	10,070	
6 年次大会				
①年次大会記念品	30,000	0	30,000	
②表彰関係	70,000	0	70,000	
③提唱RC年次大会負担金	250,000	0	250,000	
小 計	350,000	0	350,000	
7 慶弔費	10,000	89,662	-79,662	
8 雑費	20,000	14,048	5,952	
9 他地区登録料（各クラブ分一括支払）	0	0	0	
10 代表事務局会議費	120,000	0	120,000	
11 予備費	42,051	0	42,051	
12 2019-2020年度 7地区交流会実行委員会費	150,000	0	150,000	
99 次期繰越	190,000	0	190,000	
合 計	2,086,451	472,840	1,613,611	

収支の差 0 1,128,122

地区ローターアクト委員長

永田 雅英



地区ローターアクト代表

堀山 幸平



地区ローターアクト会計

石井 重博



2019-2020年度 インターアクト年次大会 決算報告書

(単位：円)

収 入		
項 目	金 額	備 考
登 録 料	730,000	ロータリアン@10,000×73
	125,000	顧問教師@5,000×25
	895,000	インターアクター@5,000×179
提唱クラブ協力金	1,120,000	提唱クラブ@70,000×16
コ・ホストクラブ援助金	400,000	長崎RC・長崎南RC・長崎中央RC・長崎出島RC@100,000×4
ホストクラブ負担金	150,000	長崎西RC@150,000×1
地区助成金	600,000	
利 息	1	
収入合計	4,020,001	

(単位：円)

支 出		
項 目	金 額	備 考
会 場 費	479,666	会場、備品、空調・その他
昼 食 費	534,600	お弁当、お茶
講 師 謝 礼	300,000	国境なき医師団
会 場 設 営 費	1,598,600	会場設営委託 記念誌・パンフレット・撮影含む
会 議 費	425,858	準備会・申し送り会・反省会・その他
分 科 会	190,830	車椅子レンタル・吹奏楽部諸費用・その他
事 務 費	162,257	事務用品・コピー・事務費・その他
雑 費	276,790	ポロシャツ・交通費・その他
余 剰 金	51,400	ガバナー事務所へ返金
支出合計	4,020,001	

2019-2020年度 第41回RYLA決算報告書

収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	1,653,575	
利息	17	
地区より	150,000	
クラブ負担金	0	@800
登録料	ロータリアン	0 @3,000
	青少年	0 @1,000
合 計	1,803,592	

支出の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
運営費	チラシ	75,900 P R 用
事務費	雑費	7,589
予備費		0
小 計		83,489
次年度繰越		1,720,103
合 計		1,803,592

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、中止となった。



2020年第12回全国RYLA研究会 収支報告決算書

(単位：円)

収 入 の 部				
科 目	予 算	決 算 額	予算対比	備 考
ロータリアン登録料 @10,000×100名	1,000,000	1,430,000	△ 430,000	143名
RYLA学友登録料 @5,000×10名	50,000	45,000	5,000	9名
地区補助金	0	266,024	△ 266,024	第2740地区ガバナー事務所
プレコン残金	0	742	△ 742	
利息	0	1	△ 1	
総 合 計	1,050,000	1,741,767	△ 691,767	

支 出 の 部					
科 目	予 算	決 算 額	予算対比	備 考	
会 場 関 係	会場使用料	200,000	171,300	28,700	8、9日分
	会場設備費	100,000	125,400	△ 25,400	
	会場案内看板	50,000	52,800	△ 2,800	看板、演題
	予備費	50,000	7,800	42,200	ボイスレコーダー
	計	400,000	357,300	42,700	
印 刷 費 用	大会プログラム	80,000	91,200	△ 11,200	152×40×15
	アンケート資料集	70,000	111,075	△ 41,075	当日資料、名札等含む
	大会報告書	150,000	200,000	△ 50,000	
	計	300,000	402,275	△ 102,275	
食 事 関 係	昼食（弁当）	200,000	429,570	△ 229,570	2365×185
	飲料	50,000	15,384	34,616	
	計	250,000	444,954	△ 194,954	
講 師 謝 礼	特別講演	50,000	30,000	20,000	講師謝礼
	分科会関連	50,000	267,610	△ 217,610	その他12名分
	計	100,000	297,610	△ 197,610	
会 議 費	実行委員会	100,000	133,430	△ 33,430	10回開催
	計	100,000	133,430	△ 33,430	
発 送 費	郵送費他（全国RC他）	50,000	13,296	36,704	切手
					振込手数料
	計	50,000	13,296	36,704	
雑 費	雑費	50,000	62,902	△ 12,902	マスク、消毒、事務用品
			30,000	△ 30,000	丸ポーチ、封筒、事務局
	計	50,000	92,902	△ 42,902	
予 備 費		50,000	0	50,000	
	計	50,000	0	50,000	
総 合 計	1,300,000	1,741,767	△ 441,767		

前日プレコンについて

収入	7,000×32名分	224,000	支出	2名返金	-14,000
				居酒屋支払い	-209,258
			残高		742

監査報告書

国際ロータリー第2740地区

2019-2020年度ガバナー 千葉 憲哉 様

2019年度（自2019年7月1日～至2020年6月30日）
第2740地区 地区人頭分担金の受入会計である地区資金（一
般・特別）会計、ガバナー事務所・月信会計、国際青少年交換会計
の収支決算について帳簿並びに諸帳票類を監査いたしましたところ、
適正に執行されておりましたことをご報告いたします。

2020年 8月11日

監査 税理士 井手 雅康



2019～2020年度 月信編集を終えて

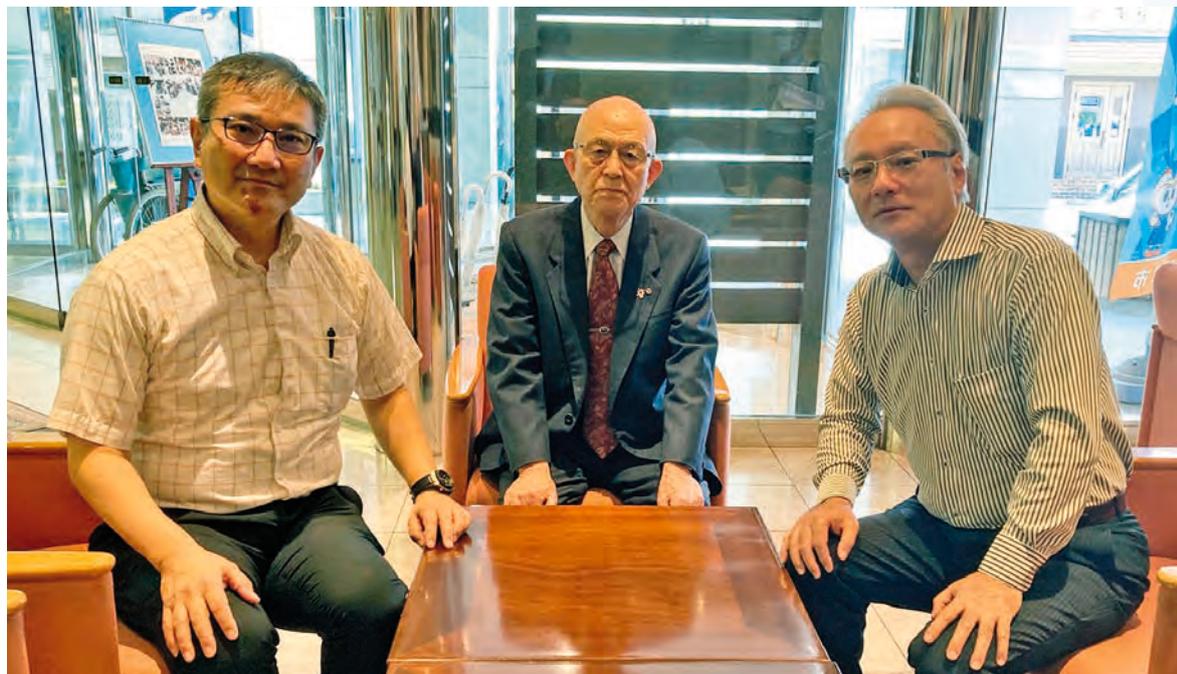
編集長 緒方 聖 (諫早北RC)
編集委員 廣渡 雅也 (諫早RC)
編集委員 川崎 健 (諫早北RC)

今年度、千葉ガバナーから公式訪問への意欲と激変するR I 情報を的確に会員の皆様に届けるため、月信を最大限活用するとの要請があり、当初から編集委員会は沸き立っていた。予想にたがわず、ガバナーからの毎月のメッセージは時期を逸せず、その月の話題性のあるものを送信していただき、大いに助かった。事務局からの原稿依頼に対して、各ガバナー補佐からの反応も早く、地区委員会委員長からの報告も遅滞なく応じていただき、この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

例年のことであったが、公式訪問の各クラブからの報告は型にはまったように、集合写真とその内容に新鮮味に欠けるとの声もあり、事前にクラブのトピック的な話題を中心に纏めていただくようお願いした。その甲斐あってそれぞれのクラブに特筆する記事を提供して下さり、随分趣が変わった公式訪問の報告となったことは嬉しいことだった。幹事さんには感謝しております。当地区は国内でも最も西の果てとあって、R Iの刻々と変容するその速度に順応するのが遅いきらいがあったが、意欲満々のガバナーの行動力に歩調をそろえてくださって、その報告は素晴らしく各委員長さん本当にご苦労様でした。

今年は地区内でも危機管理が問われる出来事が相次ぎました。先ず、夏の局地的集中豪雨による直接の被害に遭われたクラブや会員、公式訪問の予定変更や被災クラブへのお見舞いなどあわただしい時期がありました。ガバナーの行動力が大いに評価され、多額のお見舞金が全国から寄せられ、ロータリーの底力を見た思いでした。次いで起きたのが新型コロナウイルスの地球規模の拡散、この蔓延を食い止めるためもろもろの人が集まるイベントが中止、パンデミックの様相に人の動きを封じる渡航禁止が出され、まさしく鎖国状態に陥っており早く終息してくれと祈るばかりです。この記事は総集編に掲載予定ですから、その頃にはピークも過ぎて平常に戻っていることを期待しておきましょう。

最後になりましたが、裏表紙の紙面を借りて諫早に縁のある芸術家に登場していただき、作品を通して諫早の四季折々の様子や文化を紹介することに致しました。一年間の長いおつきあいに感謝申し上げます。



お詫びと訂正 月信10号の「芸術家の視点」でご紹介した洋画家の荒木幸司氏ですが、荒木幸史氏が正しいお名前でした。訂正してお詫び申し上げます。